M4-89

会社現状概要報告書

一、本店所在地　京城府永登浦區新吉町百七拾壹番地

二、東京ニ於ケル事務所在地、電話番號　淀橋區諏訪町百七拾四番地

三、擔當者名　三星繪具製造所仮事務所内

四、資本金　拾八萬圓（拂込金九萬圓）

積立金　無シ

五、繪具製造販賣（主トシテ學習用水彩繪具）

全鮮國民學校、中等學校

昭和十一年一月廿二日

朝鮮　事業者會　御中

朝鮮水產工業株式會社現狀概要書

記

一、本店所在　朝鮮京城府中區南大門通り二丁目十番地

二、東京ニ於ケル事務所々在地、電話番號

東京都麹町區丸ノ内二丁目二番地丸ビル四階

日魯漁業株式會社内

朝鮮水產工業株式會社東京事務所　千九ノ内四三二(代表)

三、朝鮮事業者擔當者氏名、　堤　清　七

四、資本金、積立金　資本金壹百萬圓也　積立金ナシ

五、主要業務　水產物加工工業

右之通リ御回答申上候也

昭和二十一年一月二十五日

東京都麹町區丸ノ内二丁目二番地

日魯漁業株式會社内

朝鮮水產工業株式會社東京事務所

朝鮮事業者會　御中

149

朝鮮水產工業株式會社現狀概要書

記

一、本店所在　朝鮮京城府中區南大門通リ二丁目十番地

二、東京ニ於ケル事務所々在地、電話番號

東京都麹町區丸ノ内二丁目二番地丸ビル四階

日魯漁業株式會社内

朝鮮水產工業株式會社東京事務所　二十九局四三二(代表)

三、朝鮮事業者擔當者氏名　堤　清　七

四、資本金、償立金　資本金壹百萬圓也　償立金ナシ

五、主要業務　水產物加工工業

右之通リ御問答申上候也

昭和二十一年一月二十五日

東京都麹町區丸ノ内二丁目二番地

日魯漁業株式會社内

朝鮮水產工業株式會社東京事務所

朝鮮事業者會　御中

朝鮮水産工業株式會社現狀概要書

記

一、本店所在地　朝鮮京城府中區南大門通リ二丁目十番地

二、東京ニ於ケル事務所ノ所在地ハ左記番號

東京都千代田區丸ノ内二丁目二番地丸ビル四番

日魯漁業株式會社内

朝鮮水産工業株式會社東京事務所　電話大手(代表)二三一

三、朝鮮事業者ノ當該者氏名　別紙

四、資本金、拂込金　資本金壹百萬圓也　拂込金ナシ

五、主要業務　水產物加工工業

右之通リ御回答申上候也

昭和二十一年一月二十日

朝鮮事業者會　御中

東京都千代田區丸ノ内二丁目二番地

日魯漁業株式會社内

朝鮮水産工業株式會社東京事務所

104

朝鮮事業者會ノ件

株式會社　壽　社

表ノ件現状概要ノ如ク會ノ件ニ付テハ本日午後當地ニ於テ主ナル事業者ヲ集メ左記ノ如ク懇談會ヲ開催シ其ノ結果ニ基キ設立ノ發起人ヲ定メ其ノ後ノ手續ヲ進メル事ニ決定シタリ

記

一、本店所在地　京城府龍山區用峴町八番地（法律上ノ所在地ナルガ終戰ノ混亂ニ因リ殆ンド在留邦人ハ東大門區新設町二〇五番ノ一五山崎福玉方ニ事實上移轉）

二、東京ニ於ケル事務所ノ所在地　電話番號

東京都杉並區東田町二丁目一七五番地　鈴木三郎方（電話荻窪二六一六）

三、朝鮮事業者會社名　東京都杉並區東田町二丁目一七五　鈴木三郎

四、資本金　一、八〇〇、〇〇〇、〇〇　円

設立金　五、〇三五、二五

借入金　二三一、三六一、四四

書商事株式會社

147

2

第　號　事務日誌　昭和　年　月　日　曜日

五、主要業務　煉炭製造業

148

壽商事株式會社

昭和二十一年一月二十三日

芝区田村町五丁目参番地
朝鮮殖産銀行内
朝鮮重要書類保管委員会
委員長　鄭　孝胤

拝復　先般来御懇請ノ朝鮮重要書類ノ件左記ノ通リ引渡シ方取計ヒ申ス可ク候ニ付テハ至急御受取相成度此段及回答候也

記

一、京城府永登浦区永登浦所在
一、東京都目黒区三田二四七番地
　大日本麦酒株式会社内
　朝鮮重要書類保管所
三、電話大崎三一八一
四、責任者　芦澤　章
　（内松江金吾商店）

大日本麦酒株式会社

昭和　年　月　日

五

穂立合壱百六拾弐箇半七万円也

壱把繁造致壱、清酒製造致壱、壱箇

乙壱箇弁外弐箇繁造致壱。

以上

大日本麦酒株式會社

170

朝鮮興業株式會社便箋

昭和十一年一月廿三日

七

東京都神田區駿河臺參丁目六番地參
朝鮮興業株式會社

157

15. 4. 50,000

昭和二十一年一月二十二日

朝鮮事業協會　御中

拝啓　時下寒冷候貴會益御繁忙ノ御事ト拝察仕候毎々御配慮ニ與リ難有御禮申上候陳者

現狀概要照會ニ對スル御回答ノ件

一月十六日附貴翰ニヨリ御照會有之候掲題ノ件左記ノ如ク御回答申上候間宜敷ク御取計方願上候

記

一、本店所在地　大阪市北區中ノ島二丁目一〇番地

日綿實業株式會社

社會式株　日綿實業
日本綿花

152

日綿實業株式會社
日本綿花

三、東京ニ於ケル事務所ノ住地、電話番號

東京都日本橋區室町四丁目五番地（近三ビル）

日綿實業株式會社東京支店

電話　日本橋　五二、五三、三八八、一四七〇

三、開業ノ當否

日綿實業株式會社東京支店長　石橋摂雄

連絡ヲ保リ　山中多八實

四、資本金

金壹千萬圓全額拂込濟

公債、社債、株券、其ノ他有價證券ノ取得、賣買、引受、募集、元利金ノ收受、保管、代理、仲介、信託、貸付、割引、保證、金錢ノ貸借、動產、不動產ノ賣買、交換、賃貸借、運送、倉庫業、保險代理業、鑛業、製造業、電氣事業、土木建築業、農業、牧畜業、水產業、林業、倉庫業、保險代理業、鑛業、製造業、電氣事業、土木建築業、農業、牧畜業、水產業、林業、

五、主要營業品目

一般輸出入貿易

綿糸布、人絹糸布、スフ糸布、毛糸布、絹糸布、麻糸布、其ノ他各種繊維製品、機械、車輛、船舶、鉄鋼、非鉄金屬、鉱物、油脂、薬品、肥料、染料、塗料、ゴム、皮革、木材、紙、パルプ、食料品、飲料、煙草、雑貨、其ノ他一切ノ物品ノ輸出入、製造、加工、賣買、賃貸借、運送、倉庫業、保險代理業、鑛業、製造業、電氣事業、土木建築業、農業、牧畜業、水產業、林業、倉庫業、保險代理業、鑛業、製造業、電氣事業、土木建築業、農業、牧畜業、水產業、林業、

以上ノ外各地ニ於ケル三國間相互ノ貿易、代理、仲介、斡旋、其ノ他一切ノ附帯業務

敬具

昭和二十一年一月十二日

東醫第一二號

朝鮮事業者令第十條ノ二ノ件

書社現狀概要報告ノ件

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通リ御回答申上候也

記

一、本店所在地　京城府中區長谷川町二（富士ビル）

二、東京ニ於ケル事業所　東京都日本橋區江戸橋ノ一ノ一二（加賀ビル）

三、拘束者　事業主　一名（全額拂込濟）

四、資本金八百萬圓也（全額拂込濟）

五、主要業務　一般民需工作機械船舶農具、製作並ニ修理、

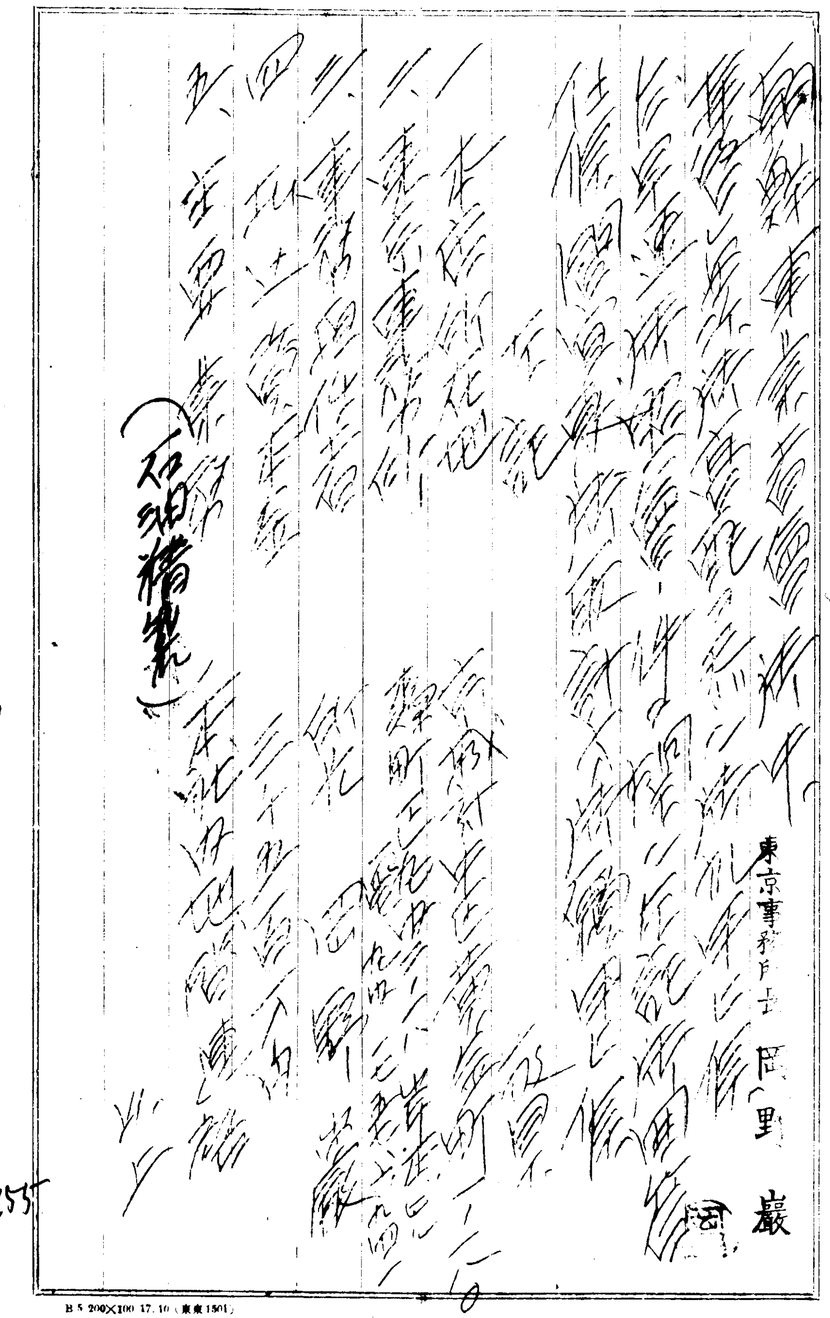
以上、

本社・京城府長谷川町二十一（富士ビル）
電話代表本局③八一三六—八番
出張出張所・清津府浦項町三一〇
電話清津三五二九番
工場・仁川府萬石町六
電話仁川一五八〇—六番

東京市麹町區内幸町二丁目八番地
株式會社 朝鮮機械製作所 東京出張所
電話銀座60(代)(專用)七三一〇

154

No. V



昭和　年　月　日

東京市麹町區丸ノ内貳丁目拾八番地（岸本ビル）
朝鮮石油株式會社　東京事務所
電話丸ノ内(23)（五七四五・六二八二　五七四六・六九〇四）
受信略號（テウヒンユウセンキユウ）

三菱電機株式會社
東京都麹町區丸ノ内貳丁目四番地

昭和十一年一月十二日

朝鮮事業者會御中

東京都麹町區丸ノ内貳丁目二番地
三菱電機株式會社
總務部長 廣崎克 ㊞

拜啓 陳者本年一月十六日付二ヶ御照會ニ係ル首題ノ件ニ關シ左記ノ通リ御報告申上候間御査收被下度此段得貴意候

敬具

記

一、本店所在地　東京都麹町區丸ノ内二ヶ目二番地　丸ビル二階

二、東京ニ於ケル事務所所在地　東京都麹町區丸ノ内二ヶ目二番地　丸ビル二階　電話番號　丸ノ内(23)自三三四四至三三四九

三、朝鮮事業者會指定者氏名　總務部　森川守文

四、資本金、積立金　資本金一億二阡萬圓、積立金六阡五百萬圓

五、主要業務　電氣機械器具製造販賣業

以上

課發第　　號

寫

昭和　年　月　日

東京市芝區田村町壹丁目貳番地（日産館一階）

日本油脂株式會社

電話銀座(8)一八〇九番
電報略號トクラシセ一八一七
電略號「ユニ」

東京都某區某町何番地

朝鮮油脂株式會社

東京出張所

No. ✓

東京市芝區田村町一丁目三番地

朝鮮事業商會御中

拝啓　陳者一月十六日附御書狀を以て御照會の件承知致候、尚"御來社"の節は

左記

一、本店所在地　京城府鐘路區光化門通一三九

一、事業の概況並電話番號　日本橋區白木屋三階

電話日本橋(24)三三番（開東工業）

理財課長　江原一郎

（江員事金　二仟圓門（御出資金二仟圓也））

157

寫

課	發	第	號

昭和　年　月　日

東京市芝區田村町壹丁目貳番地（日產館一階）

日本油脂株式會社

電話銀座 ㈠ 一
電報 ニホンユシ
ユニク代表 ヒヒ一
ABC 第五版
ライバー ニホンユシ
チョーカ〇
ユニ 一
ヒヒ 二
ニホンユシ 三
ヒヒ 四
（東京 一 ヨ 横）

No.

151

東京都日本橋區室町一丁目七番地ノ四
三越本店五階
朝鮮日産化學株式會社東京出張所

東京142（番号）

朝鮮拳業者會　御中

現狀報告書

首題ノ件左記ノ通リ御報告申上候也

記

一、本店所在地　朝鮮京城府鐘路區樓書町五十一番地

二、東京ニ於ケル拳務所所在地　電話番號

東京都麹町區丸ノ内三丁目六番地仲四號館

遊仙鉱業株式會社東京事務所
電話丸ノ内(二)三九六八、四八五九、五九五七

三、朝鮮拳業者會役員ノ氏名

會長　遠藤柳作

理事　山崎登志雄

理事　堀谷伸介

監事　[illegible]

四、資本金額

資本金壹千五百万圓也　内拂込資本金壹千百貳拾五万圓也

積立金四拾万四千圓也

五、主要業務

石炭採掘

日本窒素肥料株式會社

東京事務所

東京都麹町區内幸町二丁目一番地
電話銀座(57)一八一四・一八三六至一八三八自夜間専用
受信略號 ソツチンポニンピウエウケウト
發信略號 (チソ)ハ又(ソチ)

昭和21年1月22日　　第　　號

朝鮮事業者會殿

當社現狀概要報告ノ件

拜啓時下寒冷ノ折益々御清穆ノ段奉大賀候　陳者先般一月末日附御書翰ヲ以テ御照會ノ諸件左記ノ通リ御報告申上候間御査收被下度候

先ヽ右御回答迄如斯御座候

左記

一、本店所在地　大阪市北區京是町壹番地

二、東京ニ於ケル事務所所在地、電話番号　東京都麹町區内幸町貳丁目壹番地　電話銀座(八一四)一八二九

三、朝鮮事業者會擔當者　白石宗城

四、資本金積立金　資本金四億五阡萬圓(拂込壹億五阡萬圓)積立金六阡萬圓

五、主要業務　窒素肥料及化學工業製品ノ製造並ニ賣買　以上

111

昭和 21年 1月 22日

長野縣取訪郡刑岸村

片倉殖産株式會社

朝鮮事業商會御中

現狀概要報告書提出ニ付

首題ノ件左記事項御報告申上ケマス

記

一、本店所在地

二、東京ニ於ケル事務所ノ所在地電話番號

三、創業ノ年月日及資本金額

四、資本金額ノ内

五、主ナル業務

六、希望ニ依リ

康京創業委員會三片倉銀

常務理事 右 電話京橋三ノ六一番

茅野要之助

染色金属工業株式會社 資本金五拾萬圓

農場土地林林經営管理

鉱業一金銀銅鉛無鉛鉱

工鉱業 化学工業 紡織業 印刷業

電話圖書館(〇一一〇)(二)(二)(二)(二)(二)(二)番

電信略號(〇五)

岡谷局私書函第一號

162

昭和二十一年一月二十二日

朝鮮事業者會　御中

終戰事務處理部

拜啓　寒冷之候益々御清祥之段奉賀上候
陳者一月十六日付ニテ御問合ノ件次ノ通リニ回答申上候

記

一、本店所在地　東京都日本橋區室町壹丁目七番地ノ四
（三越本店四階及五階）

二、東京連絡所　同　電話日本橋二三〇一―二三〇〇番

三、擔當者　終戰事務處理部　市川欣夫郎

四、出資金　四四一、八〇六、三五〇圓

積立金　二八、六九二、〇〇〇圓

163

日本鑛業株式會社

169

五主要業務
鑛物ノ採掘處理

以上

日本鑛業株式會社

昭和二十一年一月二十二日

登記

昭和　年　月　日

大阪市北區宗是町一番地
大阪ビルヂング（新館）六階六六四號
電話土佐堀(60)五三五五番 五三五五番 五三五五番 五三五五番
大阪陶業株式會社
振替口座大阪七二五二五番
電報至急受信號「オウサカ」トウギヨウ

一、金千圓也　鐘路孝子町一七八番地
二、事務諸費其他
所要ノ都度支出ス
三、臨時雇傭者
四、賞与金積立金　五百万円
五、其他必要事務

（完餅機　破砕機　吸收塔　貯槽等）

耐酸煉瓦類
耐火煉瓦類
窯炉建設工事

昭和二十一年一月二十一日

東京都千代田区丸ノ内丸ビル八階八四三番
小林鑛業株式會社東京出張所

登記事項証明書

昭和二十一年一月十六日附ニ係ル首題ノ件左記ノ通リ相違ナキ旨申立ノ届出アリタル件相違ナキ旨申立ノ届出アリタル件

記

一　本店所在地　　東京都中央区日本橋一丁目十番地
二　東京ニ於ケル書記所在地　書記番地

東京都千代田区丸ノ内丸ビル八階八四三番
電話　丸ノ内（二三）二七三九番

三　書記業務ヲ執行スル社員ノ氏名　支配人　章　和夫
四　資本金、資産金　　五千萬圓、八百十九萬壹千圓也
五　主要業務　　一　鑛業及ニ關聯スル一切ノ事業ニ投資
二　鑛ヲ原料トスル鑛業事業

以上

小林鑛業株式會社東京出張所

一月廿日

杉山達郎

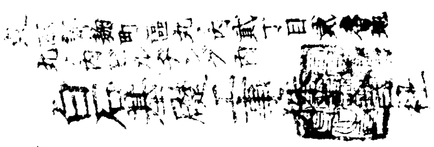
朝鮮事業者会御中

拝復　益々御清祥ノ段大賀候、陳者
一月十六日付御照会ノ件左ノ通リ御回答申シ上ゲ候
尚不明ノ項目後便ニテ御回答申上候

一、京城府西大門区貞洞町二番地。社團朝鮮放送協会
二、東京都品川区上大崎長者丸三〇二、日本放送協会分室
　　電大崎一大八八

三、杉山達郎
四、
五、放送事業

昭和二十一年一月二十一日



創立総会議事録

一、昭和二十一年一月二十一日午後二時ヨリ東京都千代田区丸ノ内二丁目二番地ノ一丸ノ内ビルヂング四階六一号室ニ於テ本会ノ創立総会ヲ開催シタリ

一、本会ノ発起人ハ別紙発起人名簿ノ通リ総員十名ニシテ其ノ全部出席シ本会ハ適法ニ成立シタリ

一、発起人ハ互選ニ依リ仮議長ニ吉田茂氏ヲ選任シ同氏ハ之ヲ承諾シタリ

一、仮議長ハ本会ノ目的及ビ事業ニ関スル定款ヲ朗読シ其ノ可否ヲ諮リタルニ満場一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ

一、仮議長ハ本会ノ役員ヲ選挙ニ依リ定メンコトヲ諮リタルニ満場一致ヲ以テ之ヲ可決シ仮議長ハ其ノ指名ヲ一任セラレタリ

一、仮議長ハ指名ノ結果左ノ通リ役員ヲ選任シ同人等ハ何レモ之ヲ承諾シタリ

取締役　吉田茂　（東京都千代田区丸ノ内二丁目二番地ノ一丸ノ内ビルヂング四階六一号室）

取締役　白洲次郎　（東京都千代田区丸ノ内二丁目二番地ノ一丸ノ内ビルヂング四階六一号室）

取締役　松岡駒吉　（東京都千代田区丸ノ内二丁目二番地ノ一丸ノ内ビルヂング四階六一号室）

監査役　小林中　（東京都千代田区丸ノ内二丁目二番地ノ一丸ノ内ビルヂング四階六一号室）

一、仮議長ハ本会ノ資本金ヲ金壱百五拾万円也ト定メ其ノ内金弐拾五万円也（一株金五拾円ノ株式五千株）ヲ以テ設立ノ際発行スルコトヲ諮リタルニ満場一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ

一、仮議長ハ本会ノ設立ノ際発行スル株式ノ引受ニ関シ発起人ノ有スル株式ノ数ヲ定メンコトヲ諮リタルニ満場一致ヲ以テ之ヲ可決シ仮議長ハ其ノ指名ヲ一任セラレタリ

一、仮議長ハ指名ノ結果左ノ通リ発起人ノ有スル株式ノ数ヲ定メ同人等ハ何レモ之ヲ承諾シタリ

発起人　吉田茂　金壱百万円也

発起人　松岡駒吉　金弐拾五万円也

発起人　白洲次郎　金弐拾五万円也

一、仮議長ハ本会ノ設立ノ際発行スル株式ノ払込ニ関シ発起人ノ有スル株式ニ対スル払込ノ方法ヲ定メンコトヲ諮リタルニ満場一致ヲ以テ之ヲ可決シ仮議長ハ其ノ指名ヲ一任セラレタリ

一、仮議長ハ指名ノ結果左ノ通リ発起人ノ有スル株式ニ対スル払込ノ方法ヲ定メ同人等ハ何レモ之ヲ承諾シタリ

発起人ハ其ノ有スル株式ニ対スル金額ノ全額ヲ本会ノ設立ノ際払込ムモノトス

一、仮議長ハ本会ノ設立ノ際発行スル株式ノ募集ニ関シ発起人ノ有スル株式ノ数ヲ除キ其ノ残株ヲ募集スルコトヲ諮リタルニ満場一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ

一、仮議長ハ本会ノ設立ノ際発行スル株式ノ募集ニ関シ其ノ募集ノ方法ヲ定メンコトヲ諮リタルニ満場一致ヲ以テ之ヲ可決シ仮議長ハ其ノ指名ヲ一任セラレタリ

一、仮議長ハ指名ノ結果左ノ通リ株式ノ募集ノ方法ヲ定メ同人等ハ何レモ之ヲ承諾シタリ

一、株式ノ申込ヲ為サントスル者ハ株式申込証ニ住所氏名及ビ引受ケントスル株式ノ数ヲ記載シ署名捺印ノ上発起人ニ対シ申込ムモノトス

朝鮮事業者會御中

會社現狀報告ノ件

一月十六日附御照會ニ相成候當所現狀別紙ノ通リニ御座候間三部同封御報告申上候尚御不審ノ點ハ御示下度御願申上候

昭和十一年一月二十三日

故具

共榮油脂工業所

株式會社商工組合

169

(東京 18)

記

一、本店所在地　朝鮮京畿道仁川府花町一丁目

一、東京ニ於ケル事務所々在地及電話番號

東京都中野區上ノ原町三〇　青木宗吉方

一、責會增當者氏名　重　野　良　平

一、責　本　金　壹百萬圓也

一、責　立　金　參拾萬圓也

一、主要業務　米穀其他植物油脂搾油精製食用油、石鹸製造

其他附帶事業

東京信用信金協会

一、主要業務　本支店　為替　手形割引　代金取立　各種預金　貸付　有価証券売買　保護預り　貸金庫　信託

一、本店　日本橋区本石町一丁目

一、営業時間　午前九時ヨリ午後三時マデ

一、休業日　日曜　祭日　年末年始

一、預金ニハ利子ヲ附ス

一、貸付ハ信用ヲ主トシ確実ナル担保ヲ徴ス

一、為替ハ全国ニ取組ム

一、代金取立ハ至急ニ取計フ

一、株式ノ売買ハ取引所ノ仲買人ニ委託ス

一、有価証券ノ保護預リヲ為ス

一、貸金庫ヲ設ケ貴重品ノ保管ニ便ス

一、信託ハ金銭ノ信託ヲ為ス

一、預金ハ当座預金　普通預金　別段預金　定期預金　通知預金　積立預金　納税準備預金　別口預金　ノ種類アリ

一、貸付ハ手形貸付　証書貸付　当座貸越　ノ種類アリ

一、為替ハ送金為替　取組為替　ノ種類アリ

一、代金取立ハ手形　小切手　ノ種類アリ

朝鮮無煙炭株式會社東京出張所
東京市麹町區丸ノ内二丁目二番地　丸ノ内ビルヂングン八階

東發第二三四號

朝鮮事業者會御中

昭和二十一年一月二十二日

朝鮮無煙炭株式會社
東京出張所長　安

本社現狀概要報告ノ件

拜復時下益々御清榮之段奉賀候

東發一月十六日附通牒ニ關スル御照會ノ件左ノ通リ御回報申上候

記

一、本店所在地　朝鮮京城府中區本町一ノ五三

二、東京ニ於ケル事務所々在地　東京都麹町區丸ノ内丸ビル六號六一五區
朝鮮無煙炭株式會社東京出張所　電話(23)五〇二一番
電話番號

三、朝鮮事業者會幹部ノ者ノ姓名　濱崎海安、向江犬吾

四、資本金、公稱五千萬圓（內拂込金四二五〇萬圓）積立金三、九五〇千圓

五、主要營業　石炭、高品土ノ採掘販賣、煉炭ノ製造販賣、味噌

以上

173

No. 1

昭和三十年一月二十二日

朝鮮事業者會 御中

理研光学工業株式會社

百十六日附御照會ニ対スル回答

記

一、在鮮支店所在地　京城府道林町二九九番
本店所在地　東京都淺草区淺草橋二ノ三

二、東京ニ於ケル連絡事務所　王子区神谷町一七六。
電話　赤羽　二三二一番

三、朝鮮事業者會擔当者氏名　江口貞平

四、資本金、五、000、000円

五、主要業務　工業用感光紙、製造並ニ販賣

174 以上

東京都淺草區淺草橋二丁目三番地五
理研光學工業株式會社
電話淺草(84)八二六一―五番

ㅅㅏ ㄴ

一、공동생활의 규칙을 존중하고 질서를 문란케 하는 행위를 하지 않는다.

一、기숙사 내에서 음주 및 흡연을 하지 않는다.

一、정숙한 풍기를 문란케 하는 행위를 하지 않는다.

一、학업에 지장을 주는 행위를 하지 않는다.

一、소지품 관리에 철저를 기하고 분실 및 도난을 방지한다.

一、기숙사 내의 시설물을 아끼고 보호한다.

一、기숙사 내에서 동물을 사육하지 않는다.

一、기숙사 내에서 위험한 물건을 소지하지 않는다.

一、기숙사 내에서 불을 피우지 않는다.

一、기숙사 내에서 싸움을 하지 않는다.

一、기숙사 내에서 도박을 하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외박을 하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외출을 하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외식을 하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인을 출입시키지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 접촉하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 대화하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 식사하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 동숙하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 동행하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 동반하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 동승하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 동석하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 동침하지 않는다.

一、기숙사 내에서 외부인과 동거

昭和二十年一月二十一日

朝鮮事業者會 御中

日本マグネサイト化學工業株式會社東京營業所

拜啓 現狀概況照會ノ件回答、

首題ノ件左記通リ回答候也、

記

左

一、本店所在地、京城府太平通一ノ二五、

二、東京於ケル事務所、東京都麹町區内幸町二ノ一大阪ビル四階、
電話番號、銀座(57)〇四一四番、

三、朝鮮事業者會社、事務取締役 小幡肯治、
當者ノ氏名、

四、資本金、五、〇〇〇、〇〇〇圓、
積立金、四九一、二〇〇圓、

五、主要業務、鏡山業、(マグネサイト鑛、螢石鑛、耐火粘土採堀、)
化學工業、(特殊金屬ノ製造、)
窯業、(製鐵、製鋼原料マグネサイトクリンカー、耐火煉瓦ノ製造、)

營業所 東京市麹町區内幸町二ノ一(大阪ビル) 電話銀座(57)〇四一四番
本社 朝鮮京城府太平通一ノ二五(電話番號)

176

きがは便郵

東京都芝區田村町一ノ三
旧朝鮮總督府内
在鮮事業者会中
月二十日 品川区大井鎧町
鐘淵工業株式會社
本社総務部

177

和歌山地方法務局御中昭和会社代表者印鑑届書

一、本店所在地　東京都品川区大井鎗町三四七五

二、在京営業所　右　電話大森(06)三二四一―三

三、代表者名　北野宗政、森本清　四六〇―三

四、資本金　弐千四、〇〇〇、〇〇〇圓　積立金　三七、〇四二、九八四円

　　拂込　二六六、二二〇、〇〇〇圓

五、主要業務

一、各種糸織物及編物ノ製造加工並ニ販賣、

二、化学工業、加工木材、鑛業、

以上

昭和三十一年一月二十二日

東京都麹町区内幸町二ノ一 丼対阪急本館四階
金井鋪業株式會社東京事務所

朝鮮事業者協會 御中

昭和三十一年一月十六日附照會ノ會社概要左記ノ通報告ス也

記

一、本店所在地　京城府中区本町一丁目五拾参番地ノ一九旭ビル

二、東京ニ於ケル事務所所在地、電話番号　東京都麹町区内幸町二ノ一、三大阪ビル本館四階、
電話　銀座(57)　六五〇、八九二六ー八九二八

三、朝鮮事業者会担当者氏名　眞方康男

四、資本金　公稱資本金七百万円也、拂込金六百七拾五万円也、
積立金　金壹百七拾九万弐千壹百参拾也

五、主要業務　イ、鑛物、採取売買製錬、加工、副産物、採取並ニ販売
ロ、疋林
ハ、前各号ニ関聯スル一切ノ事業

以上

昭和三十一年一月二十二日

東京都麹町区内幸町二ノ一 三大阪ビル本館四階
金井鋪業株式會社東京事務所

収入印紙

令和　年　月　日

（注意）
一、本紙は、必ず、登記所の窓口に提出すること。
二、本紙は、登記所の窓口に提出するまで、決して開封しないこと。
三、本紙は、登記所の窓口に提出するまで、決して開封しないこと。

No. 社会式株業鉱資氣生 社

三、朝鮮事業者会担当者氏名

四、資本金　公稱資本金七百万円也、払込金六百七拾五万円也、
　積立金　金壹七拾九万弐千壹百余円也

五、主要業務　イ、鑛物採取売買製錬、加工、副産物採取並ニ販売
　ロ、植林
　ハ、前各号ニ関聯スル一切ノ事業

以上

眞方康男

No. 社会式株業鉱資氣生 社

東京事務所

一、本店所在地　京城府日本橋通二丁目三番地

二、支店又ハ出張所ノ設置ヲ為シタルトキハ其ノ名称及所在地　京城府日本橋通二丁目三番地

三、朝鮮事業者会ニ於ケル代表者ノ氏名　京城府日本橋通二丁目三番地　眞方康男

四、資本金　積立金

五、主要業務　イ、鑛物採取売買製錬、加工、副産物採取並ニ販売
　ロ、植林
　ハ、前各号ニ関聯スル一切ノ事業

以上

M4-90

349.37
Y3Ta 178
B5. 24P

玄12秋
山口大学
112

昭和弐年二月廿日

元郡村神道二関スル陳述書

大倉集商学研究会会長
坂本通藏

昭和二十一年十二月二十三日

大分縣別府市堀川町

大分縣朝鮮引揚者會

會長　坂本由藏

理事長　白石宗城殿

拝啓終戦に伴ふ外地引揚者の苦悩連續の第二年も何等為すなく夢の如く過ぎ去りんとするに際り云ふ

既なき処ではありますが

本年の五月

朝鮮引揚者全國大會及び九月の補償打切問題

陳情の為両度本部を代表し東上致しましたが遂に両

度とも其目的を果す事が出來ず遺憾千萬でありました

が信原理事　申伸崎能の方々には御多忙の中を

御来駕を賜さりまして御懇篤なる御指導を

賜りまして厚く御礼申上げます

扨て過般文を以て申上げました

通り九月中旬本部に引揚者が續々詰かけまして

九月末日の大藏省令で外地預

は封鎖されましたので本部としては執行

の為めに十一月の大藏省令で外地預

金の成立を動機に朝鮮引揚者大分縣地方會と致

秘し中央と連絡を保持して参りますやに在職者も各地
外引揚者全体で組織せる「協生会」と合流することとな
り本年九月一日解散しましたが八月末現大蔵大臣の
諮詢ニ応じて出資産処理審議会と共に朝鮮引揚者相志
数回会合の上「大分類朝鮮引揚会社」を組織し
推されて其の会長に就任八月十四日東京政府要路及び
先御に陳情其の処理の確立ずみた確かたものであります
此間被害理事及び弁護士とは締結の機会を得
ましたが為に若干の謝礼をしたが為に若干の謝礼
と感謝とを以て今日に及んだ次第であります
私は昭和十七年三月より十九年三月までの間

二 技術者として私は朝鮮の鉱業界に知られ
た事故物語より相談を受けた小規模な京城に
ある鉱業所を設計監督させました私案図
案とは全く不可能とされていましたシステム式の
製作に成功し水閘性三倍に「自動車製作機車
等のベルトキンベ完全なものまで製作し得るに到りま
したその時の朝鮮軍特務機関長谷川大佐の信任に
深く感謝の種迄及び海軍特務機関本部にても其の優秀
なるを認められ三菱製作所にも出張を命ぜられ
ました工場の建設を計画しましたが時既に遅く
及機械の到着までは私人で不可能でありました
のでやむなく工場の建設を断念する旨報告仕方

社の再起の為全力を集中しました
ので私が其の影響を受け又負債十二三
萬円の主持挿を為し其の工場の増設改築中昨年
の終戦で又打撃を受け私も全資産は殆ど無価値と
く凍結されましたので増設修工事も停止となして進
ず暫く旅廻りの上にも大体の工事を了へ事業開
始まで漕ぎ着けましたり封鎖関係で全く頭打ち
の有様でしたが間もなく時機を待つて居る状態であります
が開始されますれば注文は殺到の見込であり前記
のごとく我が国唯一の炭化コルク又国産として絶対他
には比肩すべきものはないと断言し得る程の組織に
自信満々たるものがあります
而して事業開始も僅かな十萬乃至二十万円でよいのですが今
日まで増改修等に無理算段して居る外借金取扱
の関係上土建株式会社及び元新機工株式会社
の経営に当りましたが昨年来機械の特許権を独占して居りました
本機の為販売網を統一して販売開拓の為
永機株式会社を創立致しまして
資金の払込を終了致しました 誓いて手許金く結構
しく御願申上ます 敬具
然るに最近業務拡張の為事務所及工場の移転に依り

り矢業對策として、事業の金融の途
であります。ので、神恩典に浴し得ますれば立場は
約五千名の婦女子と失業の男子とを雇しなければ
者の応募ある家庭は真の
業救済には最も理想的で
ございます。即時就職し得ると
ございますから毎朝事業を企図するものに比し遠
かに便利と思惟する次第であります
而して勤労者としては別紙事業計画書に示すが如く
業化されるの外農繁期
は耐久力に於て営の続き
絶縁的であり事業に又統的であります
尚は会社の資産負債表と
総資産と題する同様に
でありますが其の評価は
現在では約倍数はあること思います
右の次第でありますから此際至急何人とか金融の途
に就き御高配に預りたく又場合には出資者
同経営致す等支障なき私としては利潤本位で
なく驗入品に当りぬ優秀品を一つも早く生産し得
るやう御指導して頂く次第であります

追て最近の各報道を綜合しますと大蔵大臣は預貯金及び定金小口多類に対しの地の財製程度のものの指置に関し考慮して居るが引揚者八十萬世帯と一世帯一万五千と見ても二十億の巨額に上り政府としては其の負担かなり何にも困難かの如く又引揚者に如何にも恩恵的に政府が救済するかのやうな感じを一般国民に与へて居ることは引揚者の私共としては洵に遺憾に堪へない所でありまして私等は飽迄政府に負担して頂くものでもなく御新礼の如く預貯金の如きは又国家に負担するものではなく預貯金は数百億に上り仮令国家が接収保管して居る銀行に幾然として保管されて居るのであつて現に政府及び国民の担になるものでない元来預るものが保結されて全部に及ぶとすることが都合が微力なるか故で寧ろ政府としては自己の無力を自覚し要人引揚者に詫ぶ可きものならずやとさへ思惟して居るものなれば速やの機会に政府の誠意を質して頂きたいと思ひます

これので何時か我国より聯合軍への賠償に当てられるが又は聯合軍を通じ接収銀行より幾何回収して頂か或ばなら如き性質のものであるから政府及び国民の担になるものでない元来預るものが保結されて全部に及ぶとすることが都合が微力なるか故で寧ろ政府としては自己の無力を自覚し要人引揚者に詫ぶ可きものならずやとさへ思惟して居るものなれば速やの機会に政府の誠意を質して頂きたいと思ひます

事業計畫

昭和十九年九月當社ノ新株五千五百株（一株二十円金額拂込）ヲ私名金都引受ケ社長ニ就任仰セ萬中慌忙レテ居ツク其ノ後舊ト從來ノ「テツク」ス㐂製造工場ヲゴルフ㐂製作工場ヘノ設備等ヲ爲スベクメメ大阪東京ニ對シ新規註文ニタル外軍品兼製品ノ購入等戰時下物資ノ缺乏ニ當ノ支援ト中古品ヲ不拘凡有ノ苦心ト統制ニ至ツテ當局ノ形例ニモ不拘兎モ角モ設備ヲ完了シタノデ事後ノ點檢混沌タル難局ヲ一通リノ復舊ト就業開始ノ運金準備中三月一日ヨリ一ヶ月ノ金融緊急措置令ニ依リ納稅シ已ムナク今日ニ及ベタル次第デアリマス

新株ノ引受ケト共ニ當社ノ舊債ノ整理ト工場ノ設備替新設備費一切ハ私有個人ニテ融通シツツアリシ最中終戰トナリマシタノデ組解ニ本據ヲ有スル私ハ終戰ニ依リ五六十萬円ノ積貯金ト二百餘萬円ノ不動產等一切凍結ノ厄ヲ蒙リ金融全ク梗塞サレマシタノデ潮ノ工場ノ設備マデハ漕ギ着ケナガラ運転資金ノ爲事業ヲ開始スル能ハズ遺憾ニ堪ヘヌ次第デアリマス

然ルニ當社ノゴルフ㐂ハ從來國產トシテハ全ク獨作至雅トサレテ居リマシタノデ墨栓浮木自動車

等ノパッキンヂー
亘リ斯界ノ先覚者ニ
ノ研究ヲ重ネ是等ノ
従来ノモノニ比シ雲泥
ニ係セ成功シタル事
リ居リタル栗亜建材
如ク其ノ工場ノ増改
マス
而シテ是等「ゴルク」ハ
ルノミナラズ戦前輸
浮木「パッキン」レー」ト
ツ外ナシト思ヒマス

平和産業トシテ将来性ア
入ニ御ヤタル前述ノ堰栓
ハ今後ヲ恐ラク輸入ニ依
ガ当社ノ製品出現ノ暁ハ

必ズヤ輸入ヲ抑制シ
ハ見返物資トシテ重
第ヂアリマス
而シテ本年三月末ノ
見積書ヲ添附シテア
大体明瞭ト存マス
右

昭和二十一年十二月　日

広島県佐伯郡廿日市町
廣海工業株式會社
取締役社長　坂本由藏

第十七期貸借對照表　昭和二十五年三月二十日現在

資産科目	金額	負債純資産科目	金額
特許権	二三〇二六四	資本金	一九〇〇〇〇〇
土地	二四八六〇〇〇	法定積立金	八〇〇〇〇〇
建物及設備	二〇五二一二八	借入金	一七三八四〇七七
機械器具	四二五七〇九九	支拂手形	五二七〇〇〇〇
備品及什器	三六三一九一	未拂金	三二七六〇〇
原料及貯蔵品	二六三五一四〇	假受金	九二二〇七三八
仕掛品	二〇〇〇〇〇	別途假受金	二四五〇〇〇
製品	一二二五〇		
預金	五六四七九		
有價證券	五〇九六四		
金銀	三九二〇六		
假拂金	一九九六四二八四		
前期欠損金	一五五一二九九四	此欠損金中納十五四八萬宝後二手納付ス	
當期損失金	三二四五二〇		
合計	五三四一七五七五	合計	五三四一七五七五

第十七期財産目錄

貸借對照表ノ資産ノ部ト同一ニ付之ヲ省略ス

第十七期損益計算書　昭和二十一年三月二日現在

利益科目	金額	損失科目	金額
雜收入	一九六六八	營業費	一五三二五五
當期損失金	三二四五二 〃	支拂利息	一〇〇六四二七
		工場費	七二五八九一
合計	三二六四八六八	合計	三二六四八六八

損益金處分案

一金三萬弐千四百五拾二圓也　當期欠損金

一金拾五萬五千壱百二拾九圓九拾四錢也　繰越欠損金

合計金拾八萬七千五百八拾一圓九拾四錢也

欠損繰越金

右之通〃候也

昭和二拾一年三月二日

廣島縣佐伯郡廿日市町

東海工業株式會社

取締役社長　坂本由藏

總資産

一金五拾壹萬八千六百七拾五円也（昭和二十一年三月評價）

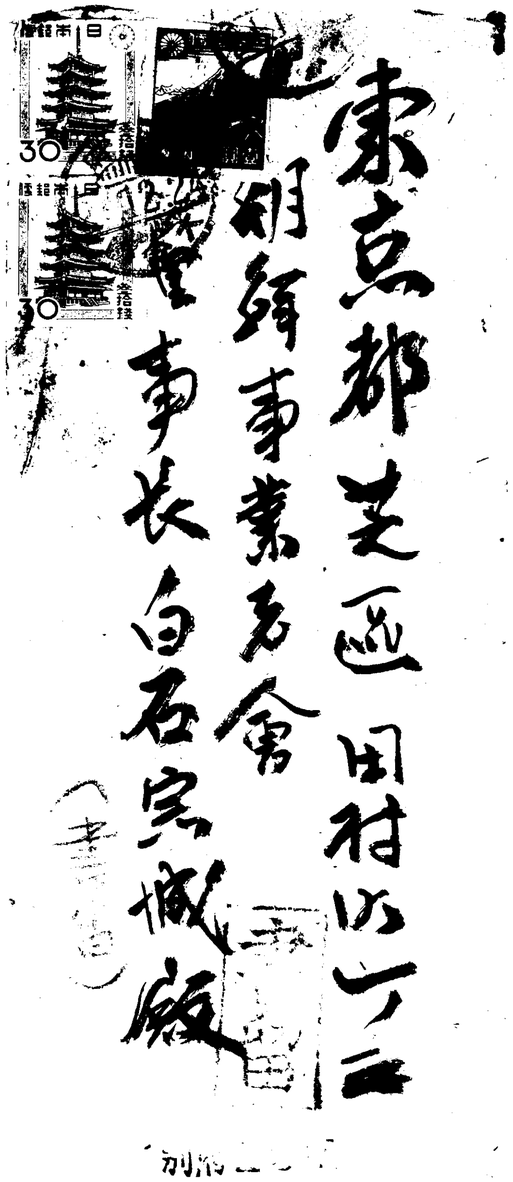
内譯

土地　一、七三坪　金壹千三百二拾円也（時價）

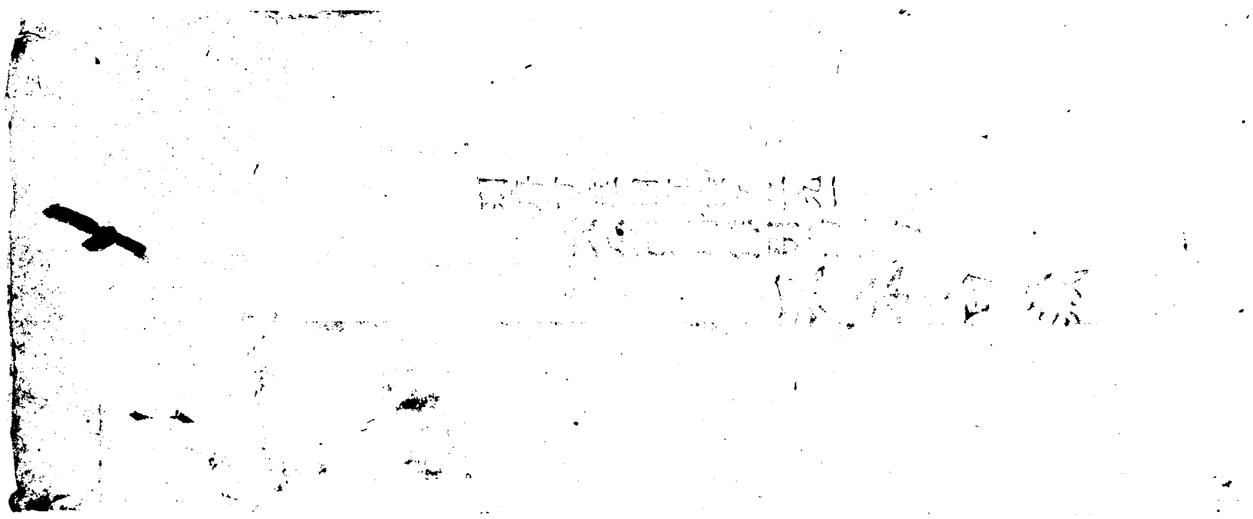
建物　工場一七三坪　金壹萬三千七百八拾円也（時價）
　　社宅二坪　三坪　計
　　（内訳）
　　工場宅地　八、八坪　坪金四　六四、四〇円
　　道路用宅地　四四坪　坪金八円　三五二、〇〇
　　工場用畑地　三五六坪　坪金六〇円　二一、三六〇
　　工場木造トタン葺　平家一七〇坪　坪金五〇円　八五、〇〇〇
　　事務所社宅兼用　平家二二坪　坪金一〇〇円　二二、〇〇〇
　　倉庫木造　平家三〇坪　坪金一〇〇円　三、〇〇〇
　　倉庫木造トタン葺　平家三〇坪　坪金五〇円　一五、〇〇〇
　　事務所社宅附属　造作一式　三、五〇〇
　　水庄機　三尺角ターボ　三聯式　一台　三〇、〇〇〇
　　ウオーター庄機　動力用　一台　一〇、〇〇〇
　　金型用動力機　二台　四五〇〇
　　巻取機　台車引込用　一台　五〇〇
　　モーター　十馬力一元　七十馬力一台　一七、五〇〇
　　原料混合機　一台　二〇〇〇
　　乾燥機　二台　一、五〇〇
　　乾燥台車　四個　六〇〇
　　粉砕機　三台　六、〇〇〇
　　熱利機　一台　五、〇〇〇
　　熱利機用運転機　一台　一、〇〇〇
　　原皮加熱機　一台　四、〇〇〇
　　メラインダー機　一台　一五〇〇
　　送風器　一台　二〇〇
　　金型二尺角二吋厚　二ヶ個　六〇〇
　　金型、運搬用トロ台車　二七台　六七五〇
　　金型二尺メ四尺二吋厚　一個　一二、六〇〇
　　踏揚機　金型引上用　一台　三〇〇
　　鉄粉水用ポンプ　一台　三五〇
　　天井運搬車　四個　六〇〇
　　ホール盤　二台　六〇〇
　　レール一二封度　二五〇尺　五〇〇
　　天井運搬用レール取附一式　一二〇尺　三〇〇
　　チエンブロック一化釣二台　半化釣一台　一五〇

試験用金型一ト角	三組		
原粒乾燥用飲箱	一〇個	一、〇〇〇	
台秤量大型	一台	五〇〇	
台秤量中型	一台	四〇〇	
台秤量小型	一台	一五〇	
手荷車	一台	二二〇	
棚炊用釜大型	一個	五〇〇	
見本製作用庄搾機	一台	一、二〇〇	
見本製作用乾燥炉	一基	五〇〇	
ハンマー金槌	四丁	九五	
ニヤベル フオーク	四丁 三丁	一五〇	
金切鋸 ホート力	一丁 一丁	八五	
高庄用電線 赤銅製	一〇〇尺	二、〇〇〇	日
鉄丸棒 六分	五〇尺	一、〇〇〇	(内訳)
合セ			電話用 一、六〇〇
ワイヤーロープ五分九	一五〇尺	二、二五〇	自動車 二、〇〇〇
金剛砂土石	二枚	一、〇〇〇	
十二吋十吋			
アングル吋半長ロ六尺	一六本	一、〇〇〇	
ナヤンネル小	一四本	四二〇	
モンキースパナ大小	四丁	一三〇	
スパナ大中小	三丁		
タガネ平	二丁	一五	
エッキタガネ	一丁		
大ユ鋸両又	二丁	二一〇	
ダン切鋸	一丁		
ノミ大中小	三本	一四〇	
カンナ	一丁		
ペンチ	二丁	四〇	
切削機刃鉋	四枚	二〇〇	

| | | |



京都芝區田村町二
明治專業學校
事長 白石宗城殿



334.6
369.37
T3b.41

M44-91

朝鮮半島通信使資料集　三

在朝鮮日本人個人蔵

昭和二十三年三月

昭和二十二年三月

(秘)

在朝鮮日本人個人財産額調

朝鮮引揚同胞世話會

334.6
369.37
73位41

在朝鮮日本人個人財産額調

（三、三、三）

種別	金額	千分比	摘要
一、土地	六、七八〇、三五〇 千円	三六一	(一) 田 耕地及宅地 四六九、四〇〇千円 畓 一〇八、八〇〇町歩 及者一、五〇四 一、四三二、〇〇〇千円 畑 六六、八〇〇町歩 〃 一、五〇〇円 三五〇、〇〇〇 〃 宅地 七、〇〇〇町歩 〃 二、五〇〇円 一〇五、〇〇〇 〃 (二) 林野(含墓地) 二〇八、五〇〇千円 林野(墓地) 八〇七、〇〇〇町歩 町当 五円 二二、五〇〇千円 雑種地 九八、三四〇千石 石当 三円 (六三町歩 内貸付林 一五六町歩) 一九六、八〇〇千円
二、家屋	二八二、七五〇	一〇、八	二五、五〇〇棟 一棟 三、五〇〇円
三、家具水料	三五八、九八〇	一三八	一七九、三四九世帯 一世帯 二〇〇〇円
四、企業収益資産ノ以外	七、一二、七〇	二七三	(三)(二) 商工其ノ他諸企業 六、四三七、八八〇千円 (三) 金融業其ノ他雑業 六四五、六三八 〃 八、五六三 〃
五、個人所得税課税外ノ企業収益資産	一、八九〇、〇〇〇	七三	課税外世帯 四五〇〇 一世帯 四二〇〇円
六、米穀収穫農作物	二〇〇、〇〇〇	七七	(一) 米 収穫立毛 一、三五七、六九〇千円 畓 自作 六、〇〇〇町歩 反当 一石八斗 小作 二六、八〇〇町歩 〃 一石 陸稲 一、五四四 〃 一石 麦 二〇、八五四 〃 一石 (二) 田畑ノ米穀兼業 六四三、三一〇千円

七、預貯金	一、三三一、〇一二	五一	預貯金現在高 二一八、九八八千円 内控除銀行貸借残高 八五〇、九七六千円
八、株式	四九九、八〇〇	一九	株金株式額
合計	二六、〇三三、八六二		
九、負債	二五二、七一〇		
差引財産総額	三五七、一一五二		

在朝鮮日本人個人財産算出基礎内譯

種別	基本員数	個人分推定額	備考
		計金額 千円	
一、土地	(一)耕地及宅地		
	總面積		
	田二六七一、二九九町 畓、一七四、二八九町		
	垈一四七、七九一町 其ノ地二九、六七五町		
	此ノ内日本人(法人個人)所有		
	田 一三六千町八(五ヵ源) 及当一、〇五〇円		
	畓 二七八千町(一六ヵ源) 〃 一、五〇〇円		
	垈 一〇千町(概算) 〃 一五、〇〇〇円		
	計 四二四千町 七、〇九八、〇〇〇円		
	(二)林野		
	日本人(個人)所有面積 八〇七千町 町当一五〇円		
	一二一、〇五〇千円		
	林野蓄積量九六三 千㎥(現行材積一五六千㎥)		
	九八二四〇千石 石当二〇円 一九六四、八〇〇千円		
二、家屋	日本人世帯数(把一七年末) 一七九、二四九		
	内家屋所有棟数 此ノ七割 一三五、五〇〇		
	一棟当二、三〇〇円		
三、家具衣料	日本人世帯数 同上 一世帯当 二〇、〇〇〇円		

種別	基本員数	個人分推定額	備考
		計金額 千円	
第三種所得金額(昭和一七年分)			
商業	二六三、九〇四千円ノ一割還元三回転ノ十倍		
	八、七九七、〇〇〇千円		
畜産及蚕業	一、三四三千円 五分還元ノ十倍		
	二六八、六〇〇千円		
水産	一九、七二九千円		
鉱業	〃 三、九四五、八〇〇千円		
工業	二、三五〇千円 〃 四七〇、〇〇〇千円		
交通業	三七、八五六千円 〃 七三七、二〇〇千円		
	三、〇三五千円 〃 六〇七、〇〇〇千円		
公業	二一、一三二千円 三割還元ノ十倍		
	〃 七〇四、四〇〇、千円		
娯楽興行及接客業	三三、七八三千円 〃		
	一、〇九二、七六二千円		
労力	八五九千円		
其ノ他	九、七八九千円		
	三二六、三〇〇千円		
金融業	一二、四二五千円 一割二分還元		
	九五、二〇八千円		
四、一、二、三以外ノ企業收益財産			
		三割	昭和一九年八月調査月報第三種所得金額種別表
		大、四三七、八八〇	
		三割	
		六四五、六二八	
		三割	
		二八、六二	

五、收穫個人所得稅額ノ金額	日本人商工業其ノ他雇傭者数 九〇、一〇四（昭和二年末）ノ約五割 推定所得 三三五〇〇千円 一割三分還元ノ一千倍 一八七五〇〇〇千円 一割ノ所得五〇〇円 一戸平均 四三〇〇円ノ二千倍	全	一八、 五〇、 〇〇〇	
六、物米收穫ノ損害ノ言作	(一)米收穫 日本人所有ノ水田 一六、八〇〇町 内自作 小作 一六、八〇〇町 反当收量米 一石八斗 九斗 (二)果樹園其ノ他ノ收穫物 内訳 一五〇、八四千円 内除管理費及公租 一五〇、八四千円 價格總量 一、五五三、三〇〇石 石九七〇円	全	三、 〇〇 〇、 〇〇 〇	
七、預貯金	郵便貯金ノ種類別ノ金額 通常貯金 一四三七、〇〇〇千円 定期積金 一、四五五、四〇〇 〃 特別積金 八九三、六六七、〇〇〇 〃 簡易生命保険積立金 二、八五三、五〇四、〇〇〇 〃 恩給法ニ依ル給付金ノ金額 一、九八八、〇〇〇 〃 内訳計算未拂金 八五〇、〇〇〇 〃 差引殘額 一、一三八、〇〇〇 〃	全	一、三二、〇一二	

八、株式	拂込株式金額三四九百万円	三割	四九、八〇〇	
合計			三六、〇三三、八六三	
九、負債	銀行貸出額五、〇五四、三〇八千円	五分	三五三、七一〇	
差引財産總額			三五七一、五三	

説明

一、本調査は財産の種類が多様であるばかりでなく一般に表現されないものが多く而も之を捕捉すべき直截適確な方法がなく、専ら間接資料に依って達観するの外ないので汎く之が資料の蒐集に當つたが終戦直後剳解に在って此の事を顧慮するの遑がなかつたのと他面内地官公署、會社、個人等に在つた諸般の資料も焼失又は散逸したものが多く、爲に組織的に考證するのに適した資料を蒐集し得ない狀態に在る。仍て極めて少量の断片的な資料に依つて推算し一應の原案を作成し、從来朝鮮に在つて本業其の他の事情に精通する諸氏を委員とする在外財産調査委員會を設けて其の意見に聽き之に補足修正を加へて本調査を終結した。

二、評價の時期に付ては種々論議の餘地があるが終戦直後の狀態に依るのを穏當と考へ當時の諸般狀況を勘案し物價は概ね五倍乃至十倍に騰貴を来したものと認めた。

三、本調査の結果を昭和十七年度に於ける直接國税負擔狀況に徴するのに日本人個人の負擔割合は四七%となつて居るから之に依れば勤労所得以外の推定資産所得は概ね三五四五四三千圓となり昭和十六年對終戦年度の経済趨勢を考慮すれば其の失當でないことを確信する次第である。

四、以下各項目に付て調査方法の大要を述べる。

(一)土地

イ、耕地及宅地

昭和十七年末日本人所有課税地総面積四二四千町歩を基礎とし此の中法人及個人の所有區分を推算し(田、畓生の區分は昭和七年調査の實績田二、七二八、六九九町歩　畓一、六四七、七一三町歩　内日本人所有田一二八、七九七町歩(五%)畓二六四、七四二町歩(一六%)を基礎とし仕は一万町歩と推定し以上に依る計算上の差額は田畓に成分加算した。因に日本人の地税負擔割合は一五%であるから之を総面

積に乗ずれば六八四千町となり前記面積より過大となるが右は日本人所有地は上位に属するものが多い為面積に於ては九%となって居る）更に内個人分推定割合を乗じて計算した。

2 林野

昭和十六年末調査大面積林野所有者調及昭和十七年末造林貸付地に成功譲與面積を基礎として爾後の異動を加除し日本人所有総面積と推定し蓄積材は造林奨励施設の経過及林相別面積を参酌して之を推定した。

(二) 家屋

昭和十七年末日本人世帯数を基礎とし、官公署、銀行、會社施設居住者、獨身合宿者又は同居者を除き日本人所有の家屋に居住するものと看做し建坪一戸平均十五坪、一坪現存價額千五百圓に推定した。

(三) 家具木料

昭和十七年末日本人世帯数を基礎として一世帯當平均所持價額を二萬圓と推定した。

(四) (一) (二) (三) 以外の企業收益資産

イ、商工其の他の諸企業

本項各業態に對する投資額の算定は極めて困難であるから昭和十七年度に於ける個人所得税課税所得金額（昭和十六年の所得實績以下同じ）を基礎として之を五分の收益率で還元し其の十倍を投資總額と認め此の内日本人分は昭和十七年度日本人の直接國税負擔割合（四七%）竝に營業税課税狀況を勘案し終戰時年度迄に至る朝鮮人企業の進展狀勢を斟酌して總額の三割程度と認めた。

商業に付ては昭和十七年分個人所得税課税所得金額を基礎とし之から一割の收益率で還元したものを三回轉するものと認め前段に於ける

と同様の方法で計算した。

2 農業其の他雑種業

本號業態は労力所得に屬する部分が多いから昭和十七年分個人所得税課税所得金額を基礎とし之を三割で還元した金額に所得者毎に於ける農業者に於けると同様の方法で計算した。

3 金融業

専ら営業資金を採り上げ昭和十七年分個人所得税課税所得金額を一割二分で還元し日本人分は前號同様此の三割と認めた。

五個人所得税課税外の企業收益資産

前項企業收益資産は記録に存する課税資料を對象として推定したものであるから非課税、課税脱漏及免税点以下の業者の資産は之を脱漏することとなるので之を捕捉するが爲其の所得額を推定し之を一割二分の收益率で還元したものに付前項の企業收益資産と同様の方法で計算した。

六、未收穫農作物等の損害

イ、未收穫水稲立毛

昭和十七年末農家戸数を基礎として自作、小作（地主）別日本人所有歩面積を推定し反當米一石八斗の收穫あるものと看做し價格は終戦後の米價を勘案して計算し尚管理費及公課を控除した

ロ、果樹園具の他

水稲立毛以外の農作物の未收穫分を合せて推算した。

七、預貯金

昭和十七年末農家戸数を基礎として自作、小作（地主）別日本人所有歩面積を推定し反當米一石八斗の收穫あるものと看做し價格は終戦後の米價を勘案して計算し尚管理費及公課を控除した

ロ、果樹園具の他

水稲立毛以外の農作物の未收穫分を合せて推算した。

七、預貯金

昭和二十年七月末（一部五月末及六月末あり）預貯金現在高を基礎として各金融機関別、預貯金高を推定し更に終戦後の拂戻高を北鮮なし、南鮮六割と推定して計算した。

八、拂込株式金額

終戦迄時の拂込資本金額の二割を朝鮮在住日本人個人の拂込株式たと認め其の拂込金額を計上した。

九、負債

終戦迄時の銀行貸出高の五分を朝鮮在住日本人個人分と認めた。

M4-92

36937
73.6.1894
#308枚 6/6

山一証券

社外秘

取扱注意・部外秘厳守

営業関係者以外見ないで下さい

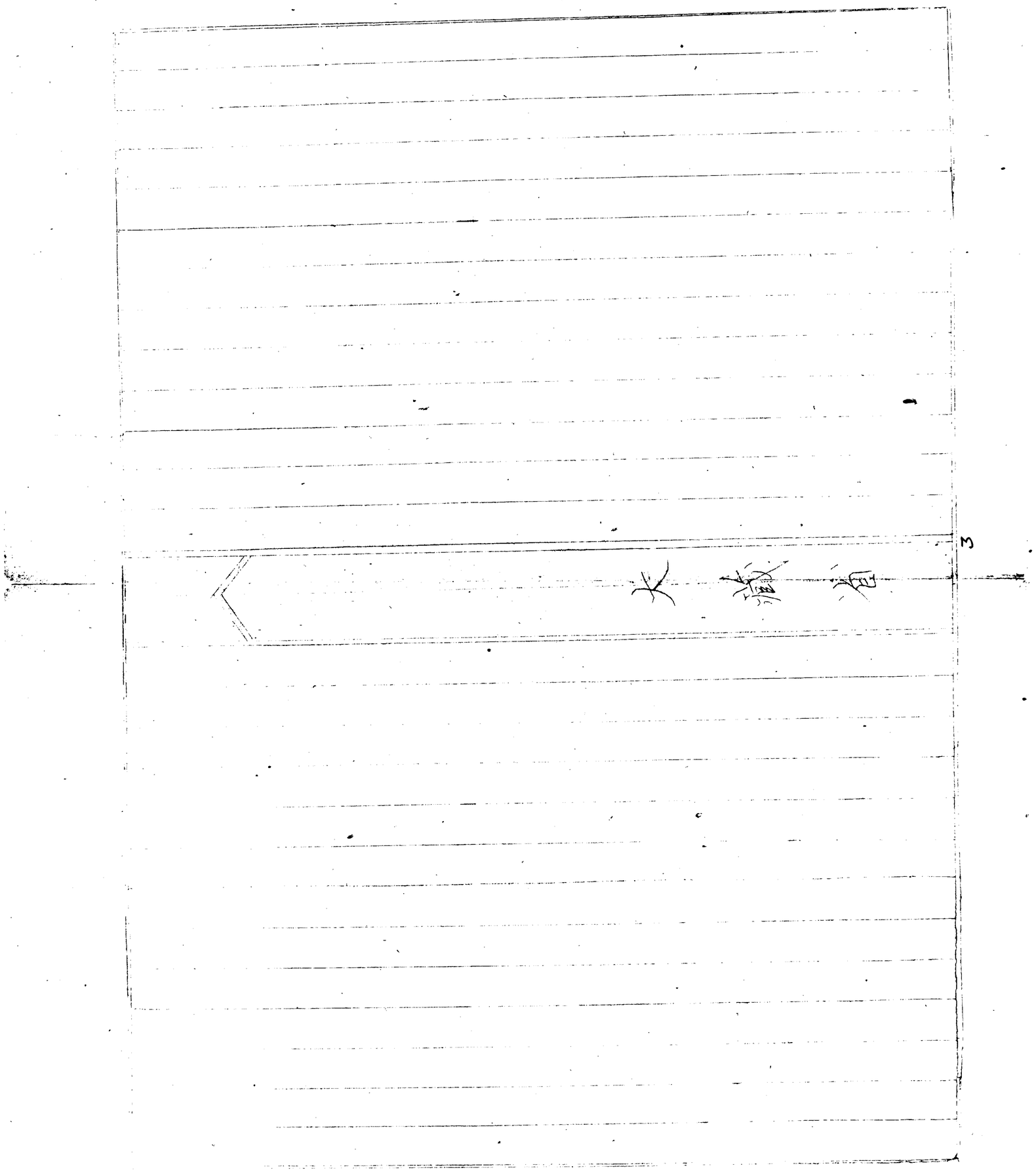
引揚法人ノ現況納置

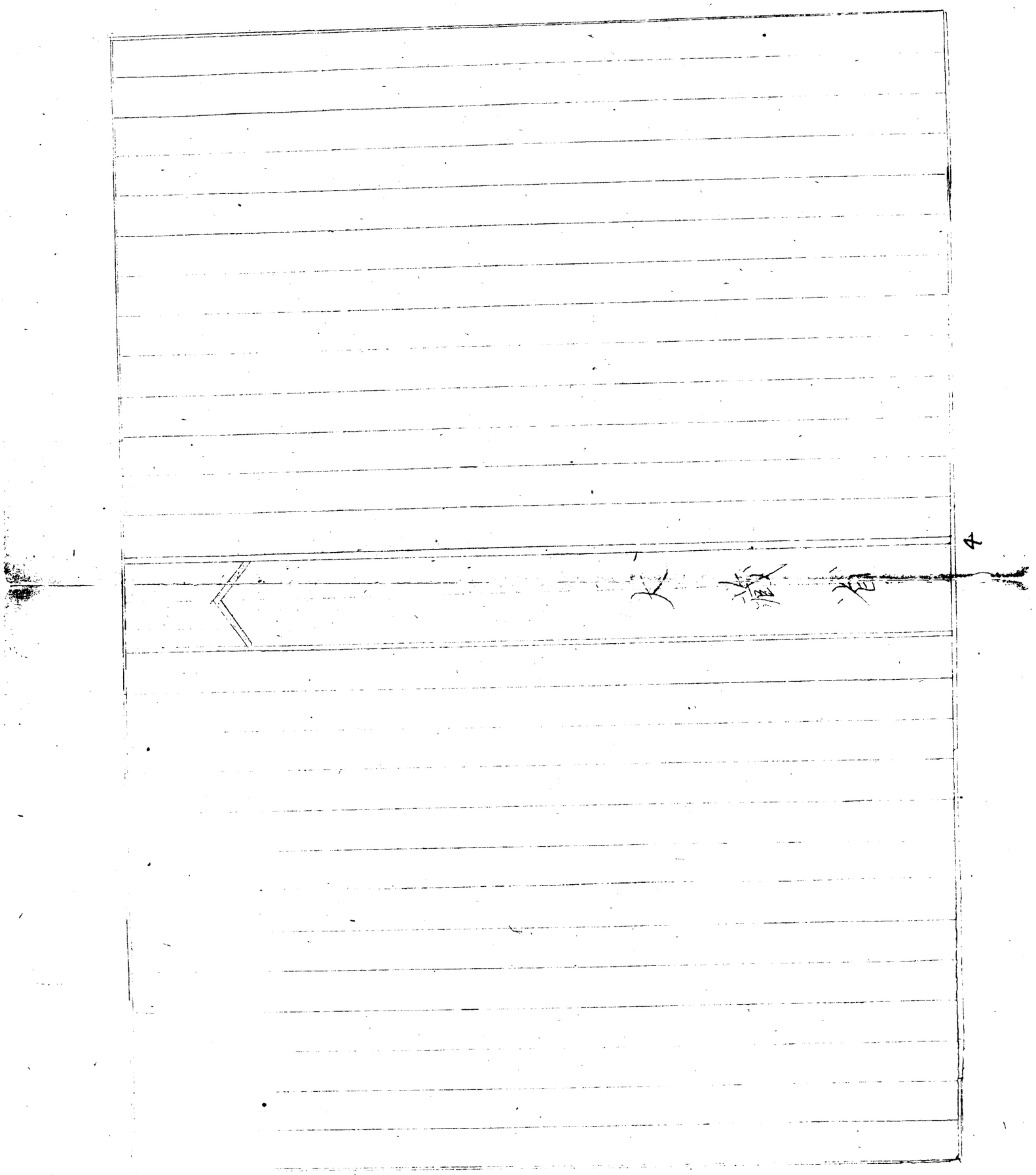
大藏省

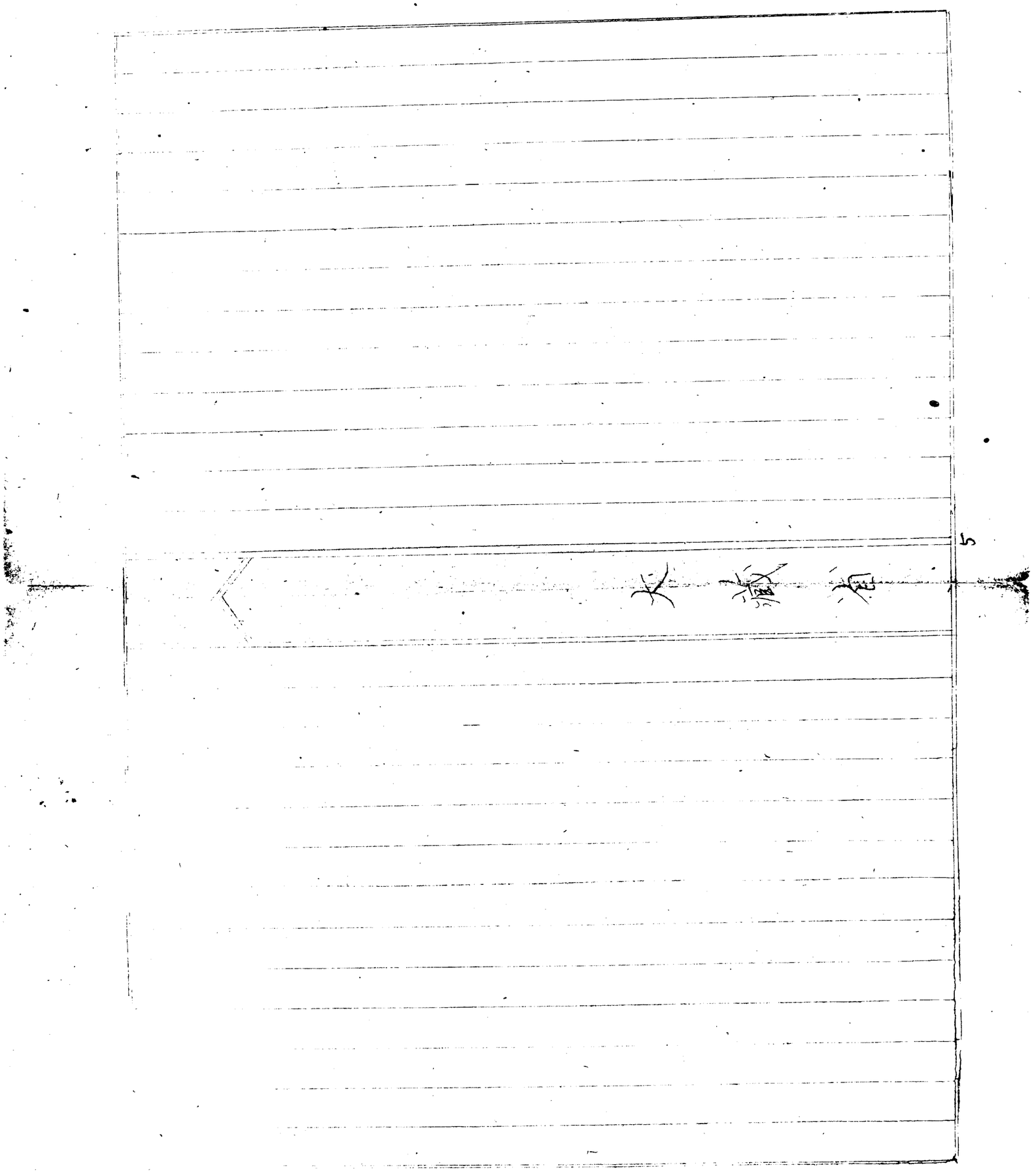
朝鮮鐵道株式會社	二、二八九	鐵道業
京城電氣株式會社	〃	電氣業
日本窒素肥料〃	〃	肥料製造業
西鮮中央鐵道〃	〃	鐵道業
鮮興製絲〃	〃	製絲業
日華油脂〃	〃	製油業
株式會社兩島製作所	〃	鐵工業
石川組農業部	〃	農業
大和紡績〃	〃	紡績業
三菱電機〃	〃	電機製造業
北鮮製紙化學工業〃	〃	製紙業
興發鑛業〃	〃	鑛業
多門商會	〃	貿易業
朝鮮精鉱〃	二、二九	鑛業
朝鮮化學工業〃	〃	化學工業
朝鮮人造石油〃	二、三〇	石油製造業
朝鮮海陸運輸〃	〃	運輸業
西日本汽船〃	〃	海運業
京城化學工業〃	二、三一	化學工業
三井油脂化學工業〃	二、三二	化學工業

東山農事株式會社	三、二一、二一八	鐘紡	同
朝鮮石油販売 〃	〃		
朝鮮化学製鋼 〃	〃		
朝鮮電工 〃	〃		
清津魚糧工業 〃	二、二一、二五		
宮本商店株式會社	〃		
満洲電化製造 〃	〃		
昭和鍛業 〃	〃		
沖倉工業 〃	〃		
大和紡織 〃	〃		
大和紡織 〃	〃		
鐘紡紡績株式會社	〃、二一八		
朝鮮麻紡織 〃	〃		

大藏省







三菱商事株式會社

東京都麹町區丸ノ内二丁目十番地

34-2

昭和廿貳年六月廿四日

昭和廿二年六月四日
業地外第二六號

朝鮮事業者會　御中

三菱商事株式會社
業務部地方課長、服部盛榮

引揚法人の現狀調査書御送附の件

拜復　陳者去る五月十九日附會報第四十七號にて提出方御依賴有之候頭書調査書別紙の通り作成茲許二部同封御送附申上候間宜敷御取計被下度

右御案內迄得貴意候

謹言

6

引揚法人の現狀調査（朝鮮の部）

昭和二十二年五月三十一日現在

(一)

名稱　三菱商事株式會社

資本金　公稱壹億圓　朝鮮人株主數　一

拂込　七千五百萬圓　朝鮮人拂込額　一

終戰當時の狀況	
役員氏名及取締役社長	服部一郎
取締役	三宅又雄
〃	田中衛
〃	常任監査役 臼井經倫
〃	監査役 加藤武雄
〃	三橋信三
〃	間四郎
〃	鈴木春之助
代表社員氏名 常務取締役	飯野浩次
〃	増田昇二
〃	渡邊壽
〃	高垣勝次郎
取締役	元良信太郎
〃	小林千太郎
〃	大久保繁雄
〃	本田松治
〃	飯田清一

所在地	
本社	東京都千代田區丸ノ内二丁目一〇番地
支社	京城府太平通二丁目一〇番地
出張所	釜山出張所　釜山府大倉町四丁目二二番地
〃	清津府港町四番地ノ一
〃	平壤府黃金町三番地
〃	群山府駿町一丁目九番地
〃	元山
〃	咸興府大和町三丁目一七番地
其他	朝鮮以外諸外國並に內地各地

事業所

(一)物品販賣業　(二)問屋業　(三)運送業　(四)代理業　(五)製造加工業
(六)海外に於ける農業　林業　畜産業並に水產業　(七)海外に於ける
鑛業並に土石採取業

(一) 引揚に際しとりたる措置及事業引継の概況

北鮮（平壌）一八八
貴業店より（一）日本人の解職（二）鮮人への事務引継き
及（三）八月二十日発にて引継を完了し後旅者は此
をソ聯軍に報告することを要求し来たるため店
内整理の上期日迄に鮮人事務員に引継を完了せ
り
南鮮（京城）本軍政廳は南鮮に於ける三菱關係
各社の統合による「朝鮮三菱コーポレーション」
を組織し管理経営する事となり米軍政廳鑛工局
庶務少佐ベンジャミン、ビーナス氏は局長ホルターフ
ルーケンよりの命令により三菱合社の接收を準備し
十月十一日計十三社の接收を行へり

(二) 引揚後の状況

現在住所	現在役員氏名	
東京都中央區日本橋大傳馬町二ノ四	取締役會長	高垣勝次郎
	常務取締役	本山松治
	〃	二宅又雄
	〃	松本雄吉
	〃	河彦
	取締役	谷村順藏
	〃	杉村庸藏
	取締役	前高純夫
	〃	井上毅
	〃	小林政吉
	〃	寺尾一郎
	〃	藤野忠次郎
	監査役	小林政吉
	〃	小高業五
	〃	新山喪貫
	〃	久保山幾之助
	〃	井上嚴吉

引揚後の狀況						(四)會社の經理狀況					
在外事務擔當者氏名	事業內容					引揚者に對する退職金諸給與支給の狀況	引揚職員の身許積立金の未拂分口數及金額	引揚社員の會社に對する預金の未拂分口數及金額	送金預金其他資金の連結狀況		官廳に對する債權	
	繼續再開の狀況	轉換の狀況	事業遂行上の危險路	事業遂行上の要望事項					金融機關名	金額	官廳名	債權發生原因	金額
在外業務關係業務部地方課長 服部盛榮 在外人事關係人事部在外社員課長 本山甚吉郎 在外社員給與關係人事部給與課長 小野隆之 在外支店經理關係經理部調查課長 小池恒雄	從來通りの業務を繼續中	一	一	一	一	會社又は自己の都合により退職する場合は規定の退職金を支拂ひ居る	なし	國民貯金 一三九口 計三二一、三四四圓〇七錢	三和銀行 朝鮮銀行 安田銀行 朝鮮殖産銀行 振替貯金	一、六二五、九〇一圓〇四錢 二〇六、〇〇〇圓〇〇錢 一九、三三六圓六四錢 三、七〇八圓四七錢 三、〇〇〇圓〇〇錢 計 一、八五七、九四六圓一五錢	總督府交通局 總督府遞信局	鐵、スプリング梱包用資材其他賣掛金代運送代金等	計五三二、三七〇圓〇六錢

庶務整理に要する諸経費の調査状況及之に対する要望事項	—
(五) 引揚社員の状況	
朝鮮殘留社員數	ナシ
引揚社員數	引揚社員數 八六名 家數 七六名
引揚社員の目社就業状況	引揚社員の約六七%
引揚社員の他の方面への就業状況	約三三%
引揚社員の地方分散状況	—
引揚社員の生活状況	—
應召入營者數	一（朝鮮在勤者に限る）三五名（内一〇名復員済）
戰死、戰病死者數	戰死 五名 戰病死 一名
遺族に對する處遇状況	遺族給與金 弔祭料 弔慰金 供物料 香奠等を贈與す
遺族の生計状況	—
未復員者數	一九名
其家族に對する處遇状況	各目給料より毎月留守宅送金をなしをる
其家族の生計状況	—
引揚社員の思想的動向	—
其他	—

昭和二十二年十月六日

殿

東京都千代田区内幸町一ノ二
東拓ビル内
大蔵省管理局管理課分室内
在外財産調査會

引揚法人の現状調査依頼の件

曩に朝鮮事業者會に於て御調査を依頼致しました首題引揚法人の現状調査は當在外財産調査會にとりても適切な資料と認めますから御多忙の処御手数でありますが當時御報告未済の向は至急別紙により御回報を煩はしたいと存じます。なほ、既に御報告済の向は(ホ)朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産ノ状況」の欄についてのみ御報告願います。

追て御回答の宛名は　東京都千代田区内幸町一ノ二東拓ビル内
大蔵省管理局管理課御中

と御記載願います。

昭和三年六月二十日現在

一、諸税金	二九、三二七円	
一、純利金	一七六、一一〇円	

現在		
〃		
約八千五百円		
永年勤続者	会計課長	永田典三
〃	庶務係	〃
給料ノ外		
慰労金ヲ贈与		
スル命令ヲ受		
ケ勤続年数		

管理事務所

契約ノ通リ建築及其他長期ニ亘リ終始勉励シ帰任セントセシ際病死ニ到リタルハ深ク哀悼ノ至リニ堪エス

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業目的	引揚ニ際シトリアヘ措置及事業引継ノ狀況	現在住所
	公稱	拂込		本社	支社出張所 事業場			
成北藥工品株式會社	拾八萬圓	拾八萬圓	朝鮮人株主數　八名 朝鮮人拂込額　四萬八千五百圓	朝鮮咸鏡北道清津府	清津港埋立地	藥品ノ製造販賣	咸鏡北道ハ蘇軍ノ統制地域ニ編入セラレ咸鏡北道ニ居住スル日本人ハ殆ンド全部引揚ケタ	京都府中郡峰山町字二ノ七ノ八

成北藥工品株式會社整理事務所

(三) 引揚後ノ狀況					(四) 會社ノ經	
現在役員氏名	在外事務担當者氏名	事業概要			引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	引揚社員ノ拂込ミ積立金ノ未拂分口數及金額
		繼續、再開ノ狀況	轉換ノ狀況	事業遂行上ノ障碍		
(一二三四)ノ	伐栗西陣後	事業ノ	前掲ノ外資金難ノ爲メ		鉱山部會ヨリ八支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	引揚社員ノ拂込積立金ノ未拂分口數及金額ハ各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、
	植松清					

理状況				(五)引揚社員ノ状況				
送金、預金、其ノ他資金ノ凍結状況	官廳ニ對スル債權	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ對スル希望事項	朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況
金融機関別 金額 [illegible]凍結[illegible]	官廳名 元ノ債權發生原因 金額	現在[illegible] [illegible]	残留地及残留家族数 任務 [illegible]	家族数 引揚者ノ一人当家族数	無シ	他ノ就職ヲ	九州、中国地方ニ

（五）引揚社員ノ状況

引揚社員ノ生活状況	応召入営者数	戦死戦病死者数	遺族ノ対スル處遇状況	遺族ノ生計状況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル處遇状況	其ノ家族ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向
今次国家ノ非常事態ニ際シテ無報酬ニテ奉仕シ	（現役在勤社員ニ限ル）六名	戦病死一名	引揚後当町ニ於テ	別紙遺族ノ生計状況ニ記載セル通リ	一名	応召ノ引揚者ニ対シ	国家ノ	

五

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産状況

財産ノ種類	
	財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ状況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在地ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

六

3

31

別紙

昭和廿貳年六月拾六日

引揚法令ノ現狀調査　昭和二十二年　月　日現在

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業目的	引揚一般ニ關スル措置又ハ引揚ノ狀況	現在地
	公稱	拂込		本社	支社出張所	事業場			
大東纖業株式會社	貳千萬圓	壹千五百萬圓	取締役 今井弥八 三澤良一 堀川富輔 小池久雄 代表取締役 今井弥八	京城府	東京都、平壤府、元山府	咸南興南、平北定州、京畿加平、忠南論山	石炭並ニ鑛物採掘、販賣、以上ニ附帶スル一切ノ事業並ニ投資	京城及釜山ニ連絡所ヲ置キ東京ニ本部ヲ設ケ殘務ノ處理ヲ爲シ居レリ	東京都中央區京橋三丁目二番地

14

決裁・後閲(三)	受	申請書・届出書等の受付	受付番号を付して受付印を押す。
		申請書・届出書等の内容審査	銀行預金口座振込依頼書の内容を審査し、誤りがないことを確認する。
		決裁	課長、次長、部長の順に決裁を受ける。
		決裁後の処理	決裁後、受付番号を記入し、受付簿に記録する。
	交付	交付	交付する。
		交付後の処理	交付後、受付簿に記録する。
経過・住民への説明(四)	申請書・届出書等の受付から交付までの経過		申請書を受付してから交付するまでの経過を記入する。
	申請書・届出書等の受付から交付までの経過についての住民への説明		申請書を受付してから交付するまでの経過について住民に説明する。
	申請書・届出書等の受付から交付までの経過についての住民からの意見		申請書を受付してから交付するまでの経過について住民から意見を聴く。

雨露ヲ凌ガ所ヲ生命ヲ維持スル程度									
現在人口	四九名								
我ガ戦時	一名								
従業者ノ	従業者ノ	不従業者	従業者ノ	従業者ノ	従業者ノ	従業者ノ	従業者ノ	従業者ノ	従業者ノ
従業ニ堪ヘザル者ノ為	従業ニ堪ヘザル者ノ為		従業ニ堪ヘザル者ノ為	従業ニ堪ヘザル者ノ為	従業ニ堪ヘザル者ノ為	従業ニ堪ヘザル者ノ為	従業ニ堪ヘザル者ノ為	従業ニ堪ヘザル者ノ為	従業ニ堪ヘザル者ノ為
昭和十九年二月ノ命ニ	徴用ニ		徴用ニ	徴用ニ	徴用ニ	徴用ニ	徴用ニ	徴用ニ	徴用ニ
指当タリ	伴ヒ		伴ヒ	伴ヒ	伴ヒ	伴ヒ	伴ヒ	伴ヒ	伴ヒ

32

別紙

引揚法人ノ現状調査ニ関スル件

昭和二十二年五月

日現在

(一) 終戦當時ノ状況								(二)		(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	本社	支社出張所	事業場	事業目的	引揚ニ際シテノ事業ノ状況	引揚ニ際シテノ引継ノ状況	現在ノ状況
朝鮮鉛業株式會社	公稱 七拾萬円 拂込 四拾弐萬円	朝鮮人株主数 ナシ 朝鮮人拂込額 ナシ	社長大河原榮之助 專務取締役 遠見磐 取締役工場長 松下劍	朝鮮仁川府松峴町二番地	出張所 東京都神田區麹町丸ノ内ビル東海金属株式會社内	朝鮮仁川府松峴町二番地	鉛精鉱、鉛板、鉛加工品ノ製造販売	朝鮮人社員二名ニ工場管理ヲ託シ内地人社員全部引揚		東京都麹町丸ノ内ビル東海金属株式會社内

16

(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
現在就職先名	在外当時ノ職名	事業経営			引揚社員ノ退職金其ノ他ノ給与ニ関スル会社ノ規定	引揚社員ノ会社ニ対スル債権ノ処理ニ関スル会社ノ規定
		従業期間ノ状況	事業経営ノ概況	事業経営ノ概況		
取締役大阪支店長	一	事業場朝鮮仁川府ナル故現情況ニテハ再開ノ見込ナシ			引揚ノ際ニ現地ニテ会社規定ノ普通退職金ヲ給与セシメ	ナシ

(六)

整理状況		(ロ)引揚会社員ノ状況	
送金、預金其ノ他資金ノ凍結状況	営業ニ対スル影響	引揚会社員ノ処遇状況	引揚会社員ノ就業状況
金融機関別　金額 ナシ	営業名　影響ノ程度　金額 ナシ	残務整理ニ要スル資金ナシ	戦時並ニ戦後ニ於ケル会社員ノ調査状況及ビ引揚会社員ノ就業ニ対スル措置
			解散ニ伴フ社員ノ処遇 ナシ
			引揚社員数 永代ニ社員五名、家族十一名
		本社ノ地ニ於テ朝鮮ナル故引揚社員就業ノ道ナシ	引揚会社員ノ就業状況
			出身地別ニ依ル会社員ノ就業状況 東京都二名、千葉縣一名、大阪市一名、福岡市一名

(五) 引揚社員ノ状況

引揚社員ノ生活状況	應召入営者数	戦死、戦病死者数	帰還ニ伴ヘル物故状況	帰還ノ生計状況	本邦帰還者数	北支帰還ノ主ナル理由	帰ノ主ナル状況	引揚社員ノ思想的動向	其ノ他
不明	(内軍正動社員ニ限ル)應召入営者一名(終戦後復員)	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ		

35. 昭和廿貳年六月廿日
事務協会受
繊維本部
22.6.23.
総務部

引揚法人現状調査

(一) 終戦当時ノ状況

名稱	朝鮮紡織株式會社	昭和廿三年五月廿一日現在
資本金	公稱金壹千万圓	拂込金壹千万圓
役員氏名及代表社員氏名	代表取締役社長 原安三郎 常務取締役 時国栄平 常務取締役 佐藤謹吾 取締役 齊藤幸郎 同 森田俊作 常任監査役 中村彦重 監査役 同路口三郎 以上九名	
本社所在地 支社支店所在地 事業場	本社 朝鮮釜山府凡一町七〇番地 支店 京城府中通二丁目二番地 東京都千代田区一番町一番地 大阪市東区北浜二丁目一番地 大同ビル 事業場 釜山府凡一町七〇番地 大田大邱鎮南浦等各紡織工場	
事業目的	綿糸綿布ノ製造及加工並ニ之ニ附帯スル一切ノ事業	

(二) 引揚ノ際ノ状況

トリタル措置及事業引継ノ状況

十名バカリニテ現在ノ所ニ於テ昭和二十年九月廿五日現在ノ財産目録ヲ作成シテ爾後ノ事業ノ管理ニ当リ米国軍政当局ニ対シ提出シ一方ニ於テ米軍ノ指示ニ従ヒ一部運転作業ヲ開始シ昭和二十年二月二十五日A.G.Hヤップテ運転作業ヲ開始シ昭和二十年二月二十五日ヨリ全部ノ引継ヲ了シ全員ノ退去ヲ終ヘ引揚ケタルモノニシテ会社ノ財産ハ全部現地ニ残置シ全員ノ帰還ヲ以テ

(四) 會社ノ經理狀況

引揚社員ニ對スル退職金等ノ給與又ハ未拂ノ狀況 （明細ヲ添附ス）	引揚社員ノ申請積立金ノ未拂分口數及金額	引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	當廳ニ對スル債權	運金、預金、其他資金ノ凍結狀況	殘務整理ニ要スル諸經費ノ調弁狀況及之ニ對スル要望事項
三百余名ノ職員ニ分配スベキ會社ノ債務ニ爲スル金貳百六拾余萬圓ノ外地關係ノ普通預金ト之ニ對スル未拂ノ文拂不能ニ依リ各職員並ニ家族ノ日々ノ生計ニ非常ノ影響ヲ及ボシ居リ、之等ノ在ノ文拂許可ト之ニ關スル一切ノ運動方ヲ要望ス 職員 三〇一名 此金額 參、二五〇、一三〇円也 引揚社員ノ申請積立金未拂分口數 六四名 此金額 參、九、五四三円五〇銭 未拂給料ノ口數 五九名 金額 六〇、四三二円三四銭 預金未拂分口數 一二一名 金額 一二九、一八〇円七四銭 明細ヲ添附ス	東京都廳（外部ヘ横浜支店當座預金代 六、五六四円 帝國銀行九ノ文店 普通預金 一五、二一四、〇八 （外ニ同支店當座預金 上 ノ二 ノ 四八三、六七四、三三 （日本積立株式會社ノ帝國銀行九ノ文店 普通預金 ノ二 ノ 一、九八三、〇〇〇円 安田銀行本店 當座預金 ノ一 ノ 一、九一四、〇五五、二一四 （外ニ同支店 ノ二 ノ 六一二、二〇四五 中外產業株式會社ヘ預ケ金 二、七六七、三〇四、二二	帝國銀行九ノ文店 當座預金 ノ一 ノ 八〇五、四四〇、三一四 （外ニ同支店 ノ二 ノ 三〇四、九一七 （日本積立株式會社ノ帝國銀行九ノ文店 普通預金 ノ一 ノ 七、〇〇〇円 （外ニ同支店 ノ二 ノ 一、九一四 （代表者名ニ印氏名儀預金并ニ未收金）	總計金	銀行預金ノ第一封鎖ニ對スル殘務整理ノ諸經費ニ付テハ別紙ノ通リ追テ弦ニ御通知ヲ致シ度キ旨申出デ居リ候ニ付テハ右ノ通リ殘務整理ノ爲メ殘留社員一名ノ他、勤勞ヲ側ラ會社ノ殘務ノ擔當ヲ依ツテ會社ノ第二封鎖ノ解除ノ第二封鎖ヘ繰入ヲ要望ス。

（東京 285）

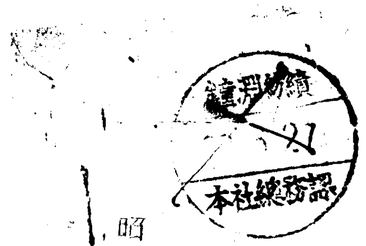
(五) 引揚社員ノ状況

朝鮮紡織社員数	ナシ
引揚社員数	引揚社員数二九五名 其家族約一二〇名
引揚社員ノ自社就業状況	自社ニ受入ノ資力ナキ為メ同系統ノ関係会社ヘ引揚社員ノ約十名就職セシメ今尚引続キ斡旋中
引揚社員ノ処遇状況	大部分ハ一旦郷里ニ引揚ゲ各自帰農ヲナシ商業ニ従事スル者ノ外新規生産事業ヲ営ミ又ハ他ニ就職勤務スル者等ノアリ之ノ点ニ付テハ追ッテ調シ度イト思フ。
引揚者ノ生活状況	引揚社員ノ生活状況ハ概ネ良好ニシテ特ニ困窮セルモノハナシ
引揚者ノ就職状況	各自入営者数ハ現在迄ニ判明セル分ニ名（戦死中ニ名入営一五名アリシモ引揚ケラレタルモノト思フ）
戦死戦病死者ノ数	現在迄ニ判明セル分ニ名（戦死中ニ名傷痍者アリ）
遺族ニ対スル処置状況	戦死中ニ対スル処置ハ如キ財政状況故特ニ優遇スルヲ得ザルモ終戦後ニ於ケル引揚後病死セル者ノ遺族ニ対シ弔慰金ヲ支給ス
遺族ノ生計状況	遺族ノ生計状況ハ未ダ詳カナラズ
未帰還者数	石ノ内
其家族ノ状況	其家族ノ状況ハ未ダ詳カナラズ
引揚者ノ思想的動向	引揚者ノ思想的動向ハ何レモ概ネ堅実ニシテ問題ナシ
其他	

(東京 25)

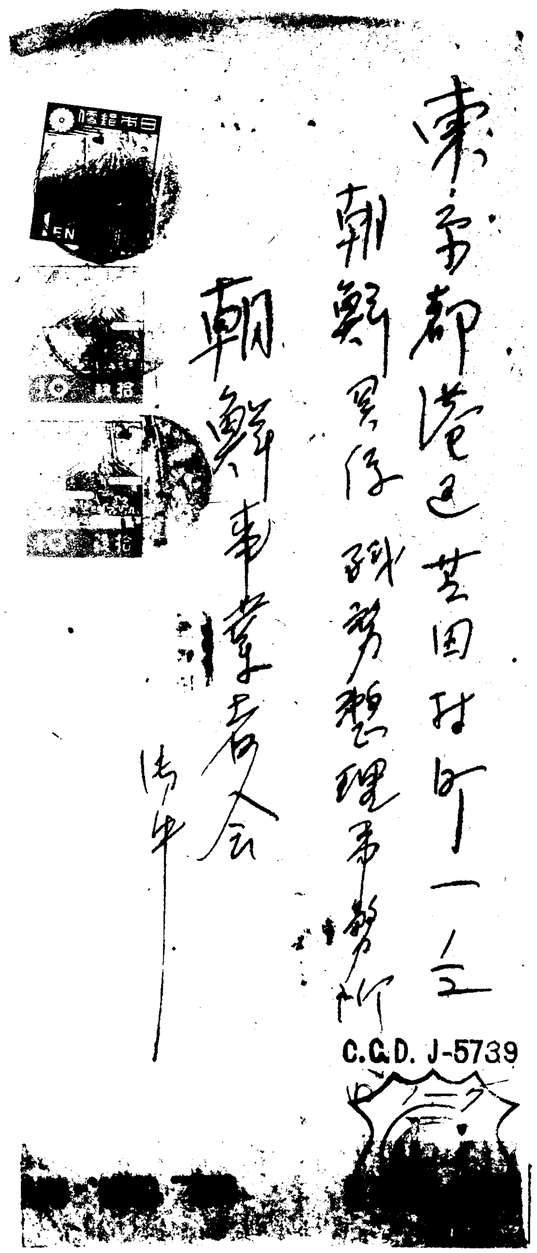
局川品
郵後料
便納金

東京都芝区田村一ノ三
朝鮮殖産銀行内
朝鮮事業者会



昭和二十二年六月十九日

東京都品川區大井鎭町三、四七五番地
鐘淵紡績株式會社
電話大森（05）三二四一―三番
三五四・六・七番
四六一―三番


朝鮮事
C.C.D. J-5739

昭和　年　月　日

神戸市[illegible]東町百二十三番地

日華油脂株式會社

代表番號　電話[illegible]

取引銀行
横濱正金銀行神戸支店　朝鮮銀行神戸支店
三菱銀行榮町支店　帝國銀行榮町支店
三和銀行神戸支店

振替口座大阪八五五二四番
神戸中央郵便局私書函第八三四番

日華油脂株式會社
神戸市神戸區東町百二十三番地
代表電話三宮③二七三〇番　四六八五番
神戸中央郵便局私書函第八三四號

33号附属

第二四號

昭和廿二年六月廿六日

寫、弊東京支店

朝鮮事業者會
御中

興亞化學工業株式會社
取締役社長 ロ井榮三郎

拜啓　益々御清榮ノ段奉賀候
陳者弊社東京支店ヲ通ジ御照會相受候頭書調査表ニ關シ左ニ御回答申上候

一、引揚法人ノ現狀調査ニ關スル件
調査事項第四會社ノ經理狀況ノ內
一、引揚者ニ對スル退職金等諸給與支給狀況
職員　二八口　三九、八一〇圓
二口　一八、〇〇〇圓
一、引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分
一、殘務整理ニ要スル諸經費ノ調辨狀況及之ニ對スル要望事項
引揚社員ノ私財預貯金ヲ流用シテ退職金其他諸經費ノ調辨ニ充當セリ國家ニ於テ補償ノ對照トサレタシ

匆々

21

(18,2 100冊 西兵製紙)

日華油脂株式會社
神戸市神戸区東町百二十三番地
電話三宮③二七三〇番 四六八五番
神戸中央郵便局私書箱第八三四號

昭和廿貳年六月廿日書留
第 号

昭和廿二年六月十九日

寫、弊東京支店（村田氏）

朝鮮事業者會
御中

興亞化學工業株式會社
取締役社長 [redacted] 一郎

拝啓 愈々御清榮之段奉賀候

陳者去五月十九日附第四十七號會報ヲ以テ頭書ノ件ニ關スル御照會ノ趣拝承仕候ニ付テハ別紙ノ通リ御報告申上候間宜敷御取計被下度候

右乍延引御報告申上候

敬具

引揚法人ノ現狀調査ニ關スル件

22

(18,2. 100冊 西兵製)

別紙

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年五月　日現在

(一) 終戰當時ノ狀況

名稱	興亞化學工業株式會社
資本金	公稱　二百万圓　朝鮮人株主數　ナシ
	拂込　二百万圓　朝鮮人拂込額　ナシ
役員氏名及代表社員氏名	取締役社長中井榮三郎常務取締役柴田專吾
所在地 本社	京城府鐘路區瑞鵬町一番地
所在地 支社出張所	
所在地 事業場	朝鮮全羅南道羅州郡榮山浦邑三榮里
事業目的	フルフラール、リンター、亞炭化リグニン製造

(二)

引揚ニ際シ採リタル措置及事業繼續ノ狀況	所有財產ヲ米軍政廳ヨリ何分ノ指示アル迄朝鮮人從業員委員會ニ保管、管理ヲ委囑ス

(三) 引揚後ノ狀況

現在役員氏名	前記ノ通リ
現在住所	神戸市生田區東町一二三ノ一
在外事務擔當者氏名	柴田專吾
事業概要 繼續再開ノ狀況	不明
事業概要 轉換ノ狀況	不明
事業概要 事業遂行上ノ隘路	不明
事業概要 事業遂行上ノ要望事項	不明
引揚社員ニ對スル諸給與 退職金等ノ件	退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシ
引揚社員ノ身許引揚ニ際シ積立金ノ未拂分口數及金額	右ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機關ニ對スル預金ト同樣ニ處理サレタシ
引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	

(四) 會社ノ經理狀況

送金、預金其他資金ノ凍結狀況	十數万圓アリ一日モ早ク凍結解除ヲ要望ス
官廳ニ對スル債權	
殘務整理ニ要スル諸經費ノ調辨狀況及之ニ對スル要望事項	各社員ノ私財ヲ處分シテ諸經費ノ調辨ニ充テタリ國家ニ於テ補償ノ對照トナサレタシ

| | | |

昭和廿貳年七月七日

昭和 三十 年 六 月 二 日

大阪市南區心齋橋筋壹丁目百拾八番屋敷
大丸四階
Ⓜ 江商株式會社
經理部

朝鮮事業有會 御中

拝復

一、引揚証人ノ現状調査書 御送附申

揭題ノ引揚証人ノ現状調査ノ件ニ関シ記載ノ通會々報
申上ケ候通リ（昨十九日附）ハ朝社ヘノ到着甚シク延引仕リ漸ク
本日落掌致候

右調査書ハ六月末日迄ニ提出相成兼候ニ付該期限後ニ
有之候共不取敢右御送附申上候間宜敷御査
收賜度御願申上候

右要用ノミ

匆々

No. 完

報告者　江商株式會社

註、下記諸会社ハ總テ朝鮮ニ於テ設立セラレ、朝鮮ニ本店ヲ有スルモノナルモ、弊社ノ子会社ナル関係上、引揚ニ際シテトリタル措置等概ネ同一ナル故一括報告ス

引揚法人ノ現状調査

昭和二十二年五月三十一日現在

(一) 終戦当時ノ状況

名稱		東和被服株式会社	東和織物株式会社	朝鮮ナイロス株式会社	東洋玉突球株式会社	東邦被服株式会社	愛国織維株式会社	株式会社朝鮮ボンプ製作所	英和撚糸工場	高岩備織物工場	三和織物工場
資本金	公稱	195,000円	180,000円	1,000,000円	350,000円	500,000円	180,000円	1,000,000円	500,000円	195,000円	55,000円
	拂込	195,000円	180,000円	1,000,000円	350,000円	500,000円	180,000円	1,000,000円	500,000円	195,000円	55,000円
弊社投資額		84,500円	87,500円	1,000,000円	124,200円	500,000円	180,000円	500,000円	350,000円	175,000円	55,000円
朝鮮人	株主数	2名	5名	0	0	0	2名	0	0	0	0
	拂込額	58,500円	87,500円	0	0	0	6,000円	0	0	0	0
従員氏名及代表社員氏名		代取 高森安夫 取締 〃 今村丹二郎 〃 〃 加田敏郎 〃 〃 平松源慶 監査 〃 西村利義 〃 〃 朝島 楠	代取 西村利義 取締 金 聖在郎 〃 〃 小川哀一郎 〃 〃 荘田成文 〃 〃 鈴鹿隆和夫 監査 高森安太 〃 〃 金子乙太	代取 西村利義 取締 清水吉男 〃 高森安夫 〃 村上俊二 〃 旭 巖 監査 〃 加田敏郎	取社長 松田真七 取締 〃 吉田久吉 〃 〃 森 太郎 〃 〃 池橋佐平次 〃 〃 加藤司馬太 〃 〃 加田敏郎 〃 〃 高森安夫 監査 西村利義	代取 村上俊二 取締 〃 西村利義 〃 〃 加田敏郎 〃 〃 南浮二雄 監査 高森安夫	代取 西村利義 〃 清水吉男 取締 〃 小西直意三 〃 〃 建部啓三 監査 宇治久雄	代取 中山秀一 〃 国部岩吉 取締 〃 山本英太郎 〃 〃 加田敏郎 〃 〃 高森安夫 〃 〃 渡部義綱 〃 〃 竹尾敏助 監査 旭 巖	代表社員 西村利義 小川哀一郎 高森安夫	代表社員 西村利義 小川哀一郎 高岩員助 高森安夫	代表社員 和田元豊 中原弘光 小川哀一郎
所在地		京城府 城東区上往十里町 763	慶尚北道大邱府新岩洞	平壌府 英林里189	釜山府 瑞仙町258	京城府中区 南大門通一丁目97	京畿道始興郡戸 東面九老里501	京城府 永登浦町337	京城府永登浦区 道林町588	忠清南道 扶餘郡窺岩面若松町	釜山府 釜田里
事業目的		雲地布帛ノ被服類ノ縫工	絹人絹織物、トリコット、経糸糸製造	メリヤス製品製造	玉突球、飲器、プレス製品製造	雲地布帛ノ被服類ノ縫工	作業服ノ製造	各種ポンプ製造	絹人絹撚糸、カタン糸製造	絹人絹製織	絹人絹製織

(二) 引揚ニ際シテトリタル措置及事業引継ノ状況

弊社ハ、終戦ト共ニ元従業員ノ朝鮮人ノ方ヲ「江商株式会社京城支店管理委員会」ノ組織セシメ（委員長 同会社専一絹織取締役朱大允）江商所属資産ノ[illegible]ル処理契約ヲ締結セリ。尚ホ昭和二十年十月二十三日附締切ノ上記各会社工場ノ決算書類ニ記載セル内容ヲ基準トシテ弊社ノ之等子会社ニ対スル投資、資本各社ノ確認ヲ得ソノ保全ト処理トヲ包括的ニ約セリ

ソノ後日本人経営ノ生産工場ハ北緯三十八度以南ニ於ケルソノ経営処理権並ニ財産管理権ヲ米軍政庁ニ接収セラレ日本人ニ替リ朝鮮人ヲ新ラシク配人トシテ任命経営処理ニ当ラシムル事トナリ前記十月二十三日現在決算ノ基準トナシ接収ヲ了シ、コノ際米軍政庁軍政官ニ対シ該決算書ノ写ヲ提出セリ

(三)引継ぎ状況	現在住所	内代、於ケル上記子会社ノ戦後処理ハ、専ラ江商株式会社本社（大阪市船心商船筋一丁目一一八）ニ於テ之ヲ行ヒ之ガ為ノ現在住所ハ之ヲ存セズ
	現在従事ス	上述ノ如キ理由ニ依リ其ノ後ノ子会社ノ株主総会ノ開催ヒ従テ役員ノ改選等ノ行ヒタルコトナシ
	引継ギ事項及ビ相手方	江商株式会社 経理部 総務課
	事業概要	現在ノトコロ、三等在外諸事業ノ本邦ニ於ケル他統轄ノ為ノ転換ノ見込ハ無ク且ツ清算ニ関スル法律ノ規定ニヨル子会社ノ国体ノ合ノ断ノルコトノアルモ当社トシテハ之ノ再建ノ為ノ投資ハ之ヲ不能ナリ且ツ各子会社ニ対スル当社ニヨル人的及金銭的ニ密ナルコトノ期待ニ基ク状況アリ
(四)会社経理状況		当社ハ終戦ニ際シ本社派遣ノ社員ノ除ク全部ノ一応解雇ヲ為シ之ニ対シ退職金ノ支給ヲ為シ之ガ処理ヲ完了セリ。右、本社派遣社員ハ内地帰還後本社員トシテ勤務ノ続行ニ（未帰還者ナシ）従テ現在ニ於テ三等子会社ノ従業員等ニ対シ金銭的ノ債務ノ残レル者一名モナク個人的ニハ（四）以下ノ諸項ニ該当スル事項ナシ 預金ノ凍結状況並ニ官庁ニ対スル債権ニ就テハ引揚ニ際シ決算書ノ提行ニ至リタルモ之ガ個々ノ明細ヲ詳カニセズ、依テ上記会社ノ財産目録ノ添附ハ之ガ参考ニ供ス

東和被服株式会社

財産目録

20/5/31

機械	45,313.65
器具	3,367.35
什器	15,049.39
原料	362,574.78
附属原料	60,133.43
貯蔵品	118,761.63
仕掛品	231,625.88
製品	82,048.40
売掛金	247,783.25
有価証券	34,413.70
当座預金	48,385.79
金銀	3,666.35
割引保証金	7,934.00
預け金	218,700.00
	1,479,759.60

東和織物株式会社
財産目録
20/5/31

機械	30,985.79
什器	6,855.70
原料	225,675.87
貯蔵品	275,666.34
仕掛品	15,892.68
製品	174,999.98
建設費	14,875.48
當座預金	6,761.26
金銀	353.15
有價証券	16,229.00
預ケ金	5,872.55
賣掛金	92,622.08
	866,789.88

朝鮮メリヤス株式会社

財産目録

20/6/25

土　地	146,113.33
建　物	186,101.57
機　械	379,462.99
什　器	27,619.78
器　具	9,457.82
原　料	179,968.69
貯蔵品	138,255.41
仕掛品	98,953.64
製　品	54,873.81
貸掛金	4,642.00
有價証券	130,603.00
當座預金	4,379.26
金　銀	6,075.02
預ケ金	1,452.64
	1,367,958.96

東洋琺瑯株式会社
財産目録
20/6/30

土　地	66,484.37
建　物	47,241.66
築造物及設備	54,859.88
機　械	41,937.64
諸型工具器具	52,048.11
什　器	3,543.37
出資金	5,500.00
納税準備預金	5,000.00
貯蔵品	64,722.32
製　品	19,139.18
有価証券	10,631.00
受取手形	94,685.83
定期預金	5,000.00
当座預金	17,163.27
現　金	505.53
	488,462.16

東邦被服株式会社
財産目録
20/6/25

土地	39,486.40
建物	130,335.00
機械	237,583.74
什器	7,392.31
器具	517.60
原料	59,885.21
附属原料	6,580.57
貯蔵品	92,929.53
仕掛品	190,073.07
製品	27,264.97
創立費	3,897.08
当座預金	19,809.93
金銀	2,458.07
預金	1,356.20
有価証券	6,390.00
貸掛金	26,962.15
	852,919.83

愛國繊維株式会社
財産目録
20/6/30

機械	32,468.78
什器	22,608.35
原料	378,147.55
貯蔵品	117,996.20
仕掛品	17,823.62
製品	182,104.56
建設費	49,030.73
売掛金	6,738.43
有価証券	3,539.50
預ケ金	1,657.32
当座預金	1,636.49
金銀	189.76
	813,941.29

朝鮮ポンプ株式会社
財産目録
20/5/31

土地	83,907.01
建物	78,053.26
機械及設備	191,797.72
什器	20,229.32
工具	28,288.70
製品	28,287.00
材料	134,323.61
附属品	76,049.49
仕掛品	104,814.52
貯蔵品	20,499.81
売掛金	89,125.00
有価証券	2,399.33
定期預金	50,000.00
積立預金	3,479.32
現金	4,042.30
建設仮勘定	27,263.27
当座預金	83,337.00
	1,025,876.66

共和撚糸工場

財産目録

20/3/31

土　地	89,027.65
建　物	317,571.96
機　械	326,856.60
創立費	33,242.95
什　器	9,662.85
貯蔵品	68,679.79
原　料	33,394.51
仕掛品	58,646.76
製　品	6,905.09
受託製品	2,167.00
賣掛金	7,130.50
金　銀	5,056.55
特別当座預金	19,100.02
	978,042.23

高谷織物工場
財産目錄
20/10/23

機械	145,276.96
器具	1,749.27
什器	4,766.31
貯藏品	30,770.68
仕掛品	6,859.48
製品	10,677.50
賣掛金	11,041.60
有價証券	1,300.00
當座預金	16.92
	212,458.72

三和織物工場
財産目録
19/5/31

機　械	87,181.68
建　物	8,103.49
織機附属品	9,892.10
原　料	5,172.69
貯藏品	16,662.72
既製品	20,978.28
仕掛品	2,876.70
現　金	175.01
貯蓄組合貯金	595.20
郵便貯金	88.81
賣掛金	1,675.00
什　器	4076.94
組合出資金	600.00
朝鮮蚕糸会社株	500.00
有價証券	417.50
貸　金	1,162.69
水原工場	4,278.87
咸陽工場	2,473.64
	166,857.32

引揚法人ノ現状調査

(一) 名称　鮮一絹織株式會社　　昭和二十年五月三十日現在

終戦當時ノ資本金　公稱五、〇〇〇、〇〇〇円　拂込五、〇〇〇、〇〇〇円

當江商投資額　四八七、五〇〇円

役員氏名及代表社員氏名　取締役　高森安夫、取締役　小川喜一郎、同　淺城実、同　中尾優、

監査　崔　巌

所在地　京畿道水原邑梅山町二丁目六〇番地

事業目的　絹人絹織物、厚地洋服地

(二) 引揚際ノ状況　弊社ハ終戦ト共ニ財産管理ヲ親会社タル江商株式会社ニ委ネ京城支店ニ於テ組織セラレタル江商株式会社京城支店管理委員会（元従業員タル朝鮮人ヲ以テ組織セラレ委員長ニ弊社總務部長取締役朱大允之ニ当リ）ニ包括的事業引継ノ際弊社昭和二十年十月廿三日現在ノ決算書ニ記載セラレタル内容ヲ基準トシテ同委員会ノ確認ヲ得タリ。

ソノ後日本人経営ノ生産工場ノ経営管理権並ニ財産運営権ガ米軍政当局ニ接收セラレ日本人ニ替リ朝鮮人ヲ新支配人トシテ任命シ之ガ経営管理ニ当ラシムル事トナリ前記十月廿三日決算ヲ基礎トシテ接收ヲ受ケ後継管理人トシテ朱大允指名ヲ受ク

(三) 引揚現在住所　現在役員氏名　後在外事業担当者氏名　事業概況ノ状況

内地ニ於テハ当社ノ戦後処理ハ専ラ江商株式会社本社（大阪市南区心斎橋筋一丁目一八）ニ於テ之ヲ行ヒ現在住所ハ有セズ

上述ノ如キ理由ニ依リ其後株主総会ヲ開催セズ従ツテ役員改選等行ハズ江商株式會社経理部総務課

現在ノ処本事業ヲ本邦ニ於テ継続再開ニ至ル迄ハ親会社タル江商株式会社ガ「制限会社」ニ指定セラレタル関係上始ンド期待シ得ザル状況ナリ

(四) 会社ノ経理状況　終戦ノ際シ従業員ヲ一應全部解雇シ各々ニ対シ退職金ノ支給ニ至ルマデ総テ完了セリ従ツテ現在ニ於テ従業員等ニ対シ金銭的関係ヲ残セル者一名モナク但シ個人関係ニシテ(四)以下ノ諸項ニ該当スル事項ナシ

猶貸金束結状況並ニ官廳ニ対スル債権ニ就テハ別掲ノ際ニ決算書摸行ニ基リソレモノガ何々ノ明細詳カニセバ依テ財産目録附ンガ参考迄ニ。

鮮一絹織株式会社

財産目録

20/3/31

土地	114,289.80
建物	462,548.91
機械	435,805.60
什器	18,804.91
原料	700,885.45
貯蔵品	93,480.87
仕掛品	28,104.89
製品	136,310.30
建設費	156,440.77
賣掛金	29,667.49
有價証券	4,357.00
當座預金	3,613.62
金銀	1,180.81
税金引当金	4,087.63
預り金	3,587.69
	2,193,159.74

東京都港区芝田村町一ノ三
朝鮮関係残務整理事務所内
朝鮮事業者会

昭和弐年文月二日

大阪市南區心齋橋筋壹丁目百拾八番屋敷
株式會社 大丸内階
江南株式會社
電話南㊼ 代表番號一二七四番
自一二七五番 至一二七八番
自一三五五番 至一三五八番
自二七四七番 至二七四九番

日華油脂㊫株式會社
神戸市兵庫區東町百二十三番地
代表電話三宮③二七三〇番　四六八五番
神戸中央郵便局私書函第八三四號

昭和廿貳年七月七日
總務第七七號

寫、弊東京支店

朝鮮事業者會　御中

神戸市生田區東町百貳拾參番地
日華油脂株式會社
總務課長　安藤芳顯

引揚法人ノ現狀調査ニ關スル件

拜啓　愈々御清榮ノ段奉慶賀候　每々御高配ヲ忝ウシ難有御禮申上候　陳者弊社東京支店ヲ通シ御鄭重相受候弊社木浦工場及京城支店引揚ノ現狀調査別紙ノ通リ御報告申上候間宜敷御取計被下度候

敬具

40

(18,2. 100冊 西兵223)

昭和廿二年七月二日

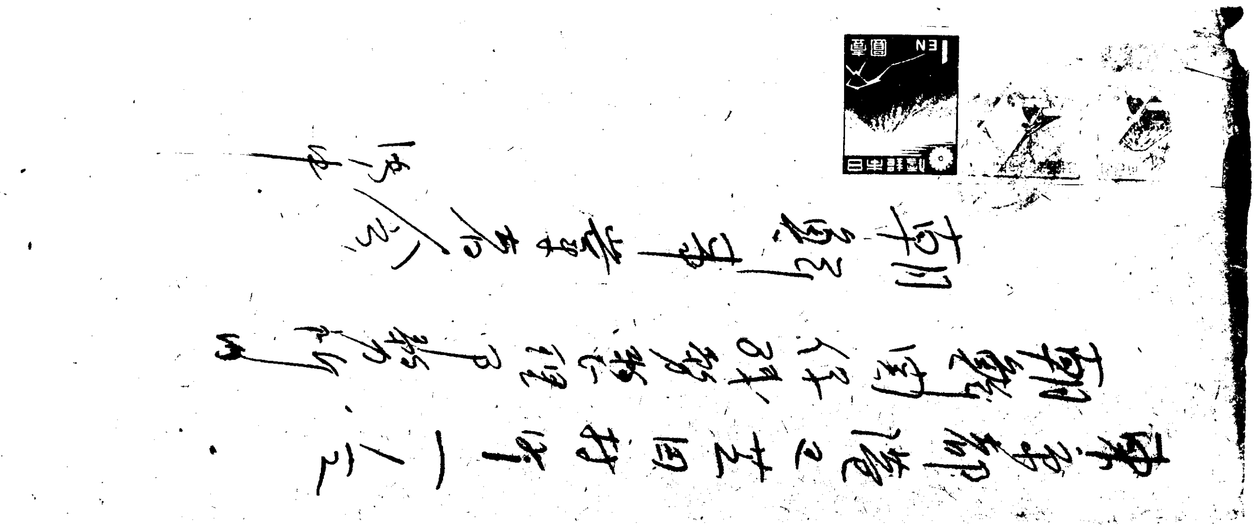
別紙

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月現在

(一) 終戰當時ノ狀況	
名稱	日華油脂株式會社
資本金	公稱　八百萬圓
	拂込　八百萬圓
役員氏名	取締役社長中井榮三郎、專務取締役中森延一、常務取締役濱田昌三、取締役牧和眞、監査役片山篤也、酒井忠治、入江房太郎、柴田專吾、
代表社員氏名	本浦工場長　井上利平
所在地　本社	神戸市生田區東町一二三番地
所在地　支所出張所	京城支店　京城府鐘路區瑞[illegible]町一番地
所在地　事業場	本浦府海岸通四丁目六番地
事業目的	植物油脂並石鹸肥料製造販賣
(二) 引揚ニ際シトリタル措置及事業引繼ノ狀況	工場保管並運營ヲ米國軍政廳ノ指示ニヨリ本浦工場朝鮮人從業員委員會（委員長姜敏秀）ニ委囑ス
(三) 引揚後ノ狀況　現在・住所	神戸市生田區東町一二三番地　日華油脂株式會社
現在役員氏名	取締役社長中井榮三郎、專務取締役中森延一、常務取締役牧和眞、柴田專吾、片野書太郎、監査役片山篤也、酒井忠治、高野文吉
在外事務所關係者氏名	柴田專吾
事業概況　繼續再開ノ狀況	不明
事業概況　轉換ノ狀況	不明
事業概況　事業遂行上ノ障碍	不明
事業概況　事業遂行上ノ要望事項	
(四) 會社ノ經理狀況　引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給狀況	一二五、〇〇〇圓
引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	引揚社員ノ身許積立金ノ未拂分口數及金額　一四口　四、六五五圓四五
送金預金其ノ他資金ノ凍結狀況	四一口　一二三、二五九圓七七
富廳ニ對スル債權	一三〇、七一七圓九二
殘務整理ニ要スル諸經費ノ調辨狀況及之ニ對スル要望事項	引揚社員ノ預貯金、私財ヲ流用シテ朝鮮人從業員退職金其他諸經費ノ調辨ニ充當セリ國家ニ於テ補償ノ對照トセラレタシ

(四) 引揚社員ノ狀況

朝鮮殘留社員數	ナシ
引揚社員數	二十五名
引揚社員自社就業狀況	十二名
引揚社員ノ他ノ方面ノ就業狀況	
引揚社員ノ地方分布狀況	
引揚社員ノ生活狀況	
應召入營者數	一名
戰死戰病死者數	
遺族ニ對スル處遇狀況	
遺族ノ生計狀況	
未復員者數	
其ノ家族ニ對スル處遇狀況	
其ノ家族ノ生計狀況	
引揚社員ノ思想的動向	
其ノ他	



昭和　年　月　日

神戸市神戸區東町百二十三番地

日華油脂株式會社

代表番號　電話三宮③國二七三〇番

取引銀行

横濱正金銀行神戸支店
三菱銀行榮町支店
三和銀行神戸支店
朝鮮銀行神戸支店
帝國銀行榮町支店

振替口座大阪八五五二一四番
神戸中央郵便局私書函第八三四番

昭和廿貳年

（承認）

大阪市北區神明町六十一番地　同和ビル

株式會社　工業株式會社

本店　愛知縣九一號（福馬、高文、二號）

昭和二十二年七月七日

關係事業者會　御中

引揚法人の現狀調査に關する件

先般御屆會にとりました標記の件別の通り御報告致します

藏行番號

引揚法人の現狀調査書　一部

以上

大阪市北區梅田町大十一番地　電話ヒ六

株式會社　日本興業銀行

（第四十二期營業報告書）

況狀ノ計會財			
株金	拂込濟ノ株金	一、〇〇〇、〇〇〇圓	
	發行ノ株金	一、〇〇〇、〇〇〇圓	
役員氏名	取締役	頭取	添田壽一
		取締役	志立鐵太郎
		同	池田謙三
		同	小野金六
		同	深井英五
		同	川北禎一
	監査役	監査役	岡崎邦輔
		同	小野義一郎
		同	小野金六
		同	深井英五
支店出張所	本店		大阪市北區梅田町大十一番地　電話ヒ六
	支店出張所		神戸市東川崎町一ノ一一
	事務所		東京市麹町區丸ノ内（第一銀行内）
營業目的			銀行其他法律ニ依リ銀行ノ營業ト認メラレタル一切ノ業務
円	營業ニ關スル重要ナル事項ノ發生シタル場合ニ於ケル其ノ概況		大正二十年九月九日午前十時ヨリ午後二時迄ノ間ニ當行本店ニ於テ臨時株主總會ヲ開キ左ノ決議ヲ爲シタリ 一、定款第十一條ノ一ヲ削除シ第十一條ノ二ヲ第十一條ノ一トシ第十一條ノ三ヲ第十一條ノ二トス（第一號議案） 一、定款第十一條ノ二ヲ削除シ第十一條ノ三ヲ第十一條ノ二トス（第二號議案）
圓	營業年度		大正十一年一月一日ヨリ同年十二月三十一日迄
	營業年度ノ數		第四十二期

引揚後ノ狀況

氏名	在外事務個當者 氏名	事業概要		
		經營再開ノ狀況	轉換ノ狀況	事業遂行上ノ困難
常務取締役 下郷伝平	監査課長 鷹司平通	/	/	/
同 中村孝太郎	同			
同 松長安次	同			
取締役 小倉繁	同			
同 松岡勝實	同			
監査役 鈴木藤吉郎	同			
同 新井藤兵衛	同			
同 島井徳次郎	同			
同 池本勝馬	同			
同 下郷伝平	同			
老田幸明	老田至弘			

引揚社員ノ會社ニ對スル處遇狀況

引揚社員ニ對スル退職金等ノ給與支給ノ狀況	引揚社員ノ身體積立金ノ未拂分口數及金額	引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	敷金、預金其ノ他資産ノ處置狀況	官職ニ對スル資格	殘務整理ニ要スル期間
①退職金規定ニヨリ算定シタル金額ヲ支給 ②終戰後昭和二十年九月度ヨリ昭和二十一年二月度迄ノ給料金額支給 ③引揚者ニ對シ見舞金トシテ各人ノ勤續年數身分等ニ依テ一、〇〇〇円乃至三、〇〇〇円支給	未拂分ナシ	ナシ	朝鮮殖産銀行平壤支店 一〇九、三九八、〇〇〇 同 太阪支店 六、四五九、三四 朝鮮銀行 大阪支店 一五、三七二	ナシ	ナシ

貴ノ調査状況及之ニ対スル要望事項	ナシ
朝鮮残留社員数	ナシ
引揚社員数	社員数 十六名 其ノ家族数 四十六名 計六十二名
引揚社員自社就業状況	一名（開豊光業）本社勤務 二名（八代代表之）傍系会社 （城 領選）勤務
引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	不明
引揚社員ノ地方分散状況	不明

引揚社員ノ生活状況	自社就業ノ三名ハ住宅ナノ家族ハ故郷ニ疎開セシメ工場傍ニ寄宿シテ勤務シ最低生活ノ為ノ維持シオル 他ハ連絡ナク不明ナリ
帰還 入営者数	五名
戦死 戦病死者数	ナシ
遺族ニ対スル謝過状況	/
遺族ノ生活状況	/
未復員者数	ナシ
其ノ家族ニ対スル謝過状況	/

其ノ家族ノ生計状況		
引揚世帯員ノ思想的動向	特記スベキ思想的動向ナシ	
其ノ他		

別揚法人ノ現狀調査　昭和三十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業目的		引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ狀況	現在住所
				本社	支社出張所 事業場				
	公稱	拂込							
	朝鮮人株主數	朝鮮人拂込額							

48

(三) 引揚後ノ状況					(四) 會社ノ経	
現在役員氏名	在外事務担當者氏名	事業概要			引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口数及金額
		継続、再開ノ状況	事業遂行上ノ障碍	轉換ノ状況		
社長 王 [illegible] 常務 [illegible]	大連 [illegible]	[illegible]	なし	なし	鉱山部会ニ於テ決定シタル退職金等ハ國家補償ヘ對象ニナサレタシトノ要望アリ	次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ

理状況				(五)引揚社員ノ状況					
送金預金其ノ他資金ノ処理状況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸經費ノ調弁状況及之ニ對スル要望事項		朝鮮残留社員数	引揚社員ノ殘家族数	引揚社員ノ就業状況		引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況
金融機関別 金額	官廳名 債權發生原因 金額	¥		¥ 殘留地及殘留家族数 任務					

(五) 引揚社員ノ狀況

引揚社員、生活狀況	応召、入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死、戰病死者数	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者数	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類

ナシ

財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再固転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

在朝鮮関係機関ノ待ツ

六

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社出張所	所在地 事業場	事業目的	引揚ニ際シトリヲル措置及事業引継ノ狀況	現在住所
朝鮮織物株式會社	公稱 二、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 金額拂込	朝鮮人株主數 五名 朝鮮人拂込額 三四、五〇〇圓	取締役會長 金[illegible] 取締役 [illegible]	朝鮮京畿道[illegible]	ナシ	本社ニ同シ	織維織物製造販賣	殘務整理中ニシテ解散ノ許可ヲ待ツ朝鮮人ニ對シ殘務ノ一切ヲ引渡ス	[illegible]

(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業概要			引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口数及金額
		継続・再開ノ状況	轉換ノ状況	事業遂行上ノ障碍	事業遂行上ノ要望事項	
現在役員氏名	在外事務担当者氏名	継続・再開ノ状況	轉換ノ状況	事業遂行上ノ障碍	事業遂行上ノ要望事項	引揚社員ノ会社ニ對スル預金ノ未拂合口数及金額
					拠出額ニ基キ引揚社員ニ退職金ヲ支給シタル場合ニ於テハ國家補償ト認メラルヘキヤ否ヤ	
					以ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ	

引揚社宅地方ノ現況	引揚社員ノ他方面ニ於ケル就業状況	引揚社員ノ就業状況	引揚社員数	朝鮮残留社員数	現況	処理
不明			家族数	1	浅澄整理ニ要スル経費ノ調弁状況及ノ対スル希望事項	家屋、其ノ他資産ノ処分状況
				残留地ニ残留家族数	宿舎ノ名称	送金
				住所	建築発生原因	金融機関別
					金額	金額

(五) 引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	応召、入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戦死、戦病死者数	遺族ニ対スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類

財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

六

昭和弐年十月三十日

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 事業場	所在地 事業所	事業目的	引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ狀況	現在住所
朝鮮炭業株式會社	公稱 壹千萬圓	朝鮮人株主數 十二	社長 故手島平、取締役 故吉田豊、佐藤德重、山口弥五平、肥塚英、前地喜多郎、故藤原俊一、故重藤千秋、故保重正義	京城府黄金町二丁目二十七番地	京城府黄金町、大洲工場、光州工場	咸興工場、平壤砧仁里工場、金山工場、大田工場、和順工場	炭礦ノ經營及販賣又ハ附帶之ニ關聯スル事業	昭和二十年九月二十日 日本軍ニ依リ朝鮮人全株主ノ爲ニ管理セラル 仍テ本社ト共ニ全社員ヲ擧ケテ事業ノ經營ニ當リタルモ終ニ引継ヲ了ス	東京都新宿区下落合三丁目七三五 長手一司方

(三) 引揚役ノ狀況					(四) 會社ノ經	
現在役員氏名	在外事務担當者氏名	事業概要			引揚社員ニ對シ退職金等諸給與支給ノ狀況	引揚社員ノ事許積立金ノ未拂分口數及金額
		繼續、再開ノ狀況	轉換ノ狀況	事業遂行上ノ險路		
社長坂順三 専務重役 保俊一、	坂順三、	當分ノ間	轉換ノ方法		鉱山部會ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、
菊原幸藏、大久保愛三郎	長子 可、秋坂秀憲					
監査役 佐伯十七郎						
取締役						
支配人						
會計主任						
庶務主任						
鉱業主任						
技術主任						
販賣主任						
其他						
合計	四口	此金額、壹萬五千七百六十五圓也			金額未定ノ五人ニ付金額拾四萬五千圓也	十三

理状況		(ロ)引揚社員ノ状況			
送金、預金其ノ他資金ノ概況	官廳ニ對スル債權	朝鮮殘留社員數	引揚社員數	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況
金融機関別 内地銀行預金 金額 三萬餘圓 帝國銀行 八〇、八三七、八一 八一、九九六、〇。 合計 一、四〇五、三四 一、五八一、五三 ✓ 殘留地及殘留家族數 連絡未着ノ者ニ付キ殘留財産ニ付キ金拾萬圓也 昭和弐拾年十一月ヨリ當分預金引出ヲ不能、（第二封鎖設定ノ為） 二ヲ至リ解禁ノ見込ナシ	官廳名 債權發生原因 金額 任務	家族數 一八一名	十三		連絡未着ノ者ノ人數ノ就職ヲ知ルヲ大部分ハ引揚後ノ狀況ハ不明	詳細不明

下記各項詳細ニ記載シ添付スルコト

（五）引揚社員ノ状況

引揚社員ノ生活状況	応召、入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戦死、戦病死者数	遺族ニ対スル援護状況	遺族ノ生計状況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル援護状況	其ノ家族ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
銀行預金 郵便貯金 現金	財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。 金拾七萬壱千四百円也 参拾号銀行 金弐拾九萬四千壱百弐拾円也 参拾壱号郵便局 外 金弐拾九萬四千壱百弐拾円也 参拾壱号郵便局 但預金ハ第二封鎖預金ナリ

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十年十月一日現在

東京都中央區京橋三丁目一番地
（第一相互館内）
京城電氣東京連絡事務所

(一) 終戰當時ノ狀況

名稱	京城電氣株式會社
資本金	公稱 三三、八〇〇、〇〇〇圓 拂込 三三、八〇〇、〇〇〇圓
役員氏名及代表社員氏名	朝鮮人株主數 四十四名 朝鮮人拂込額 六四七、三〇〇圓
本社所在地	朝鮮京城府南大門通三丁目五番地
支社營業所所在地	支店（仁川、鐵原、水原、東京） 營業所（大邱、光州、木浦、全州、羅南、清津、咸興、元山、平壤、鎭南浦、新義州、江界、海州、沙里院、長箭、寧邊） 出張所（釜山、京城驛、龍山、永登浦、仁川ノ中心トスル中樞地區即チ京畿道ノ大部分ト
事業目的	電氣事業、電氣軌道及バス、瓦斯及副生物製造及供給事業 地方鐵道事業、水上ノ附帶ノ諸事業
引揚ノ際ニトリタル措置及事業引繼ノ狀況	昭和二十年度ノ年度末迄ニ連絡未了ノ儘引揚ケタ（昭和二十年八月十四日新社長ヨリ全社員ニ對シ平常ノ通リ勤務スベキ旨ノ指令ヲ發シ本社ノ全部課長ヲ以テ構成スル引揚者援護對策委員會ヲ設置シ引揚ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシメ十二月中旬ニ至リ殘務ノ引繼ヲ終了ス）

(二) 引揚後ノ狀況

現在在所在外事務担當者氏名	事業概要	轉換ノ狀況	繼續、再開ノ狀況
現在役員氏名	事業遂行上ノ要望事項		
京城電氣連絡事務所 東京都中央區京橋三丁目一番地（第一相互館内） 見目德太	不明	—	事業ハ全部朝鮮ニテリ大体ソノ儘經續ノ模様

(三) 殘留資産ノ狀況

引揚社員ニ對スル退職金事務取扱ノ狀況	引揚社員ノ會社ニ對スル預金、未拂分ニ關スル金額	會社ノ社員ニ對スル債權
引揚社員ノ會社ニ對スル預金、未拂分ニ關スル金額	會社ノ社員ニ對スル債權	
未拂分 金五二〇圓	會社財産 帝國銀行本店 第二郵鎖 五五四三四八	—

京城電氣株式會社

災害ノ種類及被害ノ状況	朝鮮戦争ニ基ク特需ノ増大ニ伴ヒ生産ノ拡充ヲ図ル	
罹災ノ年月日		
罹災ノ場所		
罹災ノ原因		
罹災ノ状況		
罹災ノ程度		
罹災ノ面積		
罹災ノ価額		
罹災ノ損害額		
罹災ノ損害額ノ内訳		
罹災ノ損害額ノ算出ノ基礎		
罹災ノ損害額ノ算出ノ方法		
罹災ノ損害額ノ算出ノ根拠		
罹災ノ損害額ノ算出ノ資料		
罹災ノ損害額ノ算出ノ担当者		
罹災ノ損害額ノ算出ノ年月日		
罹災ノ損害額ノ算出ノ場所

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況								(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業目的		引揚ニ際シリクル措置及事業引継ノ状況	現在住所
				本社	支社出張所・事業場				
日本農産化工株式会社	公称 金壱百万圓	朝鮮人株主数 1	大川内元治、中谷清、奥山文夫、奥田秀治郎	京城府黄金町二丁目一番地	本社ノ外	農産物廃品ノ加工（フルフラール）製造		当時、担当者ハ死亡シ代理人ヨリ委細ハ下ノ引揚ヲ引継ギ	神奈川県大船町台一四二 大川内元治方
	拂込金額	朝鮮人拂込額 1	取締役社長 中谷清、常務取締役 大川内元治		北海道義州郡義州邑東外洞			中ナルタメ不明	

60

経過	引渡命令ノ申立ニ対スル金融機関ノ意見	入札ニ際シ保証ノ金融機関ニ対スル預金ノ回収ニ関シ特ニ意見ナシ
	引渡命令ノ申立ニ対スル金融機関ノ意見	
	引渡命令ノ申立ニ対スル金融機関ノ意見	
入札ノ状況	入札者ノ氏名又ハ名称	
	入札金額	
	入札保証金ノ額	
	入札保証金ノ提供ノ有無	
売却ノ実施	売却ノ日時	
	売却ノ場所	
	売却ノ方法	
売却ノ実施	競買人ノ氏名又ハ名称	
	競買人ノ住所	
	競買ノ申出ノ額	
	競買ノ申出ノ年月日	
	競買ノ申出ノ時刻	
	競買ノ申出ノ方法	
	競買ノ申出ノ順位	
売却ノ実施	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ氏名又ハ名称	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ住所	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ年月日	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ時刻	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ方法	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ順位	
売却ノ実施	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ氏名又ハ名称	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ住所	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ年月日	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ時刻	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ方法	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ順位	
売却ノ実施	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ氏名又ハ名称	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ住所	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ年月日	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ時刻	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ方法	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ順位	
売却ノ実施	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ氏名又ハ名称	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ住所	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ年月日	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ時刻	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ方法	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ順位	
売却ノ実施	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ氏名又ハ名称	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ住所	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ年月日	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ時刻	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ方法	
	競買ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ額ノ最高ノ者ノ申出ノ順位	

整理状況				(五) 引揚社員ノ状況				
送金 預金 其ノ他資金ノ 集結状況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸經費ノ調弁状況及之ニ對スル要望事項		朝鮮殘留社員數	引揚社員數	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況
金融機関別 金額	官廳名 債權發生原因 金額			殘留地及殘留家族數 ナシ 世名	家族數 世名	大ノ自治又ハ就職セリ		事業別 千葉 愛知 大阪 盛本

(五) 引揚社員ノ狀況

引揚社員生活狀況	応召、入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死、戰病死者数	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者数	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向
大体ニ於テ最低生		/	/	/	/	/	/	穏健

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル社會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
	財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ適足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

六

(ホ) 朝鮮ニ在ル会社ノ内地ニ於ケル状況

昭和二十年十月二十日 西鮮中央鉄道株式会社

引揚法人ノ現状調査

(一) 名称

(一)-(五) 本年六月提出済ミ

財産処分 ナシ

昭和二十年十月一日現在

西鮮中央鉄道株式会社

別掲法人ノ明細書　昭和二十二年十月一日現在

(一)　終戦當時ノ状況

名稱	資本金	役員氏名及代表者氏名		
株式會社	公稱　二三、六六六、六〇〇圓 拂込　二三、六六六、六〇〇圓	取締役社長	渡邊多勢林	一
		專務取締役	中村良期	一
		常務取締役	石田一郎	一
		取締役	榮原四郎	一
		同	由良金一	一
		同	夏川善次	一
		同	片岡久兵衛	一
		同	久保末次郎	一
		同	長野幸助	一
		同	鈴木吾一	一
		同	白波瀬修	一
		同	坂本小六	一
		同	原谷脩	一

朝鮮人株主ノ有無	朝鮮人佛印範圍
ナシ	ナシ

本社	支社出張所	營業所
京都府京都市下京區木津屋橋通西洞院東入ル	東京都京橋區八丁目十一番地（東京出張所） 京都市中京區三條烏丸西入ル新倉町八〇（京都出張所） 大阪市東區北濱四丁目一五番地（大阪出張所）	本工場　京都府京都市下京區木津屋橋通西洞院東入ル新倉町六二番戸 綾部化成工場　京都府何鹿郡綾部町字寺野六二番戸 綾部編織工場　京都府何鹿郡綾部町字寺野六二番戸 建山工場　京都府何鹿郡綾部町字寺野六二番戸 八鹿〃　兵庫縣養父郡八鹿町字八鹿一八三番地 姫路〃　兵庫縣姫路市南町一〇五番地 本宮〃　和歌山縣東牟婁郡本宮町大字本宮一〇番地 養父〃　兵庫縣養父郡養父町大字上箇二丁目一六番地 會津〃　福島縣會津若松市大字栄町六番地 宗部宮工場　和歌山縣東牟婁郡本宮町大字久世二〇八〇番地

同業關係會社名	資本金	株式保有數	保有割合	役員氏名	關係	事業内容
同	同	同	同	取締役　久保末次郎	兼任	絹糸紡績
同	同	同	同	〃　長野幸助	〃	〃
同	同	同	同	〃　鈴木吾一	〃	〃
同	同	同	同	〃　白波瀬修	〃	〃
同	同	同	同	〃　坂本小六	〃	〃
同	同	同	同	〃　原谷脩	〃	〃
同	同	同	同	監査役　久保武	〃	〃
同	同	同	同	〃　坂本治右衛門	〃	〃
同	同	同	同	〃　野間駒藏	〃	〃
同	同	同	同	〃　片山正一	〃	〃

郡是製絲株式會社

調査課

上林 〃	京都府何鹿郡中上林本大字八掛谷小字寺前一番地
和知 〃	京都府天田郡上六人和村字和知小字冷田一一四八番地
舞鶴 〃	京都府舞鶴市字倉谷小字赤れ十一番地
宮津 〃	京都府與謝郡宮津町字鉢二六一番地
八王子 〃	東京都八王子市大字明三一〇番地
京都 〃	京都市右京区太秦ウヅ森町一番地
梁瀬 〃	兵庫県朝來郡梁瀬町多田字寺一八六番地
名古屋 〃	山口県宇部市大字際波一三〇六番地ノ一
大阪紡織 〃	東京都北区滝野川町七丁目二〇〇番地
大田工場ノ敷地	東京都北区滝野川町三丁目二七〇番地
海州 〃	樺太北緯五十度東経百四十二度ノ地点
好義州 〃	朝鮮平安北道義州郡義州邑南門洞四一番地

一、各種絹紡維ノ製造並ニ其ノ紡績各種紡績ノ附属品ノ製造販売
二、前号ニ掲ケル事業ニ関スル一切ノ事業
三、前各号ニ掲ケル事業ニ関スル一切ノ事業
四、前各号ニ掲ケル事業ニ関スル一切ノ事業

引抜ニ際シトリタル措置及其ノ後ノ状況	
現在仕所	現在役員氏名
〃	取締役社長 多賀野林一郎
〃	常務取締役 石田一郎
〃	取締役 藤原四郎
〃	同 久末伊佐
〃	同 長野安助
〃	同 内場小六
〃	同 谷一郎
〃	監査役 古田原久
〃	同 森本治左衛門
〃	同 中上良
〃	同 水上彦一郎

引抜後ノ状況	
在外重役其ノ他ノ者ノ氏名	四、

備考 一、

要約事項	
鐵道用地ノ井沖	記有セシモ大正丁瑞・大正丁瑞・[illegible]丁瑞・[illegible]丁瑞ノ四丁瑞・
關係ノ井沖	
上ノ事業遂行	
ノ安全施行	
井沖	井沖ノ耐會(四)
職引	職引
給俸等記錄	給俸等記錄
退ノ給俸	退ノ給俸
耐員ニ非スル	耐員ニ非スル
引揚耐員ニ	引揚耐員ニ
井沖	井沖
令引ノ揚耐員ノ	令引ノ揚耐員ノ
夫〃分口身	夫〃分口身
動ノ令立	動ノ令立
スル扶令ノ	スル扶令ノ
令ノ夫分口	令ノ夫分口
耐員ノ給耐ニ	耐員ノ給耐ニ

都是製絲株式會社

沖井ノ員叶揚引(三)	
遠キ沖令、	遠キ沖令、
程ノ	ノ
令積金	令積金
狀ノ	狀ノ
官職ニ非スル俸	官職ニ非スル俸
二關係ノ職務ニ從事スル官吏ニ對スル退隱料及之ニ	二關係ノ職務ニ從事スル官吏ニ對スル退隱料及之ニ
官職ニ非スル俸	官職ニ非スル俸
官職ニ非スル俸	官職ニ非スル俸
官職ニ非スル俸	官職ニ非スル俸

引揚軍人ノ世帯分離状況	（當會軍人ノ多クハ現ニ職任ニ就キ中）
引揚軍人ノ生活状況	（當會軍人ニオイテハ（軍人ノ多クハ）生活ヲ維持ス）
召、入營者數	（朝鮮在勤軍人ニ限ル）　三五名
戰死戰病死者數	七名
遺族ニ對スル處遇状況	（少額金ヲ支給スルモ相當困難ナル事アリ） 程度ニヨリテハ生活ヲ芝ノ他ノ好意ヲ
殘族ノ生計状況	（詳細不明ナルモ生活困難ナル模様）
未復員者數	四名
其ノ家族ニ對スル處遇状況	（毎月少額金ヲ支給スルモ相當困難ナル模様）
其ノ家族ノ生計状況	（最低生活ヲ維ムル程度）

郡是製絲株式會社

引揚軍人ノ思想的動向	家族數多キ者相ノ生活困難ヲナシテイルガ、他ハ思想的ノ動向ナキ模様
在朝鮮ノ殘留財産ノ種類	財産ハ不動産（土地家屋物品帳記載）及ビ動産（現金貯金、ソノ他ノ動産、商標権、生産品、什器、有價証券、設備機械、行方名、所在不明ノ者ノ分ヲ含ム）ノ内、土地、建物、（一部賃貸シアルモ）ノ現在ノ状況ハ、通信、電信、船舶價格、ト交渉中ノモノアリテ現在ハ（一部賃貸シアルモ）一ヶ所現在ノ状テナルベク具体的ニ御書キヒマス

ナシ、

日華油脂株式會社
神戸市神戸區東町百弐拾参番地
代表電話三宮③國二七三〇番　四六八五番
神戸中央郵便局私書函第八三四號

第一四四號

昭和二五年十月二五日

神戸市生田區東町百弐拾参番地
日華油脂株式會社
總務課長　安藤芳顯

[illegible]

[illegible]

[illegible]

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年十月一日現在

(イ) 終戰當時ノ狀況

名稱	資本金	役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社出張所	所在地 事業場	事業目的
日華油脂株式會社	公稱 八百万圓 拂込 八百万圓	取締役社長中井榮三郎、專務取締役中林延一、常務取締役牧和眞、米田專吾、監査役片山篤也、酒井忠治、入江房太郎 木浦工場長 井上利平	神戸市生田區東町百貳拾參番地	京城支店 京城府鍾路區壻鳴町一番地	木浦府海岸通四丁目六番地	植物油脂並石鹼、肥料製造販賣

(ロ)

引揚ニ依シトリタル措置及事業引繼ノ狀況
朝鮮人從業員委員會（委員長委敏秀）ニ委嘱ス

(ハ) 引揚後ノ狀況

現在住所	現在役員氏名	任外事務擔當者氏名	事業概要 繼續再開ノ狀況	事業概要 轉換ノ狀況	事業概要 事業遂行上ノ障碍	事業概要 事業遂行上ノ必要事項	引揚社員ニ對スル退職金等給與支給ノ狀況
神戸市生田區東町百貳拾參番地	取締役社長中井榮三郎、專務取締役中林延一、常務取締役牧和眞、片野重太郎、監査役黒川秀二、酒井忠治、高野文吉	日華油脂株式會社總務課長 安藤芳顯	不明	不明	不明		繼續再開ヲ要スルヲ以テ退職金ハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トサレタシトノ意向アリ 一二九、〇〇〇圓

(ニ) 會社ノ經理狀況

引揚社員ノ會社ニ對スル債權金額	引揚社員ノ身許保證立金ノ未拂分ロ數及金額	送金、預金其ノ他資金ノ凍結狀況
一三〇、七一七・九二圓	四一口 一二三、二五九・七七圓 次ノ頃ト共ニ收拂ニ對シ金融機關ニ對スル預金ト同樣ニ處理サレタキ旨要望中ナリ各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ 四四口 一四、六五五・四五圓	

| | | |

農蚕発三〇号

昭和二十二年十一月一日

石川縣金沢市十間町八番地

石川縣農業株式會社金沢出張所

取締役社長中島徳太郎

大蔵省管理局管理課御中

引揚法人ノ現状調査提出ノ件

昭和二年十月六日付ヲ以テ在外財産調査會ヨリ申越相成候引揚法人ノ現状調査書別紙提出ス也

（申石38）

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況									(二)		(三)
名稱	資本金		朝鮮民名及ビ本社員氏名	所在地		事業目的	朝鮮ニ於ケルソノ他事業ノ狀況		現在住所	
	公稱	拂込		本社	支社出張所					
石川縣農業株式會社	壹百萬圓	壹百萬圓	取締役社長中島德太郎（代表）常務取締役本岡三郎 取締役矢田典吉、北尾孝信、米谷半平 監査役長野與平、久保田可全	朝鮮全羅北道金堤郡金堤邑新豐里壹百九番地	石川縣金澤市十間町八番地 金澤出張所	農林業經營	內地人社員引揚ノ際ニ別段ノ措置ヲ取ラザリシガ事務一切ノ引繼ハ鮮人社員中ノ最高級者ニ對シ平穩裡ニ行ハレタリ		石川縣金澤市十間町八番地中島德太郎方	
	朝鮮人拂込額	拂込株主數								
	壹百萬圓	十ニ								

(三) 引揚従業ノ状況					(四) 会社ノ経	
現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業概要 継続・再開ノ状況	事業概要 転換ノ状況	事業概要 事業遂行上ノ障碍	事業概要 事業遂行上ノ要望事項	引揚社員ニ対スル退職金等諸給与支給ノ状況	引揚社員・年許積立金ノ未拂分口数及金額	引揚社員ノ会社ニ対スル預金ノ未拂分口数及金額
中島徳太郎、本岡三郎、久田興喜、北尾孝信、長野興平、久保田可全	本田五郎平	事業及資産ハ全部朝鮮ニ在ルタメ継続及再開不可能	同上ノ理由ニ依リ轉換不可能	一切ノ事業及資産ハ盡ク朝鮮ニ在リ内地ニハ皆無ノタメ	再ビ在鮮事業場ニ復帰ノ農林業経営ヲ要望ス	鉱山組合ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ対象トナサレタシトノ要望アリ、資金ナク諸給與支給不可能(内地ニ於テ収入ナシ)	次ノ項ト共ニ政府ニ対シ金融機関ニ対スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、	ナシ

理状況				(五)引揚社員ノ状況			
送金、預金其ノ他資金ノ凍結状況	官廳ニ対スル債権	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項		朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ他方今般状況
金融機関別 金額	官廳名 債権発生原因 金額	残留地及残留家族数 任務						
ナシ	ナシ	役員ノ據出ヲ以テ支弁スベキ、之ニ対シ国家補償又ハ融資ヲ要望ス		ナシ	家族数 社員五名 家族拾七名	自社就業社員ナシ	役員ノ奔走等ニ依リ全員他ニ就業セリ	概ネ出身地石川縣内ニ居住ス

（五）引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	応召入営者数	戰死、戰病死者数	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者数	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向
最初ハ頗ル困難ノ樣子ナリシモ逐日普通ノ狀態ニ接近シタリ	（朝鮮在勤社員ニ限ル）六名	三名	戰死者三名ハ何レモ独身者ニシテ遺族ニ對スル処遇ナシ	何レモ相當裕福ナル家庭ニシテ生計ニ不安ナシ	ナシ	該當ナシ	該當ナシ	異狀ヲ認メズ

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
什器	
有價證券	壹八円五〇。金沢出張所ニ所在ス
現金	九八円〇〇　仝
合計	七九四円壹〇　仝
	九壹〇円六〇

財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債權、銀行預金、送金小切手等ノ所在地、種類、數量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

國債額面百圓

六

株式會社 **酉島製作所**

東京支所

昭和二十二年十月三十一日

大藏省管理局管財課 御中

東京都麹町區丸ノ内二丁目丸ビル四四八區
株式會社 **酉島製作所**
東京營業所内
株式會社 朝鮮ポンプ製作所

十月六日付 在外賠償調査會ヨリ御照会ノ件ニ關シ
現狀調査書別紙ノ通リ回答申上ゲマスカラ御査
收下サイ

以上

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年十月一日現在

(イ) 終戰當時ノ狀況

名稱	株式會社 朝鮮ポンプ製作所
資本金	公稱 一、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 一、〇〇〇、〇〇〇圓
役員氏名及代表社員氏名	取締役社長 中山秀一 專務取締役 渡部義綱 取締役 山本秀太郎、高森安夫、竹尾秋助、加田敏郎
所在地 本社	京城府永登浦區永登浦町三三七番地
所在地 支社出張所	營業所 京城府中區黃金町二丁目一九九（青木ビル內）
所在地 事業場	京城府永登浦區永登浦町三三七番地
事業目的	各種ポンプ及諸機械ノ製造並ニ販賣
引揚ニ際シトリタル措置及事業引繼ノ狀況	京畿道鎭工局長ヨリ大尉ノ指令ニ依リ委託經營者トシテ成泰氏ヲ指名サレタルニ依リ同氏ニ全經營ヲ委託ス
現在住所	東京都千代田區丸ノ內二丁目（丸ビル）酉島製作所東京營業所內

(ロ) 引揚後ノ狀況

現在役員氏名	終戰當時ノマヽナリ
在外事務擔當者氏名	渡部義綱
事業概要 繼續、再開ノ狀況	
事業概要 轉換ノ狀況	
事業概要 事業遂行上ノ障碍	
事業概要 事業遂行上ノ要望事項	繼續再開ノ希望アルモ一切樣子不明ノマヽ今日ニ及ビタリ
引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	六人分九、七八四圓ハ引揚直前支給濟

(ハ) 會社ノ繼

引揚社員ノ身許積立金ノ未拂分口數及金額	ナシ
引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	ナシ

預金ノ他貯金ノ狀況	朝鮮貯蓄銀行　三、七八六圓八三錢（積立預金） 帝國銀行京城支店　五、〇一五圓二九錢（納稅準備預金）
官廳ニ對スル債權	ナシ
殘務整理ニ要スル諸費ノ調辨狀況乃之ニ對スル要望事項	從業員退職金不足分其他諸費トシテ引揚ニ際シ五七〇〇〇圓借入レタルモ引揚後組合社タル江商株式會社及酉島製作所ニテ折半負擔ノ上、債權者ニ返濟ス

四　引揚社團ノ狀況

殘務	朝鮮殘留社員數
引揚社員數	七人（家族數十七人）
引揚社員ノ就業狀況	現在一名ハ組合社ニ復職就業中
引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業狀況	殘リ六名中三名ハ自營、他ノ三名ハ不明
引揚社員ノ地方分散狀況	東京都、廣島縣、島根縣、京都府、大阪府、福岡縣、愛媛縣等
引揚社員ノ生活狀況	概ネ甚シ
應召、入營者數	（朝鮮在勤社員ニ限ル）三名
戰死、戰病死者數	二名
遺族ニ對スル處遇狀況	會社ノ實體ナキ爲如何トモナシ難シ
遺族ノ生計狀況	不明
未復員者數	ナシ
其ノ家族ニ對スル處遇狀況	
其ノ家族ノ生計狀況	
引揚社員ノ思想的動向	引揚者ガ內地戰災者ニ比シテ一層苦痛氣ノ毒ナルハ預貯金及ビ不動產ノ全然用ヲナサヌ事ナリ。是等ニ對シテ何等同情救濟的施設ノ見ラレザル今日自棄的思想ニ落チ行クハ蓋シ敗戰引揚民トシテ止ムヲ得ザル思想的動向ト思フ

(六)朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況	
財産ノ種類	

第　　號（附屬書類　通）

昭和二十二年十月二十八日

三菱電機株式會社

壹地番貳目丁貳内ノ丸區町麹都京東

大藏省管理局管理課分室内

在外財産調査會　御中

東京都千代田區丸内二ノ一
三菱電機株式會社
勤労部長　三木鬼太

引揚法人の現狀調査御回答の件

拝啓陳者去る十月六日附貴信を以て御懇命有りました頭題引揚法人の現狀調査に就きましては嚢に朝鮮重業者會へ報告濟となつて居りますが（内）朝鮮に本社を在る會社や一財産狀況」の欄については、弊社は内地に本社を有する爲該當事項ありませんので其の旨別紙に記載茲許回封拝送申上げますから悪しからず御了承下さる樣願上げます

敬具

79

B5 21.10.1000冊（山櫻）

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況	
財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債權、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ了不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。 **弊社は内地に本社を有する等該當事項ありません**	

東京都千代田区丸内二丁目四番地
三菱電機株式會社

編「調査課御中」
昭和二十二年十月二十四日

（本　發第　　號）

東京都千代田區内幸町一ノ二東拓ビル内
大藏省管理局管理課内
在外財産調査會　御中

大阪市北區宗是町大同ビル七階
大和紡績株式會社

大阪市東區今橋一丁目十五番地
大和工業株式會社

一、引揚法人ノ現狀御報告ノ件

標記ニ關シ貴翰十月六日附府ヱ拜誦シマシタ

就而別紙ノ通リ御報告申上ゲマスカラ宜敷御願ヒ申上ゲマス

以　上

御注意　御書狀ハ總テ會社宛ニテ御差出被下度個人名宛ハ整ク御斷リ申上候

康一1 第2085

記

第一項ヨリ第五項迄ハ御報告申上候

財産ノ種類	所有スル財産ノ在ル會社ノ日本國内ニ於ケル本社ニ於テ御報告申上候ノ狀況
不動産	何レモアリマセン
流動資産	

朝鮮大和紡績株式會社

大阪市東區今橋一丁目十五番地

大和工業株式會社

御注意　御書狀ハ總テ會社宛ニテ御差出被下度個人名宛ハ聖ク御斷り申上候

82

庶一1 再大2085

三元

昭和二二年一〇月二九日

大蔵省管理局管理課 御中

王子製紙株式会社

田辺虎三 印

拝啓

別掲法人ノ現状調査ノ件報告

十月六日附申通知ヲ頂キマシタ首題ノ件ハ去ル六日

十日附書状ヲ以テ朝鮮事業者会議完了ノ報告申上

マシタ外ノ(六)朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本国内ニ

於テ所有スル財産状況ニ付

北鮮製紙化学工業株式会社

黄海鉱業株式会社

多獅島鉄道株式会社

ノ三社ニ対スル今別紙ノ通リノ報告申上マス

拝具

83

(六)財産ノ種類ニ本社ノ在ル社会ノ日本国内ニ於ケル有ノ如キ財産状況

財産ノ種類	
預金（第三封鎖）	金四万四千百五拾壱円六拾銭也

北鮮製紙化學工業株式会社

財産ノ種類

十レ

英雅鉱業株式会社

財産ノ種類

十七

多摩島鉄道株式会社

引揚法人現状調査の件は
首題の件については左記書方は個人経営となすが該当の申報
告なき未だ法人の為念の為左記申報先引あす

記

名称　株式鉱業所
投資金二十七万八千円
代表者名　植田傳市
所在地　事務所　平安北道高城郡高城面芳洞
　　事業所　　仝道仝郡仝面上休岩洞

事業目的　金鉱掘採業

右鉱山法昭和十八年法律朝鮮鉱業令により作業中止処置に致居り

十月二十六日

大蔵省管理課

和歌山県新宮市下相筋町二丁目

樋口徳市

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰当時ノ狀況											(二)		(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業目的	朝鮮人株主数	朝鮮人拂込額		引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ狀況		現在住所
	公稱	拂込		本社	支社出張所	事業場							

88

(三) 引揚後ノ狀況						(四) 會社ノ經	
現在役員氏名	在外事務担當者氏名	事業概要				引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	引揚社員ノ拂込積立金ノ未拂分口數及金額
		繼續再開ノ狀況	轉換ノ狀況	事業遂行上ノ障碍	事業遂行上ノ要望事項	鉱山第一會ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、

況	状	理
残務整理に要する日数の見通し	定金、積立金、預金その他資金の状況	金融機関別　　金額
清算人の職務に関する債権債務の発生原因及び金額	清算人の職務に関する債権債務の発生原因　金額	
清算人の報酬、賞与その他職務執行の対価として受ける財産上の利益の額		

況	状	員	社	場	引	(五)
引揚者、地方公共団体の措置状況	面会、就業状況	引揚者、他方就業状況	就業状況	引揚社員の自社	引揚社員数	退職又は死亡した社員数
					家族数	残留地及び内地における家族数　任務

(五) 引揚社員ノ狀況

引揚社員生活狀況	応召入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死戰病死者数	遺族對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者数	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向

（六）朝鮮ニ本社ノ在ルモノ及本社ノ在ル会社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産状況

財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、借債權、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ状況（再用転換シ居ル向ハ其ノ概要）一、若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。	

大

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況							(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業目的	引揚ニ際シトリヌル措置及事業引継ノ状況	現在住所
				本社	事業場及出張所			
光徳鉱山株式會社	八百万円	朝鮮ヘ鉄主数　十七	宮崎茂薫	十七	東京都中央区日本橋兜町一之八 古山鉱山株式會社内	鉱業(金)	報告済	出張所ノ在地ニ今シ
	拂込	朝鮮ヘ拂込額　十七						

現在役員氏名	(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経		
	在外事務担当者氏名	事業概要				引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口数及金額	引揚社員ノ会社ニ対スル預金ノ未拂分口数及金額
		継続、再開ノ状況	事業遂行上ノ障碍	轉換ノ状況	事業遂行上ノ要望事項			
宮崎茂藏	阪本名川義孝					鉱山部会ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	次ノ頃ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニツキテハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、	

三

理	状況		(ロ) 引揚社員ノ状況				
送金、預金、其ノ他資金ノ凍結状況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸經費ノ調弁狀況及之ニ對スル要望事項	朝鮮殘留社員數	引揚社員數	引揚社員自社就業狀況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業狀況	引揚社員ノ地方分散狀況
金融機関別	官廳名		殘留地及殘留家族數	家族數			
金額	債權發生原因、金額		任務				

（五）引揚社員ノ狀況

引揚社員、生活狀況	応召、入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死、戰病死者数	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者数	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向

財産ノ種類

銀行預金

財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債權、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、數量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再當転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

一、四三〇、一七四、四三圓

但本預金ハ終戰前預ケ入レタルモノニシテ
現ニ通帳保管セルノミ

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一)終戦当時ノ状況								(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業目的	事業場	引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ状況	現在住所
				本社	支社出張所				
朝鮮書籍株式会社	公称	六、〇〇〇、〇〇〇円	取締役社長 高橋龍太郎	京城府永登浦五丁目一番地	東京都中央区銀座六丁目一番地				
	拂込	三、〇〇〇、〇〇〇円							
	朝鮮人株主数								
	朝鮮人拂込額								

94

現在役員氏名	(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
	在外事務担当者氏名	事業概要				引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口数及金額
		継続、再開ノ状況	轉換ノ状況	事業遂行上ノ隘路	事業遂行上ノ要望事項		
						鉱山閉会ヨリ八支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、

処理状況			(五)引揚社員ノ状況					
送金預金其ノ他資金ノ承継状況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸經費ノ調弁状況及之ニ對スル要望事項	朝鮮殘留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況		引揚社員ノ他方面ヘノ就業状況		引揚社員ノ地方分散状況
金融機関別 金額	官廳名 債權發生原因 金額		殘留地及殘留家族数 任務	家族数					

(五) 引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	死亡、入營者數（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死、戰病死者數	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者數	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再固転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ニ交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。 日本國内財産 有価證券　株式　参千株　一五〇、〇〇〇円 合計　一五〇、〇〇〇円	六、七〇二、三五五

昭和三十二年十月十五日

大蔵省管理局

管理課 御中

司法書士 [redacted]

標題の件に関し別紙の通り報告書を提出します。

下関市 [redacted]

西日本法務 [redacted]

(十二行)

引揚法人ノ現状調査　昭三年十月一日現在

(一)　終戦当時ノ状況

名称	西日本汽船株式會社
資本金	公称六百萬圓　朝鮮人株主數　十名 拂込金　全　朝鮮人拂込額金壱萬六千壱百壱拾圓
役員氏名及代表ニ関スル事項	社長　黒田吉大　専ム取締役　高井春五郎 取締役　廣瀬傳　〃　立石信吉　〃　武内孫吉 〃　森陸松秋郎　〃　川畑貞一　監査役　立石善藏　〃　浜見一雄
本社 （所在地） 支社 （〃） 出張所 （〃）	朝鮮釜山府大倉町一丁目一二番地 支社　本浦府榮町　鴻水色東町 出張所　東京都麹町区富士見町一丁目二ノ七 〃　大阪市北区梅田町一
事業目的	海運業

(二)　引揚後ニ於ケル措置及事業ノ経過状況

昭和二十年八月十五日以降會社解散時又ハ米軍政当局ヨリ特別指示ニ依リ會社経営権ノ一切ヲ朝鮮汽船株式會社（曾本汽船株式會社在職朝鮮人ヲ以テ組織セル）ニ委任（昭和二十年十一月三十日）ニ至ル迄ノ間ニ於ケル残留日本人社員ノ引揚邦人荷送ノ取扱ヒ並ニ引揚船ノ入港ニ当リ引揚者ノ為ニ行セル業務ニ当リ現物、接收（建物、倉庫十四件、船舶十五隻及船用品等）ニ関シ経理関係帳簿書類及現金、有価証券等一括朝鮮汽船経理課長李秀東氏ニ引継保管ノ依頼ヲ為シ、昭和二十一年二月十七日星田社長以下残留邦人全部引揚ゲタリ。

(十二行)

(一) 現在住所　下関市港町二ノ番地　商船ビル内

(二) 社名ノ沿革概要　代表取締役　立石信吉　取締役　武田謙六　監査役　立石義弘　清見一雄

(三) 営業ノ状況　鉄道開通ノ為メ目下休業中

(四) 社債ノ整理ニ関スル件　関係帳簿書類調製ノ為メ不詳

(五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(六十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(七十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(八十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(九十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百二十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百三十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百四十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百五十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百六十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百七十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百八十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(百九十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百二十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百三十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百四十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百五十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百六十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百七十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百八十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(二百九十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百二十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百三十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百四十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百五十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百六十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百七十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百八十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(三百九十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百二十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百三十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百四十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百五十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百六十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百七十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百八十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(四百九十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百二十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百三十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百四十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百五十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百六十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百七十九) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十一) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十二) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十三) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十四) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十五) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十六) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十七) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十八) 社債ノ整理ニ関スル件　ナシ

(五百八十九) 社債ノ整理

| | | |

| | | |

別紙

引揚法人ノ現状調査（昭和二十二年五月廿一日現在）

(一) 終戦當時ノ状況								(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及終戦当時ノ役名	本社	支店、出張所	事業目的		引揚後ノ状況	現在地
	公称	拂込							
朝鮮人造石油株式会社	九千万円	九千万円	終戦当時ノ代表役員ハ取締役社長河野静ナリシモ辞職シ其他ノ役員モ亦辞職シ代表社員トシテノ程ノモノナシ	朝鮮咸鏡北道慶興郡阿吾地邑	東京都千代田区大井出町五の九五	石炭採掘、人造石油ノメタノール製造並ニ販売	以前ノ事業ハ全部ヲ以テ全従業員ハ着ノ身着ノ儘ニテ引揚ゲタリ	従業員多数ハ南方ニ送シ一部ハ満州ニ逃ル	東京都中野区鷺宮四丁目四四六 人造石油会社内

102

(三) 引揚後ノ就業					(四) 会社ノ経	
従業員氏名	在外事業場ノ名称	事業ノ種類	事業ノ規模	事業ノ概況	引揚社員ニ対スル退職金等給与ノ状況	引揚社員ノ当社ニ対スル未清算金ノ金額
従業ト経ノモノナク富州五年従業引揚者ノ連絡事務ニ当リツツアリ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	横山部分ハ退職金等ハ全額ノ計上ヲナシアラズ	在外会社トシテ支給ノ制限ヲ受ケ居リ
					又ノ会社ニ対スル退職金ハ昭和廿年ノ通リ各社ニ於テ入金機関ニ対スル預金ノ関係ニテ入金ヲ見ズ	事許積立金ハナシ
					引揚社員ノ当社ニ対スル未清算金ハナシ	右確タル資料ナク判明セザルモ日本人従業員四千名一名平均千円トシテ四千万円見当ト思考ス

現狀況			(五) 指導並援助ノ狀況		
金融機關名 金額 貸付、預金、投資金、東結狀況	官廳ニ對スル債權	戰爭管理ニ要スル資金、融通狀況及之ニ對スル要望事項	組織代表者氏名	組織組員數	指導援助ノ狀況
三菱銀行 當座預金 百二十九万四千九百九十四	政府特殊借入金一億（政府ニ對スル納稅代）六万三千四百四十四	月數一百回程度ノ要ニ應ジ資金ハ本社ニ對シ鎖トシテ凍結セラレ使用出來ザル爲メ屢々困難ヲ感ジアリ本社ニ對シ鎖預金ヨリ數一百回程度使用ヲ認メラレン事ヲ熱望ス	代表者氏名	組織組員數	指導援助ノ狀況
			十ニ	一、六二四名	約半數ハ日本鋼管船舶株式會社其他ノ關係會社ニ就職シ半數ハ各自夫々縁故ヲ求メ就職ノ爲メ努力シツツアリ
			十ニ	三、二一二名	全國ニ散在スル九州、山口縣廣島縣、新潟縣等ニ多シ

(五) 引揚後社員ノ状況									
引揚後ノ生活状況	着ノ身着ノ儘無一物ニテ引揚ゲ来リ事ト[illegible]極度ノ窮迫状況ニアリ								
現在ノ職業	(前職ニ同ジ) 約三百名								
就職ニ関スル希望	未ダ還ラザル多クノ社員ハ何レモ現在ノ職ニ不慣レタル為メ国内ニ於ケル就職ハ困難ニシテ殆ンド全員ガ元ノ職場ニ復帰スルヲ熱望シ居レリ								
当会ニ対スル希望	特ニ処遇ヲ与エラレンコトヲ望ム								
生計状況	極度ノ窮迫状況ニアリ								
未帰還者数	約二百名ト推定セラル								
未帰還者ノ生死状況	何等ノ処置ヲモ講ジ得ズ								
未亡人及遺族ノ生計状況	極度ノ窮迫状況ニアリ								
引揚生活ノ感想其ノ他	引揚当時ハ会社又ハ政府ニ対シ相当ノ救済ヲ要望シ居リシモ日本ノ国情並会社ノ実情ヲ知リ得タル今トナリテハ寧ロ引揚ニ対シテハ何等ノ政府当局ノ救済処置ヲ期待シツツアリ								
其ノ他									

21.

別紙

引揚法人ノ現状調査 昭和二十二年五月三十一日現在

(一) 終戦当時ノ状況								(二)	(四)
名称	資本金	役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業種目			
			本社	支社出張所	事務所				
西鮮中央鉄道株式会社	公称一五、〇〇〇、〇〇〇円 拂込一二、〇〇〇、〇〇〇円	取締役社長 取締役 今泉茂松 加藤孝造 [illegible] [illegible] 取締役社長 今泉茂松	京城出張所 京城府中区東小門町一ノ五三			(一)鉄道及軌道業 (二)倉庫業 (三)自動車運輸業 (四)水陸連絡運送業 (五)前各号ニ附帯スル業務			
		監査役 今井振次郎 西田春市 池田幹次							
	組織人格之有無 有								
	組織人格之有無 有 従業員数 八名								
	組織人格之有無 有 従業員数 二七、〇〇〇名								

八月十五日ノ終戦ニヨリ業務ヲ中止シ引揚者ノ輸送ニ当リ十月一日ヨリ朝鮮人側ニ移管シ十月二十日ヨリ平安南道人民委員会ノ設立ニ伴ヒ六月三十日ヨリ平安南道人民委員会ノ設立ニ伴ヒ六月三十日ヨリ平安南道人民委員会ノ設立ニ伴ヒ六月三十日

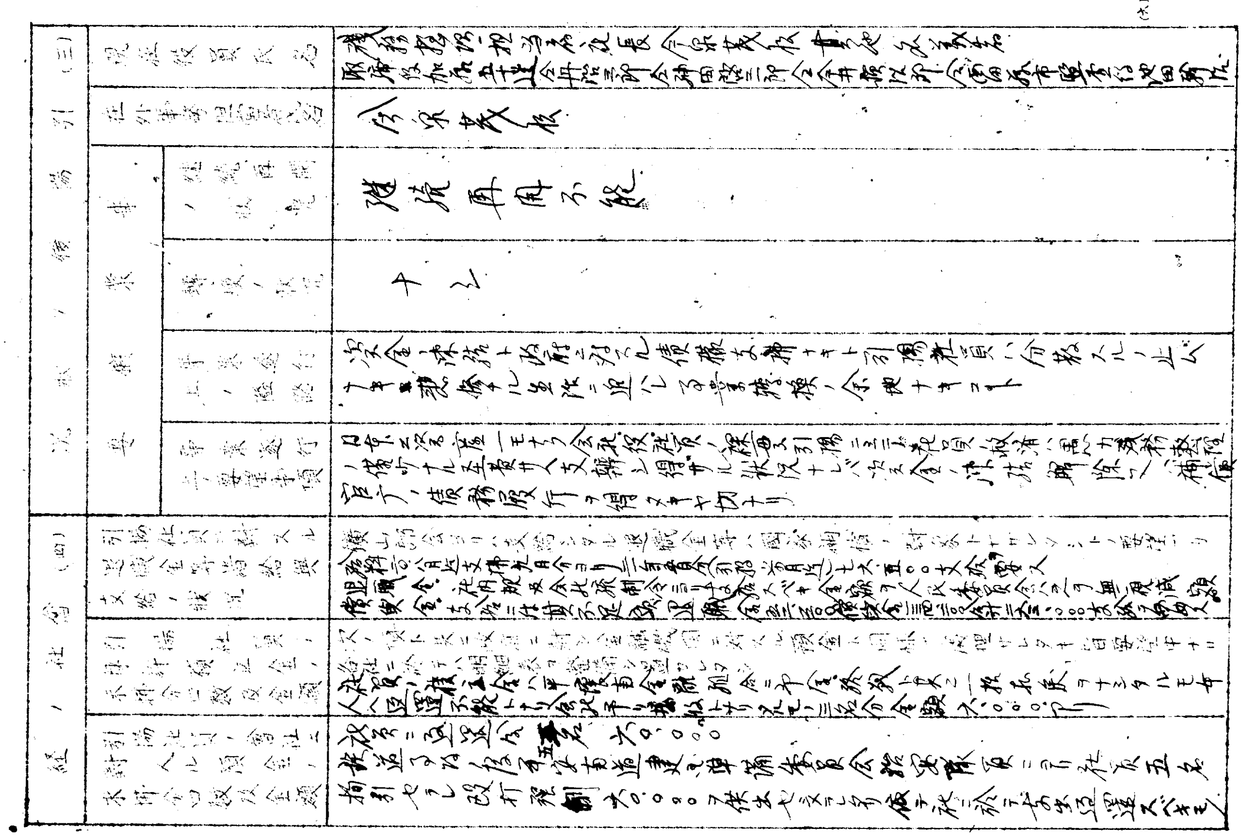
倉庫ヲ引渡シ会社財産ノ全部及帳簿諸書類其他業務一切ヲ

移管シ之ヲ以テ直ニ引渡シヲ完了セリ

右ノ外鉄道ノ一部ハ十二月二十一日ニ至ル迄引揚者輸送ニ

残務ヲ処理シ引揚ノ為メ今ヤ京城ニ集結シ引揚ヲ待ツ

104



整理状況			出動の状況		
送金、預金、其の他資金の整理状況	営業に対する債権		営業に対する債権		
現金、預金、貯金、平賀銀行、平賀信用組合、平賀農業倉庫、平賀銀行、平賀信用組合、平賀農業倉庫、平賀銀行、平賀信用組合、平賀農業倉庫

比	況	出	物	之	状	況
官庫ニ納ムル債権						
残務整理ニ要スル経費ノ如キ	債権管理ニ要スル費用ノ如キ	官有物払下ノ如キ

	傳生村役場ヲ本部ニ定メ救護ノ指揮ヲ執ルベキ旨ヲ通知シ且ツ其ノ要員ヲ招集スベキ旨ヲ通知シ
	十三名
	二名
	死傷者ノ有無ヲ調査シ且ツ之ヲ救護スベキ旨ヲ通知シ
	道路ノ状況ヲ調査シ且ツ之ヲ通知シ
	十三名
	十三名
	十三名
	救護ノ為ニ必要ナル人夫ノ徴発ニ関シ村役場ニ於テ之ヲ取扱フベキ旨ヲ通知シ且ツ其ノ人夫ヲ指揮シテ救護ニ当ラシムベキ旨ヲ通知シ
	救護ノ為ニ必要ナル人夫ノ徴発ニ関シ村役場ニ於テ之ヲ取扱フベキ旨ヲ通知シ且ツ其ノ人夫ヲ指揮シテ救護ニ当ラシムベキ旨ヲ通知シ

別紙

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年五月　日現在

東京都中央區銀座七丁目一番地
大日本麥酒株式會社内
朝鮮殘務整理事務所出張所

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業目的	引揚ニ際シテノ處置及事業ノ継ノ狀況	現在所
	公稱	拂込		本社	支社出張所 事業場			
朝鮮麥酒株式會社	六百萬圓	參百萬圓	取締役 高橋龍太郎、山本房三郎、堀田清、水野崎弘、三宅源吉、監査役 福澤吉次、鄭相龍、	京城府永登浦區永登浦町大四〇番地	東京都中央區銀座六丁目一番地大日本麥酒株式會社内	麥酒醸造販賣業、清涼飲料販賣業	占領軍命令ニヨリ朝鮮人ニ工場ノ一切ヲ引渡ス	東京都中央區銀座六丁目一番地大日本麥酒株式會社内
朝鮮人拂込額	株主數							
四百萬圓	一四							

106

1705

(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ処	
現在役員氏名	在外事業保留者名	事業概要			引揚社員ニ対スル退職金等給与ノ状況	引揚社員ノ会社ニ対スル預金ノ取扱及金額
		継続再開ノ状況	事業遂行上ノ難関	事業遂行上ノ要望事項		
(1) 金七		事業ハ朝鮮時ニ同ジ内容ニ見込ナシ			鐵山部会ヨリ八支給シタル退職金等ハ別紙ノ如シ 大部分ハ日本支拂ノ会社ニ転職ス	ナシ

(六)

現狀況			(五) 引揚社員ノ狀況			
送金、預金其ノ他資金ノ凍結狀況	官廳ニ對スル債權	殘務管理ニ要スル諸經費ノ調弁狀況及ビ特ニ必要ト認ムル事項	殘社殘留社員數	引揚社員狀況	引揚社員自社就業狀況	引揚社員ノ就業狀況	引揚社員ノ就業ニ關スル事項
金融機關別 金額	官廳名 債權發生原因 金額		八百七十五名	家族數 四十二家族 一四五名	大日本麦酒合成ニ轉職ス		大日本麦酒合成ニ轉職ス
ナシ	ナシ		ナシ				

(五) 引揚社員ノ生活状況

引揚社員ノ生活状況	扶養入当百数（対象在勤社員ニ限ル）	戦死戦病死者数	遺家族ニ対スル処遇状況	遺族ノ生計状況	不復員者数	遺家族ニ対スル厳過状況	遺族ノ公募ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向	其ノ他
衣類其ノ他生活必需品ノ配給ニ関シ特別ノ考慮ヲ払ヒ	十名	一名			二名	全ク之ヲ認メ送金ヲ			

9

別紙　昭和廿貳年六月廿日　残ナシ

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年五月　日現在

(一) 終戦当時ノ状況									(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業目的		引揚者ノ取扱ヒタル事業ノ概況	現在ノ状況
	公称	払込		本社	支社又ハ営業所	工場又ハ事業所				
植村製薬株式會社	八五〇、〇〇〇円	全額	植村雄吉 築山秀治 外弐名	京城府城東区新堂町二ノ七	京城府日掛本石町三ノ六、大政本北洞五丁目	京城府新堂町二ノ七 日掛本石町三ノ六、大政本北洞五丁目 外ニ仁川府、陸州島、釜山府ニ各一	医薬品製造販売	従業員 四〇、〇〇〇円	共同経営ニ接収手続ヲ完了、ソノ指導下ニ新会社ヘ事業引継ヲナス	東京都中央区日本橋本石町三ノ六　植村製薬所内

108

整理状況			(2) 当該物件の現況				
送金、供託その他資金の準備状況	官庁の許可等の状況	残存処理に要する経費の調弁状況及びこれに対する要望事項	当該社員の氏名	当該社員の住所	当該社員と他の社員との利害関係	当該社員と他の社員との利害関係	
金融機関より	官庁名		株式会社	引揚社員	引揚社員と他の社員との利害関係		
十二	受理済		代表者及び代表者以外の役員	引揚社員の住所	引揚社員と他の社員との利害関係		
金	金						

(五) 引揚社員ノ状況									
引揚社員ノ生活状況	引揚社員ノ数	就職ニ関スル斡旋件数	就職ニ関スル希望状況	就職ニ関スル斡旋状況	大陸員ノ有無	身元保証ニ関スル斡旋状況	其ノ他援護ニ関スル事項	引揚社員ノ思想動向	支ノ概況
引揚社員ハ大体ニ於テ順調ニ生活ヲ為シ	一名	一		壹名ノ計画ヲ為シ	不明二				

16. 9. 5,000
8.8×6.3

18

朝鮮興業株式會社

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十年五月三十日提出

(一) 終戰ノ時ニ於ケル

名稱	朝鮮興業株式會社
資本金	公称 三、〇〇〇、〇〇〇円 払込 三、〇〇〇、〇〇〇円
役員氏名	朝鮮人株主數　十三名 朝鮮人払込額　七、一〇〇円
本社ノ代表者氏名	會社ノ代表者ハ西條後穂積眞六郎
本社ノ所在地	東京都神田區駿河臺三丁目六番地
支社出張所	朝鮮 黃州、木浦、恩津、大田、慶山、梅州
事業目的	朝鮮ニ於ケル農事經營
事業場	昭和二十年五月末軍政廳ニ接收セラレ軍政廳ノ任命セル新社長金中洙氏ニ引渡ヲヘリ

(二) 引揚ノ狀況及事業引繼ノ狀況

現在地	東京都千代田區神田駿河臺三ノ六
現在役員氏名	西條後穂積眞六郎、中間高州、大橋進一、相澤長三、山本喜己

(　　)

16. 9. 5,000
8.8×6.3

朝鮮興業株式會社

(四) 會社ノ任免	(五) 現狀
重役	重役ノ氏名
重役ノ異動	重役ノ異動ハ左ノ如シ
重役ノ任免	重役ノ任免ハ左ノ如シ
重役ノ報酬	重役ノ報酬ハ左ノ如シ
重役ノ賞與	重役ノ賞與ハ左ノ如シ
重役ノ退職給與金又ハ退職給與金ノ引當	重役ノ退職給與金又ハ退職給與金ノ引當ハ左ノ如シ
重役ノ特別利益	重役ノ特別利益ハ左ノ如シ
重役ノ特別損失	重役ノ特別損失ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡	重役ノ缺損補塡ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當	重役ノ缺損補塡ノ引當ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ理由	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ理由ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足	重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ノ補足ハ左ノ如シ
重役ノ缺損補塡ノ引當ノ異動ノ金額ノ内訳ノ明細ノ説明ノ補足

16. 9. 5,000
8.8×6.3

朝鮮興業株式會社

引揚社員數	四五家族					
引揚社員自社就業狀況	社員一、獨立					
引揚社宅ノ配分面ノ設置狀況	大部分自家若干官舍及他ニ就職セシモ其數詳ナラズ					
引揚ケ者ノ生活狀況	生活適ニ、鳥根一、秋田一、長崎一、大分一、そ他一、岐阜二、島根一、鳥取一、岡山二、山形一、福井一、大阪一、兵庫二、佐賀三、福岡四、佐島一、廣島五、鹿兒島三、靜岡一、佐賀二、秋田一、靜岡一、佐賀二、奈良三、高知一、岡山一、					
病者ノ數	三十五名					
遺族ニ對スル扶助狀況	三名					
遺族ノ生計狀況	現在ニ於テハ扶助ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ナシ					
未亡人ノ再婚狀況	何レモ國家ヨリ扶助ヲ受ケ其ノ他不明					
引揚ケ者ノ恩給關係	不明	現在ニ於テハ扶助ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ナシ	何レモ國家ヨリ扶助ヲ受ケ其ノ他不明	三十二名 實際ニ於テハ扶助ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ナシ	會社ノ斡旋ニ依リ就職シ獨自ニ扶助ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ナシ	多ク、有家族者ハ國家ヨリ扶助ヲ受ケ其ノ他不明

16

別紙

昭和廿貳年六月五日

引揚法人ノ現狀調査 昭和二十二年五月三十一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業種目		引揚ノ際ノ措置及事業ノ狀況	現在地所
	公稱	拂込		本社	支社出張所				
株式會社大橋農場	弐百七十万円	百七十五万五千円	取締役大隅市長大隅四郎、大隅春子、大隅ミヨ	朝鮮全羅北道益山郡裡里邑裡門町一〇五番地	ナシ	朝鮮全羅北道益山郡、全堤郡、沃溝郡。岐阜縣大垣市、吉城郡、益田郡。長野郡北佐久郡、西筑摩郡	農牧業	朝鮮人社員ニヨリ新韓公社ヘ指定ニヨル主要仕者ニ事務一切ヲ	岐阜縣大垣市丸ノ内三丁目四三番地大橋四郎方
								継ク事業モ無ク其ノ他主要仕者ニ於テ在宮ス	

決算後の処分			
当期純利益の処分			
決算	株主、投資家、債権者、税務署、従業員、取引先、地域住民、社会一般		
	株主、投資家		
	証券会社、投資銀行、アナリスト、機関投資家、ファンド		
	株主、投資家、証券会社、投資銀行、アナリスト、機関投資家、ファンド		
社会（IR）	取引先、金融機関、株主、投資家、証券会社、投資銀行、アナリスト、機関投資家、ファンド		
	株主、投資家、証券会社、投資銀行、アナリスト、機関投資家、ファンド		
	株主、投資家、証券会社、投資銀行、アナリスト、機関投資家、ファンド		

No.

昭和廿貳年六月五日

朝鮮事業者會御中

調査人 [illegible]

拝啓

毎々御配慮有難く奉謝候

陳者表記ニ関シ別紙ノ通リ御送申上ノ当ノ手續ニ依リ御処理願ノ上

御君申上度 左右御承引ノ程御願申上候

敬具

東京都麹町區丸ノ内二ノ十八(岸本ビル)
朝鮮石油株式會社東京事務所

15

別紙

昭和廿貳年六月廿日

東京都銀座町區丸ノ内二ノ十八（岸本ビル）

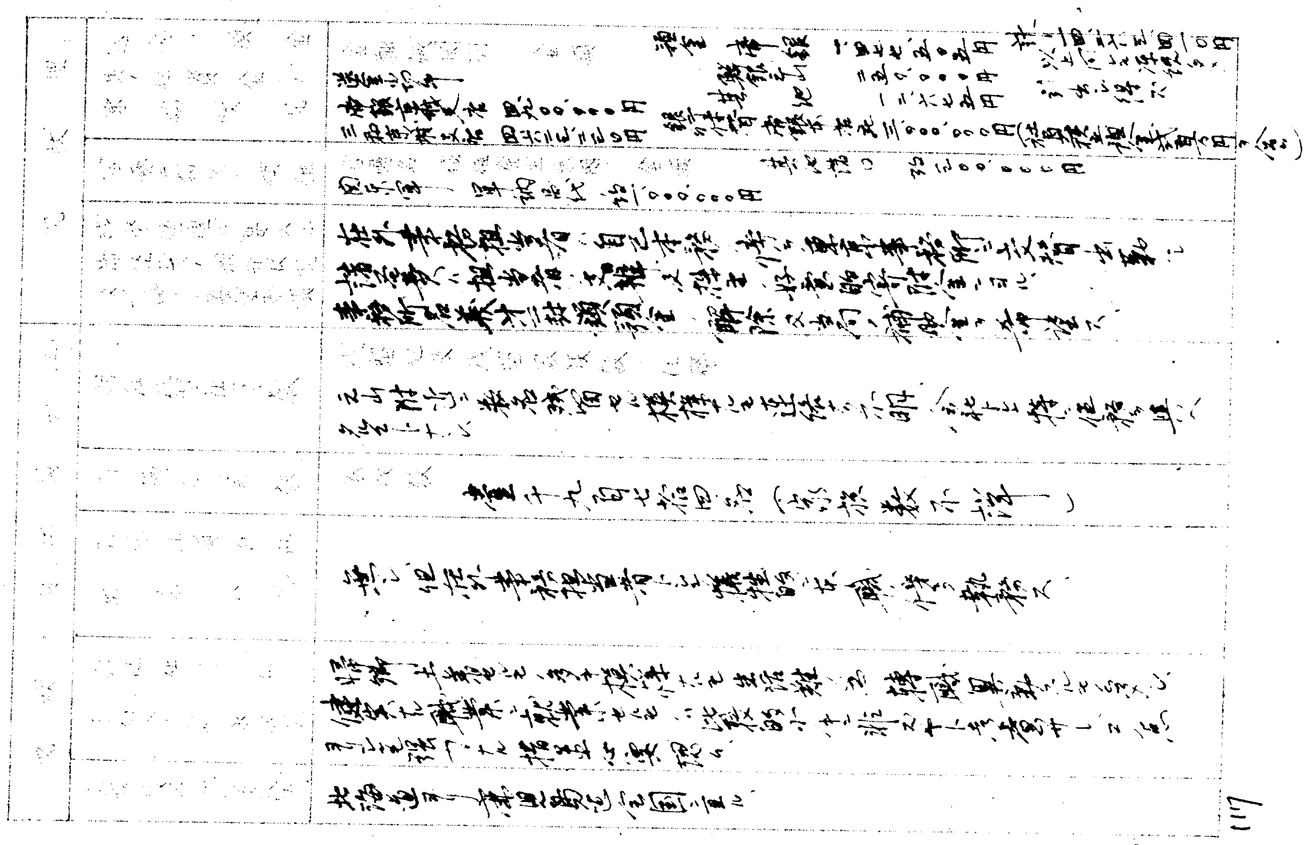
朝鮮石油株式會社東京事務所

引揚法人ノ現狀調査（昭和二十二年五月末日現在）

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業種別	現在ノ狀況	備考
	公稱	拂込		本社	支店出張所	事務所			
朝鮮石油株式會社	金五千萬圓也	金參千五百萬圓也	木村義雄（社長）大坪太計雄（副社長）中山彌一郎（專務）田中市吉（常務）林田政吉 大石武夫 藤木幹雄（監査役）賀田直治 代表取締役 木村義雄	京城府中區黃金町一丁目一八〇番地	東京都千代田區丸ノ内二丁目一八番地 岸本ビル內	朝鮮人勞働者數 壹弐〇參參七五圓也	石油精製業	南鮮地區ハ從業員ノ殘留セシメ其ノ他ハ當廳ノ指示ニ從ヒ任務ヲ終了セリ 北鮮地區ハ全ク成行ニ任セアリ 廿年十月十五日米軍政廳ヨリ接收命令アリシモ殘留要員ニ接收委員 指示ニ基キ接收ヲ拒否セリ	引揚ケタ

116

決裁（三）			既往並ニ之ニ対スル意見
			回覧者ノ氏名又ハ合議ヲ要スル者ノ氏名
	本省	主務課ノ意見	当社ハ四社三係ノ事ヲ以テ、財産ノ事ヲ以テ、事業ノ建設ニ関シ之ヲ同ジ
		関係課ノ意見	左ノ次第ニ付事業ノ経営、新規事業ノ決定、意見ノ調整ヲ図ル為メ
		本省ノ決定	
	支部	支部長ノ意見	有ル様ニ付テハ、事業ノ経営ニ関シ、事業ノ経営ニ関シ、事業ノ経営ニ関シ



日華油脂株式會社
神戸市神戸區東川崎町二十三番地
代表電話三宮㊀二七五〇番
神戸中央郵便局私書箱第八三四號

第一五號

昭和廿二年十月二十日

東京都千代田區内幸町一ノ二
東拓ビル内
大藏省管理局管理課御中

神戸市生田區東川崎町貳拾參番地
日華油脂株式會社内
無盡藏三等社

引揚法人ノ現狀調査依頼ノ件

頭書ノ報告書左ノ通リ御報告申上候間宜敷御取計被下度御依頼申上候

記

一、朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財產ノ狀況

以上

追而　其ノ他ハ既ニ御報告申上候通ニテ異動無之ニ付省略仕候間御諒承賜リ度候

又拜

々々

No.

年　月　日

昭和廿弐年六月廿日

22

商号新緑の節、益々清栄奉賀

陳は引揚法人の現状調査回答の通申告可致候処

六月六日　大洋物産株式会社

[illegible]

[illegible]

[illegible]

No.

農業 朝鮮咸鏡南道咸興府本町四丁目参番地
朝鮮事業有限公司
代表取締役 鎌田 [illegible]

改編 太洋物産株式會社

代表取締役 鎌田 [illegible]

別紙

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月三十一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 工場又ハ支店出張所	事業種目	引揚ニ際シテノ引継又ハ處置及事業ノ狀況	現在地
朝鮮實業株式會社	公稱 五百四拾九萬圓 拂込 四百五拾九萬圓	朝鮮人株主數 無シ 朝鮮人拂込額	取締役社長 鐘田憲夫 業務執行役 取締役 武田練、細澤實 監査役 鐘田正光 代表取締役 鐘田憲夫、鐘田正光、	香川縣高松市四番丁五拾參番地	朝鮮全羅南道木浦府祝町參丁目。	土地其他不動產ノ買入、農業及之ニ附帶ス事業、植林畜業、金錢貸付ノ業、有價証券ノ所有。	永年勤續セル朝鮮人鄭學鳳ヲ木浦支店長ニ任命シテ經事ヲ依託セリ、其後忠實ニ管理シ二十年度小作料ヲ收納シ二十年五月頃迄管理ヲ繼續セル情報アリ其之後ノ狀況不明	香川縣高松市四番丁五拾參番地

(20)

(一) 整理後ノ社長	(二) 整理後ノ状況			(四) 整理ノ経過	
	事業経営				
	社長重任ノ経緯	整理後ノ事業経営ノ概況	整理後ノ事業経営ノ概況		
取締役社長鎌田寅夫、取締役副社長、専務取締役鎌田正光 取締役、武田譲、細淵宗治郎、鎌田栄、多賀榮吉、古賀美國、橋川克明、宇田川、農林局長、鎌田晃 監査役、品治隆	多賀榮吉				
		製材、木材業ヲ経営シツツアルモ漸ク其緒ニ就キタルニ過キズ			
			資金難ニテ事業経営難ノ極ム		
			在外資産補償ノ内金参百萬圓程度ノ先支拂ヲ請ヒ、其支拂困難トセバ低利資金参百万圓程度ノ貸付ヲ望ム		
	支拂済	債主総会ニテ八割ノ決議ヲ得タル後、会社ニ於テ八割ノ金額ヲ支拂ヒタル上、残額ニ付テハ支拂ヲ猶予スルノ旨ノ決議ヲ為シ、其ノ決議ニ基キ会社ニ於テ八割ノ金額ヲ支拂ヒタル上、残額ニ付テハ支拂ヲ猶予スルノ旨ノ決議ヲ為シ、其ノ決議ニ基キ会社ニ於テ八割ノ金額ヲ支拂ヒタル上、残額ニ付テハ支拂ヲ猶予スルノ旨ノ決議ヲ為シ、其ノ決議ニ基キ	資金難ニテ十分ナル支拂ノ届カザルベシ	
	支拂済	債主総会ニテ八割ノ決議ヲ得タル後、会社ニ於テ八割ノ金額ヲ支拂ヒタル上、残額ニ付テハ支拂ヲ猶予スルノ旨ノ決議ヲ為シ、其ノ決議ニ基キ会社ニ於テ八割ノ金額ヲ支拂ヒタル上、残額ニ付テハ支拂ヲ猶予スルノ旨ノ決議ヲ為シ、其ノ決議ニ基キ	資金難ニテ十分ナル支拂ノ届カザルベシ		

現状	家族、出資金、預金、出資金、現金	内地銀行ニ送金シテ凍結セラレ、預金ハ引揚ノ際ニ預金トシテ持チ帰ルヲ得ルノミニテ外ニ処分ヲ許サレズ
	官庁ニ対スル債権	無シ
	受ケタル損害ニ対スル補償ノ要求又ハ現況	預金ニ付テハ調査ニ応ジ補償ノ一部トシテ最低生活程度ノ範囲ニ於テ現地通貨ニテ支払ハルル筈ナルモ未ダ何等ノ処置ヲ受ケズ
引揚ノ為ノ処置	家族ノ引揚ニ関スル希望	無シ
	引揚ニ関スル官庁ノ指導	政府ノ指導ニ従ヒ引揚ノ準備ヲ為シツツアリ
	引揚ニ関スル官庁ノ援助	政府ノ援助ニ依リ引揚ノ準備ヲ為シツツアリ
	引揚ニ関スル官庁ノ斡旋	大都市ニ於ケル引揚ニ関スル斡旋ハ行ハレツツアリ

121

| | | |

昭和廿弐年六月廿日

引揚法人の現状調査　昭和二十二年五月一日現在

(一) 終戦當時の状況

名稱	朝鮮石油配給株式會社
資本金	公稱　六百万円　朝鮮人株主数　二名
	拂込　六百万円　朝鮮人拂込額　九万八千五百円
役員氏名及代表社員氏名	小池泉、星子敏輝、木お義雄、根石儀一、立石信吉、永竜　柱松尾千吉
営業場所	本社　朝鮮京城府西大門区義州通一丁目百七十八番地
	支社出張所　大邱、本浦、群山、事務所　東京、下關、元山、清津、元山
事業目的	石油及其の代用品の買取販賣、石油の輸移出入、石油價格の調整

(二) 引揚に際し執りたる措置及事業引継の状況

米軍々政廳の許可を受けたる者　米人ロビンソン外鮮人二名に対し前記ロビンソン外二名の全株式等は従前同様の従業員たる朝鮮人を以て事業全般を当分の間引継ぎ事務上困難なる点は米軍々政廳の指導援助を受ける筈

(三) 引揚後の状況

現在役員氏名	北多摩郡北多摩郡[illegible]寺所在多[illegible]せ
在外事務担当者氏名	岸本庄乃吉、堀真一、北橋寛、五島悠、石川豊三一
継続再開の状況	事業の性質上再開不可能
事業引継の状況	従前の内地の取引先に対しては継続再開の予定なるも海外の企業先に対しては断念未だ単に強務整理をなしつつあるに過ぎず
事業遂行上の障碍	前記の如く国内取引先に対しては継続再開の予定なるも海外の企業先に対しては断念未だ単に強務整理をなしつつあるに過ぎず
事業遂行上の要件	以上の如くにして現在に在りては前記在外事務担当者中山岸本名にて残務を当り居れるも残務整理費金を充当しつつある本一封鎖預金に対し枯渇となる事実あるをもては本一封鎖預金を本一封鎖預金に組入れ引揚特別の御配慮を要望致します

(123)

封鎖預金の支拂方特別の御配慮を要望致す

15

昭和廿弐年六月　日

引揚法人の現状調査　昭和二十二年五月一日現在

(一)終戦當時の状況

名稱	朝鮮石油配給株式會社
資本金	六百万円
役員氏名及代表社員氏名	朝鮮人拂込株数　二名 朝鮮人拂込額　七万八千五百円 小池泉　星子敏輝 小池泉　星子敏輝　木村義雄　根石儀一　立石信吉　永竜　他
営地 本社	朝鮮京城府西大門区義州通一丁目百七十八番地
営地 支社出張所	支店　釜山　平壌　元山　出張所　大邱　木浦　群山　事務所　東京　千葉元山
営地 事業場	朝鮮京城府西大門区義州通一丁目百七十八番地
事業目的	石油及其ノ他油品ノ販売

(二)引揚に際し志望する指置及事業引継の状況

米軍ヲ政庁ノ許可ヲ受ケタル者　米人ロビンソン外鮮人二名ニ対シ志望ニ応ジ前記ロビンソン外二名ノ権利義務ヲ従前ノ如ク引継ギタルガ前記ロビンソン外二名ノ権利義務ハ従前ノ如ク当社ニ帰属シ当社ハ前記ロビンソン外二名ノ権利義務ヲ従前ノ如ク引継ギタルモノニシテ事業ハ従前ノ如ク当社ニ於テ経営シ居リ事業ニ関スル債権債務ハ従前ノ如ク当社ニ帰属

（五）引揚社員の状況

朝鮮残留社員数（残留地、残留家族数及住所共）	全部引揚げたるものご推せらるるも連絡付かず現今まで判明せず（三八名内地に入隊忘れる者はまだ帰還せざるものあるべきと推せらるるもいまだ判明せざる者）約四〇名、家族約三〇〇名
引揚社員並に家族数	引揚社員（在留中死亡者を含む）約四〇名、家族約三〇〇名
引揚社員の現在の業状況	事業を全営し居らざるをもて従事せる者無き
引揚社員の他の方面への就業状況	他の会社並個人全営の商店又は工場等に就職せる者四〇名
引揚社員の地方分散状況	判明せるもの左の如し 長野県 一〇名　岡山県 一名 群馬県 四　千葉県 一　秋田県 一名 埼玉県 四　福島県 一　広島県 一名 新潟県 二　山口県 四 神奈川県 一　鳥根県 一
引揚社員の住宅生計状況	内地に住宅並に耕地を所有し農業に従事せる者数名、会社及個人全営の商店又は工場等に就職せる者三〇名、其の他は進駐軍要員、炭坑其の他の重労働に従事せる者、路頭に迷える或はブローカーを業とする者等なるが各地方散在志連絡つき難き状態にあるが生活の激変に由り心身共に疲労困憊、病気の罹りやすき者もあり。

（五）引揚社員の状況

当会入営者数（朝鮮在勤社員に限る）	三十二名
戦死、戦病死者数	判明せる者一名
遺族に対する優遇	慰藉料並に弔慰金を贈呈（一件一万円）
遺族の生計状況	引揚完了判明せず随つて生計状況不明
未復員者数	不明
其の家族に対する優遇状況	仝上
其の家族の生計状況	仝上
引揚社員の思想的動向	引揚社員の大部分は本人又は妻女の郷里田舎に一定財産を有せる為、都会地に住み憧れるが不合理、住難く且つ親戚知己等の援助し難き事を極め居るに拘らず、親戚知己を恨みつつ都会を慕い、政府の救援施策も承知徹底に欠ける為めか又引揚者の多くは自暴自棄の状態にあり、また引揚者の多くは自暴自棄の気味あり、為めには国法をも無視せんとする傾向さえ見ゆる。
其の他	前記の如き実状なるをもて引揚者厚生問題は上司各位に御願いしたきなりと痛感せらるるをもて引揚者厚生問題は上司各位に御願いしたきなりと痛感せらるるに付、何等かの施策を要望してもまざるものなり。

No. 1.　　昭和 ○○年 10月 30日

東京都京橋區京橋三ノ二 片倉ビル内

大東鑛業株式會社

電話 京橋(56)五五〇一番
三三九七四〇七番
登録受信番號（ケウバシカタクラダイトウ）

在外財産調査会 御中

引揚法人、現状調査ノ件

標記ノ件ニ関シ、別紙ノ通リ報告書ヲ提出セヨ旨ノ御通知ニ接シマシタガ、本項ニ該当スル事実ハ全クナイノデ、別紙ノ通リ報告書ヲ提出致シマス。

記

(一) 別紙ノ本社、在外会社ノ日本国内ニ於ケル財産ハ、

イ、銀行預金其他流動資産　一三、一九八、四五四

ロ、建物　未定　住宅一棟　三三、四八七、六五

ハ、備品付属品　一、〇四五、六九〇

ニ、有価証券其他投資（本邦会社）三二四、三八四、七七

（外国会社）

(二) 負債ハ、一六一、四五〇、一四一

以上

125

No. 2　　昭和　年　月　日

東京都京橋區京橋三ノ二　片倉ビル内
大東鑛業株式會社
電話　京橋(56)一五五七番
三三九二〇一番
四七〇番
登錄受信番號（ケウバシカタクラダイトウ）

尚右残産ハ別位ニ完成ヨリノ迄金小切手アリ
昭和二十九年九月八日発行（四五ノ四八四七）米国銀行振出
〃　〃　（四五ノ四六二五）　〃　八七、六〇〇円
合計　一三四、九五四、九三
右ハ当銀行ニハ其ノ都度ノ取引ニ過ギズ　右ノ外産トシテ之ヨリ迄
封鎖サレ居ルモノニテ之カ解除ヲ切望ス

両国ノ条
昭和二十年八月十五日休戦協約ノ締結ニ依リ戦争ハ終了シタルニ拘ラズ
交戦国ハ其ノ休戦ニ違反シ引続キ日本輸入ヲ禁止シ
ニテ枚舌ヲ見ダ

以上

No. 完

昭和二十年十月二十日

大阪市南區心齋橋筋壹丁目百拾八番屋敷 電話南(一二七四一)(一三五五一)八

大丸ビル六階

㊫ 江商株式會社

經理部營業課

朝鮮事業會社ヘ
拜啓仕候
一、引揚該人ノ現狀調査ニ關シ追加ノ件、
陳者頭記ノ引揚該人ノ現狀調査ニ關シ六月六日附貴信ニ從ヒ追加ノ
件ハ別紙報告申上候ヘバ、十月六日附貴信ニ從ヒ追加ノ
本六項ノミ左ニ別報告致ス可ニ候間宜敷御査收賜ハ候
敬具

記

(六) 朝鮮ニ本社ノ不動産ニ關シ本社ノ日本國内ニ於ケル所有ノ財産ノ狀況
本項ニ該當ナキモノトス

(27)

昭和二十二年十月二十二日

東京都中野区鷺宮四丁目四六番地
朝鮮人造石油株式會社東京事務所
大藏省管理局管理課 河中一
引揚佐人ノ現狀調査報告

昭和二十二年十月十六日河中照會ノ首題ノ件ニ関シ左記ノ通御報告申上ゲマス

記

(六)項 朝鮮ニ本社、在ル会社ノ旧東京國ニ於ケル財産狀況

一 不動産

土地 價格 十壱万円

同積 二三八坪

取得年月 昭和二十年三月 帳簿價格

所在 東京都大森区大井町五〇九五

128

朝鮮人造石油株式會社

管受 昭22.11.7 第4F46

東東五六

建物　價格　拾參万円

近坪　一〇六坪四八

取得年月　昭和二十年二月　帳簿價格

許左　東京都大森区大井町石町五〇九五

(二)　銀行預金

三菱銀行池袋支店預金　百三十九万四千九百九十円也

合計資産金百五拾三万四千九百九十九円也

東東五六

引揚事業人ノ現況調査　昭和廿二年十月一日現在

| | | |

引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	社員引揚手當金及退職金 二十五人分 一〇四、五五〇圓 （一部退職者ヲ除キ他ヘ（親會社ニ復職ス）
引揚社員ノ身許積立金ノ未拂口數及金額	ナシ
引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	二口 一一、五〇〇圓
社ノ會計ノ狀況 送金、預金其ノ他資金ノ凍結狀況	三和銀行京城支店 預金 三六、七九三圓 大日本帝國政府 國庫債券其他證券 六三、四一一圓 國民貯蓄預金 八、六九九圓
當事ニ對スル債權	朝鮮交通局 掛貸金 四二六九圓 朝鮮總督府 仮拂金 二一、七三〇圓
殘務整理ニ要スル諸經費ノ調査狀況及之ニ對スル要望事項	自昭和廿一年一月至同年四月 重役二名俸給合計高 一一、二五〇圓 同旅費車馬賃合計高 三、七〇五圓 諸雜費 一、八〇〇圓 合計 一六、七五五圓 右ハ親會社關西ペイント株式會社ヨリ借入金ニテ充當ス 昭和廿一年十月以降ハ從業員ヲ親會社ニ吸收シ彙ネテ殘務ヲ處理シツツアリ

朝鮮移植社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況	引揚社員ノ生活状況	応召入営者数	戦死戦病死者数	遺家族ニ対スル処遇状況	遺家族ノ生計状況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル処遇状況	其ノ家族ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向
ナシ	社員数 一七人 家族数 二四人	親会社ニ復職シ適所ニ夫々配置勤務セシム			内地在勤社員ト同様普通程度ナリ	一四人	大人	本人ノ部隊ヲ十分考慮シ弔慰金ヲ贈呈ナシ遺族ヲ慰謝ス	戦死戦病死ニヨリ退職ノ上扶助料ヲ給与セラレ生計ハ安定シアリ（不明ナリ）	四人	昭和廿二年四月迄毎月諸手當支給ス 以後整理上退職金贈呈ス	右ノ如ク本人ヲ一應退職トナシタル後家族トノ連絡モナク詳細ハ不明ナリ	本社ヘノ復職ニ當リ本人ノ經歴、能力ヲ考慮シテ夫々職場ニ配置サレ各員在外地ニ於ケル物心兩面ノ痛苦ニ屈スルコトナク一意生産復興ニ精進シツツアリテ特ニ ナル思想的動向ヲ認メズ

(ロ) 朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産ノ狀況	
財産ノ種類	
目下當局ニ請求中ノ共同火災保険金合計參參七、貳七七圓五五錢也 右ハ内地ニ於テ支拂ヲ受クベキ約束ノモノニテマ司令部ノ許可アリ次第入金ノ豫定ナリ	

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社出張所	所在地 事業場	事業目的	引揚ニ際シトリアル措置及事業引継ノ狀況	現在住所
靖理海陸作業株式會社	公稱 五十万円 拂込 五十万円	朝鮮人株主数 半数 朝鮮人拂込額 二八五〇〇円	代表社員 岩邊 豊	朝鮮靖津有里町七番地	鴻池出張所 陳設倉庫 大和町七番地		解荷役業 倉庫業	終戰ノ際ハ八月十五日未ダ突如ノ敵單空襲ト艦砲射撃ヲ	取ノ敢ヘ引揚ゲ致ス事ト致シ池田村中之谷大八〇番地ニ
								上陸ヲ行ヒ日立軍ト交戰戰闘地化セラレ何等措置ヲ	私義出張那ニ於テ直接ヲ以テ左記私義宅ニ

(三) 引揚後ノ狀況					(四) 會社ノ經		
現在役員氏名	在外事務担當者氏名	事業概要			引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	引揚社員ノ申許積立金ノ未拂分口數及金額	引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額
		繼續再開ノ狀況	轉換ノ狀況	事業遂行上ノ險路	事業遂行上ノ要望事項		
代表者	代表者	繼續再開ノ狀況	轉換ノ狀況	資金關係	事業遂行上ノ要望事項	引揚社員ノ申許積立金ノ未拂分口數及金額	引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額

処理状況					(五) 引揚社員ノ状況					
送金、預金其ノ他資金ノ始末状況	官庁ニ対スル債権	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況
金融機関別 金額 金一三、〇〇〇円 金一七、〇〇〇円 連絡サル	官庁名 債権発生原因 金額 ナシ		残留地及残留家族数 ニツヘリヤ 不明 七	家族数 三〇		致シ方審定シ居ラズ		仰望引揚ケ

（五）引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	応召、入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死、戰病死者数	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者数	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向
概一般ノ資金ナリ、其ノ日送レノ狀態。	〃	〃ナシ	〃	〃	ナシ	〃	ナシ	

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
	財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、著債權、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再商轉換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

引揚法人ノ現狀調

(一) 終戰當時ノ狀況

名稱	東山農事株式會社
資本金	公稱 壹百萬圓 拂込 八百萬圓
役員氏名及代表社員氏名	岩崎隆彌、相川貞吉、君塚愼、德弘國太郎 鹿島良信、岡東浩、上村金治、前田幸太郎
所在地 本社	東京都千代田區丸ノ内貳丁目拾四番地
所在地 支社出張所	支店 朝鮮京畿道水原郡水原邑梅山町壹丁目貳番地
所在地 事業場	全北農場 朝鮮全羅北道完州郡助村面東山里六百八拾五番地 全南農場 〃 南道羅州郡羅州邑大正町壹番地ノ壹
事業目的	農業、林業及畜牧畜

(二) 引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ狀況

支店本部及各農場毎ニ一團トナリ米占領軍ノ指揮ニヨリ全員引揚セリ
事業ハスベテ米占領軍ニ引渡シ各部署ニ於テハ在籍朝鮮人社員ニ引継ヲ了セリ

引揚後ノ狀況

現在役員氏名	君塚愼、柳瀨伊藏、鹿島良信、岡東浩、平田眞
在外事務担當者氏名	高橋貴一
事業概要 繼續ノ再開ノ狀況	昭和二十二年五月新タニ群馬縣群馬郡伊香保町ニ事業所ヲ設ケ森林ノ伐採製材事業ヲ開始セリ
事業概要 轉換ノ狀況	十ニ
事業概要 事業遂行上ノ隘路	金融、資材難
事業概要 事業遂行上ノ要望事項	諸種ノ統制ヲ枠ヲ緩メ業者ノ自由ナル活動範圍ヲ拡ゲテホシイ
引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給ノ狀況	退職金 四五〇、三六五・〇〇円
引揚社員ノ身許積立金未拂分口數及金額	十ニ
引揚社員ノ會社ニ対スル預金未拂分口數及金額	四三口 二六三 二九二・七四円

(四) 會社ノ經理狀況

送金、預金其ノ他資金ノ凍結狀況	朝興銀行 五〇、〇〇〇・〇〇円 朝鮮殖産銀行 二八、七一四・八五円 朝鮮金融組合 一八八、四二九・〇九円
官廳ニ対スル債權	十ニ
殘務整理ニ要スル諸経費、調弁狀況及之ニ対スル要望事項	十ニ

(五) 引揚社員ノ狀況									(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於ケル所有スル財産狀況
朝鮮殘留社員數	引揚社員數	引揚社員自社就業狀況	引揚社員ノ他方面ヘノ就業狀況	引揚社員地方分散狀況	引揚社員ノ生活狀況	應召入營者數	戰死、戰病死者數	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者數	其ノ家族ノ生計狀況	引揚者ノ意想的動向	財産種類
ナシ	社員三七名 家族約一五〇名	社員中一名從員ニ就任、一名本社在勤、	關係會社ヘ就職斡旋セシ者有ルモ多クハ歸鄉ノ上農耕ニ、從事シ或ハ轉業商事部門ニ就職シツツアリ、	全國ニ分布シ居ル、	何レモ内地ニ生活基盤ナキ事トテコノインフレ下極メテ悽ノメル生活ニ喘ギツツアリ、	一六名	一名戰死	弔慰料、特別弔慰金、普通弔慰金等ノ贈リ慰ロニ弔慰ノ方法ヲ講ジタリ、	本人獨身ナリシタメ遺族ハ本人戰死ニヨリ直ニ生活上、脅威ニ曝サルルコトナシ、	二名	何レモ耐エ生活ニ苦シミ居リ生計ノ途ヲ講ジ本人ノ歸還ニヨリ見生サント念願セル者ナシ	持記スベキコトナシ	該當ナシ

昭三十年十一月五日

東京都國分寺町字多一百九七
朝鮮石油配給株式会社
東京事務所長

大蔵省管理局
管理課

引揚法人の現状調査の件

標題の件の内(六)別紙の報告申上ます

記

(六) 法人ニ属スル電信電話ノ有無

國本日ノ社會ル在ノ社本＝餅朝 況狀產財ルス有所方持＝內 (六)
財産ノ種類 金頭行銀 （鎖封＝第ノ但）
引揚法人の現狀調査（一ヨリ五マデハ已ニ報告濟） 内譯 八八、六六二四　三一　肥後銀行　山鹿支店 八、五〇五四　九二　三菱銀行　國分寺支店 計　一、九八四　二三

朝鮮石油配給株式會社

昭和二十二年十一月三日

引揚法人ノ現況報告ノ件

昭和二十二年十月六日付御依頼ニヨル首記ノ件ハ別紙ノ通リ御報告申上ゲマス

東京都港區赤坂溜池町三〇番地ノ四
朝鮮電工株式會社

東京都千代田區内幸町一ノ二 東拓ビル内
大藏省管理局管理課

以上

縛ノ	無
有ノ	引物件ノ會計ニ對シ未拂分ノ
無	引物件ノ身許保證金ノ
引物件ノ	無
引物件ニ對シ	無
引物件ニ對シ	無
引物件ニ對シ

況ノ概況	引揚町内会別人口	金額
思引揚町内会別人口	湘南支店（宇加金庫）	二〇〇〇〇〇
思引揚町内会別人口	鵠沼支店（當座）	一〇七四八九
思引揚町内会別人口	湘南支店（當座）	二七五四八八
思引揚町内会別人口	支店（當座）	四四五四二
思引揚町内会別人口	支店（當座）	一五四九二六

引揚者ニ対スル救護ノ概況

思引揚町内会別人口

引揚者ニ対スル救護ノ概況

区分	人数
引揚者総数	一七〇名
内訳	
男	八七名
女	八三名
年齢別	
一〇歳未満	四二名
一〇歳以上二〇歳未満	三一名
二〇歳以上三〇歳未満	二八名
三〇歳以上四〇歳未満	二四名
四〇歳以上五〇歳未満	一九名
五〇歳以上六〇歳未満	一二名
六〇歳以上	一四名
職業別	
農業	三一名
漁業	一八名
商業	二六名
工業	一九名
公務自由業	一四名
無職	五名
家族	七五名

引揚者ニ対スル救護ノ概況

区分	人数
引揚者総数	一七〇名
内訳	
男	八七名
女	八三名
年齢別	
一〇歳未満	四二名
一〇歳以上二〇歳未満	三一名
二〇歳以上三〇歳未満	二八名
三〇歳以上四〇歳未満	二四名
四〇歳以上五〇歳未満	一九名
五〇歳以上六〇歳未満	一二名
六〇歳以上	一四名
職業別	
農業	三一名
漁業	一八名
商業	二六名
工業	一九名
公務自由業	一四名
無職	五名
家族	七五名

引揚者ニ対スル救護ノ概況

区分	人数
引揚者総数	一七〇名
内訳	
男	八七名
女	八三名
年齢別	
一〇歳未満	四二名
一〇歳以上二〇歳未満	三一名
二〇歳以上三〇歳未満	二八名
三〇歳以上四〇歳未満	二四名
四〇歳以上五〇歳未満	一九名
五〇歳以上六〇歳未満	一二名
六〇歳以上	一四名
職業別	
農業	三一名
漁業	一八名
商業	二六名
工業	一九名
公務自由業	一四名
無職	五名
家族	七五名

引揚者ニ対スル救護ノ概況

区分	人数
引揚者総数	一七〇名
内訳	
男	八七名
女	八三名
年齢別	
一〇歳未満	四二名
一〇歳以上二〇歳未満	三一名
二〇歳以上三〇歳未満	二八名
三〇歳以上四〇歳未満	二四名
四〇歳以上五〇歳未満	一九名
五〇歳以上六〇歳未満	一二名
六〇歳以上	一四名
職業別	
農業	三一名
漁業	一八名
商業	二六名
工業	一九名
公務自由業	一四名
無職	五名
家族	七五名

引揚者ニ対スル救護ノ概況

区分	人数
引揚者総数	一七〇名
内訳	
男	八七名
女	八三名
年齢別	
一〇歳未満	四二名
一〇歳以上二〇歳未満	三一名
二〇歳以上三〇歳未満	二八名
三〇歳以上四〇歳未満	二四名
四〇歳以上五〇歳未満	一九名
五〇歳以上六〇歳未満	一二名
六〇歳以上	一四名
職業別	
農業	三一名
漁業	一八名
商業	二六名
工業	一九名
公務自由業	一四名
無職	五名
家族	七五名

次ニ掲ケル財産ハ有所ヲ於ニ内閣本日ノ閣會ニ在ノ閣本ニ鮮御 (内)

財産ノ種類	富士見町	麻布区	赤坂区	合計
	二七八五	二七〇〇〇	八五七大三五〇	圖

昭和二十二年十一月三日

東京都港區赤坂溜池町三〇番地ノ四

勁鮮電工株式會社

引揚法人ノ現況報告ノ件

昭和二十二年十月六日付御依賴ニヨル自記ノ件ハ別紙ノ通リ御報告申上ゲマス

以上

東京都千代田區內幸町一ノ二 東拓ビル內

大藏省管理局管理課殿

引揚法人ノ現況報告ノ件 九六六號

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(イ) 終戰當時ノ狀況

名稱	朝鮮電工株式會社
資本金	公稱 一〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓　拂込 七五、〇〇〇、〇〇〇圓
役員氏名及代表社員氏名	社長　佐野精一、常務　岡澤鴻治、大野金吾、後藤亮
所在地 本社	京城府鐘路區鐘路二丁目一〇〇番地
所在地 支社出張所	東京都京橋區賣町一丁目七
所在地 事業場	朝鮮平安南道鎭南浦府
事業目的	鹽金屬製鍊業

(ロ)

引揚ニ際シトリタル措置及事業引繼ノ狀況	當時建設中ニシテ終戰後一ケ月間經理事務處理ヲ引繼完了シ其ノ後一年二ケ月抑留後引揚ク

(ハ) 引揚後ノ狀況

現在住所	東京都港區赤坂備沛町三〇ノ四
現在役員氏名	河越文雄
在外事務擔當者氏名	河越文雄
事業概要 繼續、再開ノ狀況	無
事業概要 轉換ノ狀況	無
事業概要 事業遂行上ノ障碍	
事業概要 事業遂行上ノ要望事項	一、事業資金ヲ融通サレタイ 二、會社ノ幹旋ヲ願ヒタイ

(ニ) 會社ノ經ノ

引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	鑛山部會ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ
引揚社員ノ身許保證金ノ未拂分口數及金額	次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機關ニ對スル預金ト同樣ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ作備シ置カレタシ 二口　六〇七圓四一錢
引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	無

| | | |

(六) 解散ノ時ニ於ケル財産ノ種類

財産ノ種類	
積立金	二七八五七三五〇
繰越金	一七二、〇〇〇、〇〇〇
通知預金	二七八五七三五〇
定期預金	
貯金	
計	

引揚法人ノ現況調査

名称	朝鮮紡織株式會社			(一)終戦当時ノ状況			(二)引揚ノ際ノ状況	(三)引揚後ノ状況		
				資本金	役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社 支社 出張所 営業場	事業内容	㊀引揚ノ際ノ事業ノ経緯等	現在役員氏名	現在ノ住所	在外事務担当者	事業概況
	公称金壱千萬圓也 拂込金壱千萬圓也	朝鮮人(株主数(一、〇〇八株)五、四〇〇名		終戦当時ノ役員氏名及代表社員氏名 朝鮮人五名		本社 京城府 支社 出張所 大阪市 営業場	綿糸綿織物ノ製造販売	㊀引揚ノ際ノ事業ノ経緯等 昭和二十年八月以降会社ノ財産ハ在外財産トシテ凍結セラレ日本ノ株主ハ株主トシテノ権利ヲ失ヒ会社ハ米軍ノ管理ニ移リ昭和二十一年十月十日ニ至リA.G.D.ヨリアンダーソン氏ノ指名ニ依リ会社ノ財産ヲ引継ギ経営ニ当ルコトトナリ引揚ノ為ノ整理ヲ行ヒツツアリ	役員氏名 朝鮮人五名	東京都千代田区一ツ橋二丁目一番地 日東化学ビル	津島廣吉	経営再開ノ状況 転換ノ状況 事業ノ概況

会社

引継ぎたる
金貳百六拾
これに退職金
等を加減す
べき状況

三百余名ノ職員ニ対シ会社債務ニ係ル
金貳百六拾万円ハ外地関係ニ重点ヲ置キ
之ヲ引去リ残ル百余名職員ニ対シ従前
ノ俸給ヲ基礎トシ之ニ加減ヲ為シ其ノ
他ノ諸般ノ支払ヲ為スニ必要ナル
金額ヲ計上シタルモノニシテ

(明細表右記)

整理状況

引継ぎたる
負債
千弗・弗
及金額

職員ニ対スル退職金ノ支払ハ
未ダ為シ居ラズ

社債
金額

社債ハ千弗債ニシテ
明細左ノ如シ

引継ぎたる
金額

引継ぎたる金額ハ
左ノ如シ

(明細表右記)

朝鮮紡織株式會社

社債	千弗	金額	三、五〇〇、一三〇円也
社債	千弗	金額	一、九一六、三四〇円也
社債	千弗	金額	一、九八〇、〇〇〇円也
社債	千弗	金額	一、九八三、〇〇〇円也
社債	千弗	金額	一、九九〇、〇〇〇円也
社債	千弗	金額	七、三三〇、〇〇〇円也
社債	千弗	金額	一、九八

(五) 引揚社員ノ状況								(六) 朝鮮紡織株式會社ハ本社ヲ京城ニ置キ日本内地ニ有力ナル販賣網ヲ有スル
朝鮮紡織株式會社員数	十二							
引揚社員数	引揚社員数二九五名此家族約一二〇名							
引揚社員ノ自社ニ於ケル就業状況	全部就業シ居リ本店ノ指導ノ下ニ同系統ノ関係會社ヘ約十名就業セシメ今尚引續キ斡旋中							
引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	大部分ハ一旦帰鮮シ引揚ゲタル上帰農又ハ二従事スルモノ就業ヲ希望スルモノ又他ニ就職斡旋ヲ希望シ本店ニ申込ミ来リタルモノ上ル							
引揚社員ノ地方分散状況	主トシテ関西中国四国九州方面ニ分散ス							
引揚社員ノ生計状況	主トシテ農業ノ状況ニ於ケルガ如シ							
應召入營者数	朝鮮在勤社員中應召セラレタルモノ二名アリシモ引揚ゲタルモノ							
現在ニ於ケル失業者数	重症ニ対スル銀行ノ融資ノ為メ休止ノ止ムヲ得ザル者数名アルモ大部分ハ復業ノ予定ニシテ失業者ト認ムベキモノナシ							
未復業者数	不明							
其他								
引揚者ノ帰郷ニ対スル援護ノ概況	帰郷ニ際シ引揚者ニ対シ一人ニ付金壹圓ノ旅費ヲ支給セリ							
引揚者ノ生計状況	主トシテ農業ニ従事シ生計ハ概ネ安定シ居ルモノ如シ							
引揚者ノ就職斡旋状況	引揚者ニ対シテハ特ニ斡旋ヲ為サズ							
財産ノ種類	銀行預金							
銀行預金ノ金額	一、銀行預金 二、〇五三、六〇一円三九							
家賃ノ一ヶ月ノ金額	二、今後ノ家賃ノ分 四九八、六〇九円四一							
有価証券	三、有価証券 一一七、三四八円二一							
有価証券ノ数	四、最近ノ株式ノ時価 一九、〇〇〇円〇〇							
有価証券ノ時価	五、未収入金及ヒ前払金 三、〇五三、九七六円一六							
未収入金	等ノ合計							
前払金	六、有価証券ノ時価ノ内訳							
有価証券ノ内訳	別紙ノ通リ							
有価証券ノ評価ノ方法	最近ノ株式ノ時価ニ依ル							

(東京 250)

No.

昭和 22年 11月 6日

大蔵省管理課 中

引揚法人ノ現狀調査ノ件

先般引揚法人ノ現狀調査ノ依頼ヲ受ケマシタガ当社ハ本社ノ内地ニ有ル内地工場ガ主力ニシテ直台ヨリノ調査ニ対シ引揚社員ノ狀況ノミヲ記載シ得ルノミナル故今般ノ為特ニ記載シテオキマス

片倉工業株式會社

東京都中央區京橋三丁目二番地
片倉工業株式會社
電話京橋(56)代表三、一六一番
三、一六九至三、一六九番
電信略號(ヘ〇トシマルト)
登錄電信略號(ケウベシマルト)

昭和二十二年十月六日

殿

東京都千代田区内幸町一ノ二
東拓ビル内
大蔵省管理局管理課分室内
在外財産調査會

引揚法人の現状調査依頼の件

曩に朝鮮事業者會に於て御調査を依頼致したる首題引揚法人の現状調査は當在外財産調査會にとりても適切な資料と認めますから御多忙の処御手数でありますが當時御報告未済の向は至急別紙により御回報を煩はしたいと存じます。なほ、既に御報告済の向は(ホ)朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産ノ状況」の欄についてのみ御報告願います。

追て御回答の宛名は　東京都千代田区内幸町一ノ二東拓ビル内　大蔵省管理局管理課御中と御記載願います。

資料番号
153

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

東京都京橋区京橋一丁目二番地
片倉工業株式會社

(一) 終戦当時ノ状況									(二)		(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業目的		引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ状況		現在住所
	公称	拂込		本社	支社出張所	事業場					
	朝鮮人株主数										
	朝鮮人拂込額										

現在役員氏名	在外事務担当者氏名	(三) 引揚後ノ状況				(四) 会社ノ経		
		事業概要						
		継続、再開ノ状況	転換ノ状況	事業遂行上ノ障路	事業遂行上ノ要望事項	引揚社員ニ対スル退職金等諸給与ノ状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口数及金額	引揚社員ノ会社ニ對スル預金ノ未拂分口数及金額
						鉱山閉金ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	次ノ項ト共ニ政府ニ於シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、	

理状況				(五)引揚社員ノ状況				
送金預金其ノ他資金ノ凍結状況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ對スル希望事項		鮮満残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ地方面ノ就業状況	引揚従業ノ地方分散状況
金融機関別 金額	官廳名 債權發生原因 金額			残留地及残留家族数 任務	家族数 七六名	内地各工場ノ欠員ニ応ジテ適時配置ス	現在無職業者ノ	全口平均
				一名			退職者八名	主ニ自家業ニ従ス

(五) 引揚社員ノ狀況

引揚社員、生活狀況	一般社員ト同シ
応召、入営者数	（朝鮮在勤社員ニ限ル）二名
戦死、戦病死者数	二名
遺族ニ對スル處遇狀況	弔慰金各弐千圓贈呈 平均七、五〇〇円
遺族ノ生計狀況	不詳
未復員者数	二名
其ノ家族ニ對スル處遇狀況	応召手当ト自家副業ニ依リ自活ス
其ノ家族ノ生計狀況	妻帯二名月収一七〇円ノ内応召手当ヲ以テ
引揚社員ノ思想的動向	穏健

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。	

昭和二年十二月十日

在外財産調査委員会

三井油脂化學工業株式會社

別紙通リ調査ノ件

別紙ノ通リ調査報告ス

中止ス

以上

昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時の狀況	名稱	三非油脂化學工業株式會社
	資本金	公稱 二千萬圓 朝鮮人株主數
		拂込 二千萬圓 朝鮮人拂込額
	役員氏名及び代表社員氏名	取締役社長池淵謙次郎 專務取締役南進吉、藏分恒次 常務取締役 大久保立一 取締役新田藤造、西增爾一郎 監査役丹治三郎、高橋信光
	所在地 本社	朝鮮京城府中區長谷川町一一二番地
	出張所	東京都港區新橋二丁目三鐵館內 東京出張所 大阪市北區中之島三丁目三井ビル內 大阪出張所
	事業場	朝鮮江原道三陟邑
	事業目的	油脂加工品製造、鹽素系化學工業藥品 合成マグネシウム、メタノール、潤滑油製造販賣
(二)	引揚に際しこれたる指置及事業引繼の狀況	本社及工場の責任者及關係部門主任担當者殘留し其他 は治安當局の指示により全部即時日本へ引揚げ殘留者 は最終責任者を殘し順次引揚殘責任者は昭和十九年 十二月一日米軍に引繼き許可を得て引揚完了す
(三) 引揚後の狀況	現在住所	東京都港區新橋二丁目 三鐵館內
	現在役員氏名	公職追放令發表により全役員辭任 現在なし
	在外事務担當者氏名	現在なし
	要綱 繼續、再開の狀況	なし
	轉換の狀況	なし
	事業遂行上の隘路	なし
	同 要望事項	なし
	引揚社員に對する退職金等諸給與支給狀況	引揚實費負担の形式にし全引揚者に支給濟
(四) 會社の經理狀況	引揚社員の身許	右に關聯し精算濟
	積立金の未拂分口數及金額	
	引揚社員の會社に對する預金未拂分口數及金額	なし
	送金、預金其他資金の凍結狀況	なし
	官廳に對する債權	なし
	殘務整理に要する諸經費の調弁狀況及之に對する要望事項	發註前渡金の回收及び官廳買上げ資材代金により調弁處理ずみ

朝鮮殘留社員救

なし

現況		
引揚社員の思想的動向	時勢に鑑慮しあるものの如し	
共産未遂遺戦歿のう仲放族病台、家る員のに死、族歿者生還者入の過数計す数管生状、状る計況其況歿、状、家、過状況に状況	ナシ	
引揚社員の生活状況	相當困却しある模様なるも通信不通詳細不明	
引揚社員の地方分散状況	100%夫々の郷里に分散帰還しつゝある詳細不明	
引揚社員自社就業状況	なし	
引揚前社員数	家族數 1100世帯 五〇〇人	

國本日の社會る在に鮮朝 外 況状産財るす有所 於に內		
資産の概況	財産の種類	
	負債有什産	
	債權價額	
	行預金	八六六五圓
	積株	二八九五〇圓
	無	一九七五〇〇圓
借入金		二七八六六九圓
		三一〇〇〇〇圓

以上

昭和二十二年十一月一日

東京都港区新橋一丁目二番地
三井物産株式會社
代表者 三井八郎右衛門

東京都千代田区丸の内二丁目一番地
日本製鉄株式會社
代表者 田中 信一

151

No.

昭和 22年 11月 18日

大蔵省管理局 御中

大和紡績株式会社

引揚者現況調査報告書

今般、朝鮮より貴社従業員の引揚に関し、同胞援護の趣旨に則り同胞愛の発露として、別添の通り物品を寄贈いたしますから、同胞引揚者援護のため御使用下さいます様御願申上ます。

敬具

○○大和紡績株式会社 御中

（尼印）

160

大阪市東區安土町四丁目五五番地
田村駒株式會社
振替口座大阪三四三番
電信略號オウサカ、タムラコマ
電話北浦㈹五六〇四——六番

(一) 名称 大邱綿織株式會社

(二) 設立ノ年月日 昭和三年十月一日現在

(三) 本社ノ所在地 朝鮮慶尚北道大邱府鉢山洞二五五

(一) 公称資本金 拂込金 参拾万圓

(二) 株金ノ一部ヲ以テ既ニ拂込ミタル金額 朝鮮人拂込額 十万圓

(三) 現在株主ノ人員 朝鮮人株主數 壹

(一) 終戦當時ノ役員ノ氏名及其ノ職務 取締役 木倉信三郎 伊藤吉三郎 藤岡豊四郎 古谷治輔 委嘱 三浦悦三郎

(二) 役員ノ變遷ノ狀況 取締役 木倉信三郎 伊藤吉三郎 藤岡豊四郎 古谷治輔 委嘱 三浦悦三郎

(三) 主要ナル營業所ノ名稱及其ノ所在地 營業所 朝鮮慶尚北道大邱府鉢山洞二五五

(一) 營業目的 紡織物販賣

(二) 現在ノ狀況 朝鮮人株主 朴宗洙 李鍾庭 三浦悦三郎 朝鮮人株主 朴宗洙 李鍾庭 三浦悦三郎 (四月三十日指定ニ依リ名稱變更セラレタル旨届出アリ)

(三) 主要ナル營業所ノ名稱及其ノ所在地 營業所 朝鮮慶尚北道大邱府鉢山洞二五五

(三) 現在役員氏名及ビ
引揚後ノ状況

在外ヨリノ引揚者氏名

大阪市東區要土町四丁目五五　田村昭株式會社　終ノ部

業種

概要

延焼再開ノ状況

転換ノ状況

事業遂行上ノ障碍

要望ヨ項

(四) 資産ノ状況並ニ被災状況

引揚社員ニ対スル退職金ヲ支給セル状況

引揚社員ニ対スル退職金ヲ未支給ノ場合ハ其ノ金額及ビ未払ノ理由

引揚社員ニ対スル退職金ヲ支給セル場合ニハ其ノ金額及ビ支給ノ年月日

未払ノ場合ハ其ノ金額

十二

飲食物ヲ支給セル場合ニハ其ノ金額

十二

次項ノ若シ政府ヨリ補償ヲ受ケタルトキハ其ノ金額

十二

会社ノ全理状況(五)

送金	社金	金融機関別	
其ノ他貸金ノ			
債権ノ状況		債権発生ノ原因	金額
官庁ニ対スル債権		官庁名	金額
債務ノ状況		債務ノ原因	金額
諸税金ノ滞納ノ状況			
引揚社員ノ状況			
引揚社員ノ	朝鮮等在住社員数	残留地ノ残留家族数	任務
引揚社員ノ	引揚社員数	一名	二ケ家族
就業状況	引揚社員自社	一名	帰社後 昭和二十年六月十日帝都ニ転勤
引揚社員ノ他方面ノ就業状況		一名	帰社後 退社 現在ハ東京電器修理所ニ勤務
引揚社員ノ他方分散ノ状況		一名	近ク入隊

(五) 可揚社員ノ状況

可揚社員ノ	応召者数	下（朝鮮在勤社員ヲ除ク）
〃	戦死戦病者数	〃
〃	遺族ニ対スル慰藉	〃
〃	遺産等ノ状況	〃
〃	未復員者数	〃
〃	其ノ家族ノ状況	〃
〃	其ノ家計ノ状況	〃
可揚社員ノ思想ノ動向		普通

財産ニ有所論ニ及ヒ本日、社會ルア、社本ニ鮮朝(六)

財産権数

(一)	終戦当時の状況	名称	朝鮮株式会社	引揚法人現状調査
		資本金	弐百万円	
		代表者氏名	朝鮮人	
		本社支店出張所	本社	
		事業場	事業場	
(二)			朝鮮慶尚北道大邱府新岩洞一二〇五番地	
(三)			事業目的引揚之際ニ於ケル措置及事業引継ノ状況	事業目的ハ織物染色ノ外朝鮮人ノ所有ニ係ル織物染色業ヲ買収シ之ヲ経営シ居リタルモ昭和二十年八月十五日以降ハ朝鮮人ニ於テ経営シ居リタルモノニシテ我ハ何等ノ権利義務ヲ有セス
		現在住所	朝鮮慶尚北道大邱府新岩洞一二〇五番地	

(一) 現在従業員氏名

(二) 引揚後ノ状況

(イ) 業務ノ概要

(ロ) 就職斡旋ノ状況

(ハ) 整理ノ状況

(一) 昭和弐拾年壱月五日 興和株式会社名古屋工場

(二) 引揚後ノ状況

(イ) 業務ノ概要

(ロ) 就職斡旋ノ状況

(ハ) 整理ノ状況

(一) 現在従業員氏名

(二) 引揚後ノ状況

(イ) 業務ノ概要

(ロ) 就職斡旋ノ状況

(ハ) 整理ノ状況

(一) 昭和弐拾年壱月五日 興和株式会社名古屋工場

露社員	送金	就金	金融機関別	金額	
其他貸金ノ	就金ノ状況				
債権ノ状況	債権ノ状況	債権発生原因	金額		
残債権ニ関スル請求ノ	残債権ニ関スル請求ノ	債務者ノ数	任務		
状況及之ニ対スル要望事項	状況及之ニ対スル要望事項	残留地及残留家族ノ概要			
朝鮮残留者ニ					

(五) 別紙社員ノ状況

引揚者数		家族数	三人	家族	
引揚者ノ社		一名帰郷後	同村駐在警察官ノ		
会的地位		一名引揚後退社	武生市尾花三丁目		
一名大阪市住吉区					
一名武生市尾花三丁目二八					
一名不明					

(五) 引揚者ノ状況

引揚者ノ状況

社員

引揚地別戸数

樺太	十三
北鮮	〃
南鮮	〃
満洲	〃
支那	〃
其ノ他	〃

家族ノ状況

樺太	〃
北鮮	〃
南鮮	〃
満洲	〃
支那	〃
其ノ他	〃

引揚地別世帯主ノ生計状況

樺太	〃
北鮮	〃
南鮮	〃
満洲	〃
支那	〃
其ノ他	〃

引揚地別家族ノ生計状況

樺太	〃
北鮮	〃
南鮮	〃
満洲	〃
支那	〃
其ノ他	〃

引揚地別世帯主ノ思想状況

樺太	〃
北鮮	〃
南鮮	〃
満洲	〃
支那	〃
其ノ他	〃

備考

朝鮮在勤社員ニ関シ

財産ノ独立

昭和二十二年十一月二十日

大藏省管理局
管理課御中

明治鑛業株式會社

引揚法人の況狀調査に關する件

十月六日付を以て弊社東京事務所御照會の標記の件に付ては幾當事項はありません、唯戰時中旧田開發の目的を以て朝鮮に社員を派遣し準備に着手したることはありますが未だ法人を組織するに迄至らずして終戰となりましたので本調査には該當せぬと思ひます

尙朝鮮事業者會よりは今迄に何等調査を依頼されて居りませんから申添えて置きます

以上

171

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況								(二)		(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業目的	引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ状況		現在住所
				本社	支店出張所	事業場				
湯浅蓄電池製造株式會社	公称		杉山寅三郎	大阪府多額市古曽部	京城府中区古市町一四番地	京城府永登浦邑堂山町一八九番地	蓄電池製造販売			
	拂込		浜地清一 由解愛之助							
		朝鮮人株主数								
		朝鮮人拂込額								

(三) 引揚後ノ状況						(四) 會社ノ経ノ	
現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業概要				引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口数及金額
		継続、再開ノ状況	轉換ノ状況	事業遂行上ノ隘路	事業遂行上ノ要望事項		
						旧山前会ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	
						次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ノ整備シ置カレタシ、	
						ナシ	ナシ

三

引揚社員ノ社況

引揚社員ノ地方分散状況	
引揚社員ノ他方面ヘ就業状況	二名 自営及農業 四名 他社就業
引揚社員ノ就業状況	五名 本社就業
引揚社員数	家族数 三十六　社員数 十八名
朝鮮残留社員数	残留世帯数 残留家族数　任務 十人

現況

送金、預金、其ノ他資金ノ結状況	帝国銀行京城支店定期預金　¥ 7344.88 当座預金　857.23 朝鮮貯蓄銀行永登浦支店 普通預金　23.25 据置貯金　112.00 振替貯金　京城36904番　4783.37 4373番　3348.56 現金　234.53 帝国銀行京都四条支店ヨリ京城支店ヘ電送中ノ分　10000.00
負債ニ対スル債権	
諸経費、調弁状況及之ニ対スル要望事項	残務整理ニ要スル計

計 ¥ 94417.82

(五) 引揚社員ノ状況

朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員ノ就業状況		引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況		引揚社員ノ地方分散状況
ナシ	家族数 三十六	本社就業 一	社員数 十八名	他社就業	四名	
				自営及農業	二名	

残留地及残留家族数 任務

融機関別	金額
応急措置発生原因	金額
	十ナシ

(五) 引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	施設入營者數（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死、病死者數	遺族ニ對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者數	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想動向
	四名	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産状況

財産ノ種類	
	財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ状況（再使用転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

別紙

別紙様式ノ補充

兵庫縣武庫郡本山村中野六六番地
宮本照雄

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	公稱資本金	拂込金額	役員ノ氏名及代表社員ノ氏名	所在地			事業ノ目的	引揚後ノ狀況	現在ノ住所
				本社	工場	其ノ他ノ事務所			
宮本商店株式會社	參拾萬圓	拾五圓	社長 宮本照雄	兵庫縣武庫郡本山村中野六六番地	清津市		煉瓦製造業及物品販賣業	昭和二十年八月十二日朱領ノ進軍ト共ニ清津市ニ進駐シ直ニ工場ノ運營ノ命令ヲ受ケ自由ノ行動ヲ許サレ居リシ處ソ連軍ノ方針ハ日本人ノ財産ハ總テ没收スルニアリ從業員ハ勿論社長ト雖モ工場ニ近寄ルヲ得ズ從ツテ營業ハ勿論出來ズ引揚ケタ	昭和二十一年十月十日現在

175

(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
現在終身人名	在外事務所等名	事業経営ノ状況			引揚社員ノ退職金等処理ノ状況	引揚社員ノ会社ニ対スル未済金ノ状況
		経営ノ形態	事業ノ種類	事業経営上ノ難関		
十七、	宮本照雄 笹本正一	未再開	轉換セズ	資本金皆無 場所ノ選定及設備困難	債山部会ノ斡旋ニ依リ退職金等ノ処理ヲ終リ	十日 金六千数百五拾圓也
		未建築			引揚社員ノ退職金ハ会社ノ解散ニ際シ清算人ニ於テ株主ノ持株ニ応ジ分配スルコトトナリ居リ未タ分配ヲ受ケザル状況ニアリ	
				資本金ノ確保	引揚社員ノ退職金ハ会社ノ解散ニ際シ清算人ニ於テ株主ノ持株ニ応ジ分配スルコトトナリ居リ未タ分配ヲ受ケザル状況ニアリ	被口 金壱萬 五千九百九拾圓也

処理状況				(五) 引揚社員ノ状況			
送金、預金其ノ他資金ノ凍結状況	官廳ニ對スル債権	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ對スル要望事項		朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員、他ノ方面ヘ就業状況	引揚社員、地方別数
金融機関別、金額 十七	官廳名、債権発生原因、金額 十七	社長空本出張ノ私有財産ニ関スル諸経費調弁 [illegible]		残留地及残留家族数 十七	家族数 本家族 三五名	十七	引揚社員、他ノ方面ヘ就業状況 山口県二、福井県一、広島県二、外不明	山口県二、広島県一、福井県一、愛媛県二、外不明

(五) 引揚社員ノ状況								
引揚社員ノ生活状況	応召入営者数	戦死、戦病死者数	遺族ニ対スル処遇状況	遺族ノ生計状況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル処遇状況	其ノ家族ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向	其ノ他
参考	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	思想堅確ニシテ出生ノ覚悟ヨク各自生計ノ為メ更生ニ累美ノ努力中ナリ	社員ノ内三名ハ引揚ノ中途ニテ不明ノ者ニシテ目下調査ニ着手中ナルモ本邦到着ノ社員ノ内一名引揚中死亡セリ

社員全部北部地区ニ集団生活ヲナシ居リ(天幕ニ)各ノ事情現地ニ於テ引揚ヲ希望スル者ハ生活実ニ困難ヲ極メ引揚ヲ希望シ居リタルモノニシテ極メ困難ナル事情ノ為メ引揚ヲ延期シ居リタル者ノミナルモノニテ極メテ引揚ヲ急ギ居リタルモノナリ

(七) 朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本国内ニ於ケル所有ニ在リテハ在外資産ノ主ナル部分ヲ占メ戦後ノ状況

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

兵庫縣武庫郡本山村中野六六番地
清津魚糧工業株式會社社長　宮本照雄

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金	役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社出張所	所在地 事業場	事業目的	引揚ニ際シトリタル措置及事業引繼ノ狀況	現在住所
清津魚糧工業株式會社	公稱 壹百五拾萬圓 拂込 全	社長 宮本照雄	朝鮮清津府明治町三丁目		工場 清津府外郷町	鰯中卷網漁業、鰯油肥製造工業、大豆油粕製造工業	昭和二十年八月十三日未明ソ軍軍艦ト上陸開始直前ヨリ退去ノ命令ヲ受ケ同日午後ヨリ引揚ヲ開始シ同月十五日迄ニ殆ンド全員引揚ヲ完了セリ	兵庫縣武庫郡本山村中野六六番地
	朝鮮人株主數 ナシ							
	朝鮮人拂込額 ナシ							

177

(三) 引揚後ノ狀況					(四) 會社ノ經	
現在役員氏名	在外事務担當者氏名	事業概要			引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	引揚社員ノ拂戻スベキ積立金ノ未拂分口數及金額
		繼續再開ノ狀況	事業遂行上ノ障碍	轉換ノ狀況		
十五	密本區	未繼續、未再開	資本金皆無、場所選定及復興資金ノ確保	轉換セズ	鉱山業會ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、引揚社員ニ對スル退職金ハ於三万八千七百四拾圓也其ノ本社ヨリ復興資金トシテ送金セラレタキ旨要望中ナルモ未支拂ノ儘ナリ	次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各營ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、 二十二口 金計金壹萬六千壹百四拾圓也

整理状況		
送金、預金其ノ他資金ノ	金融機関別	金額
決結状況	三和銀行	送金拾五万五千参百圓也
	三和銀行	預金拾四万弐千四百圓也
官廳ニ對スル債權	官廳名	債權發生原因 金額
朝鮮米穀倉庫		大豆米加工優金 参万壱千弐百圓也
残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ對スル要望事項	本邑唯ノ私有財產ニシテ幸ニ諸経費調弁ニ	

(五)引揚社員ノ状況			
朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他方面ヘノ就業状況
十七	家族数 二五	十七	下関市一、大阪市一、名護屋一、岡山県一、山口県五、広島県二、岡山県一、長崎県一、福岡県一、外不明

引揚社員ノ地方分散状況

長崎県二、山口県五、広島県二、岡山県一、長崎県一、福岡県一、外不明

（五）引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	殆ンド全部ガ軍人軍屬ノ家族ニシテ夫ノ戰死ニヨリ生活ノ基礎ヲ失ヒ（三八度以北）全ク身ヲ以テ戰場ヨリ逃レ引揚ノ者ニ限ル）十一名
應召入營者數	（朝鮮在勤社員ニ限ル）十一名
戰死戰病死者數	現在迄不明
遺族ノ對スル處遇狀況	
遺族ノ生計狀況	不明
未復員者數	二名
其ノ家族ニ對スル處遇狀況	原籍不明ノ爲メ特ニ措置ヲ採リ得ス
其ノ家族ノ生計狀況	〃 不明
引揚社員ノ思想的動向	思想堅實健全ニシテ概ネ覺悟ヲ決メテ各自ノ生計ノ爲メ更生ニ最善ノ努力ヲ中ナリ

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産状況

財産ノ種類	
財産ハ不動産(土地、建物、船舶等)及ビ動産(機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有価証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等ノ所在地、種類、数量、帳簿価格、夫々ノ現在ノ状況(再度転換シ居ル向ハ其ノ概要)一、若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。	当社ハ在外資産ノミニテ日本國内ニ所有スル財産皆無

六

参

昭和廿二年十一月廿四日

東京都千代田區内幸町一ノ二
東拓ビル内
大藏省管財局管理課
御中

渉外部長

引揚法人ノ現狀調査報告ノ件

首題ノ件ニ關シ朝鮮事業者會ヲ通ジ御依賴ノ引揚法人ノ現狀調査書別紙ノ通リ朝鮮事業者會ヲ通ジ御報告申上マス

以上

東京都品川區大井鎭町 電話大森(06)一八五二・一八五三・一八五四・一八五五・一八五六・九四三八番
三四七五番 地
鐘淵工業株式會社本社

御注意（御書狀ハ總テ會社宛ニテ御差出被下度社員ノ宛名ニテ御差出被下候節ハ御見合セ可被下候）

180

引揚法人、現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時、状況

名称	鐘渕紡績株式會社
資本金	公稱 三二、四〇〇、〇〇〇円　拂込 二六、六一二、五〇〇円
朝鮮人株主数	〇
朝鮮人拂込額	〇
役員氏名	取締役社長 津田信吾、取締役副社長 倉知四郎、常務取締役 平賀恒次郎、常務取締役 古川信次郎、取締役 佐野武雄、取締役 高木隆吉、取締役 福長永太郎、取締役 有川愛治、取締役 中司清、取締役 落合九一、取締役 武藤絲治、取締役 監査役 名取和作、監査役 中上川三郎治、監査役 山下太郎、監査役 古澤文作
本社所在地	東京都墨田区隅田町二丁目一六一三番地
支店事業場	朝鮮支店 京城府本町一丁目三二 京城工場 京城府永登浦區永登浦町三〇〇

事業場	
全南工場	全羅南道光州府林町一〇。
光州工場	全羅南道光州府鶴岡町七五。
東大門工場	京城府東大門区新設町六一
鉄原工場	江原道鉄原郡鉄原区四要里二二八
春川工場	江原道春川郡春川邑幸町三三。
朱乙工場	咸鏡北道鏡城郡朱乙邑龍川洞二
新義州工場	平安北道新義州府敏浦洞五七九ノ四
新義州農場	平安北道新義州府敏浦洞五七九ノ四
平壌化學工場	平壌府船橋町九四ノ七
和順鑛業所	全羅南道和順郡東面福岩里九一五
襄陽鑛業所	江原道襄陽郡西面長御里
東馬鑛業所	黄海道遂安郡公浦面大岑里
全州工場	全羅北道全州府昭和町四丰。
大田恵利蚕研究所	忠清南道大田府文興町四七二ノ一
宝發鑛業所	忠清北道陰陽郡佳谷面宝發里

				金化委種製造所　江原道金化郡金化邑岩井里一八ノ二
				仁川工場　京畿道仁川府松峴町一
				平壌製鉄所　平安南道平壌府船橋町八八
				富寧工場　咸鏡北道富寧郡富寧面
			織維製品（綿、絹、毛、麻、各糸布）、製造加工並販賣	
			化學工業製品ノ製造販賣、舶用内燃機関、製造販賣	
			金屬石炭、採堀販賣、製材合板木工品並住宅、製造販賣	
			賣、医藥品賣藥化粧品ノ製造販賣	
			概ネ名事業場ハ現地接収機関ニ資産ヲ接収サレ順調	
			ニ事業ノ引継ヲナス	
		本社　東京都墨田区隅田町二丁目一六一二番地		
		本社事務所　東京都品川区大井鎧町三、四七五番地		
		本部　大阪市都島区友渕町一二三番地		
		取締役社長　武藤絲治、取締役副社長　中司清、常務取		
		締役植田喜代松、常務取締役北野栄政、常務取締役		

(四) 会社ノ経理状況

在外事務担当者氏名	本部整備部管理課　飯田一雄
事業ノ概要　継続、再開ノ状況	ナシ
事業ノ概要　転換ノ状況	ナシ
事業ノ概要　事業遂行上ノ障碍	ナシ
事業ノ概要　事業遂行上ノ要望事項	ナシ
引揚社員ニ対スル退職金、退職給与等ノ諸給与ノ状況	退職者ニ対シテハ退職金其他引揚手当等ノ復職者ニ対シテハ引揚手当其他ヲ支給ス　口数　一、一二六　金額　三、六〇三、四四二円
引揚社員ノ負債総金額	ナシ
引揚社員ノ会社ニ対スル預金ノ未拂分口数及金額	一部事業場ニテハ現地ヨリ資料特ニ取リ寄セサル為未明ナルモ判明セル分ハ　口数　二五〇　金額　二三七、〇七五円

取締役　伊東武雄、取締役　江越道俊、取締役　山口眞一
取締役　有川愛治、監査役　中上川三郎治、監査役　中村唐
常務取締役　玉川琢治、常務取締役　小原頼一

(五) 引揚社員ノ狀況

送金、預金其他貯金、未結狀況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸經費ノ調弁狀況及之ニ對スル要望事項	朝鮮殘留社員數	引揚社員數	引揚社員自社就職狀況	引揚社員ノ他ノ方面ノ就職狀況	引揚社員ノ地方分散狀況	引揚社員ノ生活狀況
金融機関別、紙幅明細書添付 金額	官廳名 京城供託局 債權發生原因 京城府龍山稅務署、織物稅 保證トシテ國債ヲ供託 金額 二五〇、〇〇〇円	殘務整理ハ本部ニ於テ行ヒ之ニ要スル人件費及文書費等ハ凡テ本部ノ負担トス 要望事項ナシ	ナシ	一、一五五名 一、一五五名中一一五名	不明	復職社員ノミ(其ノ他不明) 近畿 七七% 四國 一% 北海道 一%	中部 七% 関東 六% 九州 五% 中國 三%	普通

応召、入営者数	朝鮮在勤社員ニ限ル）　二一七名
戦死、戦病死者数	三〇名
遺族ニ対スル慶弔状況	一時見舞金及見舞品贈呈、並ニ社友互助会ニ入会セシメテ扶助ス
遺族ノ生計状況	支柱ヲ失ヒタル遺族ノ生計ハ一般ニ困難ナル模様ナリ
未復員者数	二九名
其家族ニ対スル処遇状況	毎月本人ノ給料家族手当ヲ送金ス
其家族ノ生計状況	毎月送金ノ外各自農耕、商賣ヲ行ヒ生計ヲ維持ス
引揚社員ノ思想的動向	一般ニ思想穏健ナリ
卸産ノ種類	
該当事項	ナシ

(六) 社会ノ右ノ社本ニ鮮朝
又有所テ於ニ内国本日ノ
況状産財ル

送金預金其他資金凍結状況 (一)

事業場名	種類	金融機関名	金額	
京城工場	当座預金	朝鮮銀行	56,314	47
	振替貯金	貯金局	1,740	69
全南工場	当座預金	朝鮮殖産銀行	46,483	31
	振替貯金	貯金局	4,074	59
光州工場	当座預金	朝鮮殖産銀行	10,581	17
	振替貯金	貯金局	1,799	04
東大門工場	当座預金	朝鮮殖産銀行	15,403	02
	〃	帝国銀行	479	18
	振替貯金	貯金局	10,454	07
鉄原工場	当座預金	朝鮮殖産銀行	38,000	00
	振替貯金	貯金局	2,100	00
	据置貯金		2,700	00
春川工場	振替貯金	貯金局	1,240	20
牙乙工場	当座預金	朝鮮殖産銀行	53,868	18
	振替貯金	貯金局	1,036	86
	国民貯金	電話局	5,357	00
新義州工場	当座預金	朝鮮銀行	645	01
	〃	朝鮮殖産銀行	46,231	11
	〃	満洲興業銀行	9,224	36
	振替貯金	貯金局	1,167	38
平壌化学工場	当座預金	朝鮮銀行	27,761	67
	振替貯金	貯金局	529	45
和順鉱業所	当座預金	朝鮮銀行	31,694	40
	組合貯金	和順金融組合	226	82
	振替貯金	貯金局	1,004	91
	小計		370,618	39

送金預金其他資金凍結狀況(二)

事業場名	種類	金融機関名	金額
襄陽鉱業所	当座預金	朝鮮銀行	12,943 24
	組合預金	襄陽金融組合	58,276 57
	振替貯金	貯金局	29 75
朝鮮支店	定期預金	朝鮮貯蓄銀行	13,000 00
	当座預金	朝鮮銀行	128,985 29
	〃	朝鮮殖産銀行	5943,799 52
	〃	三和銀行	212 09
	〃	安田銀行	5,904 86
	〃	帝國銀行	1852 77
	特別当座預金	朝鮮銀行	261,149 53
	〃	朝鮮殖産銀行	4566 75
	振替貯金	貯金局	3713 90
製鉄部朝鮮出張所 仁川工場	当座預金	帝国銀行	3,300,579 01
	当座預金	朝鮮銀行	3403
	据置貯金	朝鮮殖産銀行	410 00
	振替貯金	貯金局	202 19
平壌製鉄所	通知預金	朝鮮殖産銀行	1,500,000 00
	当座預金	〃	2,003 12
	〃	朝鮮銀行	7,231 14
	振替貯金	貯金局	691 07
富寧工場	当座預金	朝鮮銀行	11,110 43
	〃	朝鮮殖産銀行	98,142 37
	金融組合預金	富寧金融組合	1726 70
製鉄部朝鮮出張所	送金小切手	帝国銀行	3,000,000 00
	小計		13,936,404 23
	合計		14,709,022 62

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況

名稱	朝鮮麻紡織株式會社
資本金	公稱 三〇〇〇万円 拂込 三〇〇〇万円
役員氏名	取締役社長 宮林德三郎 取締役 平賀恒吉郎 監査役 城後仁吉
朝鮮人株主數	〇
朝鮮人拂込額	〇
本社所在地	全羅北道益山郡裡里邑本町二ノ四七
事業場	裡里工場 全羅北道益山郡裡里邑本町二ノ四七 全州工場 全羅北道全州府昭和町四三。
事業目的	麻、其ノ他繊維類、加工、各種糸、織物及編物ノ製造並ニ販賣

(二) 引揚ニ際シトリ入レ措置及事業引継ノ狀況

資産ハ現地接收機関ニ接收サレ順調ニ事業ノ引継ヲ了ス

(三) 引揚後ノ狀況

現在住所	大阪市都島区友渕町三三
現在役員氏名	鐘渕紡績株式會社本部
在外事務担当者氏名	同上

事業概要

継続、再開、狀況	ナシ
轉換、狀況	ナシ
事業遂行上、障碍	ナシ
事業遂行上、要望事項	ナシ

連絡所	ナシ
終戰当時ニ於ケル名稱、所在地	鐘渕紡績株式會社本部 整備部管理課 飯田一雄
引揚社員ニ対スル退職金等ノ諸給与支給ノ狀況	引揚者ノ自己積立金未拂分口数及金額 口数 四五 鐘渕紡績株式會社ニテ支給ス 金額 四八、九八六円
引揚社員ノ会社ニ対スル債権未拂分口数及金額	ナシ

(四) 社会・経理状況

主要預金其他預金凍結状況	全鮮械商名朝鮮殖産銀行同	種類　金額 当座預金　一〇二、九九九円六五 納税準備預金　二一、八一六円九九 計　一三四、八一六円六四
官廳ニ対スル債権	ナシ	
残務整理ニ要スル諸経費、調弁状況及之ニ対スル要望事項	残務整理ハ積別紙貸借対照表ノ外ニ特ニ要スル書類ナシ尚同社ニテ支弁ス	
朝鮮残留社員数	三名	

(五) 引揚社員ノ状況

引揚社員数	四二名　家族数　一二八名
引揚社員ノ自社ニ於ケル職務状況	四二名中親会社積別紙ノ如ク就職一五名　三五、七%
引揚社員ノ他ノ方面ニ於ケル就職状況	不明
引揚社員ノ地方分散状況	積別紙ノ如ク（其他ハ不明） 近畿　六〇%　中部　二六、七%　九州　六、七%　関東　六、七%
引揚社員ノ生活状況	普通

営内入営者数	(朝鮮在勤社員ニ限ル) 一名
戦死、戦病死者数	一名
遺族ニ対スル処遇状況	一時見舞金及見舞品贈呈、並ニ永友互助会ニ入会セシメ扶助ス
遺族、生計状況	支柱ヲ失ヒタル遺族、生計ハ一般ニ困難ナル模様ナリ
未復員者数	ナシ
其ノ家族ニ対スル処遇状況	ナシ
其ノ家族、生計状況	ナシ
引揚社員ノ家想的動向	一般ニ思想穏健ナリ
財産ノ種類	ナシ
永久ニ在リ永住ノ意思ヲ有シテ内地ニ帰還セル者ノ残置財産ノ状況	ナシ

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況

名稱	西鮮重工業株式會社
資本金	公稱　一三、〇一万円 拂込　一三、〇一万円
朝鮮人株主數	〇
朝鮮人拂込額	〇
役員氏名	取締役社長　金谷知四郎　恵務取締役　片岡亀 取締役　石坂正平　取締役　槌田喜代松 取締役　平松元吉　取締役　塚本勘一 監査役　竹中俊生　監査役　城後仁吉 佐々眞利
本社所在地	黄海道海州府港町四四五ノ二
事業場	右ニ同ジ
事業目的	各種機械製作、修理及賣買並ニ造船々渠

(二) 引揚ニ際シトリ入レ措置及事業引継ノ狀況

資産ハ現地接收機関ニ接收サレ順調ニ事業ノ引継ヲナス

(三) 引揚後ノ狀況

現在住所	大阪市都島区友渕町一二三
現在役員氏名	鐘渕紡績株式會社本部
在外事務担当者氏名	鐘渕紡績株式會社本部 整備部管理課 飯田一雄

事業概要

継続、開始ノ狀況	ナシ
轉換狀況	ナシ
事業遂行上ノ階梯	ナシ
事業遂行上要スル事項	ナシ

引揚社員ニ對スル退職金等ノ請給ニ關スル狀況

	口數 六一
	鐘渕紡績株式會社ニテ支給ス

引揚社員ノ身許引受人未拂給与口數及金額

	ナシ

引揚社員ノ人名ニ對スル預金未拂給与口數及金額

	ナシ

(四) 会社ノ経理状況

送金預金其他預金ノ凍結状況	宮廳ニ対スル債権	残務整理ニ要スル活動費ノ調弁状況及ニ対スル要望事項	朝鮮残留社員数
全鮮機関名 朝鮮殖産銀行 野全局	ナシ	残務整理ノ経過ニ付文書ヲ以テ本部ニ報告シアリ特ニ要望事項ナシ	ナシ
積額 当座預金 振替貯金 計	金額 一五、六六三四七五 一三九四六一 一五、七七三四三六		

(五) 引揚社員ノ状況

引揚社員ノ自社就職状況	引揚社員ノ他ノ方面ノ就職状況	引揚社員ノ地方別分散状況	引揚社員ノ生活状況
引揚社員数 一八二名	不明	引揚社員ノ鏡台後職者ハ総数六七%ニ中部三三%	普通
六三名中親会社ニ復帰シタル者ハ総数ノ三四・八%			

応召入営者数	六名
戦死、戦病死者数	ナシ
遺族に対する処遇状況	一時見舞金及見舞品贈呈、其ノ他及互助会ヨリ入金セルモノ
遺族ノ生計状況	主柱ヲ失ヒタル遺族ノ生計ハ一般ニ困難ナル模様ナリ
未帰還者数	二名
其ノ家族ニ対スル処遇状況	一般引揚者ニ対シ手当支給ノ際一時金支給ス
其ノ家族ノ生計状況	各自農耕、商業ニ従ヒ生計ヲ維持ス
引揚後ノ思想的動向	一般ニ思想穏健ナリ
財産ノ程度	ナシ
	ナシ

除シタル北緯二度以北ノ樺太(六)
及北満開拓ニ従事シ
タル者ハ含マズ

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)
名稱		資本金	役員氏名	所在地		事業目的	引揚ニ際シトリ入レ措置及事業引継ノ狀況
				本社	事業場		
鐘紡朝鮮水産株式會社	公稱	三〇〇〇万円	取締役 津田信吾	清津府	清津ノ場	漁業、水産物ノ製造加工	資産ハ現地ニ於テ接收サレ順調ニ事業引継ヲナス
	拂込		取締役 矢鍋永三郎	新浦ノ場	新浦ノ場		
			常務取締役 片岡勉	咸鏡南道咸興府	咸鏡南道咸興府		
	朝鮮人株主數	朝鮮人株主拂込額	取締役 中本実	慶尚北道迎日郡	慶尚北道迎日郡		
	○	○	取締役 倉知四部	九龍浦ノ場	九龍浦ノ場		
			監査役 後藤節藏	慶尚北道迎日郡	慶尚北道迎日郡		

(三) 引揚後ノ状況

現在住所	現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業概要			引揚社員ニ対スル退職金等ノ特給ノ状況	
			結績再開ノ状況	轉換ノ状況	事業遂行上ノ隆路		
ナシ 連絡所 大阪市都島区友渕町一三三 鐘渕紡績株式會社本部	終戦当時ニ同ジ	鐘渕紡績株式會社本部 整備部管理課 飯田一雄	ナシ	ナシ	ナシ	口数 二九口 鐘渕紡績株式會社ニテ支給ス	ナシ
						金額 二六、九八七円	
						引揚社員ノ会社ニ対スル債権金額	ナシ
						引揚社員ノ自己積立金ノ未拂分口数及金額	ナシ

(四) 社会福祉施設ノ状況

基金積立其他資金ノ運用状況	金融機関名	金額
	朝鮮殖産銀行	定期預金 一八〇、一二一円九六
	昭和信用組合	当座預金 八三四円六一
		積立貯金 一八〇、九四六円五七
	計	
官廳ニ対スル債権	ナシ	
財務整理ニ要スル借入金ノ調弁状況及ニ之ニ対スル要望事項	残務整理ハ鏡洞信徒組合ヲ鏡洞株式会社ニ引継ギ同社ニテ兼務シ之ニ要スル文書等ハ少額ニテ足リ要望事項ナシ	
朝鮮残留社員数	ナシ	

(五) 引揚社員ノ状況

引揚社員数	三九名	家族数 一一七名
引揚社員ノ自社就職状況	三九名中一般会社ニ鏡紡ヘ就職 二名	五%
引揚社員ノ他ノ方面ヘ就職状況	不明	
引揚社員ノ地方分散状況	鏡紡従業者ノ内 九州 五〇%	
引揚社員ノ生活状況	普通	

応召又傷者数	三一名
戦死戦病死者数	一名
遺族に対する処遇状況	一時弔慰金及見舞品贈呈並に永友互助会に入会せしめ扶助ス
遺族の生計状況	支柱を失ひたる遺族の生計は一般に困難なき模様なり
未復員者数	一三名
其家族に対する処遇状況	一般引揚者に対する手当支給の際一時金を支給ス
其家族生計状況	各自農耕、商売を行ひ生計を維持ス
引揚者社会家想的動向	一般に思想穏健なり
財産ノ種類	十一
	十一

(朝鮮ニ於ケル本邦人ノ財産ニ関スル事項ハ本欄ニ含ム)

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況

名稱		朝鮮製紙株式會社	
資本金		公稱 三〇〇〇万圓	朝鮮人株主數 〇
		佛印 三〇〇万円	朝鮮人佛印籍 〇
役員氏名			
本社	取締役社長	平安桂次郎	
	常務取締役	河村浩造	
	取締役	林友治	
	取締役	谷本正雄	
	監査役	李来誠三	
	取締役	城後仁吉	
	監査役	片岡勉	
		越田喜代松	
事業所在地		右ニ同ジ	
事業目的		製紙パルプノ製造並ニ販賣	

(二) 引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ狀況

資産ハ現地接收機関ニ接收サレ順調ニ事業ノ引継ヲナス

(二)　引揚後ノ狀況

現在住所	大阪市都島区友渕町一二三	在外重要担当者氏名		
現在役員氏名	鐘渕紡績株式會社本部			
終戦当時ニ於ケル事業概要	鐘渕紡績株式會社本部 総務部管理課	役田一雄		
継続再開ノ狀況	ナシ			
転換ノ狀況	ナシ			
事業遂行上ノ障碍	ナシ			
事業遂行上要望事項	ナシ			
引揚社員ニ対スル退職金等ノ詰給与支給ノ狀況	口数 五。　金額 一一五、三九三円			
引揚社員ノ自作積立金未拂金額及金額	ナシ			
引揚社員ノ金永ニ対スル預金未拂金口数及金額	ナシ			

(四) 会社経理状況			(五) 引揚社員ノ状況			
当会預金其他資金ノ連結状況	官廳ニ対スル債権	残務整理ニ要スル施設並ニ其ノ状況及之ニ対スル要望事項	朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員ノ自社就職状況	引揚社員ノ他ノ方面ノ就職状況	引揚社員ノ生活状況
金融機関名 朝鮮殖産銀行 野金商 種類 当座預金 振替貯金 計	ナシ	残務整理ハ鐘紡絞株式会社本部ニテ兼務シ之ニ要スル文書等ヘ方鐘ニ於テ同ジニテ支弁ス 要望事項ナシ	ナシ	五〇名 家族数 一四八名	五〇名中親会社鐘紡ノ就職四名 八%	不明	普通
金額 一〇、四三六円〇五 五四一一 一〇、四四一円一六						鐘紡復職者ノ比率 七五% 九州二五%	

応召者数	一名
戦死、戦病死者数	ナシ
遺族ニ対スル公園状況	一時見舞金及見舞品贈呈、並ニ社友互助会ニ入会セシメテ扶助ス
遺族ノ生計状況	支柱ヲ失ヒタル遺族ノ生計ハ一般ニ困難ニ模様ナリ
未復員者数	ナシ
其家族ニ対スル処置状況	ナシ
其家族ノ生活ノ状況	ナシ
引揚未復員ノ思想的動向	一般ニ思想穏健ナリ
財産ノ種類	ナシ
令ニ在ノ朝鮮ニ於ニ内国本国ノ有スル財産ノ状況	ナシ

引揚法人、現状調査　　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況

名称	朝鮮電気冶金株式會社
資本金	公称　四五〇、〇〇〇円 拂込　四五〇、〇〇〇円
役員氏名	取締役会長　清田信五　代表取締役　片岡勉 取締役　本木誠三　有川愛治 取締役　伊藤晴一　監査役　倉知四郎
本社所在地	咸鏡北道吉州郡吉州面吉州洞三二七
事業場	右ニ同ジ
事業目的	各種金属、精錬、加工並ニ化学工業製品ノ製造販売

朝鮮人株主数　〇
朝鮮人拂込額　〇

(二) 引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ状況

資産ノ現地接収機関、接収サレ順調ニ事業ノ引継

引揚後の状況			事業概要				
現在住所	現在役員氏名	在外事務担当者氏名	継続、再開の状況	転換の状況	事業遂行上の障碍	事業遂行上の要望事項	引揚社員に対する退職金等の支給の状況
ナシ 連絡所 大阪市都島区友渕町一二三 鐘渕紡績株式會社本部	終戦当時ニ同じ 鐘渕紡績株式会社本部 整備部受理課 飯田一雄	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	鐘渕紡績富士紡績ニ於テ従業員兼職ニ付ナシ

引揚社員の自己積立金の未払分の数及金額	引揚社員の会社ニ対スル債務ノ状況
ナシ	鐘渕紡績富士紡績ニ於テ従業員兼職ニ付ナシ

四 金融機関等の借入状況				五 引揚社員の状況			
金融機関名	種類	金額	返金その他債権の連結状況	残務整理に要する借入金の利率及び返済期限	引揚社員数	引揚社員の就職状況	引揚社員の他の方面への就職状況	引揚社員の地方公共団体状況	引揚社員の生活状況
朝鮮殖産銀行	当座預金	五三、〇五六円九〇	残務整理に要する借入金の利率及び返済期限については別紙明細書のとおり	同	同	同	同	同
	納税準備預金	一、七七〇円〇〇	文書等の引継については別紙明細書のとおり					
	計	五三、八二六円九〇	要望事項なし					

鐘紡株式会社本社ニテ兼務セシニ要スル経費ハ別途業務兼職ニハ含ム

応召、入営者数	戦死、戦病死者数	遺族に対する処遇状況	遺族の生計状況	未復員者数	其家族に対する処遇状況	其家族の生活状況	引揚社員の思想的動向	財産の種類	会社在職中に社員が公務に就いた為に会社が蒙りたる損害の有無
銃後、従業員兼職ニ付ナシ	同	同	同	同	同	同	同	ナシ	

引揚法人ノ現狀調査

昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況

名稱	合資會社豐林商會
出資金	一九万五千円
役員氏名	代表社員 片岡勉 出資社員 倉知伊助 出資社員 古川信治郎 出資社員 城後仁吉 出資社員 増田幸雄 出資社員 椎田憲代松 出資社員 藤雲重郎
所在地 本社	右ニ同シ
所在地 事業場	滿浦邑大興洞一二三四
事業目的	木材及穀物加工

(二) 引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ狀況

資産ハ現地接收機関ニ接收サレ順調ニ事業引継ヲ了ス

(三) 引揚後ノ狀況

現在住所	連絡先 大阪市都島区友渕町一二三 鐘渕紡績株式會社本部
現在従業員氏名	終戰當時ニ同ジ
在外事務擔當者氏名	鐘渕紡績株式會社本部 整備部管理課 飯田一雄

事業概要

経歴、両親ノ狀況	ナシ
轉換ノ狀況	ナシ
事業ノ進行上ノ障碍事項	ナシ
事業ノ進行上ノ要望事項	ナシ

引揚社員ニ對スル退職金等ノ支給ノ狀況	一一一口 鐘渕紡績株式會社 金額 四七、五〇〇円
引揚社員ノ自己預積金ノ未拂分口數及金額	ナシ
引揚社員ノ金融ニ關スル未拂分口數及金額	ナシ

(四) 会社の経理状況			(五) 引揚社員の状況			
会社債金其他債金の凍結状況	官庁に対する債権	残務整理に要する経費の調弁状況及之に対する要望事項	朝鮮残留社員数	引揚社員の数	引揚社員の自社就職状況	引揚社員の他の方面への就職状況	引揚社員の分散状況	引揚社員の生計状況
全部機関名 不詳 種類 全額 当座預金 二五一、二四一円二四	ナシ	残務整理ハ鐘紡績株式会社本部ニテ兼務シ之ニ要スル文書費等ハ少額ニ付同社ヨリ支弁ス 要望事項ナシ	ナシ	一一名 家族数 三一名	一一名中親会社鐘紡へ就職四名 三六・四%	不明	鐘紡復職者ハ近畿五%中部二五%関東二五%	普通

応召、大音者数	三名
戦死、戦病死者数	ナシ
遺族に対する処遇状況	一時見舞金及見舞品の贈呈、並に北友互助会に入会せしめ扶助す
遺族の生計状況	支柱を失ひたる遺族の生計は一般に困難なる模様なり
未帰還者数	ナシ
其の遺族の生計状況	ナシ
其の遺族に対する処遇状況	ナシ
引揚者団体の思想的動向	一般に思想穏健なり
財産の種類	ナシ

朝鮮に於ける永住目的を有する内地人の財産状況

引揚法人、現状調査

昭和二十二年十月一日現在

(一)終戦当時ノ状況						(二)
名称	資本金	役員氏名	本社所在地	事業場	事業目的	引揚ニ際シトリ入レ措置及事業引継ノ状況
朝鮮造船株式會社	三〇〇〇万円	取締役社長 津田信吾 常務取締役 増田甫三 取締役 平賀恒次郎 監査役 植田吉代松 高谷敏郎	慶尚南道釜山府東洋町二丁目二七四	右ニ同ジ	船舶、汽機、汽罐ノ製造修理	資産ハ現地ニ於テ接収サレ、引継ヲナス
公称 三〇〇〇万円	払込済 三〇〇〇万円	専務取締役 片岡勇 取締役 倉知四郎 取締役 二階堂行健 取締役 大澤重憲				
朝鮮人株主数 〇 朝鮮人拂込額 〇						

(三) 引揚後ノ状況

現在住所	現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業概要			引揚社員ニ対スル退職金ノ一時給与支給ノ状況	引揚社員ノ自行預金未拂分口数及金額	引揚社員ノ会社ニ対スル貸金未拂分口数及金額
			継続、再開ノ状況	轉換ノ状況	事業遂行上ノ障害	事業遂行上ノ要望事項		
ナシ	終戰當時ニ同ジ	鐘渕紡績株式會社本部 整備部管理課 飯田一雄	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
連絡所 大阪市都島区友渕町一二三 鐘渕紡績株式會社本部							一二口 鐘渕紡績株式会社ニテ支給ス	

(四) 会社の経理状況		(五) 引揚社員の状況			
送金預金其他資金の凍結状況	全融機関名	引揚社員数	朝鮮残留家族数	引揚社員の自社就職状況	引揚社員の他の方面への就職状況	引揚者の生計状況
官廳に対する債権	全 額	残務整理に要する経費の調弁状況及之に対する要望事項	残務整理会鏡釣仿績株式会社本部に兼務し之に要する文書の整理の為め二名同社に勤務し居れり 要望事項なし			
ナし	五二、〇五六円九〇	一二名 家族数 三五名	ナし	一二名中 就会社鏡仿へ就職 二名 一六、七%	ナし	普通
預金	一、七七二円				鏡仿復職者 ナし	
納税準備預金	五三、八二六円九〇				近畿 五〇% 関東 五〇%	

応召入営者数	一名
戦死、戦病死者数	ナシ
遺族ニ対スル公益状況	一時恩給金及見舞品ヲ贈呈、並ニ北友互助会ニ入会セシメテ扶助ス
遺族ノ生計状況	支柱ヲ失ヒタル遺族ノ生計ハ一般ニ困難ナル模様ナリ
未復員者数	ナシ
其ノ家族ニ対スル公益状況	ナシ
其ノ家族ノ生計状況	ナシ
引揚者ノ思想的動向	一般ニ思想穏健ナリ
財産ノ種類	ナシ

北含ノ右ノ社本ニ鮮朝有所テ於ニ内国本日ノ(ママ)況状産財ナス

4

別紙

和廿二年五月一日

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月三十日現在

元山北港株式會社

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及其ノ代表社員氏名	所在地			事業ノ概況	引揚ニ際シ引渡又ハ引継ノ有無	現在地
				本社	支社出張所	事務所			
元山北港株式會社	公稱二千五百万円 拂込壹千五百万円	朝鮮人拂込額 一一、一四八、〇〇〇円 朝鮮人株主数 三	穂積眞六郎、我妻軍治郎、加茂五十也、矢部忠治、小村千太郎、毋法三郎、谷重良 山沢初三郎、今泉茂松、佐藤武雄	京城府中区本町五三	〃	咸鏡南道文川郡北誠面新興里	朝鮮人従事ス対シ日本人従業員ヲ中心トシ鉄道運営業、港湾荷役業、収港鉄道ノ経営、工業用地ノ造成其ノ他木港ニ関スル一切ノ事業ヲ行ヒ居タリ	引渡ス可キ不動産ハ無シ引継ヲ要スル事項ハ別紙ノ通リ	東京都千代田区丸ノ内ニノ二丸ビル六二五号室

217

(三) 引揚援護ノ状況					(四) 会社ノ経	
現在役員氏名	在外事業担当者氏名	事業再開ノ状況	事業経営ニ要望事項	事業経営ニ関スル一般ノ概況	転換ノ状況	引揚社員ニ対スル退職金等給与ノ状況	引揚社員ノ会社ニ対スル債権金額	引揚社員ノ会社ニ対スル預金及金額
終戦当時共終ヲ	佐藤武雄				横山鋼会ヨリハ支給ヲ受ケ退職金京八國家補償ノ対象トナリレタントノ要望ヲリ			
四十口 一二〇、九八一円					資金皆無ノ為支給ナシ	次ノ項ト共ニ政府ニ対シ各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置クヨウ		金融機関ニ対スル預金ト同様ニ処理サレタキ旨要望中ニハ

埋状況		(五) 引揚社員ノ就職状況			
送金・預金其ノ他資金ノ凍結状況	官憲ニ対スル債権	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員・他ノ方面ノ就業状況
金融機関別 金額 倫も銀リ来数支店 四、三八〇、〇〇〇円送金ノ事 右ハ 〃 〃 〃

被告人	氏名・本籍・住居・職業	
	年令	
	身分関係	
	前科・犯歴	
	逮捕・勾留・保釈	
	押収物	
	公訴事実	
	罪名・罰条	
弁護人		

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況							(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社出張所	所在地 事業場	事業目的	引揚ニ際シトリアル措置及事業引継ノ状況	現在住所
朝鮮金井土業株式會社	公稱五拾萬圓也 拂込五拾萬圓也		金井一愛ニ 取締役社長　金井喜一　副社長　金井一愛ニ	朝鮮京畿道富川郡素砂面深谷里一二〇六ノ一		朝鮮京畿道富川郡素砂面深谷里一二〇六ノ一	特殊鋼線及鉄線製造並ニ型販賣及紡織機械ミシン針部分品製造販賣 終戦直後更ニ八デアリシガ朝鮮ノヘガ五本ニ十リ六本ニテアリテ相ノ材ヲ減陽其他業カ行詰ニヨリ本社業務ヲ及工場ヲ占據シテ法監督ノ下ニ二カデアル為引揚ノ逃セントルガ如キ状態ニシテ事業ノ引継ハスンテ帰國セリ	大阪市北區玉江町二丁目四　金井重要工業株式會社内

現在役員氏名	(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
	在外事務担当者氏名	事業概要				引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口数及金額
		継続再開ノ状況	轉換ノ状況	事業遂行上ノ障碍	事業遂行上ノ要望事項		
當時マヽ	中川新三郎	再開セズ				鉱山部会ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタントノ要望アリ、	引揚後十ヶ月
						次ノ頃ト共ニ政府ニ對シ金融、債務ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、	十ヶ月
							十ヶ月

三

整理状況		
送金、預金、其ノ他資金ノ凍結状況	金融機関別	金額
	三和銀行京城支店	壹拾壹万四千圓 定期積金
	朝鮮銀行素形支店	七萬圓也 当座預金
官廳ニ對スル債権	官廳名 債権発生原因	金額 十一ナシ
残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及ビニ對スル希望事項	本社事業場ニ於ケル残留地及残留家族数	任務
	整理ニ要スル費用ノ調弁ニ關スル法令ノ施行ニ關シ何等カノ政府ニ於テ	
	預金振替ノ方途ヲ講ゼラレ度キ旨ノ要望ス	

(五)引揚社員ノ状況				
朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況
ナシ	家族数 三名	ナシ	三名	六阪

（五）引揚社員ノ状況

引揚社員、生活状況	応召、入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戦死、戦病死者数	遺族ノ対スル處遇状況	遺族ノ生計状況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル處遇状況	其ノ家族ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向
不明	一〇R	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	不明

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於ケル所有スル財産狀況

財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半制品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再用転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。	ナシ

昭和　年　月　日　　（　）

昭和廿貳年六月　拾壹日

昭二二年六月十日

朝鮮事業者會中

田邊廣三

拜啓

引揚法人ノ現狀調査ノ件

引揚法人左記四社ノ現狀調査書茲許可迄

申上ル

記

一、王子製紙株式會社　朝鮮工場

二、北鮮製紙化學工業株式會社

三、茨廼鉱業株式會社

四、多狩島鉄道株式會社

以上

王子製紙株式會社

222

昭和廿貳年六月拾四日

引揚法人ノ現狀調査　昭和二二年五月三一日現在

(一) 終戰前ノ狀況

名称	北鮮製紙化学工業株式會社
資本金	公称 弐千万円 払込 壱千百万円
役員氏名及代表社員名	取締役 社長 藤原喜藏、常務 田辺武次、下津譲治、朴炯極 代表者 藤原喜藏 朝鮮人株主数 四一名 朝鮮人払込額 一九五、三三五円 (19%)
所在地 本社	朝鮮咸鏡北道 吉州郡 吉州邑
所在地 支社出張所	京城出張所 京城府南大門通二ノ一〇 千代田ビル内
所在地 事業場	吉州工場 本社所在地 群山工場 全羅北道群山府蓬萊町二ノ二
事業目的	人絹パルプ及洋紙ノ製造販賣
引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ状況	群山工場ハ米軍布告第三三号ニヨリ米軍ニ接收セラル 吉州工場ハ 〃 ニ接收セラル

(二) 現在住所

東京都中央区銀座四ノ三　王子ビル内

(三) 引揚後ノ狀況

現在役員氏名	藤原喜藏
在外重要事務担当者氏名	田辺廣三
事業概況 継続困難ノ状況	／
事業概況 転換ノ状況	／
事業概況 事業遂行上ノ障碍	／
事業概況 事業遂行上ノ要望事項	／

(四) 会社ノ経

引揚社員ニ対スル退職金等諸給与支給ノ状況	資金ナキタメ支給不能
引揚社員ノ負債ノ額	二九五口　金五十八万円
引揚社員ノ会社ニ対スル預金ノ未払分口数及金額	八七口　金四十九万円

理状況	
送金、預金其ノ他資金ノ保管状況	在朝鮮銀行預金 一、四三四、七五七円
官庁ニ対スル債権	保証担保差入 朝鮮総督府、城津、羅山咸興、営林署、城津税務署六会三、三四二、五八八円
残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	工事前渡金ヲ回収シ三和銀行ニ預入レタルモ之ヲ封鎖トシテ四、一五一円棟梁ヨリ返還要望ニ引揚当見舞金、預入表、退職資金トレテ前記銀行預金及保証担保金範囲ニテ取計ノ便付願度

(四) 引揚社員ノ状況		
朝鮮殖産社員数	吉州 一 平壌 五 元山 一	
引揚社員数	社員 三一名 全家族 七六名	合計一〇七九名
引揚社員自社就業状況	自社 〇	
引揚社員他方面ヘノ就業状況	王子製紙、東北振興パルプ、日本パルプヘ 二〇五名	
引揚社員現在数地	北海道 七〇名 東北四〇名 関東五〇名 中部四五名 近畿三〇名 山陰山陽 三八名 九州五〇名	

(五) 引揚社員ノ状況							
引揚社員ノ生活状況	住宅、寝具、衣料品、日常生活用品ヲ十分困難ニオリ殊ニ未就職者三至ツテハ頗ル悲惨ノ語ニ堪エザル状態ナリ						
應召入営者数	一八六名						
戦死戦傷死者数	六名						
遺族ニ対スル処遇状況	資金ナキタメ処遇不能						
遺族生計状況	親戚及縁故ヲ辿リ寄倚シ夫々手傳						
其家族ニ対スル処遇状況	資金ナキタメ処遇不能						
未復員者数	五三						
其家族生計状況	親戚及縁故ヲ辿リ寄倚シ夫々手傳						
其ノ他	可及的速ニ更生事業ノ発足ヲ切望	引揚社員ノ思想的動向	資金ナキタメ処遇不能	親戚及縁故ヲ辿リ寄倚シ夫々手傳	復職者乃至其他ノ業ニ就キタルモノハ夫々職場ニテ奮励精進シ又未就職者ニ於テモ更生ノ途ヲ求メテ奔走シ居リ、思想的ニ特筆スベキ点ヲ認メラレザルモ生活ノ安定ヲ失スル事 長期ニ亘ル時ハ自然的現象トシテ或ハ健全性ヲ保持シ難キヤヲ不計		

昭和十貳年六月拾四日

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月三一日現在

(一) 終戰幷ニ時ノ狀況	名稱	王子製紙株式會社　朝鮮工場	
	資本金	公称三億一千万円 払込三億一千万円	朝鮮人株主數　七 朝鮮人払込額一、一三七、五〇〇円
	役員氏名及代表社員名	定立正、富田治郎吉、田辺武次、原邦造、井上周、朝吹常吉、犬川鉄雄、栗林徹一、西澤何十藏、熊田幸壽、木下又三郎、伏表定立正	
	所在地　本社	東京都中央区銀座四丁目三　王子ビル	
	所在地　支社出張所		
	所在地　事業場	朝鮮平安北道新義州府　麻田荷	
	事業目的	洋紙製造及販賣	
(二) 引揚ニ際シトラブル幷ニ措置及事業引継ノ狀況		一ノ軍ニ接收セラル	
(三) 現在住所		東京都中央区銀座四ノ三　王子ビル	

(三) 引揚後ノ狀況	現在役員氏名	代表役員　中島慶次	
	在外事務担当者ノ氏名	田辺廣三	
	事業概況　繼續由來ノ狀況	従業員ハ王子製紙本社ニテ処理	
	事業概況　轉換ノ狀況	〃	
	事業概況　事業遂行上ノ隘路	〃	
	事業概況　事業遂行上ノ要望事項	〃	
(四) 會社ノ經	引揚社員ニ対スル退職金寸志給与支給ノ狀況	東京本社ニテ支給	
	引揚社員ノ有資格積立金ノ未払分口數及金額	一五八口 二七一、〇〇〇円	
	引揚社員会社ニ対スル積立金ノ未拂分口數及金額	一五〇口 三一五、〇〇〇円	

処理状況		(五) 引揚社員ノ状況				
送金預金其ノ他資金ノ清算状況	銀行預金 六一、三九八円	朝鮮残留社員数	社員 二名 全家族 一名	引揚社員自社就業状況	自社 六三名	引揚社員他方面ヘノ就業状況
官庁ニ対スル債権債務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	保証債務 新義州、満鉄中江、各営林署ニ差入 六二六、五四五円 東京本社ニテ支弁	引揚社員数	社員 一〇六名 全家族 二五二名		他社 四三名	

(五) 引揚社員ノ状況							
引揚社員ノ生活状況	庶子営者数	戦死戦病死者数	遺族ニ対スル処置状況	遺族ノ生計状況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル処置状況	其ノ家族ノ生計状況
住宅、寝具、衣料品、日常生活用品等無ク窮乏ノ生活ヤリ	一五名	三名	東京本社ニテ支給	何レモ困窮	七名	東京本社ニテ支給	何レモ困窮

引揚社員ノ思想的動向	其ノ他
引揚者ハ王子製紙勇社本社及各工場ニテ生活安定シオリ思想的動向トシテ特ニ認メラレズ	

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月三一日現在

(一)	名称	英雄鉱業株式會社
	資本金	公称　百二十五万円 払込　百二十五万円
	役員氏名及代表社員名	鮎田平吾、定立正、山内幾馬、伊藤寛助 加藤藤太郎　薄原花蕊
	本社	朝鮮咸鏡北道吉州郡吉州邑営基洞四三五
	支社出張所	
	事業場	朝鮮咸鏡北道明川郡阿間面五戸洞七四八
	事業目的	石炭採掘
(二)	引揚ニ際シトラメル所軍ニ接収セラレ引継ノ状況	
(三)	現在住所	東京都中央区銀座四ノ三　王子ビル内

(三)	現在役員氏名	代表役員　伊藤寛助
	在外事務担当者氏名	田辺房三
引揚後ノ状況	事業概況　継続困難ノ状況	／
	事業概況　転換ノ状況	／
	事業遂行上ノ障碍	／
	事業遂行上ノ要望事項	／
(四)	引揚社員ニ対スル退職金等請給ノ状況	資金ナキタメ支給不能
会社ノ経	引揚社員ノ負託積立金ノ未払戻ノ状況及金額	記録ナク不明
	引揚社員ノ会社ニ対スル債権ノ未払金額及金額	記録ナシ

整理状況	
送金預金其他資金凍結状況	不明
官庁対スル債権	不明
残務整理ニ要スル調整経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	調弁方法ナシ

(五) 引揚社員ノ状況	
朝鮮残留社員数	十ニ
引揚社員数	社員一〇名 家族一九名 計二九名
引揚社員自社就業状況	自社十ニ
引揚社員他方面ヘノ就業状況	日本ペイント 東北振興 其他へ 六名 就職 四名 自営 一名
引揚社員ノ処方分散状況	北海道、六、東北四、九州一名

(五) 引揚社員ノ状況	
引揚社員ノ生活状況	住宅、寝具、衣料品、日常生活用品ナド無キタメ困難シオル
旅団入営者数	四名
戦死戦病死者数	一名
遺族ニ対スル処置状況	資金ナキタメ処置不能
遺族生計状況	親戚ニ寄倒
未復員者数	三名
其家族ニ対スル処置状況	資金ナキタメ処置不能
其遺族ノ生計状況	親戚ニ寄倒
引揚社員ノ思想的動向	思想的ニ特ニ記スベキ点ヲ認メズ
其ノ他	

引揚法人ノ現狀調査

昭和二年五月三一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況	名稱		多獅島鐵道株式會社
	資本金		公稱 三百万円 拂込 百五十万円
	役員氏名及代表社員名		朝鮮人株主數 二一名 朝鮮人拂込額 五四、二五〇円 代表 菅野精三
	所在地	本社	朝鮮平安北道新義州府緑町二ノ一
		支社出張所	
	事業場		新義州ー多獅島間
	事業目的		鉄道運輸業
(二) 引揚ニ際シトリタル措置及事業引繼ノ狀況			ソ軍ニ接收セラル
(三) 現在住所			東京都中央区銀座四ノ三 王子ビル内

(三) 引揚後ノ狀況							(四) 會社ノ經
事業概況							
在外事務担當者氏名	繼続再開ノ狀況	轉換狀況	事業遂行上ノ階路	事業遂行上ノ要望事項	引揚社員ニ対スル退職金等諸給与支給ノ狀況	引揚社員ノ負債積立金ノ未拂分口數及金額	引揚社員ニ対スル債金ノ未拂分口數及金額
田口球司	／	／	／	／	会社員共濟組合規程ニ依リ引揚前ニ支給ス	／	二口 一五、〇〇〇円
代表役員 菅野精三							

理	状況	
	送金預金其ノ他資金決済状況	預ケ金六五〇〇〇円、現地金庫ニ保管中ノ軍ニ没収セラル
	官庁ニ対スル陳情	／
	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	調弁方法ナシ 要望ハ前記没収金額範囲ニテ政府ノ貸付要望

(五)	引揚社員ノ状況	
	朝鮮残留社員数	／
	引揚社員数	引揚社員 二五名 全家族 一〇〇名
	引揚社員自社就業状況	／
	引揚社員他方面ヘ就業状況	日本ハルプ、王子、其他ニ就職 五名
	引揚社員ノ地方分散状況	九州一〇名 中部五名 関東一〇名

(五)	引揚社員ノ状況	
	引揚社員ノ生活状況	住宅、寝具、衣料品、日常生活用品等無キタメ困窮ヲ極ム
	應召人営者数	一四名
	戦死戦病死者数	／
	遺族ニ対スル処遇状況	
	遺族ノ生計状況	／
	未復員者数	二名
	其ノ家族ニ対スル処遇状況	資金ナキタメ処遇不能
	其ノ家族ノ生計状況	親戚ニ寄倚シオルモ収入ナク生計困難
	引揚社員ノ思想的動向	就職者ハ勿論未就職者ニ於テモ思想的ニ悪化現像ナキモ最近生活苦増大シツツアリ殊ニ引揚者ニ於テ其程度深刻トキハ動揺アルヤモ不計
	其ノ他	

三國石炭工業株式會社

引揚法人ノ現狀

一、終戰當時ノ狀況

資本金 資本金ノ内拂込額 公称金壹千五百萬圓也 内朝鮮人所有一四五、二五〇圓也

役員氏名 重役ー代表社員取締役土井誠一

及代表社員名 業務重役和木修造、楊本内匠、支配人岡芳

役員名 社(以上本社勤務)荒川仁四郎(東京)

永次貫次(清津)大内達夫(平壤)重

藤秀幸(右召中)

平重役富士平、賀内直次、小泉輝

本社 本社ー京城府鐘路区内資町七五、ミリニアハートル内

支社 支社ー新山、住十里、永登浦、仁川、麻浦

本社ノ所在地 事業場

出張所ノ事業場 本田、群山、釜山、馬山、閑城、平壤、元山

咸興、城津、清津、若松、東京

出張所ー鎮南浦、新義州、蓁水、北京

大連、佐世保、岡山、

コークス工場ー仁川、清津、平壤大田江

(建設中)

煉炭工場ー往十里、麻浦、大田、釜山分工、

釜山分工、馬山、群山、元山、咸興、城津

旅順

事業目的 事業目的

ハコークス、煉炭製造工場経営

ロ、機械機具製作工場経営

ハ、鮮産ノ地、外来物輸入販売

貿易

ホ、海運業

6、住宅経営

一、鮮人社員ノ一部ガ会社ノ無償譲渡ヲ強要セルヲ時ヲ経テ説明シ之ヲ押ヘ

二、鮮人社員ト収支ニ関シ思想堅実ナル者三名ヲ重役ニ推薦シ険悪時ノ処理ニ当ラシメ

三、其後間モナク（二〇年九月中旬）鮮人労務者ノ為メ会社ノ金庫在金四十餘萬円ヲ横奪サレ日本人重役ノ彼等ニ監禁サレ金銭ノ強要ヲ受ケ遂々ニ二十数萬円ヲ提供身ノ危ヲ感ジテ帰国セリ

一般社員ハ引揚保護ニヨリ二十一年末迄ニ順次帰国セルモ概ネ裸一貫ナリ

ヘ、城中心在住社員ハ鉄道ニヨリ釜山迄引揚荷物発送セルモ全部横奪サレ一品モ届カズ彼等ハ真ニ着タキリ雀ノ悲惨ノ極メ

ト、終戦直後総督府ノ令達ニヨリ全社員ノ多クハ日本ニテ文化スル事トシ一旦日本ヘ復興ニ一致ノ苦難ノ喫レ旨ヲノトス

チ、送金セリ

リ、代表社員土井誠一ハ朝鮮送リ石炭用務ヲ帯ビ（交通ヲ嘱託）二〇年九月八日頃日ノ俗帰鮮不能トナル

ヌ、仍テ会社ハ終戦当日現状ノ侭鮮人重役ニ監理サレ社員ハ旧社員ニ監理サレ社ルモノト思考

三、引揚後ノ状況

現在ノ住所	残務整理事務所 山口縣防府市鐘囲町一〇四ノ壱地 土井誠一宅
現在役員	土井誠一
氏名	
在外事務担当者	代表社員 土井誠一
事業概況	事業継続、井関、轉換
継続難関	日本内地ニ投資ナリ（東京若松等日本内地支出張所ヘ仕入発、発送業務担当）引揚ニ際シ送金ヲ全部押ヘラレタル為メ事業ノ井関至極困難ヲ極メ目下一、代表社員土井誠一ガ現住所ニ於テ小煉炭工場経営ノ外別ニ重役社員ニヨリ三ケ所ニ事業経営中ナルモ何レモ資金負弱ナル為メ経営不振ナリ
状況轉換状況	
事業遂行上ノ障路	
事業遂行上ノ要望事項	

四、会社ノ経理状況

引揚社員等ニ対スル退職金等ノ支給状況	右四ケ所ヘ、旧社員就職者約六十名トス 退職金等、諸給與 引揚社員三八〇餘名ニ対スル退職手当其他四九二二五四円二六銭ヲ日本内地ニテ給與スベク取纏メ送金日本内地銀行預金中ヨリ取押ヘラレタル 別記事情ニヨリ取押ヘラレタル
引揚社員ノ会社ニ対スル預金ノ未払	身元續柄重役社員ノ預金其他未拂金
	唯一ノ財産トシ貯蓄ニ代ヘ株式ヲ有シタリ、然ルニ終戦後株式ハ反古同様トナリシニヨリ若干ニテモ之ガ償ヒヲシタク前記退職手当ヲ之ヲ取押ヘラレタル
	外金二百六十萬円ノ日本内地ヘ送金セル債権ニ対シ

分口数及金額

混乱ニ乗ジ某金額ト不能ニ付大口取引先支
出ヲ装ヒ某金一本ニ某中其他ノ金然某金
額ノ支拂残リ外ヲ帳簿類一切旧
社ニ残リ外ヲ為ノ内容不明

送金預金

送金其他凍結状況

其他凍金

人前記社員退職手当、積立金、配当金ノ
内ヨリ社員優興資金ニ六〇〇〇円ヲ
引揚社員優興資金ニ六〇〇〇円
計三百九萬円餘

凍結状況

一部分ヲ割ノ理由ニ帰国途中ノ危険ノ考
慮ヨリ社員ノ内半分ヲ割数名ニテ持参

右ハ左記ノ通リ日本ノ地銀リニ預金中取
拂ヘトナリ目下進駐軍最高司令官保

預金名義ニ対シ一回ノ引出ノナレル直
ヘ送金ノ割ノ理由ニ帰国途中ノ危険ノ考
預金後引出高ニ三〇〇〇円

拂制限ニヨリ不一回ノ引出ノナレル直
後進駐軍ニ於テ引出停止ノ命アリタル
モノノ如ク其ノ引出不能

本件ニ付取調ニ二十年十月三日代表社
員土井誠一ニ進駐軍ヨリ拘束取調ノ受
ケ、帰国ノ際制限外ノ現金ノ持参ヲ発見ニ不都合ナラスヤトノ事
ナリシヲ為替送金ニヨリ正式ノ綴ニ上持参
セリト雖モ、其後二ヶ月住禁足ノ後
正規ノ手続ニヨリ送金セシコト明白トナリタ

項	
引揚社員ノ状況	引揚社員
	引揚社員
	引揚者
	引揚社員
	自社就業者
	引揚社員ノ前記炭坑外元重役社員経営事業ニ就業中ノ者 約六〇名
	引揚社員地方ノ散在就業中ノ者 七六名
	右ノ個人営業者 二七名
	仝上個人 四名
	仝上帰農 六名
残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	残務整理其他費用
	預金ヲ引出不能トナリタル為メ現在債務
	右ノ如ク特ニ私個人ノミニテ本件ニ関係ナキ公逃家ニ凍結サレタリ
	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項
	預金ヲ引出不能トナリタル為メ現在債務
	引揚社員
	引揚者 一 行衛不明三名
	引揚社員 三八二名
	残務社員 一 代表社員土井誠一経営ニ係ル煉炭工場外元重役社員経営事業ニ就業中ノ者約六十名
	引揚社員地方ノ散在就業中ノ者 約六〇名
	引揚社員ノ前記炭坑外元重役社員経営事業ニ就業中ノ者 七六名
	右ノ個人営業者 二七名
	仝上個人 四名
	仝上帰農 六名

ルヲ本件ハ日本官憲ヨリ改メ沙汰スル迄預金ノ引出ヲ禁スル旨申渡アリタリ

進駐軍ガ右預金ヲ接収シタル理由不明ナルモ取調官ハ三十年十二月三日ヨリ始マリタルモノニシテ右ハ不正持参ト云フ容疑ニヨルト云ヘルモノノ如シ真想不明

因ニ九月下旬頃既ニ銀行ニハ引出停止ノ命アリタルモノノ如キ特ニ私個人ノミニテ本件ニ関係ナキ公逃家ニ凍結サレタリ

右ノ如ク取調ハ三十年十二月三日ヨリ始マリタルモノニシテ本件ニ関係ナキ公逃家ニ凍結サレタリ

6、水産業　二名

引揚社ノ生次状況

其他ハブローカー、進駐軍通訳、労務等ニ従事中ノ者多数、病気等ニ依リ失業中ノモノモアリ

僅カニ生次アリ

考スル

在日入営者ノ数

戦死戦病者ノ数

在日入営者ハ全ノ約六割ニ当ル二〇名内外

道府県ノ生次状況

道府県ニ対スル状況

前記ノ取扱ヘヨリ援助ノ方法ナリ有志相寄リ小額ナガラ援助継続中

道府県ノ生次状況

親戚ノ保護ニヨリ生次アリ

戦死者ニ対スル状況

引揚社ノ生計状況

引揚者ノ思想

不良不穏ノモノナシ

引揚社ノ家族ノ処理状況

其家族ノ生計状況

引揚者ノ思想

不穏ノモノナシ

未復員者ノ其家族ノ数

未復員者　ナシ

在日本朝鮮人ノ社ニ対スル債務ノ種類

銀行預金

前記ノ如キ銀行預金ノ目下進駐軍保管中

其他

未復員者ノ思想

不良不穏ノモノナシ

在日本朝鮮人ノ社ニ対スル債務ノ種類

銀行預金

団体会社ヘ預金

財産	家具什器類	家具什器類
		釜山方面在住社久ノ一部ガ小船ニテ家財ヲ持チ帰リタルモノ外相当ナレ
	解除契約	解除ニ付金ナシ
	未収入金	有価証券
	有価証券	社久中会社ノ株式ヲ持参シタルモノ若干アリ
	有価証券内訳	北模様ナルモ相当ニ盗マレタリ銀行ニ保管依頼シモノモアリ
		代表社久土井誠一分ハ本人渡日後三日ニ及ブ強盗ノ侵入ニヨリ盗マレタリ本時当室ニ一名重傷入院加療二ヶ月ニ及ブ
補足	会社ノ処理	終戦直後日本人ニ於テ経営持続見込ナキヲ

思ニ何ヤ無事ニ後継者ニ引継度決意シ
人仍テ混乱ノ次マルニ従ヒ経費ノ調達ヲ急
キ金四十万円餘ヲ鮮人重役保管ノ下ニ
金庫ニ納メ一名ノ外ハ心ヲ許シ
ヌ更ニ交通ヨリ不便ノ六十餘万円ヲ以テ
重役其他ヲ信用スル意向ナリシモ
前着ハ労務者ノ為強奪サレ後着ハ相
鮮銀行ニテ右金庫在金強奪サレタルヲ
知リ引出ヲ拒絶サル為之鮮人側重
役輩ヲ一時毒殺シタル模様ナルモ其
後相鮮銀行ヨリノ借入金ニヨリ労務者ノ
平穏ニ帰スルヲ俟チ漸次事業開始
目下煉炭工場、コークス工場共運転シ
由ヲ聞知シ快ニ不堪ナリ

終戦前ノ会社ノ内容	人 終戦前時金壱千万円位ノ銀ノ借入金ア リタルヲ之ハ紡績府指令工場ノ建設ニ投 資セルヲノニテ建設中ノ平壌大同江沿岸 ノコークス煉瓦工場其他ノ投資額金壱 千四百万円ニ達シ外リ氏ノ指令工事ノ ナレ外ろサリレトセバ我社ハ無借金ノ会 社タリシレトモ右ニ対スル銀ノヘノ提供担保ハ会社不動 産ノ大部分トス 又、会社ハ明收四十ノ年ノ個人起業ニ始マリ 三十餘年間ノ蓄積ヲ極ル二償却ヲナシ工場ハ元 ノ外不動産ヲ極ル二償却ヲナシ工場ハ元 ヨリ高級住宅ノ如キモ一軒ガ百円未満 地方支店ヲ借地々上ノ建物ハ〇其他ノ
	モノモ一二 モノ不 排出金 信ヲ上ノ内容ヲ保持シ一流会社ノ面目 躍如タリシレトモ 故ニ社名（日本人社名）ノ社株ノ所有ヲ名 誉トシテ競ツテ貯蓄ヲ之ニ充テ両已ニ 覚ノ会社ノ如キ気持ニテ終始セルモノ トリ 終戦直前ノ株式ハ一般ニ暴落セシモ 社株ハ尚親ガ一ノ下ラス氏見ノ ノ実物ハ相興、商銀等ニ預サラレタル 状況トリ

昭和二十二年十二月

三國石炭工業株式會社殘務整理事務所

山口縣防府市鑓圃町一〇四五番地

代表社員　土井誠一

別紙

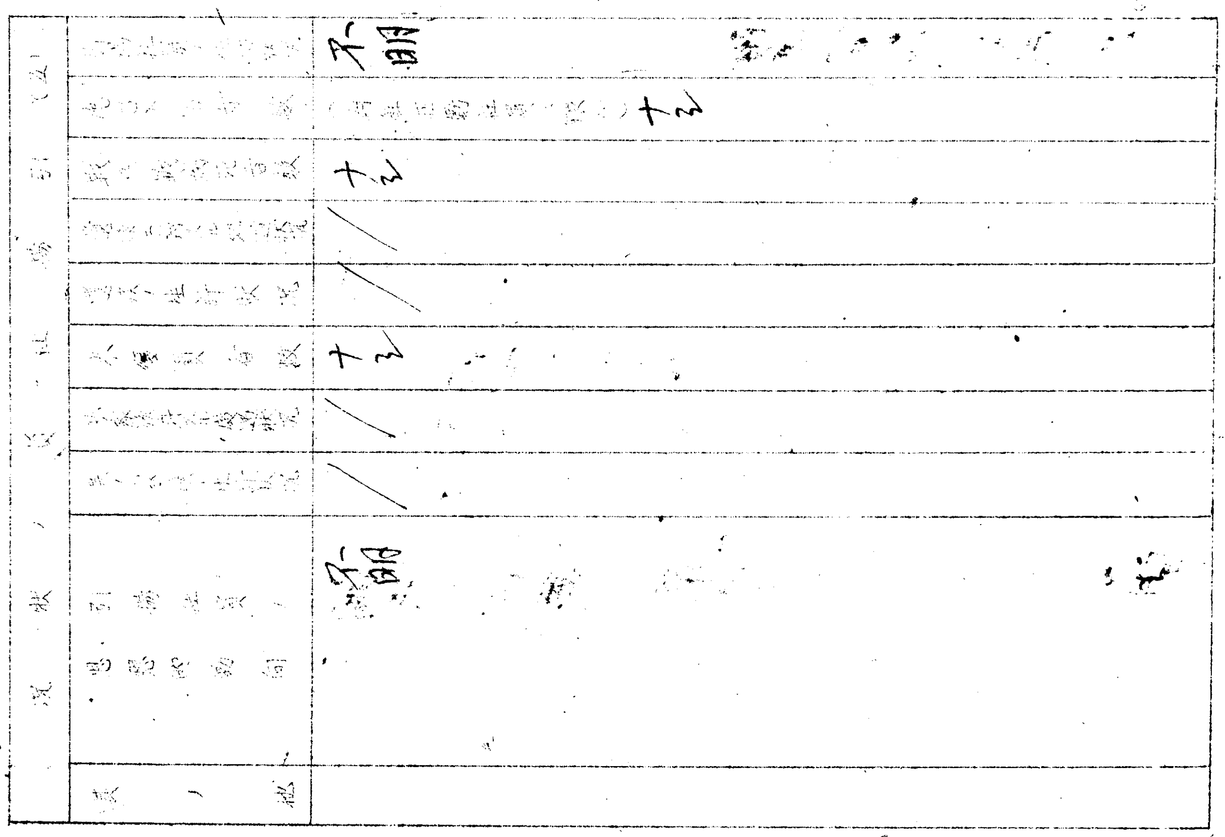
引揚法人ノ現狀調査（昭和二十二年五月 日現在）

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業目的	引揚ニ際シテノ指導及事業引継ノ狀況	現在所
				本社	工場其ノ他ノ事業所	本籍			
生興鑛業株式會社	公稱 一、五四五、〇〇〇円	拂込濟 一、五四五、〇〇〇円	西脇濟三郎 西井長治、西脇孝三郎、西脇政之助	東京都日本橋區江戸橋二丁目八番地	朝鮮咸鏡北道鏡城郡朱乙面面洞	全右	石炭及粘土採掘	速ヤカニ攻撃ヲ受ケ撤退命令ニ依リ引継ノ方法無ク内地人全員引揚	東京都日本橋區江戸橋二丁目八番地
		朝鮮人株主數 十二							
		朝鮮人拂込額 十、二							

240

(三) 引揚後ノ状況				(四) 會社ノ経	
現在役員人名	在外事務所勤務者ノ氏名	事業経営		引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ會社ニ対スル預金、未拂金ノ取扱及金額
		継続再開ノ状況	事業経営上ノ難易	事業経営ニ必要ナル資金ノ調達	
霜濱三郎、 四井長治 西勝孝三郎、西勝政三郎	四井長治	十三	大正 事業場喪失	十三	領收証書ヲ以テ昭和二十年八月末日迄ニ支給ヲ受ケタル退職金等ハ國家補償ノ対象トシテ要望中ナリ
					引揚社員ノ會社ニ対スル預金ハ各社ニ於テ大体昭和二十年八月末日迄ニ支給ヲ了シ尚未拂ノ分ハ別紙ノ通リ 斗枡口 八、〇〇〇円

現状況			(五)引揚社員ノ状況			
送金、預金其ノ他資金ノ集結状況	営業ニ対スル融資	残務整理ニ要スル経費ノ調弁状況及ニ対スル要望事項	組社残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ就業状況
金融機関別、金額 十ヶ	営業ノ為 融資ヲ 十ヶ	調弁方法無ク最低月額一万円ノ融資ヲ望ム	代理ヲ含ム残留社員数 十ヶ	永住数 百三十二名	十ヶ	不明 九州八〇%、東京附近一〇%、関西一〇%



22.5.30.
(2)

別紙

(一) 終戦当時ノ状況									(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及代表者氏名	所在地			事業ノ種類			
	公称	拂込ノ総額			本社	工場	支店、出張所、営業所等ノ名称及所在地			
朝鮮棉花株式會社	金弐、〇〇〇、〇〇〇円	弐、〇〇〇、〇〇〇円	社長、渕澤三郎、専務、金子合雲、取締役	京城府黄金町三ノ一	京城府	工場、出張所、裡里、四箇所、 支店、京城、釜山、大邱、 出張所、仁川、咸興、清津、羅南、平壌、新義州、鎮南浦、元山、各支店	綿花、及ビ綿種ノ販賣			
右ハ政府ノ命ニヨリ昭和二十年九月十五日現在ヲ以テ解散シ清算中ナリ										

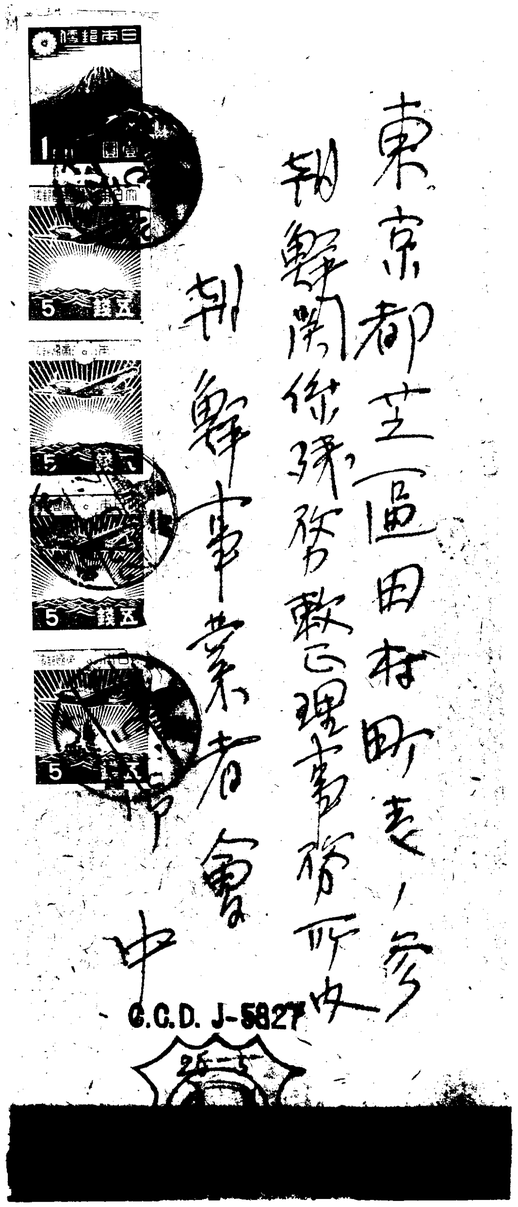
242

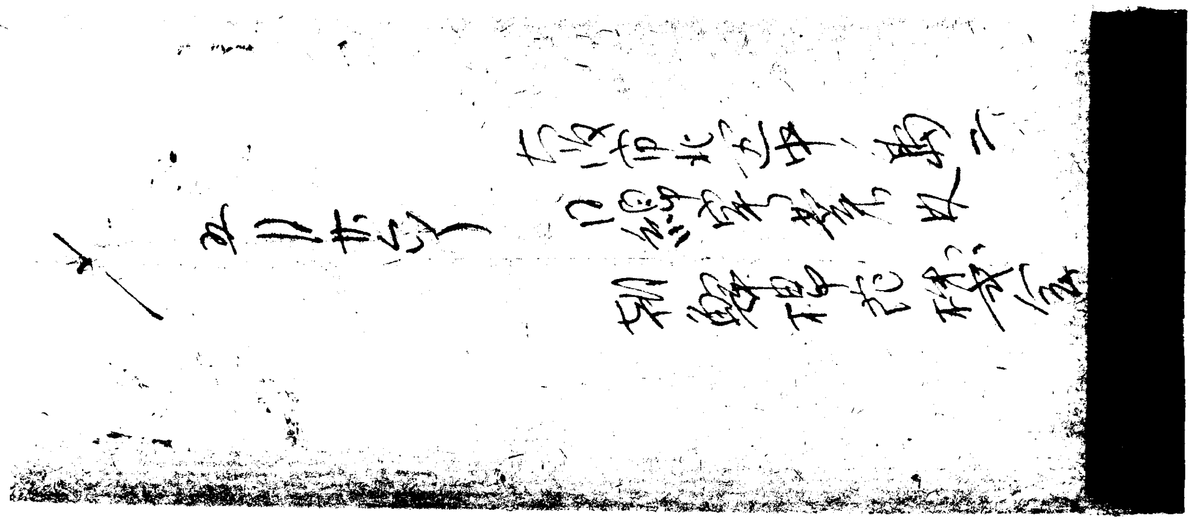
(三) 引揚後ノ状況					(四) 社會ノ經ノ	
就業等ニ関スル希望	希望業種				引揚者ノ退職金等ノ支給ノ概況	引揚者ノ事業ノ経営ニ対スル金融ノ概況
	就職希望ノ概況	事業経営ノ概況	事業適否ノ概況			
終戦後開銭ノ他ナリ。					現地ニ於テ支給	指示ス、考ヘ四五〇円

整理状況			(五) 引揚団体ノ状況			
送金、預金其ノ他資金ノ集結状況	官憲ニ対スル債権	残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及ビ其ノ他必要事項	解団残留団員数	引揚団員数	引揚団員団体ノ本拠	引揚団員ノ定着ノ状況
金融機関別 金額	官憲名 債権発生原因 金額	大阪出張所ニ於テ処理	残留地及残留事務数	本数	主トシテ北九州、八名	主トシテ北九州、八名

(五) 引揚社員ノ生活狀況									
引揚社員ノ生活狀況	應召入ノ有無	戰死、戰病死者數	留守ニ對スル一般ノ狀況	遺族、生計狀況	本會員ノ有無	其ノ家族ノ戰災ニ依ル被害狀況	其ノ外家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想動向	其ノ他

御覽
完了
吹消


東京都芝區田村町壱ノ参
判醫關係事務所收
判醫事業者會
中
C.C.D. J-5827



昭和廿貳年五月廿壹日

別紙

| | | |

一、社会福祉の対象	一、社会福祉の対象	一、社会福祉の対象	高齢者取扱後　私　耕　之
		二、社会福祉の目的	一、福祉を受ける人
	二、社会福祉の理念	一、社会福祉の理念	国内訪問山林、結果ヒヤ事、健全之
		二、社会福祉の原則	
		三、社会福祉の基本的方法	病気ヨリ、退院生活ヒシ為、田舎山林生活適当
		四、社会福祉の対象と関連諸科学	両記録ヲ病院ニ放ヒヤ病気ヲ、林ノ山林、林ノ補助ヲ、病気ヲ心ヲ治ス記録ヲ病気ヲ
二、社会福祉の主体	一、社会福祉の主体	一、社会福祉の主体	
		二、社会福祉の主体と客体との関係	
	二、社会福祉の組織	一、社会福祉の組織	
		二、社会福祉の組織と運営	大
		三、社会福祉の組織と運営	大

整理状況			(五)附属社員ノ状況			
送金、預金其ノ他資金ノ集散状況	金融機関ノ整理ニ対スル措置	残存整理ニ要スル諸経費ノ概算及之ニ対スル要望ノ概要	附属社員ノ社員数	附属社員数	附属社員ノ他ノ銀行ノ兼務状況	附属社員ノ他ノ銀行ノ兼務状況
金融機関別 金額 朝鮮銀行本店七、〇、九九三円八四 帝国銀行支店一六、六四七円一五 其他一二七円一〇	金融機関ノ整理ニ対スル措置	旧地ニ於ケル事業経営ニヨリ支那ニ於ケル投資ハ勿論也及ビ旧本国ニ於ケル投資ニ対スル融資ノ望ム	大正八年末現在十一人	永続数 社員十五名 雇員七十名	停年者ハ引続キ採用	本社並ニ各支店事業所

収入（注）	寄附金・支援金	
	参加人数（参加費有料の場合）	（ ）
	参加費（参加費有料の場合）	
	他の助成金・補助金	
	自己資金・負担金	
	参加者・利用者からの収入	
	参加費以外の収入・参加料金	
	収入合計・参加料金	
支出	別紙のとおり	
	支出合計	

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況							(二)	(三)
名称	資本金	役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社出張所	所在地 事業場	事業目的	引揚ニ際シントリタル措置及事業引継ノ概況	現在住所
朝鮮棉花株式會社	公稱金壹百壹拾四萬圓 拂込金壹百萬圓 朝鮮人拂込額 朝鮮人株主数	社長 [illegible] 專務取締役 [illegible] 取締役 [illegible] 取締役 [illegible] 監査役 [illegible]	朝鮮平壤府	朝鮮、四鮮州、京城、大邱、	朝鮮、四鮮州、	綿棉、繊布業	米軍改革ニ關シ詳シキ事情ヲ得ズ京城、白樂基氏ニ會シ其ノ引継ヲ	大阪市北区中ノ島二丁目堂島ビル

246

現在役員氏名	(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
	在外事務担当者氏名	事業概要				引揚社員ニ対スル退職金等諸給与支給ノ状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口数及金額
		継続、再開ノ状況	事業遂行上ノ障碍	轉換ノ状況	事業遂行上ノ要望事項		
事務員 諸倉政雄 ヶ谷善平 東錦俊井上清 監査役 飯塚重史	斑ヶ谷善平	／	／	／	／	鉱山部会ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、引揚前提出ニ於テ退職金ハ支給済ニ付キ詳細ハ附表ノ通リ。	引揚社員ノ年許積立金ハ明細表ヲ整備シ置カレタシ。 右ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ノ同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ。 身許能ク金ヲ現地ニテ拂込ム
	拾参ヶ口 金弐萬四百五拾円						

理状況				(五)引揚社員ノ状況					
送金、預金其ノ他資金ノ承継状況	金融機関別	金額		朝鮮残留社員数					
官廳ニ對スル債權	官廳名	債權発生原因	金額	引揚社員数	家族数	残留地及残留家族数	任務		
残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況				引揚社員自社就業状況					
受ケニ對スル要望事項				引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	ノ地住ヨリハ位下ヲ免レズ	約半数ハ就業セリ、但シ主職業ハ			
				引揚社員ノ地方分散状況	主ニシテ九州以方、南東北地方				

（五）引揚社員ノ狀況

引揚社員生活狀況	現在ノ經濟狀態ニ於ケル家族ノ狀況（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戰死戰病死者數	遺族對スル處遇狀況	遺族ノ生計狀況	未復員者數	其ノ家族ニ對スル處遇狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、著作権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）　若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。	日綿実業株式会社ノ関係会社、 金五四四、七九七円四六銭 （昭和廿年三月末日現在） 其内訳左ノ通リ（千円以下ハ省略ス） 計　金参、参七四、三四〇円九四銭 金五七四、三四〇円九四銭 金参、参七四、三四〇円九四銭

六

4.

昭和廿貳年五月廿壹日

三陽農林株式會社

代表取締役　小林準一郎

東京都麹町区有楽町壱丁目五番地

朝鮮京城府中区長谷川町七四番京城事務所

江梨道　雄陽　全四雄南道四街里

不動産ノ所有、借入、造林、開墾、農産物委買

江梨道春川　王子農林事業所之位置ヲ変更ス

東京都中央区銀座西一ノ三　王子農林會社内

249

（三）理事ノ氏名

代表取締役　村岡博登

在外事業地ニ於ケル氏名

中村義夫

引　継　事　業　ニ関スル事項

元事業地ハ朝鮮ナリシカ之ヲ改メレヲ他ニ事業

継　続　ニ関スル事項

〃

後　継　者　ニ譲渡スル場合ニ於ケル譲渡ノ条件

譲ラズ

残　存　事　業　並ニ債務ニ関スル事項

譲ラズ

要　事　業　ノ　村　ニ　帰　還　セ　ル　者　ニ　対　ス　ル　事　項

帝国ニ差押ノ上朝鮮ニ残レタル不動産ニ対スル補償ヲ

（四）引揚者ニ対スル金融斡旋ニ関スル事項

金融斡旋ニ対スル融資ヲ望ム

会社ノ現況

引揚者ノ氏名、会社ニ於ケル地位、引揚ノ年月日及金額

支拂済

支拂済

支拂済

経

摘　要　引揚者ノ氏名、会社ニ於ケル地位、引揚ノ年月日及金額

5:27.
(1.)

別紙

引揚法人ノ現状調査　昭和二十五年五月　日現在

(一) 終戦当時ノ状況							(二)	(三)
名称	資本金		役員ノ氏名及代表社員氏名	社員ノ氏名及住所		事業ノ概要	引揚後ノ状況	現在社員
	公称	払込済		本社	支社又ハ出張所			
株式会社朝鮮機械製作所	八、〇〇〇、〇〇〇円	二、〇〇〇、〇〇〇円	社長 長橋山公雄、常務取締役 村上俊造	朝鮮京城府中正長岩町ノ三（富士ビル五階）	東京都新宿区大久保百人町ノ八	鉄鋼仁川市萬石町六番地	昭和二十年八月末全員解職ト仝時ニ会社ハ解散シ土木化学機械鉄道車輌ノ製造販売一般諸機械ノ製造販売ヲ目的トスル新会社ヲ設立シ旧役員及従業員ノ内希望者ヲ以テ退職金ノ支給ヲ受ケ新会社ニ入社シ旧会社ノ業務ヲ継承シ現在ニ至ル	内
		現在人員 一〇九、五〇〇円	参名					

（右書換済）

253

現狀況			(五)勞務者ノ狀況			
送金、預金其ノ他資金ノ集散狀況	官廳ニ對スル積極	殘務管理ニ包含スル清算ノ開始ヨリ終了ニ至ル間ニ於ケル主要ナル事項				
金融機關別 金額 右送金ヲ終ヘ引續キ預金ヲ新設ヲ以テ全ク一切ヲ回收ス（株式會社安田銀行小舟町支店） 三和組	ナシ	第二封鎖預金 金一、一四九、〇〇〇圓 御除流傳ス				
			朝鮮人	内地人	其ノ他	計
			二十五名	三名	一〇名	
			ナシ			
			二五、〇名			
山工業株式會社						

各部署ニ於ケル從事者又ハ其ノ從事者ニ關スル指揮命令系統

引揚者ノ状況									
引揚ノ年月日	引揚ノ地点	引揚ノ状況	携帯品ノ概況	所持金ノ概況	生活状況	就職ノ状況			
昭和二十年八月末日（七九名）昭和二十一年八月末日	仙台港	一名	逃避行ニ付不明ノ者調査中	不明	調査中	終戦ノ物価高ニ生活困難トナリタル我々引揚者ハ職業ヲ求ムル事ヤサシカラズ各自就職セントスルハ何トカシテ生活ノ途ヲ講ジツツアリ即チ大久保ハ農業又ハ古工業ノ技術ヲ以テ敗戦ニ依リ引揚者増加ニ伴ヒ生活ノ苦シキ者多ク再建日本ノ為ニ各職業ヲ選ビ生活ノ確立ヲ計ル事ヲ望ム			

次者ハ外地ヨリ

5

別紙

別揚法人ノ現狀調査 昭和二十二年五月二十四日現在

(一)終戰當時ノ狀況								(二)現在ノ狀況	(備考)
名稱	資本金	代表者氏名及住所	役員氏名及住所	本社	附近ニ在ル事業場	主要事業	従業員數		
三菱電機株式會社朝鮮製作所	公稱 一億二十萬圓 拂込	取締役社長 宮崎駒吉		東京都麹町区丸ノ内二丁目四番地		(一)三相誘導電動機製造販賣 (二)管制器製造	朝鮮人約二〇〇名	朝鮮仁川府鶴翼町五一〇番地 終戰ト共ニ米軍政廳ノ管理下トナル	

255

(三) 引揚の概況						(四) 会社の経
従業員氏名	在外に於ける会社の営業状況	営業継続の有無	営業継続の社数	営業継続の社員数	引揚後の会社の支給の状況	引揚社員の会社に対する未収金額
					鉱山部会社ハ引揚後引続き本社に在勤の者ハ其の儘とし、引揚後退職したる社員ニハ、退職金等諸給与支給済	引揚後ノ会社ノ経理ニ於テハ明細ナキタメ不明

森川守文

現狀		(五) 引揚社員ノ狀況			
送金、預金、現資金、其ノ他ノ狀況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸經費、過不足狀況及ニ付スル主要ナル意見	現在代理社員氏名	引揚社員數	引揚社員ノ就業狀況
金額 金参百円也	金額 金参百円也		左ノ如シ	永淡故社員数 三十一名	引揚後退職シタル社員ハ夫々郷里ニ於テ自業ニ就業シテヰルモノガ大部分ナリ

256

(五) 引揚社員ノ状況								
引揚社員ノ生活状況	就業又ハ営業者数	就業ニ対スル希望状況	営業ニ対スル希望状況	適当ノ住宅状況	大震災ニ対スル感想状況	其ノ家族ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向	其ノ他
	一四名							朝鮮製作所は終戦と全時に解體し米軍政廳の管理下に置かれ現在は三菱電機株式會社とは何らの関係はおり居ら

( )

12

昭和廿壹年六月參日

昭和二十二年五月廿六日本官
東京都港區芝琴平町一ノ三
三井物産株式會社
代表者事業者倉庫株式
取締役 [illegible]
右刀 委任狀作成者
引揚法人ノ設立ノ件
上記十九名ハ昭和廿二年六月十七日ニ開催ノ
右設立ニ關スル一切ノ件
右代理者
[illegible]

257

引揚法人ノ現狀調査

(一) 名稱　三井物産株式會社

　　資本金　拂込　壹億圓　　昭和廿二年五月廿六日現在

　　終戰當時ノ狀況

　　役員氏名及代表社員氏名　代表取締役社長　北坡正直、中村栄平
　　代表取締役副社長　宮崎清
　　取締役　高見二郎、高橋清悟、山本正男、北島眞恒、山本憲介
　　常任監査役　宮本邦雄、監査役　和尾誠一郎、照本偉一

　　朝鮮人株主数　六
　　朝鮮人拂込額　九、三五〇圓

　　本社　東京都日本橋區室町三丁目一番地一

　　支社出張所　京城支店＝京城府黄金町　咸興事務所＝咸興府大和町
　　仁川事務所＝仁川府海岸町　群山事務所＝群山府全州通
　　清津出張所＝清津市港町　釜山出張所＝釜山府本町
　　蔚山駐在員＝蔚山郡蔚山邑　平壌支店＝平壌府大和町
　　新義州事務所＝新義州府常盤町　鎮南浦事務所＝鎮南浦府三和町

(二) 事業目的

　　以外物資ノ輸出入及收書業、艦船業及陸揚業、海外ニ於ケル物品製作造船業、海外ニ於ケル農林産業及鉱業、海外ニ於ケル製材業及前各號ニ關スル事業

(三) 現在役員氏名　代表取締役常務取締役、山本正男、山本憲介、高橋清悟、北島眞恒
　　取締役副社長、宮崎清
　　取締役、和尾誠一郎

(四) 事業ノ概況

　　引揚ニ際シ一切ノ(一)米軍地区内所在店ハ各道人民政委員會ニヨリ接收サレタル(接收内容ニ關シ未確認ナリ)

(二) 措置及事業別

　　(一)蘇聯軍地区内所在店ハ各道人民政委員會ニヨリ接收サレタル(接收内容ニ關シ未確認ナリ)　全員解職サル

(五) 總ノ狀況

二	現在役員氏名　取締役、毋治三郎、村瀬新一郎、上林熊雄、今井一、 監査役、中村米平、太田策馬、中村倉太郎、柏尾誠一郎、服本偉一
引	在外事務担当者　馬場宗康、小林香次、杉本由照、中山義治
揚	継続両開ノ鮮内事業ハ米蘇官憲ノ理ノ下ニ旧朝鮮人従業員ニヨリ続行
後	状況　サル居北モノハ処分内地事業ハ経績シツヽアリ
ノ	転換ノ状況　転換ニ居ニテ
状	事業遂行上ノ障碍　十二
況	事業遂行上ノ要望事項　十二
(四)	引揚社員ニ対スル退職金等清算ノ状況　退職者ニ対シテハ規定ノ給與ヲ為ス
會	引揚社員ノ会社ニ対スル預金ノ未払
社	合口数及金額　約一三四、〇〇〇口　金二〇〇圓

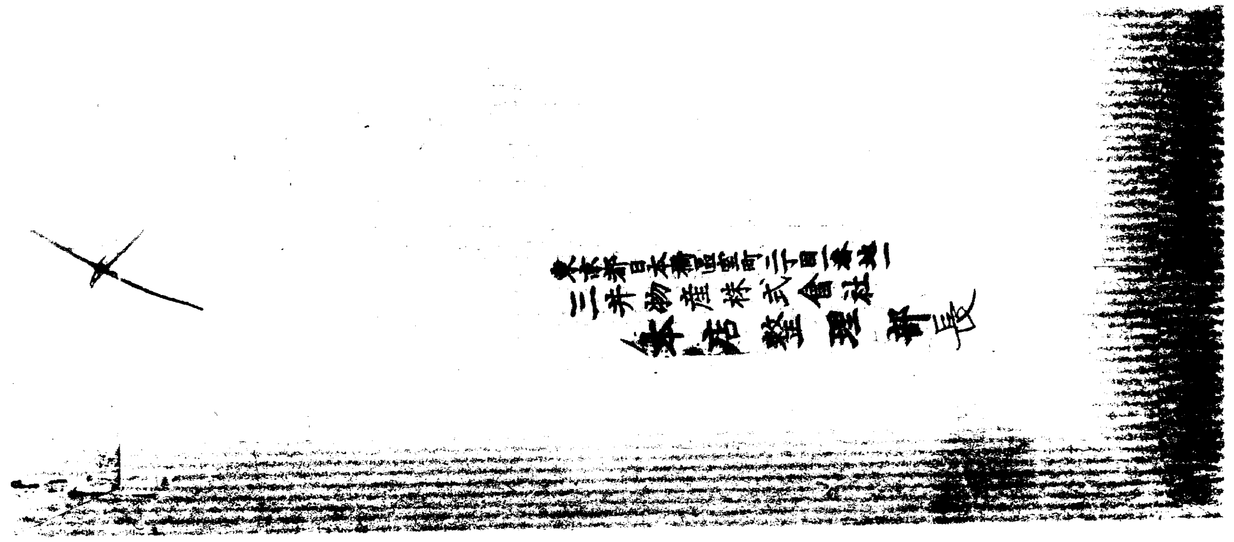
ノ	現金		
主	送金、預金振替貯金		二〇四、〇〇〇円
理	其他預金ノ	銀行当座預金	五七、〇〇〇円
		定期預金、其他	六、七六三、〇〇〇円
状	保管状況	京城中央郵局	二二二、〇〇〇円
況		外郵便局	
		合計	七、二四六、〇〇〇円

	官廳ニ対スル	朝鮮総督府交通局外五廳
	債権	
		弥務整理ニ要スル経費ノ調査状況及ニ対スル要望事項
		特ニ記スベキ事項ナシ
(五)	朝鮮殊由社員数	一二名（全部応召単身者ニテ殊由地不明）
	引揚社員数・一一七名（家族数不詳）其他死亡八名	
引揚社員ノ就業状況	全部自社ニ就業（単社員ノ居地御庫）	
引揚社員ノ就業状況	他ノ方面ヘノ就業者ナシ	
引揚社員生活状況	普通一般ノ生計ヲ為ス	
社員ノ応召入営者数	（朝鮮在勤者ニ限ル）二九名	
戦死戦病者数	戦死四名	
遺族ニ対スル処遇状況	戦死者ニ社ヨリ弔慰金ヲ出ス	
遺族生計状況	不詳	
未復員者数	一二名	

突然風雨が吹き荒れる	
引揚社員、現る	思わぬ事迄、来て下さる有り
仙動向	
主、他	

東京都港區芝田村町一ノ三

朝鮮事業者會市中



14

昭和廿貳年六月參日

別紙

新規・揚法人・現狀調査　昭和二十二年五月　日現在

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金	役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業種目	引揚後ノ狀況	現在狀況
			本・社	支社出張所	工場			
資生堂京城販賣株式會社	公稱拾萬圓也 拂込人拾萬圓也	代表役員 土橋信太郎 仲義男 津戸正吉	京城府中正壽町八番地ノ一	平		衛生化粧品薬剤 衛生外品販賣 化粧品薬剤	社屋不明ニ付引揚ニ際シ調査不能 引揚後ノ狀況不明ニ付引揚ニ際シ調査不能	殺出前ニ醫療薬品工業第一種 油脂製品ノ卸売業

(株)資生堂

262

(三) 引揚者ノ職業				(四) 會社ノ處	
氏名	引揚者ノ氏名	事業種別		引揚者ニ對スル退職金等給與ノ狀況	引揚社員ノ會社ニ對スル未拂金ノ有無
		引揚前ノ狀況	引揚後ノ狀況		
仲義男	仲義男	農業	休業	株式會社安重堂ヨリ支出シアリ	
堀光雄	堀光雄	農業	農業		

| 整理 | | |

1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

13

昭和廿貳年六月參日　変易

別紙

(一) 移転営業時の状況								(二)	(三)
名称	資本金		代表役員氏名	代表役員以外の役員の氏名	本社	工場	事業所		
朝鮮京城府中正壽町八番地ノ一 株式会社 資生堂	公証 拾八萬圓也	払込 九萬圓也	代表役員 大塚滝一		朝鮮京城府中正壽町八番地ノ一	第一工場 京城府永登浦町二四〇番地 第二工場 京城府永登浦町五八五番地	京城府永登浦町二四〇番地	失産主義鮮人ノ不法接收等行ハレ單政庁ニ依頼セル鮮人労働者ヲ斡旋ヲ不可能ニ付當時ノ決算書類ヲ以テ鮮人従業員ヲ引継ゲリ	製造及販賣油脂製品卸賣業其ノ他之ニ附帯スル一切ノ業務
	朝鮮人株主ノ數 八株主		仲義男						
			形見壽三						

264

(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
就業従業員人名	在外事業関係者ノ各	事業ノ概況			引揚ニ関スル会社ノ経費支出ノ概況	引揚社員ノ為ノ会社ノ負担金額
		経営再開ノ状況	事業継続ノ難易	事業継続ノ程度		
大塚清一	堀久一	休止	／	／	積立金ヨリ支出シアリ	ナシ

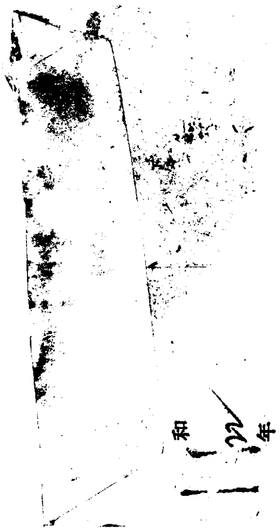
現狀況				五、引揚社員ノ狀況			
送金、預金其ノ他資金ノ狀況	官廳ニ對スル債權	殘留整理ニ要スル諸經費ノ調弁狀況及ビ其ノ他必要事項		引揚社員狀況	引揚社員ノ就職狀況	引揚社員ノ生活狀況	
金融機關別　金額 横濱正金銀行　金壹萬圓 三和ノ特別口座　金壹萬圓 仮払金　五萬八千圓 預金合計　一大、八〇、九二 總合計　二一、三九、九三	ナシ	殘務整理諸經費ハ引揚社員ノ株式會社ヨリ支出シ殘金ハ本社ニ於テ國家補償ノ確立ヲ要望ス		ナシ	引揚社員八凡テ株式會社ヨリ就業	ナシ	
				氏名　家族數　計十一名			

滝正芝

朝鮮咸興府

朝鮮事業着手

田村町一丁目三番地



発行所
株式会社 世界文庫

東京都京橋區銀座西七丁目三番地
電話銀座(57)六四一一番

昭和22年5月30日

昭和二十七年七月廿壹日

引揚法人ノ現狀調査

名稱	日本高周波重工業株式會社
資本金	公稱 五千萬圓　朝鮮人株主數 一二三（八四七〇株） 拂込 五千萬圓　朝鮮人拂込額 四二三、五〇〇圓
(一) 終戰當時ノ狀況	
役員氏名及代表社員氏名	取締役社長有賀光豐、專務取締役杉本正邦、常務取締役安井清、十橋國利、野中增一、野村豐二、菊池麟平、取締役青山彦九郎、常任監査役立川平、監査役菊池一德、山口重政、
所在地 本社	朝鮮京城府中區黃金町二ノ九
支社出張所	支社 東京都世田谷區北澤三丁目八八五 出張所 大阪市北區絹笠町四六
事業場	城津工場 朝鮮咸鏡北道城津府双浦町四六 富山工場 富山縣高岡市新湊放生津 北品川工場 東京都品川區北品川五丁目四九三
事業目的	各種金屬ノ製錬各種金屬製品ノ製造並ニ各種工業
(二) 引揚ニ際シトリタル措置及事業引繼ノ狀況	本社ニ於テ極力可能ナル範圍ニ於テ各般ノ清算ニ努力セルモ尙半ニシテ京城府所在北星企業社（社長金承植）ヘ昭和二十年十月二十九日ニ事業ノ引繼ヲナス註　其ノ間城津工場トノ連絡ヲ計リタルモハタサズ城津工場ハソ軍ノ接收スル所トナル
(三) 現在住所	東京都品川區北品川五丁目四九三

(三) 引揚後ノ狀況	
現在役員氏名	常務取締役久保田光郎、武智巖、取締役藤田眞、飛田裕幸、監査役砂田四郎、監査役土田權二
在外事務擔當者氏名	東京支社全般ニ於テ行フ（代表者總務課長山東嘉樹）
事業概要 繼續再開ノ狀況	昭和二十一年三月八日聯合軍ノ許可ヲ得民需產業トシテ富山工場丼會 昭和二十年十二月十一日〃　北品川工場丼會
轉換ノ狀況	富山工場　電氣銑、特殊鋼材鑄鋼品鑄物製品、電氣機器等 北品川工場　特殊鋼工具製粉機、レザー、鑄物製品、
事業遂行上ノ隘路	在外會社ヲ爲聯合軍ヨリ再開許可ヲ受ケタルモ諸法令ニ抵觸シ事實上企業活動不能ノ狀況ニアリ鑄物製品
事業遂行上ノ要望事項	聯合軍ヨリ再開許可ヲ受ケタル限リニ於テハ在內地會社並ノ取扱ヲ希求ス
(四) 會社ノ經	
引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	(鑛山部會ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ) 在外會社ナル爲諸法令並ニ資金面ニ於テ難色アリ諸給與ヲナシ得ズ
引揚社員ノ身許積立金ノ未拂分口數及金額	(次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機關ニ對スル預金ト同樣ニ處理サレタキ旨要望中ナリ各社ニ於テハ明細表ヲ整備サレタシ) 身元積立金制度ナシ
引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額	制度ナシ

整理状況		
送金、預金、其ノ他資金ノ凍結状況	金融機関別	金額
	朝鮮殖産銀行	八、三七二、二二〇・〇六 凍結
	住友銀行其他第二封鎖	六八九、〇四一・三〇
	〃 第一〃	八一六、〇二六・〇四
官廳ニ對スル債權	官廳名	債權發生原因 金額
		ナシ
殘務整理ニ要スル諸經費ノ調辨狀況及之ニ對スル要望事項	右ノ如ク唯一ノ財源ハ凍結セラレ且ツ在外法人タルノ爲諸經費ノ調辨モ爲シ得ズ活動不能ノ狀況ニアリ	
	海外引揚ニ伴フ諸經費ハ厖大ニシテ一會社ノ良ク負擔シ得ル處ニアラズ且ツソノ本質ヨリスルモ國家補償ヲ切望ス	

(五)引揚社員ノ狀況			
朝鮮殘留社員數	地名	家族數	摘要
	本人		
	平壤 一名	二	技術指導
	清津 二名	七	〃
	城津 一名	二五	〃
	文坪里 二名	八	〃
	川内 一名	三	〃
引揚社員數	從業員 一、三七〇名 家族 四、六五〇名		
引揚社員會社就業狀況	會社自体ノ規模縮少ト住宅難食糧難等ノ爲極メテ少ナシ		
引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業狀況	現社會狀勢ヨリシテ就職ハ少ナシ		

(五)引揚社員ノ狀況	
引揚社員ノ地方分散狀況	北海道 一九六 東北 一〇六六 關東 六五一 中部 七七八 近畿 三八五 中國 七〇四 四國 四一八 九州 一八二三
引揚社員ノ生活狀況	食職衣住ナク最底生活ニ堪ヘ居ル狀況ナリ
應召入營者數	(現)(召)集在勤社員ニ限ル) 一〇四〇名
戰死戰病死者數	不明
遺族ニ對スル處遇狀況	見舞金程度ノモノヲ贈リ居ルノミナリ
遺族ノ生計狀況	働手ヲ失ヒドン底生活ニアエギ或ハ親戚知己ヲタヨリテノ寄食生活等ソノ慘情目ヲ蔽フベクモナシ
未復員者數	二〇〇
其ノ家族ニ對スル處遇狀況	未復員者ハ單身者多クソノ未ダ之ニ對スル給與等ハナシ居ラス在家族者ニツイテハ遺族ニ準ジ處理シ居ル
其ノ家族ノ生計狀況	有家族者ノ生計狀況ハ遺族ノ生計狀況ト略同一ナリ
引揚社員ノ思想的動向	インフレノ激化ニ伴フ生活苦ヨリ逐次失銳化シ集團化シ引揚問題ノ解決ヲ迫リツツアリ
其ノ他	

昭和十貳年六月拾四日

拜復　陳者引揚法人ノ現狀調査ニ關スル件御依賴有之候處擔當者
出張中ノ爲遲延仕リ申譯無之候茲許調査書同封御送附申上候間何
卒御査收被下度願上候

昭和廿二年六月十一日

東京都中央區日本橋兩國二〇番地一
丸屋
事務擔當者　三輪巳之輔

敬具

朝鮮事業者會
御中

ミツヰ化学産業株式会社
安房化学工業所

引場法人・現状調査　昭和十二年五月三十一日現在

(一) 名称　ミツワ化学産業株式會社

経営本金　弗五拾万圓

役員ノ氏名　取締役　三輪善兵衛　監査役　横井順造　仲野隆一

代表取締役　三輪善兵衛

本社　京城府中区長谷川町八十二番地

出張所　忠清北道清州邑

(二) 指導ヲ要スル事業ノ状況

事業場　大邱府錦町二丁目一七二番地　ミツワ酒石酸精製工場

事業目的　酒石酸石灰及酒石酸製造

引場ニ於ケル事業ヲ中止シ全従業員ニ相当ノ解散手当ヲ支給シテ現地解散ヲ断行シ大邱工場ハ殆ンド全部ノ組織ヲ維持ノ儘之ヲ職域維持ノ責任管理ニ委シ他ノ其ノ他ノ地方作業所財産ハ一切現金ニ変シ引場ニ引揚ゲル外ナカッタノデアル

(三) 現在ノ引揚ゲ前ニ於ケル出張所ノ状況

事業ヲ中止シ全従業員ニ相当ノ解散手当ヲ支給シテ現地解散ヲ断行シ大邱工場ハ殆ンド全部ノ組織ヲ維持ノ儘之ヲ職域維持ノ責任管理ニ委シ他ノ其ノ他ノ地方作業所財産ハ一切現金ニ変シ引場ニ引揚ゲル外ナカッタノデアル

引揚後ノ事業ノ概要

継続再開ノ状況、転換ノ状況

事業遂行上ノ障碍

前任常務取締役　三輪已ヨ

(四) 引揚社員ニ対スル退職金等ノ給与ノ状況

引揚社員ニ対スル退職金等ノ給与ノ状況

引揚社員ノ身許引受人ノ氏名

引揚社員ノ身許引受人ノ氏名

引揚社員ノ未収金額

引揚社員ノ未収金額

会社ノ経理ニ関スル官庁ニ対スル債権

会社ノ経理ニ関スル官庁ニ対スル債権

朝鮮人株主数　ナシ

朝鮮人株込額　ナシ

現地解散ニ際シ解散手当ノ外ニ特ニ給与シタル金額ノ有無

現地解散ニ際シ解散手当ノ外ニ特ニ給与シタル金額ノ有無

当該事項ニ関スル参考事項

当該事項ニ関スル参考事項

○丸見屋商店

（五）

朝鮮被留社員数	當該事項ナシ。
引揚社員数	全
引揚社員自社就業状況	疎開地解散後任意引揚ヲ完了シ夫々原籍地・疎開地ニ復帰シタル者ナシ。
引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	就職又ハ自家生業ニ従事シツヽアル。 東京都　静岡県　兵庫県　広島県　山口県　福岡県 以上各一名宛　二五名　五五名　四五名
引揚社員ノ四分散状況	各自親会連絡ヲ取リ合ヒツヽアリ。
引揚社員生活状況	各自ノ就業ニ依リ安定生活ヲ営ミツヽアリ。
応召入営者数	ナシ
戦死、戦病死者数	ナシ
遺族ニ対スル処遇状況	ナシ
遺族ノ生計状況	ナシ
未復員者数	ナシ

（五）

其ノ家族ニ対スル処遇状況	ナシ
其ノ家族ノ生計状況	ナシ
引揚社員ノ思想動向	引揚社員ハ大多数ハ親会連絡ヲ取リ合ヒツヽアリ。社外財産ノ喪失ト終戦ニ依ル戦災、其他ノ満州ニ於ケル精神的物質的ニ甚大ナル打撃ニ対シ国家補償ヲ実現ニ俟カル不合理ニ憤懣セシモ漸ク前ヲ向キ国家再建ノ協力スル外ナキ理念ニ徹シ次時局安定ニ伴ヒ新国家再建ノ協力スル外ナキ理念ヲ以テ更正奮起、希望ヲ喚起シ耐ヘ生活ニ堪ヘツヽアル。
其ノ他	

丸見屋商店

名称	安養化学工業株式會社		
(一) 給込資本金	公稱 金拾八万円也		
	拂込 全額拂込	朝鮮人株主数	ナシ
従業員代名又代表者氏名	取締役 三輪善兵衛、小野田私、後株六十男、栗波田暖、安江正三、岸崎秀代表取締役 三輪善兵衛	朝鮮人拂込額	ナシ
本社又ハ支店所在地	京畿道始興郡安養面安養里七七四番地		
事業所	京城府中区永楽町二丁目二番地		
(二) 事業目的	京畿道始興郡安養面北養面飛山里		
引揚ニ際シ取リ止メ処分	酒石酸、製造販売	葡萄糖、蔗糖及附帯事業	
(三) 現在住所	終戦ト共ニ建設工事ヲ中止シ労務者ヲ解散スルト共ニ		
現在従業員代名	終戦ト共ニ建設工事ヲ中止シ労務者ヲ解散スルト共ニ		
引揚後ノ状況 事業種類ノ概要	現地保管中ノ機械ヲ処分サンタル従業員ニハ		
事業経営再開ノ状況	相当ノ解散手当ヲ		
事業遂行上ノ障害ノ概要	内地ニ走古本店ニテ現地解散ヲ断行シタル		
事業遂行上ノ希望事項	東京都中央区日本橋両国二ノ一ノ丸見屋		
引揚社員ノ身許引受ノ手続ノ概要	在鮮本社現地解散ノタメ内地企業関係ナシ		
引揚社員ノ会社ニ対スル債権未済ノ品名及金額	前任常務取締役 三輪巳之輔		
(四) 会社ノ概況	現地解散ニ際シ解散手当、倉庫ニ手荷物ト称シ一千円之俗與		
退職金、賞与、慰労金、清算ノ状況	今ニ該当事項ナシ		
	今ニ		

○丸見屋商店

当該事項ナシ	
会	
全	
家族数、施設等ニ入所者ノ有無	家族数、三十九名。
引場社員数	引場社員ニシテ炭々廃鉱地、繊鉱地ニ安着シテ就業セシモノ。
引場社員目社就業状況	現地解散ノ為メ何レモ就職又ハ自家生業ニ従事シツヽアル。
引場社員ノ他ノ方面ニ就業状況	東京都　奈良県　鹿児島県　静岡県　山口県　一五名　一五名　四名
引場社員ノ世帯分散	各自頃合ヲ見テ分散シ、タヾ一ヶ所ニ集合シ解散セリ。
引場社員ノ生活状況	
家ヲ出ル者数	ナシ
戻ル者数	ナシ
遺族ニ対スル処遇状況	ナシ
遺族ノ生計状況	ナシ

引場社員ノ	
未復員者数	ナシ
其ノ他ノ抑留ニ対スル処遇状況	ナシ
其ノ家族ノ生計状況	ナシ
思想的動向	引場社員ハ頃合須結ト在外財産ノ喪失ト冷厳ナル敗戦ノ事実ニ憤懣ヤル方ナキ心境ニアルモ、愛国ノ至情ヨリ国家再建ニ協力シツヽアリ。
其ノ他	一、安定ニ伴ヒ新国家ノ建設ニ邁進スル様ニ指導シツヽアリ。 一、生活不安ヲ除去シ耐乏生活ニ堪ヘシムル様指導シツヽアリ。

丸見屋商店

No.

昭和廿二年 十月廿一日

在外資産調査委員会 殿

事務局第一課

庶発

引揚民の現状調査依頼の件

十月廿四日甲城市発の件最寄船佐世保より
「六日本国内に於ける所有財産は不動産も此の
内に含む」

不動産の所在地
本局都道府県迄
記
福岡県大山郡一の二一
宅地 一筆
畑 一筆
合計 八八二の四一 九秋七坪
合計 八八二の四一 九秋七坪

速
報

No.

昭和　年　月　日

北支又ハ北支大山少尉一行ニ
対シ
木造平家建
目下弾薬事務所
現中ナリ
ニ於テ
ニ使用ス

2/4

受

No. 11098

昭和二十一年六月二十一日

朝鮮事業有合
昭和二十一年六月二十八日
日本産業再建対策懇談会
古賀繁一

拝啓

会社等ノ名称ヲ変更シ又ハ解散シ又ハ新ニ会社ヲ設立スル件

一、朝鮮電業株式会社

二、朝鮮重要鉱物株式会社

三、朝鮮鉄道株式会社

一、鉄道施設公団

275

TN No. 4 入

別紙

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月三十一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金	役員氏名及其ノ法人トノ關係	事務所		事業ノ概要	事業開始年月	引揚法人ノ狀況	引揚法人ノ事業ノ概要ト其ノ狀況	現在ノ狀況
			本社	主タル支社又ハ出張所					
朝鮮電業株式會社	公稱 三億四千百七拾參万圓 拂込 〃 金額	取締役社長 久保田豐 副社長 玉置正治 常務取締役 大島英吉 〃 山澤和三郎 〃 横地靜夫 監事 金林道太郎 〃 松信夫 〃 大島英吉	京城府黄金町一ノ一八〇番地	京城、平壤、江界、元山、長津江、虚川江、西頭水、華川、寧越、蟾津江	朝鮮ニ於ケル發送電事業	昭和十四年五月	朝鮮ヘ歸還セル役員數 二十七名 朝鮮ヘ歸還セル從業員數 三二七九〇名	終戰ニ依リ八月末頃迄ニ八京城本社ヲ初メ南鮮勤務員ニ對シテハ給料退職金並ニ預リ金等ノ支拂ヲ了シテ了セルモ三十八度以北ノ分ハ送金困難ヲ極メ殘ラテ投ヲ講ジルモ不可能トナリ九月十六日米軍ニ接收サレ朝鮮人從業員ニ引繼ヲシ九月末ヲ以テ南鮮勤務ノ日本人從業員ハ殆ンド退職シ十日ヨリ年末ニ亘リ故國ニ引揚ケタシタリ引揚援護ニ對シテハ年末迄釜山ニ其ノ他博多、仙崎ニ於テ援護連絡事務ヲナス爲メ出張所ヲ設置シ引揚社員ノ援護ヲナシ現在東京

(一) 組合員ノ氏名	(二) 財産ノ種類及其ノ所在				(三) 財産ノ種類及其ノ所在	(四) 組合ノ債務	
	組合ニ出資ノ目的ト為リタル財産ノ種類及其ノ所在	組合ニ出資ノ目的ト為リタル財産ノ種類及其ノ所在	組合ニ出資ノ目的ト為リタル財産ノ種類及其ノ所在	組合ニ出資ノ目的ト為リタル財産ノ種類及其ノ所在		組合ニ出資ノ目的ト為リタル財産ノ種類及其ノ所在	組合ニ出資ノ目的ト為リタル財産ノ種類及其ノ所在
本明ナシ	東京都中央区銀座西六ノ四ノ一日病ビル内 管理人 緒方亮一	事業場朝鮮ニ在リ名実ノ継続再開不能	ナシ	ナシ	ナシ	引揚社員ノ債務ニ対シ組合ニ於テ保証シタル金額ノ総額 三十八度以南従業員ノ各事業地金融機関閉鎖ノ為メ会社ノ預金引出出来ズ未支給ナリ	引揚社員ノ債務ニ対シ組合ニ於テ保証シタル金額ノ総額 引揚社員ノ債務ニ対シ組合ニ於テ保証シタル金額ノ総額 引揚社員ノ債務ニ対シ組合ニ於テ保証シタル金額ノ総額
						産傷員 五五六口 三四六、四〇〇円 社員 一、〇六五口 七〇四、〇〇〇円	産傷員 五五六口 三〇〇、〇〇〇円 社員 一、〇六五口 一七六、〇〇〇円
							合計 二〇六、〇〇〇円
							退職金及未払給料 合計 九四八、四〇〇円

三菱銀行内幸町支店　第二封鎖預金　三〇、七六八円
　　全　　第一封鎖預金　二五七〇〇円

十七

給料外諸手當一ケ月約八千円、五月二十日現在第一封鎖預金殘高二五七〇〇円ニシテ特別支出無キ限リ今后三ケ月間ニ得ルトモ殘後ノ第二封鎖預金解除ノ途ヲ講ズルニ非ザレバ當務打切リノ止ム無キニ到ルベシ

平北江界　一二名　虚川江　三名　平壤　三名
　〃　恵山江　六名　長津江　一八名　各發電所ノ建設保守ニ從事中ナリ
　　社員　産業員　二二四八名　家族ヲ含ム
　　同家族　五六二〇名　計　七八六八名

東京ニ於ケル連絡事務所勤務員五名閉鎖機関トシテ此ノ外他ノ保全連絡ニ對スル諸報告書作成引揚從業員連絡統轄幹旋互助会ニ依護

旧朝鮮電業從業員ヲ以テ設立セル新興電業建設社並ニ間組西松組鹿島組等ニ技術者就職斡旋、約十三萬名ニ及ビ個人営業ナシアルモ未タ進駐軍労務者等ノ帰リ生計ヲ定職無キ者多シ

九州在住者ハ全鉱業員ノ二割ヲ占メ中國二〇%四國六%関西一〇%中部七%関東八%東北一〇%北海道九%

北		1. 十紀三戸以北ニ分布セリ、次ニ海上ニ引用セラレ、二千八名以外引揚者 3. 地区、
		五六九名
		戦災死亡者 一四名 朝鮮ニ於ケル戦没者 三三名
		昭和十年朝鮮ニ移住シ、昭和二十年八月九日ソ連軍ノ侵入ニ遭ヒ、家財ヲ失ヒ、着ノ身着ノマヽニテ引揚ゲ、現在ハ生活ニ困窮シテヰル者多シ。
		三三名
		戦死者ハ家族ト共ニ全員引揚ゲタ。
		戦死、戦病死者ハ家族ト生計ヲ共ニシテヰタ。
		我祖国ハ海外発展ノ為ニ多クノ人ヲ送リ出シ、其ノ人達ハ永年開墾ニ従事シ、祖国ノ為ニ尽シテヰタノデアルガ、戦ニ敗レテ祖国ニ帰ル時ハ其ノ地ニ於ケル一切ノ財産ヲ放棄シ、着ノ身着ノマヽデ引揚ゲテ来ルノデアルガ、ソノ中ニハ永年住ンダ地ハ第二ノ故郷ノ様ニ思ヒ、又ソコニ骨ヲ埋メタ人モ多イノデアル。然ルニ日本国ハ、ソノ人達ニ対シテ何ノ保護モ与ヘズ、ソノ上ニ冷タイ眼ヲ以テ見ルノミデアル。ソノ人達ハ日本国ニ帰ツテ来テモ、ソコニ内地人トシテノ生活ノ基礎ヲ失ヒ、又祖

別紙

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月三十一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況								(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地		事業種目		引揚ニ伴フ處置ノ概況	現在地ノ所在
	公稱	拂込		本社	事業場				
朝鮮電業製鐵株式會社	三百万圓	全額拂込	全土橋國利、全中野增一、監査役 横地靜夫、全安井清、全池松信夫、全佐藤時彦、全古賀織之助、取締役社長久保田豐、取締役玉置正治	朝鮮京城府黄金町一ノ一八〇番地	東京都赤坂区丹後町一七番地	神川輸城 新義州	朝鮮ニ於ケル製鐵事業、	終戰若ハ八月末頃迄ニ京城本社、勤務員ニ対シ六給料、退職金並ニ預リ金等ノ支拂ヲ完了セルモノ二十八度以北分ハ送金困難ヲ極メ殘務整理ヲ終ヘ引揚サセ朝鮮人従業員ヲ引継ヲオリ且ツ八度以北各事業場ハソ聯軍ノ管理トナリ朝鮮人民委員會ニ引継ヲオリ引揚後護ニ当ラシメ八年未迄釜山ニ於テ博多仙崎ニ二十二年八月迄ニ殘務整理ヲ実施中ナリ、	朝鮮ヨリ引揚社員ノ救護ヲナシ現在東京ニ於テ救護連絡事務ヲ設置シ引揚社員ノ救護ヲナシ	不明
	朝鮮人拂込額								
	ナシ								

(三) 引揚後ノ状況				(四) 会社ノ経
現在地又ハ勤務先	住所又ハ勤務先ノ名称	事業ノ有無及ノ状況		引揚社員ノ会社ニ対スル退職金等給与ノ支給ノ状況
			事業ノ種類ノ変更ノ有無	
本籍 ナシ	東京都中央区銀座西六ノ四ノ一 日産ビル内 管理人 緒方亮一	事業場朝鮮ニ在リタルヲ以テ継続再開不能	ナシ	ナシ
雇傭員 三八口 社員 三五口	雇傭員 三八口 社員 三五口	京城本社勤務員ニ対シテハ支給済ナルモ三十八度以北ノ勤務員ハ各事業地ノ金融機関閉鎖ニタル為メ会社ノ預金引出出来ズ未支給ナリ	ナシ	ナシ
一六七二〇〇円 三七三一二〇円	二二八〇〇円 五〇八八〇円	計 七三六八〇円	退職金未払給料	計 五四〇五二〇円

現在状況			(五)今後の見通し
送金、預金其ノ他資金ノ集積状況	官庁ノ対人債権	残存整理ニ要スル諸経費、調査ニ要スル経費ノ見積	新仕様書作成
金融機関別 金額 三菱銀行内幸町支店 第二封鎖預金 四七五、三一六円 〃 第二封鎖預金 二九、六〇〇円	官庁ノ名称 債権ノ主ナル内容 金額 ナシ	給料外諸経費一ヶ月約四千余、五月三十一日現在第一封鎖預金残高二九六〇〇余ニシテ七ヶ月ヲ賄ヒ得ルトモ爾後ハ第二封鎖預金解除ノ途ヲ講ゼザレバ事務打切リノ止ムヲ得ザルニ立到ルベシ	ナシ

(四)今後の処理方針			
新仕様書作成	残務整理及残留、休業従業員ノ処理	残務整理	引揚従業員ノ処理
ナシ	在傭員、社員 一四五名 同家族 二六〇名 計四六五名	東京ニ於ケル連絡事務所勤務員二名、閉鎖機関トシテ旧支社ノ財産保全、興司令部ニ対スル諸報告書ノ作成、引揚従業員ノ連絡、就職ノ斡旋、互助會ニヨル援護	旧朝鮮電業従業員ヲ以テ設立シタル新興産業建設社並ニ間組西松組等ノ技術者就職ノ斡旋ニ関シ、東京ニ於テ土建電機、商事部門ニ就業シ又ハ個人営業ナシツツアルモ未ダ進駐軍労務者等ニ引キ生計ヲ維持シ定職無キ者多シ 九州三〇%中国二〇%四国六%関西一〇%中部七%関東八%東北一〇% 北海道九%

下記三段ニ分ケ生活状況ハ次ノ区分ニ依ル 1.三十八度以北ノ引揚者 遺族 2.三十八度以北引揚者 3.三十八度以南ノ引揚者							
一、引揚ニ関スル事項							
戦死、戦病死者 ナシ 抑留者ノ朝鮮残留ニ関スル事項	戦死、戦病死者 一名 抑留者朝鮮残留ニ関スル事項						
昭和二十年十月大邱省令第八十号ニヨリ東京支社預金凍結サレ約							
三封鎖トナリ会社トシテハ援助不可能ナルヲ以テ各家寄附ヲ仰ヤ							
止ムヲ得ズ上陸地ニ於テ見舞金ヲ給							
未亡人ガ職業戦線ニ立チテ生計ヲ樹ツル者	戦病死者遺族ニ対スル処遇状況ニ付テ						
親族縁者ニ託シ引揚者 四二名	戦死、戦病死者遺族ノ生計状況ニ付テ						
其ノ他 二名							
三名							

別紙

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年五月三十一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況							(二)	(三)
名稱	資本金	役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社又ハ出張所	事業目的		引揚ニ關スル事務ノ概況	備考
朝鮮鴨綠江水力發電株式會社 滿洲鴨綠江水力發電株式會社	公稱 一億圓 拂込 七千五百万圓	社長 理事長 久保田豐 理事 正置正治 仝 佐藤時彥 仝 横地靜夫 仝 色部貞 監事 大島英吉 仝 永井四郎 仝 際彥 仝 山澤和三郎	朝鮮京城二仟 黃金町一ノ一八〇番地 滿洲新京特別市大同大街十番地	東京都赤坂区丹後町一七番地	京城 水豊 義州 雲峰	朝鮮 滿洲ニ於ケル發電事業	終戰右八月末迄ニ京城本社ノ勤務員ニ對シテハ給料 退職金並ニ殘リ金等ノ支拂ヲ完了セルモ三十八度以北ノ分ハ送金困難ヲ極メ殘ヲ殘ラ講ジタルモノ可能トナリ九月十六日本社ヨリ電ニ接收サレ朝鮮人從業員ニ引繼ヲナシ三十八度以北ノ各事業場ハソ軍ノ管理下ニヨル朝鮮人民委員會ニ引繼ヲアタリ引揚援護ニ對シテハ年末迄釜山ニ以右ハ博多仙崎ニ於テ援護連絡事務ヲ實施中ナリ	朝鮮人株主數 ナシ 朝鮮人拂込額 ナシ

(三) 引揚後ノ就職					(四) 會社ノ經ヘ		
就職斡旋者氏名	在外事業又ハ職業ノ概況	事業ノ種類			引揚社員ノ退職金等給與ノ狀況	引揚社員ノ事業積立金ノ取扱狀況	引揚社員ノ會社ニ對スル未拂金ノ取扱狀況
		經營者	事業經營ノ概況	雇傭關係ノ概況			
本明 ナシ	東京都中央區銀座西六ノ一 日商ビル内 管理人 緒方亮	事業場朝鮮ニ在リタル爲メ繼續再開不能			京城本社勤務員ニ對シテハ支給濟ナルモ三十八度以北ノ勤務員ハ各事業地金融機關閉鎖シタル爲メ會社ノ預金引出出來ズ未支給ナリ	次ノ通リ夫々ニ積立金ヲ各在ニ於ケル會社ニ於テ積立テアリシモ詳細ハ不明ニシテ引揚後ノ金額ハ不明	次ノ通リ夫々ニ未拂金ヲ各在ニ於ケル會社ニ於テ積立テアリシモ詳細ハ不明ニシテ引揚後ノ金額ハ不明
			ナシ	ナシ		雇傭員 二五〇口 一五〇、〇〇〇円 社員 四七六口 四五六、九六〇円 計 六〇六、九六〇円	雇傭員 二五〇口 一〇〇、〇〇〇円 退職金未拂給料 社員 四七六口 三三五、一〇四〇円 計 四四五、一〇四〇円

現況		沿革	関係会社との関係	
退金、脱金 及び已受金ノ 取扱ヒ	預金、貸付、為替 其ノ他ノ銀行業務	関係会社ノ役員数	関係会社ノ役員数	関係会社トノ取引ノ状況
ナシ	営業名 優性党工業組合 サシ 営業名	大昭和製紙株式会社 水豊 発電所運転保守 家族ヲ含ム 六〇名 一〇七六 二九三四名	兼務役員 社員産業報国会 計 一〇一〇名	旧支社ノ財産保全、総司令部ニ対スル報告書作成、引揚従業員ノ連絡、庶務等従ヒ 東京ニ於ケル連絡事務所ノ勤務員ハ朝鮮電業社員ノ兼務 互助會ニヨル救護
ナシ				旧朝鮮電業従業員ヲ以テ設立シタル新興産業建設社並ニ群馬自給製塩組合 関連西松組等ニ技術者就職、他ハ郷土ニ於テ土建、電機商事部門ニ就職シ又ハ個人営業ヲナス者若干ノモ他ハ未ダ進駐軍労務者トシテ生計ヲ維持シ定職無キ者多シ 九州三〇%、中国二〇%、四国六%、関西一〇%、中部七%、関東八%、東北一〇%、北海道九%

| | | |

別紙

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十一年五月二十一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況	(イ) 名稱		平北鐵道株式會社
	資本金		公稱　一千万圓　　朝鮮人株主数　ナシ
			拂込　金額拂込	朝鮮人拂込額　ナシ
	役員氏名及代表社員氏名		取締役社長久保田豐　取締役社長澤慶次郎　全佐藤時彥　全池田一男
	所在地	本社	會玉置正治　全横地靜夫　全陳悟　監査役　大島要吉　全永井西郎　全色部貞
		支社出張所	東京都港區芝田村町四丁目十番地　朝鮮電業東京支社ガ代行セリ
		事業場	平安北道定州郡定州邑本町
	事業目的		朝鮮ニ於ケル交通運輸事業
(二) 引揚ノ際ノトラル措置及事業引継ノ狀況			終戰右八月末迄ニ六名ノ本社ノ勤務員ニ對シテハ給料退職金並ニ殘リ金等ヲ支拂ヲ完了セルモ其ノ後ノ分ハ送金困難ヲ理由トシテ支拂ヲ拒絶シテル毛不可能トナリ九月十二日本社來電ニ依リ引揚ヲ命ジ朝鮮人從業員ニ引揚ヲ命ジ十二月一日現在ノ事業現ハソノ儘ノ狀態ニテ引揚ヲ完了セリ　引揚ニ際シテハ從業員ニ對シテハ八年未迄並ニ山ニ迄ノ勞賃ヲ支拂ヒ引揚後ハ博多仙崎ニ於テ引揚者ノ援護ヲナシ現在東京ニ於テ援護ヲ經理事務ヲナシツヽアリ
(三) 現在住所			本町

282

(三) 引揚後ノ状況				(四) 会社ノ経	
現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業ノ概要		引揚社員ノ為ニ対スル退職金等諸給与支給ノ状況	引揚社員ノ自己負担積立金ノ未納分口数及金額
		業績両関ノ状況	事業転換ノ状況		
ナシ	東京都中央区銀座西六ノ四ノ一 日房ビル内 管理人 緒方亮	事業場朝鮮ニ在リタル為メ継続再開不能	ナシ	京城本社勤務員ニ対シテハ支給済ナルモ三十八度以北ノ勤務員ハ事業地金融機関閉鎖シタル為メ会社預金引出出来ズ未支給ナリ	雇傭員 九八口 四三一、二〇〇円 社員 二八口 八三〇、七二〇円 計 一二六口 一、九二〇円 退職金未払給料
		ナシ	ナシ	雇傭員 九八口 五八八〇円 社員 二八口 一一三、二八〇円 計 一七二〇八〇円	

整理状況		
送金、預金其ノ他資金ノ康結状況	金融機関別金額	ナシ
官廳ニ対スル債権残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	官廳名 債権発生原因 金額	ナシ

(五)引揚社員ノ状況		
朝鮮残留社員数	残留地及残留家族数 仕務	ナシ
引揚社員数	社員 雇傭員数 二五一名 同家族数 五五三名 計八〇四名	
引揚社員自社就業状況	東京ニ於ケル連絡事務所ノ勤務員ハ朝鮮電業社員ノ業務、商業興信会部ニ対スル諸報告書ノ作成、引揚従業員連絡、就職斡旋、互助会ニヨル援護	
引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	旧朝鮮電業従業員ヲ以テ設立シタル新興産業建設社及同西松組ニ技術者事務家若干就職シタル他ハ郷里ニ於テ個人営業ヲ始メタル者アルモ他ハ殆ンド進駐軍労務者トナリ	
引揚社員ノ地方分散状況	九州三〇%、中国二〇%、北海道九%、四国六%、関西一〇%、中部七%、関東八%	

西引揚社員ノ生活状況	汗記二段ニ分ケ生活状況ハ次ノ如シ 下三十人以上引揚者アル場合ニ之ヲ記入スルモノトス					
應召入營者数	（朝鮮在勤社員ニ限ル）　一三名					
戰死、戰病死者数	戰死　戰病死者　一名 朝鮮引揚後戰死者　一名					
遺族ニ対スル處遇状況	死亡ノ年十月以前ニ於ケル死亡者ニ対シテハ弔慰金五千円ヲ支給シ其ノ他ニ対シテハ扶助料ヲ支給シ					
社員ノ生計狀況	未亡人ニ対シテハ扶助料ヲ支給シ					
未復員者数	二名					
其ノ他						

引揚社員ノ狀況	見込的動向					
其ノ他						

其ノ他	戰死戰病死者遺族ノ生計狀況ヲ含ム					
其ノ他	救濟團ノ海外発展ニ関スル具体的計畫狀況	救濟團ノ海外発展ニ関スル具体的計畫狀況ヲ含ム				
其ノ他	救濟團ノ海外発展ニ関スル具体的計畫狀況	救濟團ノ海外発展ニ関スル具体的計畫狀況ヲ含ム	救濟團ノ海外発展ニ関スル具体的計畫狀況ヲ含ム			

別紙

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十一年五月三十一日現在

(一)名稱　南滿洲鐵道株式會社

資本金　公稱　八百万圓　拂込　全額拂込　朝鮮人株主数　ナシ　朝鮮人拂込額　ナシ

(二)當戰役員氏名及時代表社員氏名　取締役社長　久保田豊　取締役　佐伯時彡　仝　玉置正治　仝　澤慶次郎　仝　古賀敬之助　仝　池田一男　監査役　大島延吉

本社　朝鮮京城府大平通リ

(三)現在住所

事業場　咸鏡南道端川邑

支社出張所　東京都麹町区丸ノ内二丁目十七番地　朝鮮電業東京支社ガ代行セリ

事業ノ目的　朝鮮ニ於ケル交通運輸事業

引揚ニ關シ執リタル措置及事業引継ノ狀況　終戰後六ヶ月乃至三ヶ月ノ間ニ京城本社ノ勤務員ニ對シテハ給料、退職金並ニ預リ金等ノ支拂ヲ完了セルモ三十八度以北ノ分ハ送金困難ヲ極メ種々手段ヲ講ジタルモ不可能トナリ九月十六日本社米軍ニ接收サレ朝鮮人民委員會ニ引継ガレタリ朝鮮人從業員ニ引継ガナンニ十八度以北ノ事業場ハ朝鮮軍政管理下ニアリ朝鮮人民委員會ニ引継ガレタリ引揚後殘ニ對シテハ年末迄金山ニ於テ右ノ補助仙崎二十年ヶ月連絡事務所ヲ設置シ引揚社員ノ援護ヲナシ現在東京ニ於テ援護連絡事務ヲ實施中ナリ

不明

(三)現在役員氏名　　専務　ナシ
引在外事務所等ノ名称　東京都中央区銀座西六ノ四　一日商ビル内
　　管理人
　　売　方
場　事　業場ノ概況
後　業　転換ノ概況　ナシ
況　要　事業遂行上ノ困難
　　事業遂行上ノ重要事項
(一)引揚社員ニ対スル退職金等ノ給与ノ概況　京都本社勤務員ニ対シテハ支給済ナルモ三十八度以北ノ勤務員ハ事業地ノ金融閉鎖ニタメ会社ノ預金引出出来ス未支給ナリ
(二)引揚社員ノ会社ニ対スル債権ノ概況　債権者　六二口　三七二〇〇円
　　社　員　一五〇口　一四四〇〇〇円　計一八一二〇〇円
(三)引揚社員ノ会社ニ対スル債務ノ概況　債権者　六六口　二七二八〇〇円　償却資産未払給料
　　社　員　一五〇口　一〇五六〇〇〇円　計一三二八八〇〇円

理　送金、預金其ノ他　金融機関ノ
資金ノ凍結狀況　　ナシ

狀　官廳ニ對スル債權　官廳名　債權發生原因　金額
況　殘務整理ニ要スル諸　ナシ
經費ノ調辨狀況及
之ニ對スル要望事項

(四)　殘留地及殘留家族數、任務
引揚從業員ノ殘留　社員數　二四七名
狀況　　同　家族數　四九四名　計　七四一名

引揚　社員　在鮮員數
狀況　同　家族數

引揚社員ノ他ノ方面ノ就業狀況

引揚從業員地方別就狀況

東京ニ在ル連絡事務所ノ動務員ハ朝鮮商業社員ノ業務
借業關係會社ニ對スル報告書作成、引揚從業員ノ連絡、就職斡旋
互助會ニヨル援護

旧朝鮮營業從業員ヲ以テ設立セラレン新興産業建設社、並ニ西松組間建等ニ
技術者事務家若干就職、他ハ鄉土ニ於テ個人營業ヲ又者少數アルモ他ハ未ダ
進駐軍労務者トシテ注討ヲ維持シ定職ニ就キ者多シ

引揚從業地方別狀況　九州三〇%中國二〇%四國六%關西一〇%中部七%關東八%東北一〇%

(四) 引揚社員ノ生活狀況

引揚者ニ入營者數　（朝鮮在勤社員ニ限ル）　五名

戰死、戰病死者數　ナシ

扶助ヲ要スル家族ノ狀況　ナシ

社員遺族ノ生計狀況　ナシ

復員未復員者數　ナシ

其ノ家族ノ生計狀況　ナシ

(五) 引揚社員ノ就業狀況

思想的動向

(六) 其ノ他

下記復員ノ生活狀況ハ次ノ通リ
1. 三十人以上ノ引揚者アル場合　三十人以上ノ引揚者アル場合
2. 三十人以下ノ引揚者アル場合

我祖國ハ海外諸般ノ政策ニ順應シ其ノ先駆者トシテ永年朝鮮ノ民生ノ安定ト文化ノ向上ニ盡シタル我等モ祖國ノ敗戰ニ依リテ永年ニ流汗ニヨリテ得タル家財總テヲ失ヒ身ヲ地下ニ埋ンノ祖國ニ返還シタル時其處ハ溫床ノ地ニ非ズ反リテ冷雨ノ風吹ク曠野デアッタ。人情ノ冷淡ナル事ヲ悲シム然シ日本再建ノ意氣ニ燃テハ内地在住者ニ劣ラヌ働キヲ以テ祖國再建ニ參スル熱意ヲ有スル者デアル。此際生活開發ノ一歩ヲ前ニ發テ未拂諸給與金ノ支給ヲ受ケ再起資トスル事ヲ得バ又祖國ノ再建ニ盡ス大事ト信ジ

昭和二十二年十月二十三日

山口縣玖珂郡柳井町字今市弁三〇一三番地
荒川文城方
朝鮮平安鉄道株式會社
代表取締役 吉永武揚

大藏省管理局管理課
御中

引揚法人の現状調査報告の件

本日六日附御通牒首題の件別紙の通り報告致しますゆえ宜敷御取計を願ひます

追て本件御通牒は本月三日到着又曩に朝鮮事業者會より調査御依頼の御通牒があつた様に記載してありましたが弊社は当てに成り兼ねますより御書面を要せずと存じますゆえ念の為め申添へて置きます

管理局 接受 22.11.1 第461號

引揚法人ノ現状調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況						(二)	(三)
名称	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社出張所	事業目的	引揚ニ際シトリヌル措置及事業引継ノ状況	現在住所
朝鮮平安鉄道株式會社	公称二、五〇〇、〇〇〇円 拂込一、五〇〇、〇〇〇円	朝鮮人株主数 一三一人 二、五七〇株 朝鮮人拂込額 三、七七〇、〇〇〇円	取締役 斉藤久太郎 在 松谷平施 李鐘松 同 田中三郎 代表取締役 吉永武 場 井上賢太郎 在 田川常次郎 全 梅田雄次郎 全 株式名義書換事務取扱者 吉永武 場	朝鮮平安南道鎮南浦府漢碧町三九番地	鎮南浦本社並鎮南浦龍岡間各駅（十二駅）	鉄道ニ依ル文運運輸業	各種重要書類其他ノ整理ヲ了シ社員ノ一部ヲ本社ニ残シ置キ昭和二十年十二月二十日ノ引揚船ニ乗船シ日本人社員一団ト共ニ引揚ゲタリ	山口縣玖珂郡柳井町

(三) 引揚後ノ状況				(四) 会社ノ経ヶ	
現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業概要		引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分ニ対スル預金ノ未拂ノ処分金額
		継続、再開ノ状況	事業遂行ニ伴フ転換ノ状況 事業遂行上ノ要望事項		
田舎社トシテノ後記ノ居ル通リ引揚後ノ事業 吉永武揚、百瀬波雄、荒川文城		継続又ハ再開計画中	引揚後何等事業ヲ為サズ適当ナル転換ヲ計画中ニ社屋、機械ノ殆ンド全部ヲ失ヒ資本金ノ大部分ヲ喪失シ現在ニ於テハ事業遂行ノ為ニハ元ノ資産ノ殆ンド全部ヲ投入スルノ外ナク事業ノ再開ハ困難ナル為ニ事業ノ再開ヲ断念シタリ 事業ノ再開ニ関シテハ目下考慮中ニシテ具体的ニ決定シタルモノナシ 引揚社員ニ対シテハ未ダ何等ノ支給ヲ為シタルモノナシ 事業ノ再開ニ関シテハ目下考慮中ニシテ具体的ニ決定シタルモノナシ	松山部会ヨリハ支給シタル退職金等ハ国家補償ノ対象トナサレンコトノ要望アリ、引揚社員ニ対シテハ未ダ何等ノ支給ヲ為シタルモノナシ 次ノ項ト共ニ政府ニ対シ金融機関ニ対スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、	
十二					
引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分ニ対スル預金ノ未拂ノ処分金額 金三十口 一万一千九百十七円十七					

理状況		(五)引揚社員ノ状況			
送金 預金 其ノ他資金ノ 凍結状況	資金凍結(債権)三、三〇〇円 朝鮮駐屯軍部(軍債) 三、四〇〇円 朝鮮海陸運輸会社(軍債) 会社(朝鮮事業)一、五〇〇円 朝鮮土木建築(工事費)七二、〇〇〇円 朝鮮理研鍾淵鉱業所(工事費)一、五〇〇円	朝鮮残留社員数	引揚社員数	引揚社員自社就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方分散状況
官廳ニ対スル債権	官廳名 債権発生原因 金額					
残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	資金凍結(債権)三、三〇〇円 朝鮮駐屯軍部(軍債) 三、四〇〇円 朝鮮海陸運輸会社(軍債) 会社(朝鮮事業)一、五〇〇円 朝鮮土木建築(工事費)七二、〇〇〇円 朝鮮理研鍾淵鉱業所(工事費)一、五〇〇円	十七	社宗教 二人 内一人途中死亡	当会社ノ未ダ何等ノ事業ヲ為ス処ニ至ラズ 者ナク各自カ会社ヲ経営スル様子ナク他ノ方明	二、三ノ就職者アリタル	山形ノ方人広島県ノ方、香川県ノ方、岩手県ノ方、宮崎県ノ方、鹿児島県ノ方、島根県ノ方、福岡県ノ方、三重県ノ方、千葉県ノ方、大阪府ノ方

（五）引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	応召入営者数	戦死戦病死者数	遺族ノ生計狀況	遺族ノ戦ニ歳過狀況	未復員者数	其ノ家族ノ戦ニ歳過狀況	其ノ家族ノ生計狀況	引揚社員ノ思想的動向
引揚社員ノ中ニテ元ノ住宅ヲ有スモノハ皆無ニシテ殆ンド全部ガ引揚ニテ元ノ住宅ヲ離レ困ル居ル社員ニ於テ多クハ悪キ北鮮ヨリノ引揚ニテ殆ンド全部ガ引揚ニテ元ノ住宅ヲ離レ困ル居ル社員ニ於テ多クハ悪キ北鮮ヨリノ	十人（朝鮮在勤社員ニ限ル）	十人	記入ナキコト	記入ナキコト	二名ヨリ内地ニテ其後如何ナリシヤ現在ノ狀況不明	不明	不明	同一ノ箇所ニ於テ引揚ゲザルヲ以テ不明

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル社會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
當會社ノ日本國ニ於ケル財産ノ概要	財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、著債權、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々現在ノ狀況（再開転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ニ交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況										(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地			事業目的	引揚ニ際シトリタル措置及事業引継ノ狀況	現在住所
				本社	支社出張所	事業場			
財團法人富民協會	公稱 七拾萬圓 拂込 /		理事長 高石眞五郎 常務理事 西村健吉	大阪市北區堂島上二丁目五六 毎日新聞社內	朝鮮數場事務所	山林事務所	農事指導奬勵	現有農場山林ヲ適當ニ處理シ速カニ引揚ノ措置ヲ講ズル事	/
	朝鮮人株主數 1	朝鮮人拂込額 /		大阪市北區堂島上二丁目五六 毎日新聞社內	朝鮮數場事務所	江原道淮陽郡上北面上田離里	奬勵	指示ズミニ付詳細不明	

現在役員氏名	(三) 引揚後ノ狀況				(四) 會社ノ經
	在外事務担當者氏名	事業概要			
		繼續、再開ノ狀況	轉換ノ狀況	事業遂行上ノ障碍	事業遂行上ノ要望事項	引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口數及金額	引揚社員ノ會社ニ對スル預金ノ未拂分口數及金額
理事長 李田敦男 事務擔當者 西村健吉		／	／	／	／	鉱山第三ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、引揚後ハ夫々支給濟、	／	／

次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、

理	狀	況				(五) 引揚社員ノ狀況			
送金、預金其ノ他資金ノ送金狀況	官廳ニ對スル債權	殘務整理ニ要スル諸經費ノ調弁狀況及之ニ對スル要望事項		朝鮮殘留社員數	引揚社員數	引揚社員自社就業狀況		引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業狀況	引揚社員ノ地方合致狀況
金融機関別 金額	官廳名 ノ 債權發生原因、金額	基本財産ノ處分、山林ノ處矢ニヨリ本會事業ノ推進ニ意ノ如ク		殘留地及殘留家族數 一 任務	一、家族數 二	一、妻ニ依存		一、妻ニ依存（本籍地）	無
郵貯ノ内 金額				青任承諾、現地ニ連絡スル他					
一三、七〇〇				妻一、本人一ニ付					
				四尺ナル					

（五）　引揚社員ノ状況

引揚社員・生活状況	応召・入営者数（朝鮮在勤社員ニ限ル）	戦死・戦病死者数	遺族ノ対スル處遇状況	遺族ノ生計状況	未復員者数	其ノ家族ニ対スル處遇状況	其ノ家族ノ生計状況	引揚社員ノ思想的動向
許可承認	一	一	一	一	一	一	一	

特記事項トシテ手帳ノ交付ヲ受ケタル者一アリ。

五

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産状況

財産ノ種類	
	財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、借債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ状況（再回転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在地ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。

六

昭和二十二年十月六日

東京都千代田区内幸町一ノ二
東拓ビル内
大蔵省管理局管理課分室内
在外財産調査會

殿

引揚法人の現狀調査依頼の件

曩に朝鮮事業者會に於て御調査を依頼致したる首題引揚法人の現狀調査は當在外財産調査會にとりても適切な資料と認めますから御多忙の處御手数でありますが當時御報告未濟の向は至急別紙により御回報を煩はしたいと存じます。なほ、既に御報告濟の向は(六)朝鮮ニ本社ノ在ル會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産ノ狀況ニの欄についてのみ御報告願います。

追て御回答の宛名は 東京都千代田区内幸町一ノ二東拓ビル内 大蔵省管理局管理課御中と御記載願います。

引揚法人ノ現狀調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戰當時ノ狀況						(二)	(三)
名稱	資本金		役員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 事業場	事業目的	引揚ニ際シトリタル措置及事業引繼ノ狀況	現在住所
北鮮合同木材株式會社	公稱 壹千五百萬圓	朝鮮人株主數 少數	取締役社長 田藤重次郎 常務取締役 清水三郎 取締役 岩村長市 監査役 金光重五郎 古賀鐵之助 各元國會議員	京城府	咸鏡北道清津府	本邦ノ生産、製材、製紙、製下駄及製函販賣	引揚ニ際シテハ重ナル役員ハ全部現地ニ殘留シ引揚後ハ殘務整理ノ爲メ東京ニ出張シ其ノ後ハ全部現地ニ殘留シ引揚後ハ殘務整理ノ爲メ東京ニ出張シ其ノ後ハ全部現地ニ殘留シ	東京都世田谷區松原町三丁目八四一番地
	拂込額 壹千五百萬圓		監査役 金光重五郎 古賀鐵之助 各元國會議員	京城府	咸鏡北道清津府富士ビル内			
			常務取締役 清水三郎	京城府	咸鏡北道清津府浦項町七大番地			
			取締役社長 田藤重次郎	京城府	京城府會議事堂内			

293

(三) 引揚後ノ狀況					(四) 會社ノ經	
現在役員氏名	在外事務担當者氏名	事業概要			引揚社員ニ對スル退職金等諸給與支給ノ狀況	引揚社員ノ年許積立金ノ未拂分口數及金額
		繼續、再開ノ狀況	事業遂行上ノ障路	事業遂行上ノ要望事項		
金基徳、裵奭基、	伊藤重吉	不明	不明	不明	鉱山部会ヨリハ支給シ又退職金等ハ國家補償ノ對象トナサレタシトノ要望アリ、	不明
一八飯音三、	一八飯音三、	不明	不明	不明	不明	次ノ項ト共ニ政府ニ對シ金融機関ニ對スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ、
						略五萬圓口數不詳

理	状況			(五) 引揚社員ノ状況			
送金 預金	残留社員ノ要スル債権	残留社員ノ現在ノ職業、収入、生活状況、将来ノ希望等	引揚社員数	引揚社員ノ家族数	引揚社員ノ就業状況	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	引揚社員ノ地方会報状況
金融機関別 金額 其ノ他資金ノ 概略状況 未詳	官廳名 債権発生原因 金額 不詳	担當者ニ於テ負担ス 伴藤重次郎	残留地及残留家族数 十二	家族数 五五	殆ド引揚者ト全部就職ニ困難ヲ感ジ居リ帰農又ハ自営ノ為メノアルモ下級生活ヲ為スモノ多シ	引揚社員ノ他ノ方面ヘノ就業状況	九州二二(内本人六病死四)中国一五(内病死四、行衛不明二)近畿七(内病死一)北陸二関東三(内病死二)東北六(行衛不明一)

（五）　引揚社員ノ狀況

引揚社員ノ生活狀況	無一物脫出引揚者ニテ月ノ就職至難生活狀態拉場ニ悉シ
應召、入營者數	（朝鮮在勤社員ニ限ル）一ノ名
戰死、戰病死者數	引揚ノ途次病死セルモノ一ノ名　行衛不明三
遺族ニ對スル處遇狀況	内地ニ於テ許濟金ヲ有スル者ニ於テハ救濟ノ途ヲ講ジ處ニ不堪
遺族ノ生計狀況	引揚社員ニ於テ今後ノ生計ニ重大ナル影響ヲ及ボスヘキ事項ヲ指ス
未復員者數	前記行衛不明者ヲ指ス
其ノ家族ニ對スル處遇狀況	内地ニ於テ許濟金ヲ有スル者ニ於テハ救濟ノ途ヲ講ジ處ニ不堪
其ノ家族ノ生計狀況	遺族ノ生計狀況ニ同ジ
引揚社員ノ思想的動向	終戰並ニ北鮮我軍ノ街ヲ彷徨シ漸ク脫出シ祖國ニ引揚ケ來リ名ヲ永年朝鮮ニ居住セルモノ多ク從テ内地ニ生活ノ基盤ヲ有セス生計ノ極メテ困難ナル惡境ニ陷ルモノ多ク思想上ニ動搖ヲ來セルモノアルヲ觀取セラレ憂慮ニ不堪

五

(六) 朝鮮ニ本社ノ在ル会社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等）及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、著債権、銀行預金、送金小切手等）ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再用転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在地ニ於ケル事項アレバ其ノ概要等本欄ニ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ細記述願ヒマス。	ナシ

六

昭和廿二年十一月十五日

元

在外財産調査會　御中

朝鮮住友製鋼株式會社整理事務所

引揚法人の現狀調査報告

拜啓　首記の件に付御指示を相蒙りましたが別紙の通り御報告申上げますから宜敷御願申上げます

敬具

引揚法人ノ現況調査　昭和二十二年十月一日現在

(一) 終戦当時ノ状況	名称		朝鮮住友製鋼株式會社			
	資本金		公称 弐、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇円 拂込 弐、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇円	朝鮮人株主数	なし	
				朝鮮人拂込額	なし	
	代表社員氏名及代表社員氏名		取締役会長香日弘、取締役従業員取締役、張田明、御厨七郎、取締役監査役、菅谷重平、美安利一、代表社員、香日弘、猶四捷太郎、猶四重友、常務取締役清地泰雄			
	所在地	本社	朝鮮黄海道海州府落町四百四拾五番地ノ弐			
		支社出張所	元、朝鮮京城府黄金町壱丁目壱番地　京城出張所			
		事業場	本社と同じ			
	事業目的		鉄道車輛部品其他製造販売、（朝鮮総督府交通局ノ指令ニ依リ）			
(二) 事業ノ概況及事業ノ財産ニ関スル報告ノ概況			当社ハ三十八度以北ニ居リ居リ統我後昭和二十年九月一日ノ米軍ノ指令ニ依リ朝鮮逓信施設ノ接収ヲ受ケ、朝鮮逓信事業ノ指令ニ依リ朝鮮逓信事業ノ指令ニ依リ朝鮮逓信事業ノ指令ニ依リ

(三) 引揚後ノ状況					(四) 会社ノ経	
現在役員氏名	在外事務担当者氏名	事業概要			引揚社員ニ対スル退職金等諸給與支給ノ状況	引揚社員ノ申告積立金ノ未拂分口数及金額
		継続、再開ノ状況	事業遂行上ノ障碍	事業遂行上ノ要望事項		
なし	舘下禧憲	継続再興致しません	なし	なし	鉱山部会ヨリハ支給シタル退職金等ハ國家補償ノ対象トナサレタシトノ要望アリ、 〃 諸給與総額 三八八、八三五円 旧役員個人ニテ各方面ヨリ借入ヲナシ支給致しました	次ノ項ト共ニ政府ニ対シ金融機関ニ対スル預金ト同様ニ處理サレタキ旨要望中ナリ、各社ニ於テハ明細表ヲ整備シ置カレタシ。 なし
						二九、五四九円 当社国民貯蓄組合 貯蓄六口分 右組合脱個人名義ニテ積立預金拂戻不能故 但書類ハ後收納次第ニテ急ク改定ノ計算ヲ致しました

理	状況		
送金、預金其ノ他資金ノ凍結状況	金融機関別	金額	
	利新飯塚信用組合	定期預金 二五〇、〇〇〇円	
	利新飯塚信用組合	積立預金 二〇、〇〇〇円	五九〇、〇〇〇円
官廳ニ對スル債權	官廳名	債權發生原因	金額
	陸軍徴用工	賃金	三二〇、〇〇〇円
残務整理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ對スル要望事項	利新統督府	移轉費	一六〇、〇〇〇円
	利新統督府	任務	四八〇、〇〇〇円
	なし		

(五) 引揚社員ノ状況			
朝鮮残留社員数	残留地及残留家族数		
ソ聯軍逆行者 十名	家族数 六一名		
引揚社員数	家族数 経営員数 一九〇名	計二五一名	
引揚社員目社就業状況	自社は係長に依り消滅のため親会社なる秩条倉庫工業会社、宇部興産会社より復帰就業して貰ひました。		
引揚社員ノ就ノ方面ヘノ就業状況	本人より申出の者は殆ど就業せしめましたがその他の者は地方的に就業式は目望して居る様であります。		
引揚社員ノ地方分散状況	大阪府 二五名、京都府一、山口県一〇、静岡県二、兵庫県二、福岡県二、滋賀県二、鳥取県一、島根県一、兵庫県九、徳島県五、長崎県一、計六一名		

（五）引揚社員ノ状況

引揚社員ノ生活状況	引揚者ハ概ネ早カッタ為メ平均ニ就職シ大体就職シテ居ル状態デアリマスガ一部ニ於テハ就職後カラ経テモ普通ノ生活ハ営ンデ居ル模様
応召、入営者数	（朝鮮在勤社員ニ限ル）拾名ト雖モ入営者六名　外ニ隊連行者一二名
戦死、戦病ノ者数	戦死者二名
遺族ニ対スル処遇状況	処置者ニ準ジ隊連行者ノ家族ニハ二十年九月迄所定ノ家族手当ヲ支給シマシタ
遺族ノ生計状況	家族ハ主人宅ニ引揚ガ生活ヲ営ンデ居ル状態デアリマス
未復員者数	未復員者二名　ソノ隊軍連行未帰国者一〇名
其ノ家族ニ対スル援護状況	昭和二十年九月分迄ハ家族手当又給ヲ行ヒマシタ
其ノ家族ノ生計状況	引揚先ナル実家或ハ主人宅ニテ生活ヲ営ンデ居リ殊ニ申シ来ル事項ハアリマセン
引揚社員ノ思想的動向	思想的ニハ特記スベキ事項ハアリマセン

（六）朝鮮ニ本社ノ在ル社會社ノ日本國内ニ於テ所有スル財産狀況

財産ノ種類	
財産ハ不動産（土地、建物、船舶等ノ及ビ動産（機械器具、其ノ他ノ設備、原材料、半製品、製品、什器、有價証券、諸債権、銀行預金、送金小切手等ノ所在地、種類、数量、帳簿價格、夫々ノ現在ノ狀況（再商転換シ居ル向ハ其ノ概要）一若シ現在他ト交渉中ノ事項アレバ其ノ概要等本欄ニテ不足ノ場合ハ補足シテナルベク具体的ニ御記述願ヒマス。 なし	

六

No.

23

昭和　年　月　日

300

23

昭和廿貳年六月綴

引揚法人ノ現狀調査 昭和二十二年五月三〇日現在

(一) 終戰當時ノ狀況							(二) 引揚ニ當リ移轉ノ狀況	(三) 現在地
名稱	資本金		役員代表社員氏名及代表社員氏名	所在地 本社	所在地 支社又ハ出張所	事業目的		
朝鮮葉煙草株式會社	公稱 五〇、〇〇〇、〇〇〇圓 拂込 四二、五〇〇、〇〇〇圓	額面金額 五〇圓 株數 三〇一、五〇〇株 (内二本社ノ有スル株ハ含マズ)	加藤五十造、西田義市、岩井口恩生、湯淺清次、松宇幹一郎、池田銀小林千太郎、杉山昭人、穂積眞六郎、鈴木重光、井上貞衛、井上貞一郎社長加藤五十造、常務 西田義市、常務 岩井口恩造	京城府中區本町一丁目五三番地	東京都千代田區丸ノ内二丁目二番地(丸ノ内ビル階下二ヶ所)	煙草、三神、元龜、坎北、往山、文川、江東、大宝、黒山銀行ヲ受ケ新會、德川、長山、石次指定販賣業、煙草製造販賣業	會社ノ全財産ハ積收ガ日本人社員(平壤工場)ハ強制勞働ニ從事セルノミニテ其ノ他ハ何等ノ變動ナシ 又ハ京城ノ沒收セラレ、本社ハ米國應ニ平和裡ニ積返セラル 脫出ノ際ハ又、本社ハ米國應ニ平和裡ニ積返セラル 東京ニ移轉セリ(電話丸ノ内二三一番)	東京都千代田區丸ノ内二丁目二番地(電話丸ノ内二三一番)

301

社会（四）	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立
	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立
	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立	株式会社の設立

整理状況			(五)引揚団体設置ノ概況			
送金、預金其ノ他資金ノ処理状況	各地ニ対スル債権	我方管理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項	組織及当社員数	引揚社員数	引揚社員ノ社会的地位、其ノ他	引揚社員ノ生活ノ概況
金融機関別、金額送金漂流、安田銀行六八〇万円帝国銀行第一銀行金二千万円ノ内二千万円ハ二九、八七二円計五、八七二円	各地名、債権発生原因、金額（総督府ノ経営ニ係ル国税ナシ） 朝鮮銀行五、五八、七二五円	我方管理ニ要スル諸経費ノ調弁状況及之ニ対スル要望事項 第一銀行預金ノ調弁ニ関シテハ米軍ノ指令ニ依リ極力減少ニ努メタルモ昨今ハ法定支出ノ外ハ支払ヲ為シ得ス今後為替ノ開設及国際ノ報告又ハ引揚社員ノ送出等ニ関シ多額ノ送金ヲ必要トスル	戦前也及戦時ニ於ケル組織ノ概況、仕事 残留社員数　五名　引揚社員ノ概況　三名	組織ノ概況 引揚社員ノ概況　三名（社員数） 約二、〇〇名（不明ナリ概算）	引揚社員ノ社会的地位、其ノ他 引揚社員ノ概況　二名（四一名ノ内社員ノ者） 全部ノ引揚者ハ不明ナルモ引揚社員中一、〇〇名程ハ他ニ就職シ更ニ南安定ノ地ヲ墓地ノ他ニ就職シ更ニ南安定ノ地ヲ墓地ノ他ニ就職的生活ヲ営ミ従来ノ生活ニ復帰セル者ニシテ生活困難ノ者十名（四九名救護社員ヲ含ム）	引揚社員ノ生活ノ概況 各自ノ確報ヲ得ル事ハ困難ナルモ引揚社員中一、〇〇名程ハ他ニ就職シ更ニ南安定ノ地ヲ墓地ノ他ニ就職的生活ヲ営ミ従来ノ生活ニ復帰セル者ニシテ生活困難ノ者十名（四九名救護社員ヲ含ム） 九州方面六〇%中国、四国方面二〇%其他二〇%程度ナリ

302

| 引揚者ノ状況 | | |

引揚社員諸給與の調書（追加報告分）
引揚社員七二世帯（家族一四〇名）
二対し当社四現支給分ヲ除ク）

一、退職手当金

昭和二十年二月以降退職手当金ヲ受ケタル者
四〇名ニ対シ三十四万〇、〇〇〇円ノ
二十四ヶ起退ヲルモノ八三十四ヶ月ヲ限リ四拂支給、其金額九二、
七四〇円ヲ控除シタル残額二一五、九四〇円ヲ拂ヒタリ

二、給料其他、退職手当ヲ含ム

平壌方面勤務者七二名ニ対シ昭和二十年九月ヨリ今ニ至ル

九日迄、在郷軍人会中、未拂ノ

動員十二ヶ日間一ヶ日

合計金弐、七三六、九〇〇円及ビ平十五日支給ス（平均一ヶ

未満ハ金弐、〇〇〇円トス）金四〇〇、

〇〇〇円ヲ合算シ計金弐、一三六、九〇〇円トス

三、見舞金

社員ノ家族ノ引揚帰還ニ際シ諸費用ノ名目ノ下ニ

実費精算困難ナルト予想セラル方面勤務者ニ七二世帯（家

族ノ合セテ約二千名ナリ）ノ帰還旅費ヲ以テ支給スルヲ

ヲ全ク支ヘタルニ非ズ、多少ノ引揚金中ニ含マルル数等

ヲ考慮シ一世帯ニ付金五千円乃至三十円平均四十円

ヲ引揚旅費拂戻拂
昭金額二、二八八、四四〇円ヲ後引
右計算ノ基キ今後引揚社員ノ支拂ヒヲ少額ニ
一、自元俸給金　四二、七ヲ〇円
二、國民勤勞報國金　一、ヲ九七ヲ〇円
以上ノ外ニ一般ノ給料ヲ引去當社ヘ組入ノ分モノ
三、退職手當金　一、一二九、ヲ九〇円
四、給料手當　二、一三六、九ヲヲ円
五、賞與金　二、二八八、ヲヲヲ円
計　七、ヲ一二、一四円
右ハ給與事務手續費及支拂ヲ少額ニ優先支拂ヲ少額ニトシ四ノ引
揚社員ノ與家族ノ分ニ付テハ送金準結ヲ

又第三者ノ設定セル質権ヲ解除スル外一切左記社内保
留ノ担保ヲ含ム一切ノ国家、神宮又ハ特別ノ
ル権利ヲ含ム一切ノ担保ヲ以外方法ヲ以テ担保ヲ
供ス

第十条　甲ハ乙ノ許諾ヲ得ル迄ハ左ノ財産ヲ
譲渡、質入、又ハ担保ニ供シ
又ハ賃貸シ
又ハ譲渡担保ニ供シ
又ハ仮差押ヲ受ケ
又ハ強制執行ヲ受ケ
又ハ競売ヲ受ケ
又ハ滞納処分ヲ受ケ
又ハ破産ノ申立ヲ受ケ
又ハ会社更生法ノ申立ヲ受ケ
又ハ和議ノ申立ヲ受ケ
又ハ解散ノ決議ヲ為シ
又ハ合併ヲ為シ
又ハ営業ヲ譲渡シ
又ハ営業ヲ賃貸シ
又ハ営業ヲ廃止シ
又ハ営業ヲ変更シ
又ハ営業ヲ休止シ
又ハ営業ヲ譲渡担保ニ供

引揚法人ノ現狀調査

(一) 名称 南鮮合同電気株式會社

(二) 引揚ノ狀況

引揚ニ際シ持チ帰リタル資本金	約金貳千萬圓
引揚ニ際シ持チ帰リタル現金	約金貳千萬圓
引揚ニ際シ持チ帰リタル有価証券	無
引揚ニ際シ持チ帰リタル代表者名	取締役 小瀬甲子郎
引揚ニ際シ持チ帰リタル人員	約四百名
引揚ニ際シ持チ帰リタル家族数	約四百名
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業所ノ名称	南鮮合同電気株式會社
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業所ノ所在地	京城府
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業目的	電気供給事業

(三) 引揚後ノ狀況

現在住所	京城府南米倉町
現在従業員数	約千名
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ現況	川崎火力發電所ノ一部ヲ使用シ發電ヲ開始セリ
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シ	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明	不明
引揚ニ際シ持チ帰リタル事業ノ将来ノ見通シニ対スル意見ノ理由ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足ノ説明ノ補足	不明

(四) 会社ノ経理狀況

引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ名称	南鮮合同電気株式會社
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ所在地	京城府
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ資本金額	金貳千萬圓
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ現金額	金貳千萬圓
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ有価証券	無
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ代表者名	取締役 小瀬甲子郎
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ人員	約四百名
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ家族数	約四百名
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ事業所ノ名称	南鮮合同電気株式會社
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ事業所ノ所在地	京城府
引揚ニ際シ持チ帰リタル会社ノ事業目的	電気供給事業

引揚法人ノ現狀調査 昭和二十二年十月一日現在

南鮮合同電気株式會社

(四) 朝鮮ニ於ケル在外邦人ノ引揚ニ関スル状況

引揚邦人ノ数	引揚邦人ノ内訳
引揚邦人ノ職業状況	
引揚邦人ノ他ノ方面ヘノ転業状況	
引揚邦人ノ他ノ方面ヘノ分散状況	
引揚邦人ノ生活状況	
死亡ノ原因別ノ数	
戦死戦病死者数	
遺族ニ対スル処置状況	
未復員数	
其ノ家族ニ対スル処置状況	
其ノ家族ノ生計状況	

(六) 朝鮮ニ本社ヲ有スル内国本邦人ノ社会ニ在ル本社ニ対スル引揚邦人ノ処置ノ概況

引揚邦人ノ思想的動向	
財産ノ種類	
其ノ他ノ設備、資材等ノ不動産（土地、建物、船舶等）及ノ動産（機械器具、備付品、什器、有価証券、製品、半製品、原料、材料、事務用諸帳簿ニ居ル者ノ家族ニ対スル処置状況	
其ノ家族ノ生計状況	

M4-93

引揚有名芸

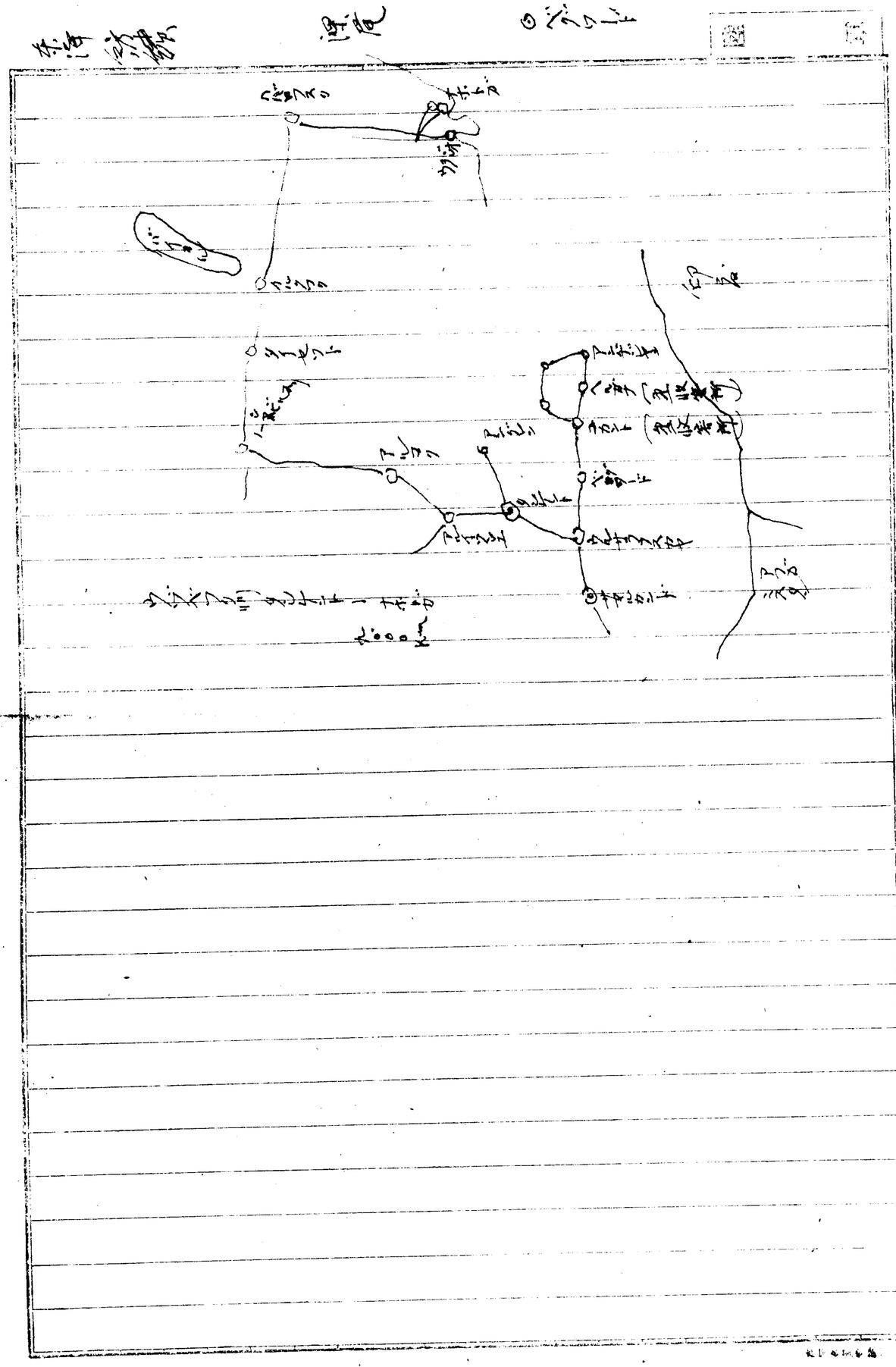
朝鮮引揚同胞世話會

八・三〇 多久氏帰任
ウブベツ出動者

平南警務署長	奥松重寿	江密河ベタワード	
警察部長	堂本敏雄		
〃 課長	竹内喜一		
警ビ課長	坂本徳一		
〃 部長	成見亀一		
〃 部	久保田寿四		
〃	笹川文弥		
警察部	笹川書一		
特警係長	沖山太市		
安州署長	内田繁		
〃	古川義秀		
平南知事	筒井竹雄		
黄海知事			

咸南知事	岸一		
日室	大石武夫		
延鉄車掌	延鉄車掌		
	山崎技師		
	宮内		
平北	井山一		
警察部長	倉内光雄		
〃 部	安部輝登		
寅川	清水川		
加藤署長	吉牲		
北鮮 神	松島		
警察部	加納		
城北	中二		
警察部長	高光		
高等課長	森田		
警部	江藤		
楠本 清			

| | | |



松岡墨吉 口語解釋 宮本小一 評釋 大槻文彦 口語解釋 芳賀矢一 評釋

如蘇東坡史 口語解釋 芳賀矢一 評釋

前赤壁二 口語解釋 久保天隨 評釋 宮本小一 評釋

諸葛孔明 實在 平凡社 日本人名辭典

王維詩集 土屋弘 會心社 評釋

宇都宮遯庵 勝景 平凡社 郷土研究社

穿梅一郎 平凡社 交通局

高坂城趾 平凡社

松山鏡男 平凡社 郷土研究社

富山縣公園 公園 場

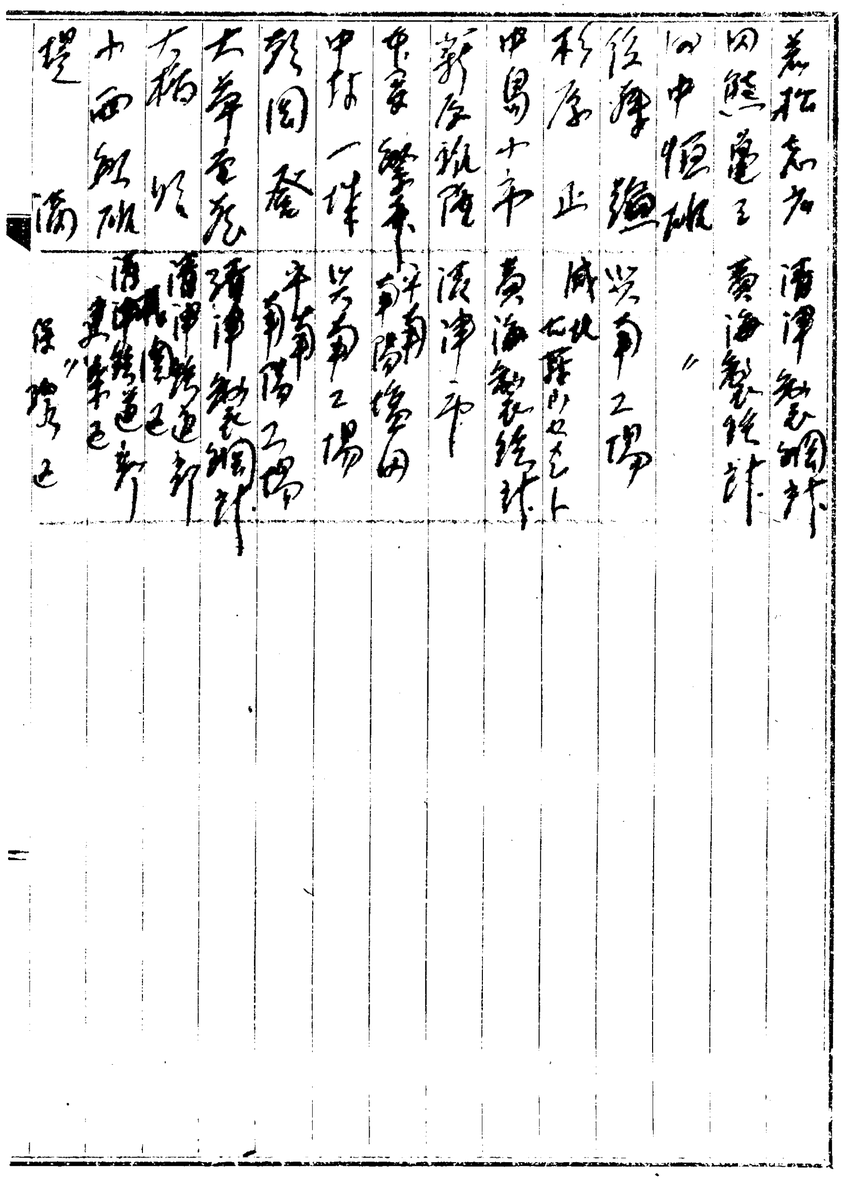
隱却處四郎 平凡社 史蹟名勝天然紀念物

竹内敬作 公園 場

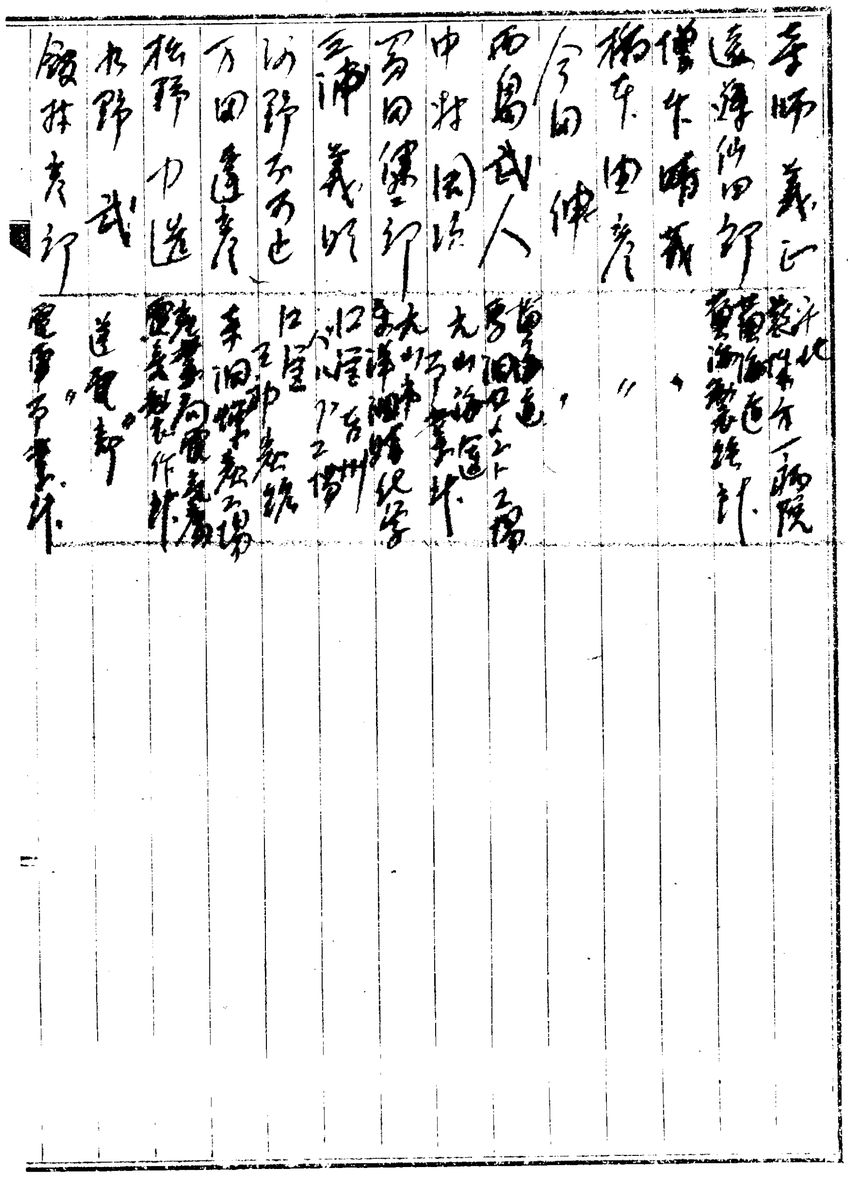
野口文華 〃 〃

佐々木一 〃 〃

帰郷先



| | | |



平井 兵馬 共産主義
工作員 諜報
左田 陸 共産主義
警視庁 公安
無天者 天皇主義
警察官
山中 勝信 〃
相賀 研一 共産勢力
私金暗之 共産主義
玄林 福太郎 医師 諜報

東京市日本橋區室町二丁目二番地(室町ビル)

日本耐火材料株式會社

電話日本橋(24)三〇〇八番

東京都　　兵南市西本宮

昭和　年　月　日

停留先	本籍	前住所	氏名	年令	家族数
東京都荏原区荏原町 久場雄一郎方(東海道本線東京駅)	福島	兵南市	宍澤フミ子	39	2
東京都下谷中町一二二九番地 鈴木初秀方(東海道線経由中央線門前駅)	宮城	〃	小岩一男	24	6
東京都世田谷区世田谷二ノ一二八五 林忠義方(東海道線経由山手線渋谷駅)	岐阜	〃	水野勝美	32	2
東京都世田谷区世田谷二ノ一二八五 林忠義方(東海道線経由山手線渋谷駅)	熊本	水谷区	林テル子	34	6
東京都神田区猿田町一丁目一番地 (東海道本線東京駅)	東京	兵南市	村田政吉	55	1
東京都足立区千住大川町二二番地 (東海道本線東京駅)	〃	〃	押田節三	23	1

No.

13 10. 10

鐵工出張所　朝鮮慶尚南道統營郡統營邑長浦里

電話一三七番

法政論叢第四輯目次

北海道水産会連合会役員名簿

二、事務所　　函館市弁天町九番地　水産会館内

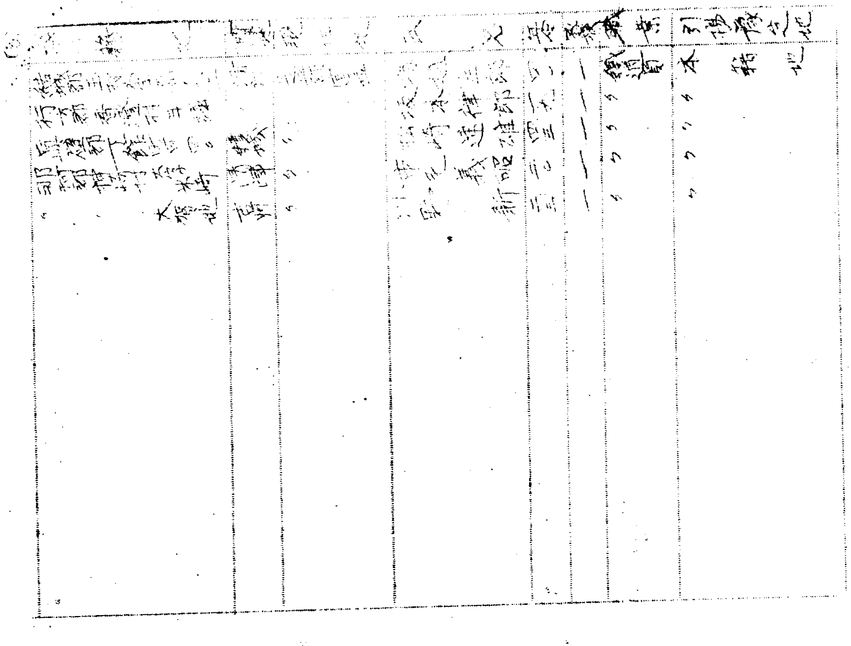
三、役員

役名	氏名	住所	摘要
会長	阿部市太郎	函館市弁天町九番地	
副会長	高橋直治	函館市弁天町九番地	
副会長	田口連三	函館市弁天町九番地	
副会長	木村清次郎	函館市弁天町九番地	
副会長	吉田茂	函館市弁天町九番地	
副会長	佐藤善吉	函館市弁天町九番地	
副会長	大川原重

本籍地	現住地	氏名	年齢	族籍	職業	勤務地
新潟縣南蒲原郡大戸一九二	東京麹町區永田町二ノ一	小林春久	三八	士族	會社員	會社
久慈郡里根郷四三	〃	黒田綾子	三三	〃	〃	〃
水戸市砂久保町五	東京麹町區三番町六	星野幸子	三五	〃	會社員	會社
東京府南多摩郡上石川村大字小山田	〃	飯田一	二六	〃	官吏	東京府廳
真壁郡下妻町字下町	〃	木太清	三九	〃	〃	〃
久慈郡里根郷	〃	宮田榮之介	五七	〃	〃	〃
東京府南多摩郡長沼村大字小山	〃	中村靜子	三一	〃	〃	〃
久慈郡依上村芦倉	〃	白井キク	五一	〃	〃	〃
那賀郡靜村下大野	〃	常川				
茨城縣稻敷郡高田村	〃	高橋				
久慈郡大子村袋	〃	石川金司	二二	〃	官吏	〃
東京府南多摩郡大字小山	〃	加部清	二八	〃	〃	〃
茨城縣稻敷郡高田村	〃	飯塚壽	四〇	〃	〃	〃
水戸市大字小山	〃	高橋文	四一	〃	〃	〃

本籍地	現住地	氏名	年齢	族籍	職業	勤務地
新潟縣北蒲原郡大戸一九二	東京麹町區永田町二ノ一	小林春久	三八	士族	會社員	會社
久慈郡里根郷四三	〃	黒田綾子	三三	〃	〃	〃
水戸市砂久保町五	東京麹町區三番町六	星野幸子	三五	〃	會社員	會社
東京府南多摩郡上石川村大字小山田	〃	飯田一	二六	〃	官吏	東京府廳
真壁郡下妻町字下町	〃	木太清	三九	〃	〃	〃
久慈郡里根郷	〃	宮田榮之介	五七	〃	〃	〃
東京府南多摩郡長沼村大字小山	〃	中村靜子	三一	〃	〃	〃
久慈郡依上村芦倉	〃	白井キク	五一	〃	〃	〃
那賀郡靜村下大野	〃	常川				
茨城縣稻敷郡高田村	〃	高橋				
久慈郡大子村袋	〃	石川金司	二二	〃	官吏	〃
東京府南多摩郡大字小山	〃	加部清	二八	〃	〃	〃
茨城縣稻敷郡高田村	〃	飯塚壽	四〇	〃	〃	〃
水戸市大字小山	〃	高橋文	四一	〃	〃	〃
新潟縣小幡村	八三八	飯田守二	四五	士族	官吏	本籍地
久慈郡磯田村新宿	一	福山樓子	一	〃	〃	〃
那賀郡山隈村大字小貫	九二一	佐藤道	三一	〃	〃	〃
東茨城郡小行田井之又		飯村保治	四〇	〃	〃	〃
那珂郡額田村大字上小瀬	四五二	高倉辰雄	四三	〃	〃	〃
多賀郡大津町	三六	村田福二郎	四〇	〃	〃	〃
愛媛縣今治市	四八	立野藤司	四〇	〃	〃	〃
久慈郡世矢村小目	九三	中村一郎	三八	〃	〃	〃
新潟縣津村大字金田浦	一六八	豊田鶴二	三七	〃	〃	〃
久慈郡梁沢村大字岡田	一六三	揃田忠夫	三三	〃	書記	本籍地
多賀郡多賀町大字大沼	一六五	飯田孝男	二五	〃	〃	〃
久慈郡坂本村大字大野	一六七	小視章	二一	〃	〃	〃
那珂郡額田村大字細田	一六二	佐藤五郎	三〇	〃	教員	〃
北海道札幌區大通西	一二三	橋美智子	二七	〃	〃	〃
光島縣豊郡大字田谷	一二三	大部弘	四一	〃	〃	〃
久慈郡世矢村	四二	藍黄幸平	四八	〃	事務員	會社
宮田留藏	四六					

| | | |



桐木園安部名簿

本会ノ目的
会員相互ノ扶助及日本帰国後ニ於ケル会員将来ノ共存上
必要ナル事業ヲ行フヲ以テ目的トス

会長　土谷惟一
副会長　大塚久二郎
幹事長　奇木正一
〃　米本勇二

事務所
住地
岐阜府日出町五三　土谷惟一方

氏名	年令	職業	住所	本籍地
加藤	三四	会社員	感興	●東京都台東区
勝郎	五四	〃	金土町三三	上野町三丁目
徳太郎	八二	会社員	〃	一條町
一男	三五	〃	大和町一二〇	福島県石川郡
松正人	三四	〃	金高建二百	深谷町
三三	大三	〃		●河内郡
四一	一二	〃	昭和町二丁目	大屋村字新波三六三
一一	三三	〃	金上町二一四	雷神村字荒沢三六三
一一	三五	〃	大和町二丁目	清原村字下横
一一	三五	〃	金高建二百	宇都宮市
一一	三五	〃	大和町一二〇	栃木県
一一	三五	〃	金高建二百	足利郡
一一	三五	〃	大和町一二〇	佐野町
一一	三五	〃	金高建二百	栃木県

昭和二十三年十一月

會員名簿

社團法人同和協會長野縣支部

役職員名簿

社団法人同和協會長野縣支部

役職員

支部長　倉島　至（長野）

理事
倉島　至（指名順）（長野）
湯本　寛（長野）
細野貞依（長野）
宮尾甲治（長野）
坪田玉雄（松本）
佐藤正三（下水内）
寺島善郎（諏訪）
大野幸貞（飯田）
小熊精三郎（上田）

監事
柳澤万平（長野）
宮尾治平（松本）

評議員

市原忠厚（松本）
相澤毅（直轄）
金井龍（更級）
大峡正則（上高井）
常長正元（下高井）
佐藤正三（下水内）
伸田徳蔵（北佐久転出）
中島命門（南安曇）
宮尾治平（松本）
寺島善郎（諏訪）
大野幸貞（飯田）
細野貞依（長野）

連絡員

（氏名）	（住所）	（分担区）
上田	上田	上田小縣
松代	埴科	埴科
更級	更級	更級
須坂	上高井	上高井
湯田中	下高井	下高井
飯山	下水内	下水内
十日	南佐久	南佐久
諸	北佐久	北佐久
小諸	南安曇	南安曇
穂高	北安曇	北安曇
大町	松本東筑	松本東筑
松本	西筑摩	西筑摩
福島	諏訪市諏訪郡	諏訪
諏訪	飯田上下伊那	飯田
飯田	長野中部	長野
長野	〃	長野
〃	〃	上水内
〃	〃	長野北部
〃	〃	長野南部

評議員

宮尾甲治（長野）
北澤戊（長野）
宮澤宮三郎（長野）
坪田玉雄（松本）
坂内弘（飯田）
小熊精三郎（上田）

小熊精三郎
相澤毅
金井龍
大峡正則
常長正元
佐藤正三
市川榮
木内倫太郎
中島命門
尹谷蕃一
宮尾治平
寺島善郎
大野幸貞
宮澤完三郎
細野貞依
宮尾甲治
北澤茂
柳澤万平

事務局職員

総務部長　湯本　寛
事業部長　宮尾甲治
生活部長　細野貞依

長野市

住所	氏名	職業	前住所
新諏訪町 一三三	兒玉兵一郎	三業学校長	全北群山
〃 一三八	宮坂武男	道属	咸北羅南
〃 一八六	松島篤	公立口民学校長	全北群山
〃 一八六	宮澤完爾	地方専賣局長	平南平壌
〃 八九三	工藤眞澄	経済警察課長	慶北大邱
小林信雄	小林信雄	人事裁判課長	慶北大邱
〃 三九	倉島至	会社員	慶北大邱
〃 七五	龍澤孝	工場長	京畿仁川
〃 二八六	宮澤栄	師範学校教員	咸北清津
藤森慶太郎	藤森慶太郎	地方法務局検事	平南平壌
花岡学	花岡学	検事	慶南居昌
水本友蔵	水本友蔵	呉服商	咸北羅南
岡本正明	岡本正明	技師	朝鮮殖産銀行
湯本寛	湯本寛	専賣局長	慶北大邱
宮林隆盛	宮林隆盛	三菱会社員	平南鎮南浦
〃	小野貞作	下水普請事務所長	平南平壌
瀬尾定吉	瀬尾定吉	逓信	京畿仁川
中村福之	中村福之	府吏員	咸北清津
高橋三郎	高橋三郎	鉱業	京畿京城
宮崎甲治	宮崎甲治	鉱業	京畿京城
鉄道部内	鉄道部内	鉄道属	慶北大邱
西澤堪助	西澤堪助	技手	咸北清津
木本八重	木本八重	呉服商	咸北会寧

住所	氏名	職業	前住所
箱清水町 一ばん荘	小宮山通好	理髪業	咸南興南
上松六ノ堂	北澤茂	産業技師	京城京畿道
〃 一二六	平塚金作	土建業	平南陽徳
〃 四二三	吉井松久	警察署輸送主任	京畿仁川
吉田本町 三二	市村光行	交通局平壌工場技手	平南平壌
東町 一六七	岸上正一	土建業	
大門町 大門荘	宮原治重	自転車組合会理事長	
〃	瀬尾忠博	府吏員	
若松町 白雲荘	小山	逓技手	
岩木 三一五	小山左京	特定郵便局長	
四一九	遠藤俊節	小遣技術員	
〃	瀧本勝俊	鉄道属	
多田仁已		税務監督局事務官	
鈴木宗一		文学博士	
笠原吉三		朝鮮総督府事務官	
小林寛大		安務局	
福井一美		平壌毎日新聞社記者	
瀧澤富吉		鮮満連絡事務所技手	
石田誠		京城地方逓信局逓信書記	
白山兵司		京畿京城	
小山文男		慶北義城	
柳沢万平		全南道立製糸会社員	
〃		全南光州	
〃		全南潭水	
北石堂町 二五	青沼三郎	朝鮮総督府情報課属	京畿京城

南光産業	金銭借用証書	山本平太郎	借用金	盛岡市
同	金銭借用証書	下平栄教	借用金	盛岡市
〃	〃	木村錦吉	〃	〃
〃	〃	西山清次	〃	〃
〃	〃	新井辰夫	〃	〃
〃	〃	大内作十	〃	〃
〃	〃	佐藤治助	〃	〃
〃	〃	小笠原清	〃	〃
〃	〃	佐藤久治	〃	〃
〃	〃	佐藤清

氏名	職業	住所
敦賀町	上敦賀町一ノ一	敦賀町

住所	氏名	職業
須坂町大字須坂	佐藤弘	農業
上高井郡小布施村	守田宏	国民学校訓導

住所	職業	氏名	前職業	前住所
淀橋区柏木一ノ三〇	農業	井上雷洲	小学校教員	淀橋区柏木一ノ三〇

住所	職業	氏名	年齢
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社専務取締役	犬丸徹三	五十九
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社常務取締役	林愛作	五十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	高橋是清	七十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	渡辺千冬	五十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	大倉喜七郎	五十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	大倉喜八郎	七十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	大倉粂馬	六十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	大倉喜八郎	七十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	大倉粂馬	六十
東京市麹町区内幸町一丁目一番地	帝国ホテル株式会社取締役	大倉喜七郎	五

昭和二十三年四月

入場者名簿

宮城縣朝鮮人友倶樂部

各種織維衣料及衣料品
水産加工機・土建用品・雑貨販売
雑貨問屋及貿易業

江商株式會社仙台出張所
所長　前田幸男
仙台市東六番丁六三
電二三〇五番

各種織維原料及製品
繊維工業品・機械・金物
雑貨並に問屋業

東洋棉花株式會社仙台出張所
所長　大熊田進
仙台市小田原連坐
電二四九番

朝鮮引揚者　宮城縣

互助金

仙台市北三番丁一四八

目的　朝鮮引揚者ニ対シ
貸付ヲ為ス

貸付金ハ昭和三十三年四月末迄ニ
償還スルモノトス

目次

一　会則
二　役員
三　事務所
四　会議
五　会計
六　資産
七　賦課金
八　貸付
九　償還
十　雑則

あとがき

終戦後第三回の花の好季節を迎え皆様
益々御健勝で御健康と存じます
さて私共で引揚げた方々に対し生活の安定を増強する事は勿論の事ですが一般に過去の苦しみを忘れ去ろうとする気持が強く互助の精神が薄れて来ている様に思われます
この会は引揚者の為の会ですが一般の人々にも入会して頂き互助の精神を養う為の会でもあります
この会員の中から一人でも多く立派な人が出ますように
おりました方々からの寄金が沢山ありますので之を基金として永久に続けて行く事になりました
会員の皆様の御協力を御願い致します

はしがき

一、この名簿は朝鮮引揚者と朝鮮に最も縁の深い人々約七百名が登録されている。しかし県内の引揚者総数はその三倍近くはあろうと推定されるから、この名簿は逐次改訂増補されなければならないものである。

一、この名簿は、姓名、現住所と使った。職業、勤務先、旧住所、朝鮮などかとこれであり、県内の市郡名は頭字だけにこゞめた。

仙…仙台市……一三ページ
石…石巻市……一五
塩…塩竈市……一四
宮…宮城郡……一七
黒…黒川郡……三
伊…伊具郡……二一
名…名取郡……六八
刈…刈田郡……一五
亘…亘理郡……三五
柴…柴田郡……二七
本…本吉郡……一一
志…志田郡……二九
牡…牡鹿郡……九
桃…桃生郡……二四
登…登米郡……三五
遠…遠田郡……四一
栗…栗原郡……三〇
加…加美郡……六
玉…玉造郡……八
遠…遠田……一五

尚、略語中、仙台市北一…は、市を六つの区名々北一番丁、北二番丁……と丁であり、東一、東二……は東一番丁、東二番丁……をさす。

一、何分、名簿の作製には広く関係の実が多々あり、困難な方の誤りは免れないと思っているが、尚ご多忙の経費が社会上の御容赦を願いたい。

一、名簿には……

斜線の部分……

七二

氏名現住所現職業旧住所職業

岩渕友次	仙…荒巻字前山四	無	宮城郡七ヶ浜村
板橋歳巳	〃…三百人町四七	互助会長	〃
石垣久治	〃…北一ノ三一	仙台勤労署長	京城南浦
石川……	〃…東一中兵公設市場七三	金物商	釜山府
今井武、志	〃…田子町一一〇	自動車修理工場	元山府
今井二	〃…宮町一一七	商	春川
坂本……	〃…荒巻伊勢堂神明四四	仙台税務署	満州
今村良	〃…	〃	北京
今村紀美子	〃…北平前二二安藤方	〃	北京
今村栄子	〃…東九ノ五五	〃	京城府
伊藤英三	〃…荒巻北根新茶屋三三ノ二	〃	京城府
伊東半次郎	〃…新寺小路一二	〃	京城府
伊藤一良	〃…北平丁一二	〃	北支通商員
伊藤伸	〃…原町小田原天神四〇	〃	海軍
井上健五郎	〃…北八ノ一〇三	仙台市役所員	京

池本秀信　仙・八幡町八六
伊沢正雄　〃・蒸沢住宅五一
石井巌　〃・荒町二八
稲田大巌　〃・花壇川添町一六
岩渕茂男　〃・荒巻十南山四
石館八郎　〃・泰町南目二軒茶屋二九
伊藤長太郎　〃・南五十人町九八
生野眞子　〃・小田原大行院丁二一
井上斉　亘・亘理町祝田五
伊藤達三　〃・山下村山寺二四
伊藤幸次郎　〃・逢隈村下野高新五
伊藤傳久　〃・〃　蔵王梨木二五
伊藤てる　名・玉浦村下ノ郷
伊藤光治　〃・千貫村南長谷
五十嵐　〃・増田町本町
岩間　〃・岩沼町北町

（四）

釜山府土建業
京城府鉱工業
佐々木土木株社　〃　陸軍技手

仙台市役所工営課　京城府雇　技手
古着行商　清津府朝鮮人
食品、古物商　大邱府太陽游技株社
京城府
無　天安食糧被盗所長
〃　平壌府平壌郵便局長

秘書官
無　京城府会議員

伊藤繁男　桃・飯野川町川上
岩渕すゑの　〃・鹿又村新田町七
今泉勘七　宮・七北田村松森
板橋重一　〃・利府村利府、大町四
板宮明夫　〃・根白石村宮沢
猪股とくル　伊・東根村鴨原
猪股千代　登・米川村字根河原二岩渕
石川哲四郎　〃・新田村飯島
石川太蔵　栗・若柳町元町三
伊藤東之進　〃・若柳町十文字
伊勢珍平　柴・大河原町末広町
石川斉四郎　玉・岩出山町
石森久弥　石・大町二丁目
井手正視　〃
岩渕隆助　〃・日和山

平壌府道庁衛生課員
平北宜川郡
村役場助役　音・州嶺事
警察官
鎮南浦府
咸北吉州林業

慶南道警察署
浦島屋玩具店京城府罵眞紫
町長　太田府商工会議所理事
平北青水邑工場経営
無　京城府日本水産社員
石巻公民館長京城府元南洋新開基長
進駐軍要員　忠北道食糧営団
医　師城津高周波病院長

星	久	仙・西公園市営住宅
ほ		
星	善二	登・新田村梅ヶ沢鉄道官舎
星	勇	〃・新田村坂戸
保	憩二	亘・亘理町新井町三三
堀	棟雄	伊・藤尾村蔵田鹿嶋一の三
田	勝蔵	〃・西根村毛萱赤坂一の
堀	正八	遠・田尻町豆尻字町一五二
野	種子	名・下増田村下増田
洞口		
星	固	仙・宮城野住宅一九
星川	とよ子	〃・八幡町坊子町七一佐藤方
星野	千代子	〃・北材木町一三八北村方
本郷	悌三郎	〃・元常盤丁三五
星原	充	〃・北一ノ七六第二寮
と		
戸島	政治	名・岩沼町舘下

豊島	勝雄	仙・長右町北山市営住宅い三
戸板	成一	〃・西公園住宅
富沢		〃・東四五三
鴇田	辰	〃・河合町二三舘裏方
徳江	益	柴・役所前新田町裏壁方
徳江	内平	栗・高清水町
戸村	伊佐夫	伊・枝野村島田
鴇田	正	志・志田村元田目
鴇田	三郎	〃・三本木町
堂本	サヤ子	遠・涌谷町

中	鉢	栗・川渡村名生宅天神三九
中	鉢	仙・三百人町一三九
千葉	玲	〃・川内竜岡町六五
千葉	文子	〃・北山町一五
千葉		八・商次住宅五。

千葉	府武道具商	
千葉	府鉄道陸運輸社	員
千葉	府会北	道官
千葉		貸屋業
千葉		京城府会社員

戸	平	京城府京城保線区
戸	黄海兼二浦日致社	員
戸	宮城師範書役員江原江陵官舎	官
戸	仙台市復興局	交通局員
戸	憲一	忠南瑞山郡
戸	森蔵	鉄石巻支所属
戸		北
戸		道庁山林課
戸		農地車務局
戸		
七十七	銀行本店	
佐宅	公社	慶北星州官

千葉東子　仙・蒸沢住宅七五
千葉菁寿　〃・原町苔竹町
千葉慎三　本・気仙沼町魚町
千葉慶一　登・石森町伯楽野七八
千葉健吾　桃・矢本町河戸二九
千葉胤亮　志・田尻町仲町二三
千葉芳蔵　〃・鹿島台村平渡東神三
千葉長一郎　栗・岩崎町上小路一四一

ぬ

沼田幸夫　仙・新坂通七三
沼田勘重　名・秋保村長袋
沼田堪十郎　〃・〃
沼津梧郎　遠・小牛田町南小牛田

お

大泉敬馬　遠・涌谷町中島町

大川盛一　〃・涌谷町新町
尾崎良一　〃・南郷村練牛
尾崎玄久男　桃・〃
岡健也　〃・飯野川町本町一七一
岡健二郎　〃・〃
岡武雄　仙・三百人町一三一
小倉房子　〃・北六ノ一八三
岡信俠助　〃・川内敵福通ノ一二
大山信平　〃・北七ノ二五ノ二
岡本五作　〃・鉄砲町六一
小田桐一夫　〃・壹不通人
大河内俊平　〃・東二一六二
小野寺著蔵　〃・士樋七一石川方
岡崎俊二　〃・宮城野住吉二八大
大山文忠　〃・北七二五ノ二
小野〔illegible〕　〃・東大衛古方
岡〔illegible〕　〃・原町小田原土手前

〔illegible〕

木材業　宮城郡
地方事務官　忘南並木
縣食糧課　〃
〃　〃
〃　〃

涌谷町役場　慶南　幸海耕片

木材業　宮城郡
地方事務官　忘南並木
縣食糧課　〃
〃　〃
〃　〃

仁川府会社員
京城府日本赤十字社
〃
小牛田町役場　羅南　農業産組合

涌谷町役場　慶南　幸海耕片

平壌府
木材商　南浦北道
商　清津府
石森農村工業協同組合　興南
行　吉宗城府会社
無　京城府鍾路区役所
理髪業　京城府理髪業
無　三友鉱業会社

大大大大大大小小大大太太大大岡
和　笠原栄右衛門　野寺　氷田田友友崎
田忠義ツ介三郎宇之助　ク二俊　茶俊
雄、義二郎勝平、賀三郎　ク雄維誠三
淑夫郎兵衛門淑ツ雄維誠三
ク石ク。通町ク。鉄砲町三。ク。仙
ク。水神谷往生寺岡ク。通町七ノ長芸園ク。提通二ノ八
ク。連坊小路三八五ク。浦六角一ク。北七ノ四九ク。新寺小路七
ク。通町一ノ三ク。鉄砲町三。ク。申田町行生六ク。元信町八ノ坂本今
ク。浦六角一ク。長町内部屋五八ク。蔵沢住吉五一
ク。通町七ノ三長芸園ク。会象八五郎ク。前栽本町六
ク。鉄砲町三。ク。北七ノ四九
ク。申田町行生六ク。蔵沢住吉五一
ク。長町内部屋五八ク。元信町八ノ坂本今
ク。会象八五郎ク。新寺小路七
ク。提通二ノ八
ク。前栽本町六
ク。仙

小夜小次岡小六大大大
野　野　野　

大坂勝四郎　登。石森町字町一二四
久立日重雄　〃。米山村中津山坂内
小野寺博志　〃。天満浜村日向一一六
大場修玉　〃。吉川町千里
大川口初代　〃。平町字町一二四
大友庫之助　〃。
大友孫治　〃。
大村健寿　〃。
小野傳城名。
太田和一郎　〃。
小田忠夫　名。
岡本直治　〃。
小野三郎　〃。
小川一道　刈。福岡村
大坂勝四郎　登。石森町字町一二四
久立日重雄　〃。米山村中津山坂内
小野寺博志　〃。天満浜村日向一一六
大場修玉　〃。吉川町千里
大川口初代　〃。平町字町一二四
大友庫之助　〃。
大友孫治　〃。
大村健寿　〃。
小野傳城名。
太田和一郎　〃。
小田忠夫　名。
岡本直治　〃。
小野三郎　〃。
小川一道　刈。福岡村

警察官　京城府
東北帝國大學教授　京城府
京城帝國大學教授　京城府
京城帝國大學助教授　京城府
京城帝國大學助教授　京城府
京城帝國大學助

加賀山之雄	東京市	會社員	男	明治十年	〃	〃	〃
加賀山隼一	〃	〃	〃	明治三十年	〃	〃	〃
加賀山學	〃	〃	〃	明治三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄妻	〃	〃	女	明治十年	〃	〃	〃
加賀山隼一妻	〃	〃	〃	明治三十年	〃	〃	〃
加賀山學妻	〃	〃	〃	明治三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄長女	〃	〃	〃	明治三十年	〃	〃	〃
加賀山之雄次女	〃	〃	〃	明治三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄三女	〃	〃	〃	明治三十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄四女	〃	〃	〃	明治三十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄五女	〃	〃	〃	明治三十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄六女	〃	〃	〃	明治四十年	〃	〃	〃
加賀山之雄七女	〃	〃	〃	明治四十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄八女	〃	〃	〃	明治四十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄九女	〃	〃	〃	明治四十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄十女	〃	〃	〃	明治四十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄十一女	〃	〃	〃	明治五十年	〃	〃	〃
加賀山之雄十二女	〃	〃	〃	明治五十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄十三女	〃	〃	〃	明治五十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄十四女	〃	〃	〃	明治五十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄十五女	〃	〃	〃	明治五十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄十六女	〃	〃	〃	明治六十年	〃	〃	〃
加賀山之雄十七女	〃	〃	〃	明治六十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄十八女	〃	〃	〃	明治六十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄十九女	〃	〃	〃	明治六十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十女	〃	〃	〃	明治六十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十一女	〃	〃	〃	明治七十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十二女	〃	〃	〃	明治七十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十三女	〃	〃	〃	明治七十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十四女	〃	〃	〃	明治七十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十五女	〃	〃	〃	明治七十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十六女	〃	〃	〃	明治八十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十七女	〃	〃	〃	明治八十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十八女	〃	〃	〃	明治八十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二十九女	〃	〃	〃	明治八十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十女	〃	〃	〃	明治八十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十一女	〃	〃	〃	明治九十年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十二女	〃	〃	〃	明治九十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十三女	〃	〃	〃	明治九十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十四女	〃	〃	〃	明治九十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十五女	〃	〃	〃	明治九十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十六女	〃	〃	〃	明治百年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十七女	〃	〃	〃	明治百二年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十八女	〃	〃	〃	明治百四年	〃	〃	〃
加賀山之雄三十九女	〃	〃	〃	明治百六年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十女	〃	〃	〃	明治百八年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十一女	〃	〃	〃	明治百十年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十二女	〃	〃	〃	明治百十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十三女	〃	〃	〃	明治百十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十四女	〃	〃	〃	明治百十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十五女	〃	〃	〃	明治百十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十六女	〃	〃	〃	明治百二十年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十七女	〃	〃	〃	明治百二十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十八女	〃	〃	〃	明治百二十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄四十九女	〃	〃	〃	明治百二十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十女	〃	〃	〃	明治百二十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十一女	〃	〃	〃	明治百三十年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十二女	〃	〃	〃	明治百三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十三女	〃	〃	〃	明治百三十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十四女	〃	〃	〃	明治百三十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十五女	〃	〃	〃	明治百三十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十六女	〃	〃	〃	明治百四十年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十七女	〃	〃	〃	明治百四十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十八女	〃	〃	〃	明治百四十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄五十九女	〃	〃	〃	明治百四十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十女	〃	〃	〃	明治百四十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十一女	〃	〃	〃	明治百五十年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十二女	〃	〃	〃	明治百五十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十三女	〃	〃	〃	明治百五十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十四女	〃	〃	〃	明治百五十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十五女	〃	〃	〃	明治百五十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十六女	〃	〃	〃	明治百六十年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十七女	〃	〃	〃	明治百六十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十八女	〃	〃	〃	明治百六十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄六十九女	〃	〃	〃	明治百六十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十女	〃	〃	〃	明治百六十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十一女	〃	〃	〃	明治百七十年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十二女	〃	〃	〃	明治百七十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十三女	〃	〃	〃	明治百七十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十四女	〃	〃	〃	明治百七十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十五女	〃	〃	〃	明治百七十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十六女	〃	〃	〃	明治百八十年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十七女	〃	〃	〃	明治百八十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十八女	〃	〃	〃	明治百八十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄七十九女	〃	〃	〃	明治百八十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十女	〃	〃	〃	明治百八十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十一女	〃	〃	〃	明治百九十年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十二女	〃	〃	〃	明治百九十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十三女	〃	〃	〃	明治百九十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十四女	〃	〃	〃	明治百九十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十五女	〃	〃	〃	明治百九十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十六女	〃	〃	〃	明治二百年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十七女	〃	〃	〃	明治二百二年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十八女	〃	〃	〃	明治二百四年	〃	〃	〃
加賀山之雄八十九女	〃	〃	〃	明治二百六年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十女	〃	〃	〃	明治二百八年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十一女	〃	〃	〃	明治二百十年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十二女	〃	〃	〃	明治二百十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十三女	〃	〃	〃	明治二百十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十四女	〃	〃	〃	明治二百十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十五女	〃	〃	〃	明治二百十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十六女	〃	〃	〃	明治二百二十年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十七女	〃	〃	〃	明治二百二十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十八女	〃	〃	〃	明治二百二十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄九十九女	〃	〃	〃	明治二百二十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百女	〃	〃	〃	明治二百二十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百一女	〃	〃	〃	明治二百三十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二女	〃	〃	〃	明治二百三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三女	〃	〃	〃	明治二百三十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四女	〃	〃	〃	明治二百三十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五女	〃	〃	〃	明治二百三十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六女	〃	〃	〃	明治二百四十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七女	〃	〃	〃	明治二百四十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八女	〃	〃	〃	明治二百四十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九女	〃	〃	〃	明治二百四十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十女	〃	〃	〃	明治二百四十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十一女	〃	〃	〃	明治二百五十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十二女	〃	〃	〃	明治二百五十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十三女	〃	〃	〃	明治二百五十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十四女	〃	〃	〃	明治二百五十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十五女	〃	〃	〃	明治二百五十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十六女	〃	〃	〃	明治二百六十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十七女	〃	〃	〃	明治二百六十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十八女	〃	〃	〃	明治二百六十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百十九女	〃	〃	〃	明治二百六十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十女	〃	〃	〃	明治二百六十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十一女	〃	〃	〃	明治二百七十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十二女	〃	〃	〃	明治二百七十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十三女	〃	〃	〃	明治二百七十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十四女	〃	〃	〃	明治二百七十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十五女	〃	〃	〃	明治二百七十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十六女	〃	〃	〃	明治二百八十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十七女	〃	〃	〃	明治二百八十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十八女	〃	〃	〃	明治二百八十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百二十九女	〃	〃	〃	明治二百八十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十女	〃	〃	〃	明治二百八十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十一女	〃	〃	〃	明治二百九十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十二女	〃	〃	〃	明治二百九十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十三女	〃	〃	〃	明治二百九十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十四女	〃	〃	〃	明治二百九十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十五女	〃	〃	〃	明治二百九十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十六女	〃	〃	〃	明治三百年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十七女	〃	〃	〃	明治三百二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十八女	〃	〃	〃	明治三百四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百三十九女	〃	〃	〃	明治三百六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十女	〃	〃	〃	明治三百八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十一女	〃	〃	〃	明治三百十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十二女	〃	〃	〃	明治三百十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十三女	〃	〃	〃	明治三百十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十四女	〃	〃	〃	明治三百十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十五女	〃	〃	〃	明治三百十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十六女	〃	〃	〃	明治三百二十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十七女	〃	〃	〃	明治三百二十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十八女	〃	〃	〃	明治三百二十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百四十九女	〃	〃	〃	明治三百二十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十女	〃	〃	〃	明治三百二十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十一女	〃	〃	〃	明治三百三十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十二女	〃	〃	〃	明治三百三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十三女	〃	〃	〃	明治三百三十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十四女	〃	〃	〃	明治三百三十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十五女	〃	〃	〃	明治三百三十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十六女	〃	〃	〃	明治三百四十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十七女	〃	〃	〃	明治三百四十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十八女	〃	〃	〃	明治三百四十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百五十九女	〃	〃	〃	明治三百四十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十女	〃	〃	〃	明治三百四十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十一女	〃	〃	〃	明治三百五十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十二女	〃	〃	〃	明治三百五十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十三女	〃	〃	〃	明治三百五十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十四女	〃	〃	〃	明治三百五十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十五女	〃	〃	〃	明治三百五十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十六女	〃	〃	〃	明治三百六十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十七女	〃	〃	〃	明治三百六十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十八女	〃	〃	〃	明治三百六十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百六十九女	〃	〃	〃	明治三百六十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十女	〃	〃	〃	明治三百六十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十一女	〃	〃	〃	明治三百七十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十二女	〃	〃	〃	明治三百七十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十三女	〃	〃	〃	明治三百七十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十四女	〃	〃	〃	明治三百七十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十五女	〃	〃	〃	明治三百七十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十六女	〃	〃	〃	明治三百八十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十七女	〃	〃	〃	明治三百八十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十八女	〃	〃	〃	明治三百八十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百七十九女	〃	〃	〃	明治三百八十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十女	〃	〃	〃	明治三百八十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十一女	〃	〃	〃	明治三百九十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十二女	〃	〃	〃	明治三百九十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十三女	〃	〃	〃	明治三百九十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十四女	〃	〃	〃	明治三百九十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十五女	〃	〃	〃	明治三百九十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十六女	〃	〃	〃	明治四百年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十七女	〃	〃	〃	明治四百二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十八女	〃	〃	〃	明治四百四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百八十九女	〃	〃	〃	明治四百六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十女	〃	〃	〃	明治四百八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十一女	〃	〃	〃	明治四百十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十二女	〃	〃	〃	明治四百十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十三女	〃	〃	〃	明治四百十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十四女	〃	〃	〃	明治四百十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十五女	〃	〃	〃	明治四百十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十六女	〃	〃	〃	明治四百二十年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十七女	〃	〃	〃	明治四百二十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十八女	〃	〃	〃	明治四百二十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄百九十九女	〃	〃	〃	明治四百二十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百女	〃	〃	〃	明治四百二十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百一女	〃	〃	〃	明治四百三十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二女	〃	〃	〃	明治四百三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三女	〃	〃	〃	明治四百三十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四女	〃	〃	〃	明治四百三十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五女	〃	〃	〃	明治四百三十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六女	〃	〃	〃	明治四百四十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七女	〃	〃	〃	明治四百四十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百八女	〃	〃	〃	明治四百四十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百九女	〃	〃	〃	明治四百四十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十女	〃	〃	〃	明治四百四十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十一女	〃	〃	〃	明治四百五十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十二女	〃	〃	〃	明治四百五十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十三女	〃	〃	〃	明治四百五十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十四女	〃	〃	〃	明治四百五十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十五女	〃	〃	〃	明治四百五十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十六女	〃	〃	〃	明治四百六十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十七女	〃	〃	〃	明治四百六十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十八女	〃	〃	〃	明治四百六十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百十九女	〃	〃	〃	明治四百六十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十女	〃	〃	〃	明治四百六十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十一女	〃	〃	〃	明治四百七十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十二女	〃	〃	〃	明治四百七十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十三女	〃	〃	〃	明治四百七十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十四女	〃	〃	〃	明治四百七十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十五女	〃	〃	〃	明治四百七十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十六女	〃	〃	〃	明治四百八十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十七女	〃	〃	〃	明治四百八十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十八女	〃	〃	〃	明治四百八十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百二十九女	〃	〃	〃	明治四百八十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十女	〃	〃	〃	明治四百八十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十一女	〃	〃	〃	明治四百九十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十二女	〃	〃	〃	明治四百九十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十三女	〃	〃	〃	明治四百九十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十四女	〃	〃	〃	明治四百九十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十五女	〃	〃	〃	明治四百九十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十六女	〃	〃	〃	明治五百年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十七女	〃	〃	〃	明治五百二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十八女	〃	〃	〃	明治五百四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百三十九女	〃	〃	〃	明治五百六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十女	〃	〃	〃	明治五百八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十一女	〃	〃	〃	明治五百十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十二女	〃	〃	〃	明治五百十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十三女	〃	〃	〃	明治五百十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十四女	〃	〃	〃	明治五百十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十五女	〃	〃	〃	明治五百十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十六女	〃	〃	〃	明治五百二十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十七女	〃	〃	〃	明治五百二十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十八女	〃	〃	〃	明治五百二十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百四十九女	〃	〃	〃	明治五百二十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十女	〃	〃	〃	明治五百二十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十一女	〃	〃	〃	明治五百三十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十二女	〃	〃	〃	明治五百三十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十三女	〃	〃	〃	明治五百三十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十四女	〃	〃	〃	明治五百三十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十五女	〃	〃	〃	明治五百三十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十六女	〃	〃	〃	明治五百四十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十七女	〃	〃	〃	明治五百四十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十八女	〃	〃	〃	明治五百四十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百五十九女	〃	〃	〃	明治五百四十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十女	〃	〃	〃	明治五百四十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十一女	〃	〃	〃	明治五百五十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十二女	〃	〃	〃	明治五百五十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十三女	〃	〃	〃	明治五百五十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十四女	〃	〃	〃	明治五百五十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十五女	〃	〃	〃	明治五百五十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十六女	〃	〃	〃	明治五百六十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十七女	〃	〃	〃	明治五百六十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十八女	〃	〃	〃	明治五百六十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百六十九女	〃	〃	〃	明治五百六十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十女	〃	〃	〃	明治五百六十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十一女	〃	〃	〃	明治五百七十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十二女	〃	〃	〃	明治五百七十二年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十三女	〃	〃	〃	明治五百七十四年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十四女	〃	〃	〃	明治五百七十六年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十五女	〃	〃	〃	明治五百七十八年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十六女	〃	〃	〃	明治五百八十年	〃	〃	〃
加賀山之雄二百七十七女	〃

吉米ヶ横須米吉　加神川川神宮川鉄
西川田沢山倉村ノ　劉林村口沼野嶋倉
榮恒坂釜華八正　武豊西小正久五兵當三
子夫志郎生郎夫　男吉助三郎光衛治郎帥

牡　〃　〃　〃　〃　〃　〃　名　岩　〃　〃　麦　南　村　大　柳
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　館　下　〃　〃　〃　〃
〃　〃　〃　〃　〃　〃　増　田　町　下　倉　田
〃　〃　〃　〃　〃　〃　西　成　村　吉　田
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃

只八 福岡市高平 高岡郡高岡町 高岡郡高岡町 高岡郡高岡町
野村崎 橋島 橋本榮治郎 橋本榮治郎 橋本榮治郎 橋本榮治郎 橋本榮治郎
平元吉 清重 元道 猛 清 女 虎之助 三智男 佐 芳二郎
裁 千作 里雲部 男 郎 夫 男 子 助 勝 士郎
〃 〃 志 〃 〃 〃

只野宗道	名。	岩沼町舘下	
土田源治	〃。	高舘村熊野堂	
土田三郎	〃。	愛島村塩手	
土屋文一郎	仙。	八幡町	
富田甲子郎	〃。	田町二一九	
竹内健盛	黒。	猪川村猪川西長崎	
武川マス	〃。	吉岡町但木方	
滝口甲子郎	伊。	角田町中舘二七吉田方	
田村貞力	〃。	西根村稲置	
高橋武平	牡。	稲井村真野内原六三ノ二	
高橋庄之進	宮。	松島手樽	
高橋直衛	桃。	赤井村字柿目	
武山留蔵	〃。	飯野川町中町	
高橋善四郎	玉。	川渡村	
高嶋幸悦郎	栃。	大河原町仙台地裁支所内	

そ

東亜経済通信社	朝鮮	京城府
食糧品店経営	大邱府	
無	京城府	朝鮮水産会社社長
	京城府	無
農地事務局		
農	全南道	
農場経営	全北道	官吏
	京城府	土木出張所技師
	平壌府	
	釜山府	鉱山技術者
	官吏	
	大邱府	判事

曽根嘉吉　栗。長岡村荒谷新町八七

曽根幸太郎	名。	岩沼町南小路

滝川忠良	伊。	角田町字西田町
土田倉司	仙。	小山荒更生寮六ノ七

仙台市復興局	江原道三陟	会社員
喫茶店	太田府	葉書絵葉書販売

中本政雄	志。	古川町大柿字西浦
中田為治	〃。	松山町七ツ梨
中里千春	名。	岩沼町東桑原一八〇
中村雄三	仙。	東一番丁七一
中村政吉	〃。	北六市営住宅二二
長坂光一	〃。	北八ノ五九
中島新一	〃。	般町三五佐藤方

朝鮮重工業会社	京城府	朝鮮重工業会社総動員課長兼庶務課長
忠南道	大和紡織会社専務取締役	
酸炭公団亜炭支団京城府販売課長	交通局	
商	京城府	府書記
縣特建本部	京城府	交通局
平北道	交通局技手	
吉州		

熊熊工熊栗拳栗黒熊黒
坂漢騒父生刈沢谷田島
寿会刑傷一兵記者大信公
建

栗
教員

栗
教員

栗
教員

松松松

松木正志　桃・北村係庭
松本六造　紫・船岡町広小路一
松浦文十郎　名・愛島村笠島
松本正美　伸・角田町中町

ナ

廣田景憲　仙・北七ノ七四

ふ

船坂順吉　仙・北六ノ二四、大内方
藤倉良直　〃・敷視町一七八
藤沢良典　〃・二本杉通二六
藤原英雄　〃・南小泉八野小路九二ノ二八
文屋伊右衛門　〃・泉町中原住宅一九二
藤崎哲郎　志・松山町長尾
藤門英一　〃・吉岡岡川端
藤本義　遠・沼辺村沼辺宮崎

ま

松木正志　桃・北村係庭
松本六造　紫・船岡町広小路一
松浦文十郎　名・愛島村笠島
松本正美　伸・角田町中町

や

廣田景憲　仙・北七ノ七四

ら

瓦斯土建業　京城府　土地経営
露亜商会調査部　記者　営業官

わ

無　平壌府　林業
米軍管理一七三病院　京城府　利用
東北電気工事会社　京城府
無　咸南道
作物被害査定事務所　大邱府　西鮮
薪炭林産組合連合会　新義州　支社
慶業組合　京城日報社　員
無　官吏　漢江水電
無　咸南道　税務署
穀物検査所　平壌道　属
無　官吏
無　興南　官吏

二上勝二　栗・藤里村大釜字谷
藤田幹一　庄・気仙沼町南町新温方

あ

会社員　京城府　交通局員
医師　興南　医師

い

野口錦三　宮・松島字椿
〃・大沢村
猛　仙・堤通二五宝樹荘
賢志　〃・北六ノ一七ノ三
〃・宮町東堂表町三七
大道多賀郎　〃・宮坂野住宅三九藤井方
〃・石切町四八
三好良吉　〃・業内住宅
〃・西文化七八
小林逸夫　〃・中島下五五
今野直俊　〃・小田原天神町
後藤桃太郎　〃・琵琶首四八
後藤正二郎　土・女川町石浜
後藤清延

こ

今野錦三　宮・松島字椿
〃・大沢村
後藤猛　仙・堤通二五宝樹荘
後藤賢志　〃・北六ノ一七ノ三
今野道夫　〃・宮町東堂表町三七
小林多賀郎　〃・宮坂野住宅三九藤井方
今野好三　〃・石切町四八
後藤良吉　〃・業内住宅
後藤逸夫　〃・西文化七八
郷内直俊　〃・中島下五五
木幡桃太郎　〃・小田原天神町
桑折正二郎　〃・琵琶首四八
後藤清延　土・女川町石浜

無　京城府　会社員
技手　京城府　大東実業会社総務部長
馬山高女教諭　馬山高女教諭
商業学校教員　京城府　商業学校教員
会社員　京城府　鉄工業土木
帝国大学助手　高力教諭

会社経営　京城府
火薬商　平北道
会社員　咸南道

郷古正習　宮。多伎大坂村一番田中
近藤喜久治　栗。沼辺村沼辺七四ノ一
今野検　遠。北浦村陽洞
小谷仁見　〃。笠懸村小里
今野金吾　桃。桃生村太田
今野武朗　伊。大内村
小林さつき　宮。宮理町祝田五
出庄司　志。古田町田里
郡山今野長左衛門　多。
今野大七　〃。横山町字今泉田
小竹喜久治　〃。登米町北方
今野ぎん子　〃。三浦村前沼根
今野林一　〃。下増田村松ケ袋

安　亘。吉田村長瀬
松　他。荒町一七二

寺島正志　仙。米袋鍛冶屋前十
照井正喜　登。上田沢山城内佐藤方

あ。

秋山砺亮　遠。田尻町北牧白宇鴻巣
秋山修二　〃。〃〃
熱海初三郎　〃。山室原内
阿部操　仙。八幡荒町六三号
相原正義　〃。〃〃
阿部二籠　〃。六十人町三
阿川喜信　〃。南鍛治町
虻田直人　〃。宮城野三
朝野庄吉　〃。小田原満水沼通二
青木アキ　〃。宮城野住宅二三二
安藤篤　〃。原町苦竹一八二
阿部金太郎　〃。小田原東生家
阿部亮一　〃。二十人町一〇大場方

郷古製糸	京城府	社長
農	京城府	会社員
本土業	海州府	漢薬商
遼西地方事務所	平南道	陽徳分所
村長	海州	織維組合重事

亘理商工奨励会幹事	京城府	朝鮮商事会
務官		
財団法人朝鮮教育会評議員	京畿道	

校手	咸北道	道庁山林課員
〃	京城府	學生
〃	京城府	朝鮮コルク工業所

縣林聯合会支所	慶北道	
会社員	江界	営・林署
天然スレート採掘業	京城府	天然スレート採掘加工業
古衣交換所	忠南道	金融組合理事
〃	春川	会社員
土工	興南	〃
〃		農
	京城府	燃料〃
	京城府	官吏
	新義州	馬事会

赤松利作　仙・通町四二
麻生豊　〃・上杉山通帝室住宅八十一
阿部七三郎　刈・福岡村深谷　三〇
跡辺源之輔　〃・大鷹沢村三沢田中八二
青木豊三郎　栃・金ケ瀬村
青木豊二郎　〃・〃
秋保安正　名・秋保村長食大原
浅野悦郎　〃・玉浦村下郭郷字浜一七二
朝長裕　〃・〃　相野釜
相澤正徳　〃・岩沼町字北町六
阿部昌夫　〃・閖上町字町一六二
阿部正三　志・鹿島台村字竹谷
阿部薫　牡・渡波町浜町三四
安部畔司　登・佐沼町五日町二〇

さ

佐藤玄二　宮・栗原村字堂

	三四		
	会社員	興	
三越京城支店	京城府	三井物産株式会社用品部長	
鉱業防協会	平壌府	商	
視	江原道	教員	
会社員(百通ノ京城府洞祭支店)			
教員			
業	黄海道	業	
業	馬山府	農	
	平康	農	
	咸北道	技手	
	京城府	教員	
大盛堂印刷会社社長兼出版特許社長			
教員			
	羅南	鉄道局山林課	

齋藤彌市　宮・石巻町白沢
佐久間貫治　刈・白石町亘理町三六ノ一
〃・〃　大平村中目道下
佐久間隆七　〃・〃　森合台川
齋藤慶三郎　仙・東二ノ十六
齋藤暉夫　志・荒雄村江合字地一
佐々木忠右衛門　〃・古川町西館
佐藤利市　〃・古川町七日町
佐々木龍雄　〃・荒雄村荒谷二五
佐々木靜雄　登・米山村
佐々木重司　〃・佐沼町西佐沼三五
佐藤のり　〃・佐沼町下谷中一七
佐々木一　〃・石越村南郷西久保一九九
佐々木尚雄　〃・佐沼町八日町西佐沼三六
酒井陣平　仙・連坊小路三八五
齋藤晃　〃・長町南町六
齋藤佐藤三太郎　〃・南六番丁東北学院内

	廿		
釋尼医師会理事	京城府	朝鮮総督府医院医員	
弁護士	京城府	参与	
教員	京城府	教員	
業	全南道		
商			
朝鮮総督府殖産局水産物製造業務嘱託	京城府	朝鮮総督府殖産局水産課勤務	
漁業	海州	金融組合協会	
	京城府	農商務所書記	
業		産婆	
		官吏	
工業会社員	京城府	重要物産営業者	
取締役		技師	
社	京城府	總督府地質調査所	
専門学校	京城府	金融組合聯合会	
		参事	

佐藤	勝	仙台市長町南前田九	
佐藤	竹次郎	〃	
佐藤	三男博茂	〃	
佐藤	寛勝	〃	
佐藤	千寛	〃	
佐藤	徳治	〃	
佐藤	守秀	〃 北五ノ三五	
佐藤	清松英	〃	
佐藤	八郎	〃	
佐藤	虎彦	〃	
佐藤	晃彦	〃	
佐藤	善勇	仙台市北五番丁四六	
佐藤	嘉記	〃 長町南前八四	
佐藤	嘉記	〃 五十人町八二	
佐藤	嘉記	〃 長乃時米公舎	
佐藤	嘉記	〃 北五ノ八堤田方	
佐藤	嘉記	〃 米倉下町一七四	
佐藤	嘉記	〃	
佐藤	嘉記	〃 北五ノ三五	
佐藤	嘉記	〃	
佐藤	嘉記	〃	
佐藤	嘉記	〃

斎京斎北斎木木木　佐斎斎佐佐佐佐坂佐佐斎佐佐佐、
田極地川地府村村　々　々　々　藤藤藤藤藤藤藤藤藤藤　々
堅仁吉他キ文　光　清貞清　信俊　木
吉次吉代家雄ノ助　満実　一郎雄　夫

斎斎佐世斎斎斎佐佐坂佐佐斎佐佐佐、
藤藤藤世藤藤藤藤藤木藤木藤藤藤藤　々
政政　桃久　大　勇辰由今清徴
　　大郎俊　　三郎源之助治五光朝

| | | |

島淀屋志朱庄宍庄庄庄淀志	教師	男	東京府荏原郡品川町南品川四丁目八番地
津谷内郡田戸司司子谷郡田	三浦	三	東京府荏原郡品川町南品川四丁目八番地
塩庄庄宍	行商	男	東京府荏原郡品川町南品川四丁目八番地
田子子戸	獣医	三	東京府荏原郡品川町南品川四丁目八番地
沼崎崎崎

篠原源藏　志。沼辺村沼辺

ひ

廣川恒　仙。川内追廻住宅一四一
廣田靜良　〃。宮城縣住宅六六
平間新三　〃。中田町
平間輝　〃。北二ノ八十五
樋口七郎　栃。大河原町字町一四二ノ六
日野格二　〃。船岡町広小路
平間直吉　〃。槻木町役場
菱沼和雄　〃。岩沼町館下
平塚養助　〃。玉浦村浦崎
引地金治郎　伊。筆浦村
樋口繁夫　桃。鹿又村神木

も

森和男　仙。小牛田農工銀行ノ一
毛利一郎　〃。新坂通一ノ七
守新祐　〃。長町南通三ノ二常泉寺

シ・ヒ・モ　四四
平壌府

東北大学医専学生　大邱府　大邱医専学生
農業会支部　京城府　会社
墓密官　咸南道　〃
〃　京畿道　〃
東北パルプ山林課　咸北道　製紙会社

平北道　地方法院書記

仙台市復興局　全北道　土木出張所長
〃　咸北道　技手
〃　平北道　会社員

森幸一　仙。錦町三二
森正徳　宮。七ヶ浜村菖蒲田四六
森喜久藏　塩。中新田二九ノ一
茨木榮　刈。白石町調練場七
森とみ　名。玉浦村蒲崎
森田長吉　伊。角田町豊望樋本

せ

清野亀三郎　名。生出村余田山
瀬戸恭雄　仙。北三ノ一四八
千石あや子　〃。荒町
千石嵐長　〃。燕沢七五。
瀬戸信一　志。鹿島台町
千田福治　栗。若柳町
制野東吾　刈。越河村五。
瀬ヶ沼綏男　登。米山村中津山濱崎

農　仁川府　葉種商
朝友クラス学務部　京城府　官吏
勅令会理事
橋本純
京城府　日室鉱業会社
〃　会社員
〃　東拓
京城府　官吏

七・セ　四五

菅原清志　他。花壇市営住宅ほか四五
菅原世光　〃。米俵鍛冶屋前町七平アパート自治会管理所
菅原俊夫　〃。宮城野
須田俊一　〃。三百人町四七
菅原久雄　〃。小田原更生寮
鈴木すみ子　〃。通丁一
鈴木周孝　〃。北一ノ三三
鈴木徹太郎　〃。通町二五。
菅井晋兵衛　〃。四郎丸五四
菅井正夫　〃。神田町七四
鈴木愛子　〃。川内川前十八、
鈴木辰男　〃。伊勢堂下七。
鈴木忠雄　〃。宮城野住宅
菅原敏次郎　宮。大沢村大倉
菅原仲夫　〃。広瀬村下愛子森下一

菅野寿雄　亘。山下村高瀬峯原一五
菅野馨　〃。山下高瀬
菅野慶市郎　〃。〃
鈴木隆助　〃。遠隈村上町
菅生清吉　〃。〃　南條方
鈴木隆男　〃。〃　上郡
菅原清治郎　登。佐沼町西佐沼一三ノ四
鈴木みどり　〃。〃　幼場町六。
鈴木繁　函。元涌谷村大橋通
鈴木學　〃。〃　小人町二
鈴木貞雄　〃。涌谷町東町九五
菅野忠雄　〃。〃　追廻四二
諏訪部健治　伊。東根村坂津田筒目木九一
鈴木寿美子　柴。船岡　山崎三ノ
菅原茂男　栗。志波姫村梅崎北御入二
鈴木達藏　〃。藤里村瀬峯原前丸山方
鈴木平治　塩。赤沼二一〇

弘使社員　　宮城県森林組合連合会　江原通江陵　営林署技手
鉄道局　　鉄道員　　仙台営林署　打綿商
農　　農業　　京城府　　製針業
農　　農場経営　　宮城県薪炭林産組合連合会　　〃
郷軍分会　　宮城県庁地方課　　咸南道　　学校
宮内省　　宮城県庁地方課　　咸南道　　小人町二
専売局　　仙台専売局葉生産課　　全北道　　涌谷町東町九五
吉州駅　　吉州　　咸北道　　追廻四二
教　　平壌府　　晋州　　伊。東根村坂津田筒目木九一
南満鉄道　　京城府　　平壌府　　柴。船岡　山崎三ノ
官吏　　官　　鉄道局　　塩。赤沼二一〇

須藤光三　名・岩沼町同心町

守屋榮夫　塩・塩釜市出寺
西田豊彦　〃・塩釜市海運局
阿部達一　仙・東北地方財務局
長谷川一　〃・荏沢住宅北三五号岸
杉江健一　〃・米ヶ袋七平アパート
今野夕工子　仙・原町南目三一
下山市之助　〃・原町苦竹字町六一
黒須博　〃・原町苦竹字南裏七一
秋保盛徳　志・古川町稲葉三ノ構
佐々木寛　〃・古川町字中里
稲毛清　仙・東二四五煙草会館
松尾浩　仙・北二加納工業所内
八嶋明　加・広原村下多田川四
寺坂源雄　仙・北四東北大学薬理学教室
長久保兼二　青葉蒲町字野脇十一

運輸省　京城府　元総督府庶務部長 逓信局長
国有財産部長　京城府　総督府情報委員
仙台商工局技官　〃　総督府農商局長 生活必需品調整庁逓信庁
仙台商工局商工部金山府　咸興府
センイ課事務官
庄谷朝衣縫
江原道華川　林業
京城府　鉄道員
〃　建築材料商
古川税務署　〃　税務署
上記管理者　慶北道慶海
進座事務員　〃

水産加工品、
食料雑貨、
桃色洗剤直売所
田代商店
塩釜市釜ノ前一四八
築港大通シオガマヤヨテ
（宮王田代林二、元金州銀座屋ホテル）

仙台ぎんざ五丁目
新関店
塩釜市漁業會直営所
松島湾水産物運合會直営所
能登谷
自宅、仙台市若林小路二一
水産物ヨリ評準價格ヨリ安価

中央公設市場
石川金物店
石川晋

中央公設市場
庄子竹細工店
庄子誠五郎

中央公設市場
丹野繊維雑貨店
丹野忠治

仙台ぎんざ四丁目
フミヤ玩具店
富沢敏

東一公設市場
和
食料雑貨店
和久安行

謹呈
文学博士
岡崎義恵先生
著者

謹呈
文学博士
岡崎義恵先生
著者

送還収監者名簿　昭和21年1月11日調製

(1) 京城刑務所　(昭.1.6.一.文)

	氏名	送致裁判所	裁判所在地	送致年月日	罪名	報告期日	摘要
1	藤本 昭[29]	憲兵裁判所	京城	20.12.10	阿片密輸入		
2	佐伯(星嘉昭[36]	〃	〃	〃	〃		当役2ヶ
3	伴藤 利夫[30]	地方裁判所	〃	21.3.10	朝鮮阿片法規違反	30.	
4	八林善右エ門[46]	〃	〃	20.12.12	強盗	18	生活保護法違反
5	稲富 幸男[29]	〃	〃	20.10.3	殺人未遂		強盗傷人、強盗殺人
6	大島 栄[21]	〃	〃	20.11.2	強盗	窃盗	
7	渡辺 豊[34]	〃	〃	21.3.25	恐喝	27.	
8	白石光次郎[44]	〃	〃	21.3.30	殺人		
9	高橋 正明[21]	〃	〃	21.3.12 20.3.22	同未遂		
10	河井 恒三[31]	地方裁判所	京城	20.10.22	強盗殺人		
11	表平 雫[23]	軍事裁判所	〃	20.3.31	殺人		
12	檜垣 政則[23]	地方裁判所	〃	21.1.9. 20.10.25	窃盗 強盗殺人		大東亜戦争下ニ於ケル敵性国人ノ取締ニ関スル件違反
13	浜井 陽[41]	憲兵裁判所	〃	21.2.4.	横領		当役5ヶ
14	加藤 聖孝[23]	〃	〃	20.11.25	強姦	26	18
15	有光 信男[20]	〃	〃	20.11.26	強姦未遂	23.	
16	桐原 清人[23]	〃	〃	20.11.26	強姦	26	
17	小原 得郎[29]	〃	〃	20.12.15	恐喝	15	
18	渡辺 進一[45]	〃	〃	20.12.15	手榴弾隠匿		当役1ヶ
19	日高 富実[27]	〃	〃	20.12.15	兵器隠匿		
20	福田 仁[24]	〃	〃	12.4 20.12.15	不詳 兵器隠匿		徴役2ヶ月
21	柏原 光次[20]	〃	〃	20.12.15	銃砲弾薬類譲渡	11.27.	

	氏名	年令	起訴裁判所	裁判所所在地	起訴年月日	罪名	服役期間	備考
無職	22 津田久雄	22	憲兵裁判所	京城	20.11.25	27. 朝憲紊乱罪	軍政法違反	二年
会社重役	23 宇佐川三夫	24	〃	〃	〃	27. 〃	〃	〃
木工	24 桑野重雄	26	〃	〃	〃	27. 〃	〃	〃
船員	25 川上義博	25	〃	〃	〃	27. 〃	〃	〃
元警察部長	26 栗田一助	48	〃	〃	20.11.27	収賄	一年	〃
地方官吏	27 江上鳳輔	54	地方裁判所	〃	21.3.29	29. 委託金私消	六月	
会社員	28 立石宗太	40	〃	〃	21.1.7	10. 〃	10月	
会社員	29 前縣俊春	23	憲兵裁判所	〃	20.11.25	27. 朝憲紊乱罪	二年	〃
漁業	30 岡崎鶴繁	38	〃	釜山	20.11.13	密航	二年	
小学校長	31 伊藤直栄	38	〃	〃	〃	〃	〃	
官吏	32 石村俊司	45	〃	〃	〃	高額兵幣交換	一年	〃
元官吏	33 阿部鶴吉	49	憲兵裁判所	釜山	20.11.13	高額兵幣交換	一年	〃
銀行員	34 壹岐俊助	45	〃	〃	〃	〃	〃	〃
無職	35 仲一助	42	地方裁判所	京城	21.1.3	3.30. 詐欺	二年	〃
元警部	36 江頭勢喜	40	〃	〃	21.1.7	収賄	一年	〃
無職	37 佐藤萬兵衛	47	〃	〃	21.1.11	強盗	十年	〃
無職	38 川端音吉	52	〃	〃	21.1.3	1/3	六月	
無職	39 井手直二	39	〃	〃	〃	強盗	二年	〃
会社員	40 三石清吉	38	憲兵裁判所	釜山	20.11.13	高額兵幣交換	二年	〃
公吏(釜山地方)	41 森藤一	65	〃	〃	20.11.7	収賄	二年	〃
無職	42 大里次吉	49	〃	〃	〃	〃	〃	〃
飲食業	43 大金一	41	〃	〃	20.11.3	〃	〃	〃
会社員	44 千土七郎	40	〃	〃	〃	〃	〃	〃

	氏名	年令	裁判所	裁判所所在地	送致年月日	罪名	服役期間	前歴
船員	下山 末吉	46	釜山地方法院	釜山	20.11.[illegible]	密航	[illegible]年	[illegible]
船員	青木 謙治郎	39	〃	〃	〃	〃	〃	
金融業兼無職	辻原 基	28	〃	〃	〃	〃	〃	
船員	[illegible]	[illegible]	〃	〃	〃	〃	〃	
船員	[illegible] 末吉	31	〃	〃	〃	〃	〃	
船員	[illegible] 下 [illegible]	[illegible]	〃	〃	〃	〃	〃	
仁川府庁雇員	[illegible]	[illegible]	仁川地方法院	仁川	20.11.12	委任金不渡	〃	有
無職	[illegible]	21	地方法院	京城	20.12.14 (21.2.29)	詐欺	2年6月	
無職	[illegible]	41	〃	〃	21.1.11	生活不能	〃	
無職	工藤 精	41	〃	〃	21.1.13	共犯詐欺	〃	有
無職	[illegible]	31	〃	〃	20.11.[illegible]	強盗	懲役4年	
金融業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	21.1.29	無銭飲食	1年	
工職人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	20.11.27 (21.1.8)	住居侵入、窃盗	1年6月	
無職	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	21.3.25	詐欺	[illegible]	
無職	金相宝?	[illegible]	[illegible]	[illegible]	21.1.12 (3.1.)	横領	10月	
船員	[illegible]	[illegible]	[illegible]	釜山	20.11.[illegible]	密航	[illegible]年	[illegible]月
無職	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	20.12.[illegible]	無銭飲食	[illegible]月	
無職	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	21.1.28	詐害意和	1年	
無職	[illegible]	24	[illegible]	[illegible]	21.3.20	住居侵入窃盗及詐欺	[illegible]	
無職△	[illegible]	23	[illegible]	釜山	20.2.28	上官殺 殺人未遂	[illegible]年	
無職	[illegible]	21	[illegible]	[illegible]	21.1.14 (18.)	詐欺	[illegible]月	
無職	[illegible]	21	〃	〃	21.2.27 (20.11.14)	横領	懲役 2年	
無職	[illegible]	17	〃	〃	21.2.27 (20.12.24)	殺人予備	2年	

無職
無職
無職
船員
家事手伝
郵便局員
会社員
内職従事
会社員
無職
郵便局員
無職

大工 △
酒屋一番頭 △
無職 △
学生 △
子供
大工 △
無職 △
農業 △
無職 △
造船従業
人石職工 △

12.26.
10.
27
27
27
26.
27
26
26
18
19.12.21.
19.1.6.
2.6.
3.19.

	氏名	年令	送致裁判所	裁判所所在地	送致年月日	罪名	服役期間	罰金・追徴金
	(八) 群山刑務所							
16	小出良明	26	地方裁判所	京城	20.12.11	横領未遂	3年	
17	浜川重光	32	支部	清州	21.1.9	詐欺	10ヶ月	
18	黒嘉一	40	控訴院	大邱	21.3.26 21.3.24	委託金私消	5年	
	(二) 大邱刑務所							
19	森太郎	33	控訴院	大邱	21.3.29 (20.12.31)	傷害	1年	
	(九) 木浦刑務所							
	氏名	年令	送致裁判所	裁判所所在地	送致年月日	罪名	服役期間	罰金・追徴金
20	山崎重雄	46	憲兵裁判所	木浦	20.12.10	兵器隠匿	1年	
	(十) 清州刑務所							
21	大里助一	40	地方裁判所	忠北	20.7.21 8.6.	窃盗	2年	
	(十一) 清州刑務所							
22	三宮春雄	25	地方裁判所 支部	清州	20.12.12	銃砲火薬隠匿	十一月	
	備考							
11. 上陸後帰放された者			清州刑務所 三宮春雄					
(昭一刑訓第[illegible])			京城刑務所 有木百三					
			橋爪幸夫					
12. 上陸後帰放された者の再収監者（一般三名を除く）								

(2)	〃	京城刑務所収監者	山川正男
		〃	益子 優
		〃	福川秀男
		〃	大出金城
		〃	森崎秀男
(1)	〃	収監者	京城刑務所収監者	三村要雄
(1)	朝鮮慶尚南道	釜山	〃	成 出美（朝鮮名 朝鮮=珠当）

以上

濱田市外地引揚者援護會

會長 [redacted]

役員名簿

會長	
副會長	田川常治郎
〃	岡本正次郎
〃	中野秦男
特別顧問	
市助役	岡本豐俊
社會課長	波木仁丈人
顧問	
市會議長	川崎孝吉
市會副議長	戶津川文治
警察署長	古槻佐々木弘
勸業課長兼商工係主事	吉良勇逸
土建社長	京真光
漁業會長	飯塚一郎

町名	委員	相談役	世話人
港町	中村名栄太郎	服部榊市	古槻川熊三郎
高浜町	林原政一	波々木繁一	松浦野尾文太郎
新天町	盛山秀一	盛本伊太郎	岡野竹次郎
浦町	盛李一	盛本伊太郎	岡野竹次郎
町	天盛山秀一	盛本伊太郎	岡野竹次郎
町	田村	服部榊市	古槻川熊三郎
町	中村	服部榊市	古槻川熊三郎
町	中村	服部榊市	古槻川熊三郎
町	中村	服部榊市	古槻川熊三郎
原町	中村	服部榊市	古槻川熊三郎
定町	和田四郎	波々木伊太郎	岡野竹次郎
佐岩町	和田四郎	波々木伊太郎	岡野竹次郎
〃	田村	波々木伊太郎	岡野竹次郎
木町	村	波々木伊太郎	岡野竹次郎
安底町	清	波々木伊太郎	岡野竹次郎
佐一郎	一	波々木伊太郎	岡野竹次郎
港町	一通	波々木伊太郎	岡野竹次郎
高浜町	一通	波々木伊太郎	岡野竹次郎
谷底町	一通	波々木伊太郎	岡野竹次郎
底町	一通	波々木伊太郎	岡野竹次郎
丈町	一通	波々木伊太郎	岡野竹次郎
佐岩町	和田四郎	波々木伊太郎	岡野竹次郎
木町	田四郎	波々木伊太郎	岡野竹次郎
安底町	四郎	波々木伊太郎	岡野竹次郎
佐一郎	一郎	波々木伊太郎	岡野竹次郎

書記	
雇員	田川常治郎
〃	森秦則

書記	
雇員	
〃	白中岸井
〃	石谷井久
〃	治岩皮夫

囑託	
漁業會長	飯塚一郎
勸業課長兼商工係主事	吉良勇逸
土建社長	京真光
警察署長	古槻佐々木弘
市副議長	戶津川文治
市會議長	川崎孝吉

町名	委員	相談役	世話人
濱町	天盛山秀一	盛本伊太郎	岡野竹次郎
新町	盛李一	盛本伊太郎	岡野竹次郎
天町	盛山秀一	盛本伊太郎	岡野竹次郎
町	村	服部榊市	古槻川熊三郎
町	清	波々木繁一	松浦野尾文太郎
町	一	波々木繁一	松浦野尾文太郎
原町	一	波々木繁一	松浦野尾文太郎

細谷	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
谷藤	七町内	六町内	五町内
中志田	虫川吉蔵	渡辺辰次	山下常吉
野谷	上川春晴	辺室宇吉	田中千代太
一	村役場	守字岡三	本田幸助
新中	友谷川	法々木龍二	石田熊一
宮川	小作部	延川底之部	光田初市
尻清一			

〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
五町内	四町内	三町内	二町内
岡友国	片山長	大町内	上川原
田本田	田本田	〃〃	〃〃
都裕泰	初初初	〃〃	〃〃
市死一	治市市	〃〃	〃〃
野梨梨	村田田	〃〃	〃〃
村熊熊	初熊海	〃〃	〃〃
市	市	〃〃	〃〃

銅谷鉱地	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
平底	中東藏	東西岡	〃〃〃〃〃〃
白田重参	中村志七	永佐々木龍一郎	小川松一
田村野才吉一郎			
重参夫	合谷		
参	中村		
夫	谷		
松幸			

〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃	〃〃〃〃〃〃
四町内	三町内	二町内	一町内	四町内	三町内	二町内	一町内
平澤一	〃〃	〃〃	〃〃	長兵衛	〃〃	〃〃	河内
〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃	〃〃

長濱支部長	松野元三郎	長濱第二町内
町名	委員	相談役	世話人
熱田一町内		佐々木竹市	山本安吉
〃 二町内		植野徳市	〃 八町内 高野 一
〃 三町内		佐々木春吉	木鷺寧一	〃 七町内
〃 四町内		花岡安太郎	大谷忠義	長濱五町内
〃 五町内		植田万一	大谷信義	〃 大町内
〃 六町内		宮品市	〃 七町内 小泉三代太郎
〃 七町内	中野次郎	川島春喜	大谷芳太郎	〃 大町内 中村鳴一
〃 八町内	宮下兼造	中上勝太郎	〃 八町内 神吉英一
〃 九町内		宮下又一	橋本良助	山根林作	鎌石勇次郎 福田富市
〃 十町内		橋本良助	山根林作	長江國太郎 柿本清
長濱一町内		坂本延四郎	沖藤武志	小林政一	山本友市 木村清
〃 二町内	松野元三郎	沖藤武志	小林政一	神田謙一 岩谷勉一
〃 三町内		永見美房	藤村顕一
〃 四町内			

周布支部長	森本清	治和一五二
町名	委員	相談役	世話人
日脚一町内	木田政吉	佐々木庄一郎	津摩五町内
〃 二町内		吉地次郎	濵田豊吉	治和一町内
〃 三町内		濵野佐吉	木村忠市	二町内 森本清
〃 四町内		志波新吉	三浦鉄一	三町内 栗栖弘毅
〃 五町内		佐々木藤一郎	徳田忠助	岡本慶太郎
〃 六町内		志波虎市	福田熊市	坂田金平
〃 七町内		熊谷唯市	久保田実	清井富市
〃 八町内		山崎茂作	山崎智	大谷庸介 井上源一
周布一町内		牛尾重寿	細川文雄	大野洋 下久保時義
〃 二町内		斉藤好一	清水茂秋
津摩一町内		金田大市	大上進
〃 二町内		釜江常介	米谷義雄
〃 三町内		米谷繁太郎	村田実
〃 四町内		志賀仙太郎	西川武四郎

昭和二十一年十月十六日

会長
庶事
課長

朝鮮引揚同胞世話会大阪相談所

朝鮮引揚者名簿送附ノ件

御参考迄ニ當所ニ未訂又ハ書面ニテ連絡アリシ
朝鮮引揚者名簿（二十一年七月三十一日現在）一部
送附致シマス

追テ其後ノ分ハ取纏メ次第追送致シマス

朝鮮引揚者名簿

（当所ニ連絡アリタルモノ）

昭和二一、七、三一現在

朝鮮引揚同胞連絡協議會

大阪相談所

氏名	住所	職業	前住所	備考
井口大藏	大阪市城東区野江東之町四ノ六	立花中村鍼治郎方		
井上千代松	大阪市東住吉区湯里町五五五			
今村八郎	大阪市東淀川区田川通三ノ三五	竹中方		
井上淑子	大阪市西淀川区佃町三丁目一三ノ片山勝方			
井関菊松	今姫島町一八五二			
飯束武	今佃町三ノ六二			
今給黎補作	大阪市住吉区粉浜本町四ノ五二	會社員	江原道	
石井保吉	大阪市旭区新森小路北三丁目七四		平壌府	
岩崎忠徳	大阪府中河内郡墨村四條九九一			
入江義勝	大阪府北河内郡豊野町字玉松二九四			
石川市次郎	今枚方町岡本町二〇六	石川市造方	京城府	
井上三水	大阪府南河内郡藤井寺町四四五			
池田作衛	布施市荒川三丁目五五 池田三十秋方			
岩本逸太	尼崎市杭瀬太崩七			
乾正治	兵庫縣川辺郡西谷村切畑			
伊藤道男	今明石郡大久保町藤江川崎社宅五八九			
入江郷作	広島縣甲好郡吉野村			
飯田正信	愛媛縣入郡浜市大正町			
伊藤辰二郎	熊本縣八代郡鏡町農業李楼前			
石橋榮次郎	大阪府泉南郡箱作			
磯崎広行	大阪市外宇口町字口難字第五	官吏	京城府	
岩井惣三郎	大阪府三島郡茨木町春日村三宅亀男方			
石野林	大阪府具塚市脇浜町三三二			

| | | |

濱永孝治郎　大阪市泉南郡佐野町鶴原

濱中爲雄　神戸市須广区須广浦通六丁目一四〇

葉山一雄　兵庫縣武庫郡鳴尾村照寂寥羅災者住宅八号

馬場知　兵庫縣　養父郡大屋村加保

橋本光子　和歌山縣加茂郷村字下

林潤吉　和歌山市三津中久宝町四九

橋本義夫　和歌山松山市三津中久宝町四九

畑享　高槻市上田部　三五二

長谷川五三郎　大阪府泉大津市清水町一三五

長谷川君江　大阪府泉大津市清水町一三五

早川又藏　京都市東区伏見二丁目寺村風柳方

橋本一之助　明石市新浜西中町四丁目二五〇

原田昌一　大阪市旭区古市通四丁目五二　工手　京城府

畑笑子　大阪市旭区新森小路北三丁目三〇　仝　仝

濱田栄之烝　大阪市阿倍野区北畠東一丁目十六　仝　仝

林良作　兵庫縣川辺郡川西町小戸字鴨瀬西林精一方　京城府

播本恒太郎　芦屋市松原町一

西山ヒみ　大阪市阿倍野区播磨町東一丁目一二

西田仁太郎　大阪府中河内郡玉川町千六三六。松田四郎平方

西村又造　京都市中京区高倉通錦小路上ル　京都水料産業株式会社

西村三良　神戸市灘区浜田町一丁目三

西山尚宏　明石市櫻町三丁目一一六

西垣菊三　兵庫縣養父郡関宮村松岩田

西山宇之助　滋賀縣大上郡多賀町敏満寺一七

京城府　京城日本人会幹事

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

寺田音五郎	岐阜縣揖斐郡谷汲村字中名札			
安達秀之助	大阪市東成区中道元町一丁目二児島方			
相田平助	大阪市西淀川区野里町二丁九北村得朗方			
安藤菊枝	大阪市西淀川区佃町一丁目一七二			
有城眞治郎	大阪市住吉区辺里江町中六丁目二四			
荒川常雄	大阪市旭区新森小路北三丁目三。高志寮			
安倍美千雄	岐阜縣加茂郡西日川村名倉			
安達一子	岐阜市外苗部村水主町			
赤松鹿次郎	広島縣尾道市西御所町二二九			
赤尾正夫	香川縣丸亀市土居町六。二。久保誠太郎方			
新居屋房男	福井縣敦賀郡栗野村金山			
佐藏高朝	大阪市南区谷町五階鈴木商店鋼材部内			
齊藤五郎	大阪市住吉区西長井町一一八	仁川府		
齊藤剛造	大阪市旭区千林町一三三六	平安南道		
澤田貢	大阪府三島郡富田町二、三四。	釜山府		
齊藤常太	大阪府北河内郡守口町紅屋町三六森岡四郎方	京城府		
佐々木三雄	大阪府北河内郡守口町南門一三四	郡山府		
佐野彦助	京都市右京区嵯峨野有須川町	京城府	日本金属化学会社	
佐藏政治郎	京都市上京区大将軍坂田町二一大藏高文方			
雜賀きぬ	布施市足代三丁目三一			
佐藏政一	池田市北轟木三四七			
里見房子	兵庫縣武庫郡良元村字鹿塩本之組三隣保日下みね方			
佐伯逸	奈良縣北葛城郡当田町相生町二丁目二一	京城府	〃	
阪本義行	奈良縣南葛城郡掖上駅前阪本商店			

齊藤良藏	愛知縣碧海郡高浜町字六部			
北川武子	大阪市東住吉区田辺東之町四ノ一八	社員	京城府	
木村仁	大阪府北河内郡枚方町伊賀二三吉原時子方			
木山實平	京都府船井郡胡麻郷村字畑郷			
菊地立身	京都市上京区大宮泉堂町五〇	教授	京城府	
岸本鋭次郎	兵庫縣西宮市満池谷五三			
北岡ツヤ	豊中市櫻塚一三四二渡部穀方	雜護士	京城府	
木戸英夫	津市上浜町三ノ三四帆引方			
北德太郎	奈良縣吉野郡下市町堀毛			
初音院規矩雄	鹿児島縣指宿郡指宿町			
岸田三郎	德島縣麻植郡牛島村字上浦近久宗一才			
湯淺豪泰	京都府久世郡相樂郡當尾村東小			
湯原文子	兵庫縣魚崎町横屋川井二ノ二			
南口吉松	大阪市東住吉区中野町四五			
宮崎信治	大阪市西成区姫松通二ノ七貝原増太郎方			
水上健次郎	大阪市大淀区吉山町二。水上直弘方			
見掛信造	大阪府南河内郡太草村字草尾二六七			
三木弘	京都市東山区山科九條妻谷七、旧日佛會館			
水本友三郎	兵庫縣西宮市川添町一七如上谷政次郎方			
宮本照雄	兵庫縣武庫郡本山村字中野六六			
三船直次	兵庫縣加西郡賀茂村鎮山岩五四七			
南フキ	奈良縣生駒郡富郷村幸前字永方			
宮井正直	奈良縣宇陀郡大字陀町字万六			
三國勝藏	福井縣敦賀郡栗野村野坂川南音次郎方			

木浦府	〃	〃	〃	全羅北道
清津府	〃	興南	京城府	慶尚北道
釜山府				

| | | |

| | | |

頃末栄治　岡山縣淺口郡寄島町

小林慶一郎　福井縣遠敷郡小浜町鹿島一〇

全州府

京城府

昭和二十一年十一月二十七日

大阪相談所

朝鮮引揚同胞世話會御中

朝鮮引揚者名簿御送附ノ件

曩ニ七月末現在ノ名簿ヲ送附致シマシタガ其後十月末迄ニ判明シタモノヲ追加提出致シマス

深谷	啓次	大阪市城東区中左町五二九	古物商	京城							
近藤	春太郎	大阪市天王寺区茶臼山町一之	〃	〃							
近藤	保夫	大阪市南区业桃谷町三五	茶販賣	黄海道							
秋葉	邦太郎	大阪市生野区大友町三ノ四六番地		京城	平壌	京城	咸南	京城	全州	尼崎市立工業学校	
秋田	茂男	住所未定									
酒井	景増	大阪市阿倍野区旭町三ノ七九		京城	京城	咸南	京城	京城	全州		
佐藤	鷹則	岡山県真庭郡三川村黒杭		咸南	咸南	咸南	咸南	京城	元山		
斉藤	俊章	山梨県中巨摩郡大井村古宮		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
坂本	嘉雄	徳島市南新町一四ノ六		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
北田	百道	大阪府豊能郡箕面村手尾		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
南川	ミツ	大阪市西成区西萩町西萩案		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
宮所	達次郎	住所未定									
三澤	正勝	山形県西村山郡谷地町		平壌	平壌	平壌	平壌	平壌	平壌		
清水	実	大阪市住吉区帝塚山西ノ二六		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
樋口	豊三郎	大阪府豊能郡中豊嶋字名此岸方		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
平野	早夫	大阪府中河内郡松原町字立部五三四		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
廣田	健	大阪市本淀川区松南通二九		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
炭釜	王魄	大阪市生野区猪飼中ノ二		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
杉田	彦太郎	大阪市住吉区住ノ江町一六三		京城	京城	京城	京城	京城	京城		
谷川	武藏	大阪市生野区勝山通六ノ三五		平壌	京城	咸南	咸南	京城	京城		
					釜山	咸南	鎮南浦	京城	京城		

| | | |

尾野了介	兵庫県揖保郡小宅村字山							
小原松之助	大阪府市内南掌島町	今泉工作所会社	元山	平壌				
神島新吉	大阪市此区中崎町四三字林方		新義州					
河村勝	大阪府堺市槇市南園町三四六	会社員	京城					
角本誠一	大阪市生野区猪飼野東五ノ八		大田					
川治文雄	大阪市此区宗是町一	柔濱工業株式会社	咸南					
金谷佟一	大阪市阿倍野区阪南町		清津					
加島克己	大阪府泉北郡美木多村桧尾農業並場	朝鮮総督府	京城					
亀井照久	徳島県阿波郡川田町		大邱					
川端英資	徳島県阿波郡林町字南整理地		仁川					
香川譲造	兵庫県伊丹市新伊丹住宅地製図機具製造		京城					
川上義衛	大阪市福島区茶屋町八	出版業	〃					
川上一男	大阪市東淀川区十三西町二四五		新京					
神平俊三	大阪府中河内郡巽村字巽		茂山					
吉村新次郎	大阪市生野区腹町二ノ二四大津方		京城					
井筒								
吉藤留吉	大阪市西成区山王町四ノ三三		新京					
田中俊子	兵庫県神戸市灘区文尾通一ノ六井上方		平壌					
田村凛太郎	福井県遠敷郡小浜町日吉		全北					
谷口法雲	大阪府池田市石橋	宣真高等女学校						
田上征夫	下関市上新地町之五六楠方		京城					
竹濃下幸子	大阪市此区舟場町八		京城					
高島太郎	香川県三豊郡財田大野村字格方		平壌					
塚口良一	大阪府中河内郡尾町大字別宮四一		咸北					

イロハ順

氏名	住所	職業	前住所	備考
今井福太郎	大阪市西成区山王町三ノ一五	千日土地会社	清津	
岩崎敬史	大阪市東住吉区桑津町四七二	東住吉購買利用組合	大邱	
今井規浩	大阪ビル内	松原鉄工所	釜山	
今井千尋	大阪府南河内郡狭山村半田川		京城	
石井トミ	大阪府布施市森河内六二四	〃	〃	
飯尾敬次郎	兵庫県神戸市生田区山本通三ノ二	〃	〃	
石井万仁	兵庫県尼崎市浜一ノ大寺二	朝鮮米輸入協会	木浦	
岩間太郎	住所未定	池島木材工業所	京城	
石橋一実	兵庫県飾磨郡花田村小川八ノ八		平壌	
服部忠	兵庫県有馬郡塩瀬村生瀬字鵯川向田方		京城	
原田静義	京都府久世郡大久保村字大久保		全南	
馬場豊太	愛媛県宇摩郡三島上町九ノ三			
西村准五	富山県高岡市伏木湊町四			
徳善末一	大阪府交野郡槻市楠ヶ丘五ノ五			
近重進	大阪市西成区汐路通四ノ一四			
近山哲夫	奈良県磯城郡柳本町八ノ一			
奥中兵太郎	三重県名賀郡名張町丸之内九六		咸興	
岡田力太郎	大阪府北河内郡住道町三個人ノ一		京城	
岡村悦子	大阪府北河内郡守口町金下町		新京	
奥居亮太郎	滋賀県能登川町大字今		咸興	
大熊三郎	大阪市東区道修町四ノ二五		新義州	
大北田久雄	大阪市城東区左専道町八ノ		咸南	
小田原正人	大阪市住吉区墨江中三ノ一三		江原道	

朝鮮ヲ揚ク者名簿

（当所ニ連絡アリタルモノ）

昭和二十年十月三十一日現在

（昭二〇、三一現在ノ対ソ（神追）第一号）

大阪市北區梅田町大ビル地下室上二號室

朝鮮引揚同胞懇話會

大阪相談所

謹啓　時下御清勝の段賀し奉りります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然るに本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡することが出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯にて眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入會金　貳拾圓也

一、謝禮金殘高　圓也

合計　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ますれば聊か本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御賛同下さる樣御願ひ致します又之に御異存なければ前記の通り拂戻し致すことは勿論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記して下さい）　若し二月中に御返事に接することが出來なければ事務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あらかじめ御諒承下さる樣御願申上ます

尚本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

昭和　年　月　日

敬具

國民協會

會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
入會金負担額	36.490.46	借入金	171.000.00
手持現金及預金	84.994.04	入會金	62.320.00
未收金	240.00	未整理入會金	280.00
假拂金	100.00	雜收入	252.01
宣傳費	2.460.00	未達金	240.00
謝禮金	11.070.00	損失金	92.260.46
諸給與	93.182.35		
交通費	23.400.77		
事務費	14.448.60		
印刷費	32.536.75		
工作費	12.878.10		
取扱所費	550.80		
福利費	2.000.00		
殘務整理人件費	12.000.00		
合計	326.352.47		326.352.47

謹啓 時下御清勝の段賀し奉ります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然る
に本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態
に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡すること
が出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制
度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に
拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯に
て眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入會金　貳拾圓也
一、謝禮金殘高　圓也
　合計　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援
護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ます
れば聊か本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御賛同下さる樣御
願ひ致します又之に御異存なれば前記の通り拂戻し致すことは勿
論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣
御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記し
て下さい）若し二月中に御返事に接することが出來なければ事
務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あら
かじめ御諒承下さる樣御願申上ます
尚本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一
〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

昭和　年　月　日　敬具

國民協會
會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
入會金負担金額	36.490 46	借入金	171.000 00
手持現金及預金	84.994 04	入會金	62.320 00
未收金	240 00	未整理入會金	280 00
假拂金	100 00	雜收入	252 01
宣傳費	2.460 00	未達金	240 00
謝禮金	11.070 00	損失金	92.260 46
諸給與	93.182 35		
交通費	23.400 77		
事務費	14.448 60		
印刷費	32.536 75		
工作費	12.878 10		
取扱所費	550 80		
福利費	2.000 00		
殘務整理人件費	12.000 00		
合計	326.352 47		326.352 47

朝鮮金融組合

光化門理事　二藤部行義　山形市七日町三三番了善方
西大門〃　小野幸四郎　大分県中到田駅前栄田兼太郎方
素砂〃　甲斐勝記　熊本市新屋敷一二
楊州〃　東田隆次郎　福岡市外七隈植園経営校内
往十里〃　西菊馬　長崎県北松浦郡宇久平村
鐘路監事　岩崎武臣　東京都中央区大傳馬町三ノ八
元木原理事　金子繁之　山口県佐波郡出雲村二宮
龍山〃　青木袁介　山口県大島郡久賀町
理事見習　遠藤一郎　宮城県栗原郡築館町字曙町三五

忠北支部長　長浜能得　福岡県柳河町字曙町三五
忠南支部参事　東田知己　
〃　深田直澄　
理事見習　田中敬典　
元鎮南浦理事　菅原俊夫　
全北支部参事　今村毅　
〃　清水福民　
〃　阿波守一　
新義州理事　西田一夫　
〃　吉田武男　

全南支部長　大山茂　
〃　長尾勉　
木浦理事　矢崎時治　
海州浦〃　

慶北支部長　馬場五郎　
〃　高木康次郎　
参事　青木武次郎　
〃　甲斐直記　
咸南支部長　市川亀一　
〃　平田虎夫　
元山〃　吉原豊　
〃　斉藤小五郎　
元礼安〃　猪谷桃彦　
元大邱理事息子　

慶南支部長　河野国大郎　
〃　三浪律書記　四川タマヨ　
黄海道支部　河野とく子　
支部長事務　飯塚重嘉久　
元支部長　松下角治　
支部長事務　神尾勇一　
〃　書記　中保禄　
咸興理事　高橋俊一　
〃　〃　望月武　
〃　書記　増子俊夫　
元咸興理事　倉重蔵　

埼玉県大里郡御正村三本　
福岡県柳河町北道具町二　
広島県神石郡豊松村友松館気付　
熊本市新屋敷十二　
萩市今古萩九　
東京都杉並区馬橋二ノ一〇小竹方　
東京都食糧営団　
宮城県黒川郡富谷村字新町九二　
東京都小金井町小金井一四六七一　

都城市早鈴町　
大分県津久見町四川真雄方　
千葉県山武郡増浜村本須賀行木代子方　
大分県北海部郡神崎村河内　
北海道北見国達軽町北四大通　
宮城県栗原郡若柳町川北堤下三五池田方　
咸興市南八条西五丁目　
東京都中央区日本橋本石町三六極村製薬内　
都山寺柳明町七五　
岐阜県美濃加茂大蔵村字大蔵　

香川県大川郡鴨部　
岐阜県羽島郡柳津村駅生業　

謹啓　時下御清勝の段賀し奉ります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然る
に本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態
に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡すること
が出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制
度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に
拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯に
て眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入會金　　貳拾圓也
一、謝禮金殘高　　圓也
　合計　　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援
護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ます
れば聊か本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御賛同下さる樣御
願ひ致します又之に御異存なれば前記の通り拂戻し致すことは勿
論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣
御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記し
て下さい）　若し二月中に御返事に接することが出來なければ事
務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あら
かじめ御諒承下さる樣御願申上ます

尙本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一
〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

敬具

昭和　年　月　日

國民協會
會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
入會金負担額	36.490.46	借入金	171.000.00
手持現金及預金	84.994.04	入會金	62.320.00
未收金	240.00	未整理入會金	280.00
假拂金	100.00	雜收入	252.01
宣傳費	2.460.00	未達金	240.00
謝禮金	11.070.00	損失金	92.260.46
諸給與	93.182.35		
交通費	23.400.77		
事務費	14.448.60		
印刷費	32.536.75		
工作費	12.878.10		
取扱所費	550.80		
雇利費	2.000.00		
殘務整理人件費	12.000.00		
合計	326.352.47		326.352.47

第七条　仲利会社ヲ代表スル為会社ト共ニ其ノ契約ヲ決メ又ハ其ノ取引ヲ決メ又ハ其ノ取引ヲ決メ又ハ其ノ取引

謹啓　時下御清勝の段賀し奉ります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然る
に本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態
に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡すること
が出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制
度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に
拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯に
て眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入會金　　貳拾圓也
一、謝禮金殘高　　圓也
合計　　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援
護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ます
れば聊か本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御贊同下さる樣御
願ひ致します又之に御異存なれば前記の通り拂戻し致すことは勿
論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣
御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記し
て下さい）　若し二月中に御返事に接することが出來なければ事
務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あら
かじめ御諒承下さる樣御願申上ます

尚本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一
〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

敬具

昭和　年　月　日

國民協會

會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
入會金負擔額	36.490 46	借入金	171.000 00
手持現金及預金	84.994 04	入會金	62.320 00
未收金	240 00	未整理入會金	280 00
假拂金	100 00	雜收入	252 01
宣傳費	2.460 00	未達金	240 00
謝禮金	11.070 00	損失金	92.260 46
諸給與	93.182 35		
交通費	23.400 77		
事務費	14.448 60		
印刷費	32.536 75		
工作費	12.878 10		
取扱所費	550 80		
福利費	2.000 00		
殘務整理人件費	12.000 00		
合計	326.352 47		326.352 47

二、

本名簿に載せる事項は、総て定款で定めます。各会員諸氏の御希望に応じ得る為め下記の事項は完全なる記載をお願い致します。

尚、於て欲する事項は、会員諸氏の御希望に依り追加訂正事項はその都度御通知下さい。

(一)現在職業(退職者は退職年月日)

(二)勤務先名称(官庁会社銀行商店等)

(三)勤務先所在地(東京都千代田区丸の内何丁目何番地)

(四)勤務先電話番号(交換局名と番号)

(五)自宅住所(東京都何区何町何番地)

(六)自宅電話番号(交換局名と番号)

(七)本籍地(都道府県名)

(八)生年月日(大正何年何月何日)

(九)学歴(学校名と卒業年)

(十)趣味(囲碁、将棋、麻雀、ゴルフ、テニス、野球、庭球、釣、謡曲、舞踊、音楽、映画、演劇、読書、写真、園芸、盆栽、骨董、其他)

(十一)特技(語学、法律、経済、会計、技術、其他)

(十二)家族(妻、子、父母、兄弟姉妹)

(十三)会社に対する希望

(十四)会社に対する意見

(十五)其他

三、会社設立について

旧朝鮮鉄道従業員有志の発起に依り、東京都千代田区丸の内一丁目一番地旧朝鮮鉄道協会内に設立事務所を置き、会員の募集、出資金の払込、定款の作成、創立事務所の開設、創立総会の開催、会社の設立登記等、会社設立に関する一切の事務を取扱う為め、左記の通り設立委員を選任致しました。

記

東京都千代田区丸の内一丁目一番地
旧朝鮮鉄道協会内
設立委員長　大田黒八

東京都千代田区丸の内一丁目一番地
旧朝鮮鉄道協会内
設立委員

謹啓　時下御清勝の段賀し奉ります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然るに本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡することが出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯にて眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入　會　金　　貳拾　圓也
一、謝禮金殘高　　圓也
　合　計　　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ますれば聊か本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御賛同下さる樣御願ひ致します又之に御異存なれば前記の通り拂戻し致すことは勿論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記して下さい）　若し二月中に御返事に接することが出來なければ事務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あらかじめ御諒承下さる樣御願申上ます

尚本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

昭和　年　月　日

敬具

國民協會

會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
入會金負担額	36.490.46	借入金	171.000.00
手持現金及預金	84.994.04	入會金	62.320.00
未收金	240.00	未整理入會金	280.00
假拂金	100.00	雜收入	252.01
宣傳費	2.460.00	未達金	240.00
謝禮金	11.070.00	損失金	92.260.46
諸給與	93.182.35		
交通費	23.400.77		
事務費	14.448.60		
印刷費	32.536.75		
工作費	12.878.10		
取扱所費	550.80		
福利費	2.000.00		
臨務整理人件費	12.000.00		
合計	326.352.47		326.352.47

謹啓　時下御清勝の段賀し奉ります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然る
に本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態
に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡すること
が出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制
度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に
拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯に
て眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入會金　貳拾圓也
一、謝禮金殘高　圓也
合計　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援
護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ます
れば卿が本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御賛同下さる樣御
願ひ致します又之に御異存なれば前記の通り拂戻し致すことは勿
論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣
御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記し
て下さい）　若し二月中に御返事に接することが出來なければ事
務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あら
かじめ御諒承下さる樣御願申上ます

尚本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一
〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

敬具

昭和　年　月　日

國民協會

會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
入會金負担額	36.490 46	借入金	171.000 00
手持現金及預金	84.994 04	入會金	62.320 00
未收金	240 00	未整理入會金	280 00
假拂金	100 00	雜收入	252 01
宣傳費	2.460 00	未達金	240 00
謝禮金	11.070 00	損失金	92.260 46
諸給與	93.182 35		
交通費	23.400 77		
事務費	14.448 60		
印刷費	32.536 75		
工作費	12.878 10		
取扱所費	550 80		
福利費	2.000 00		
殘務整理人件費	12.000 00		
合計	326.352 47		326.352 47

謹啓　時下御清勝の段賀し奉ります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然るに本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡することが出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯にて眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入會金　貳拾圓也
一、謝禮金殘高　圓也
合計　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ますれば聊か本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御賛同下さる樣御願ひ致します又之に御異存なれば前記の通り拂戻し致すことは勿論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記して下さい）　若し二月中に御返事に接することが出來なければ事務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あらかじめ御諒承下さる樣御願申上ます

尙本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

昭和　年　月　日

敬具

國民協會

會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
會金負担額	36.490.46	借入金	171.000.00
手持現金及預金	84.994.04	入會金	62.320.00
未收金	240.00	未整理入會金	280.00
假拂金	100.00	雜收入	252.01
宣傳費	2.460.00	未達金	240.00
謝禮金	11.070.00	損失金	92.260.46
諸給與	93.182.35		
交通費	23.400.77		
事務費	14.448.60		
印刷費	32.536.75		
工作費	12.878.10		
取扱所費	550.80		
福利費	2.000.00		
整理事務人件費	12.000.00		
合計	326.352.47		326.352.47

謹啓　時下御清勝の段賀し奉ります

扨て本會發足以來絶大なる御支援を頂き有難く御禮申上ます然る
に本會の業績は左表に示すが如く所期に反し極めて憂ふべき事態
に立至りましたが幸某筋よりの援助を得て損失金を補塡すること
が出來ることになりましたので此の機會に本會の事業中謝禮金制
度に依る會員の募集は之を打切り入會金並に謝禮金を會員各位に
拂戻しすることに致しました右の次第は皆樣の御期待に背く譯に
て眞に申譯なく茲に深く陳謝の意を表します就きましては貴殿の

一、入會金　貳拾圓也
一、謝禮金殘高　圓也
合計　圓也

となりますが若し此の金額を困苦に惱む外地より歸還せる同胞援
護の資に充てる爲之を在外同胞援護會に寄附することが出來ます
れば聊か本會の趣旨にも副ひ得るので勝手乍ら御贊同下さる樣御
願ひ致します又之に御異存なれば前記の通り拂戻し致すことは勿
論で御座いますので其の節には同封葉書に其の旨御一報下さる樣
御願申上ます（其の際は會員證番號及振替拂戻郵便局名を附記し
て下さい）　若し二月中に御返事に接することが出來なければ事
務整理の都合上勝手ながら在外同胞援護會へ寄附致します故あら
かじめ御諒承下さる樣御願申上ます

尚本會は今般東京都京橋區銀座西四丁目一番地（電話京橋三四一
〇番）に移轉致しましたので今後の御通信は右に御願ひ致します

敬具

昭和　年　月　日

國民協會
會長　生江孝之

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
會員負担金	36.490 46	借入金	171.000 00
手持現金及預金	84.994 04	入會金	62.320 00
未收金	240 00	未整理入會金	280 00
假拂金	100 00	雜收入	252 01
宣傳費	2.460 00	未達金	240 00
謝禮金	11.070 00	損失金	92.260 46
諸給與	93.182 35		
交通費	23.400 77		
事務費	14.448 60		
印刷費	32.536 75		
工作費	12.878 10		
取扱所費	550 80		
福利費	2.000 00		
殘務整理人件費	12.000 00		
合計	326.352 47		326.352 47

旧朝鮮金融組合共助會々員名簿

朝鮮金融組合聯合會本部

所屬職名	氏名
元會長 前ノ 會長	矢鍋永三郎 松本誠
元部長 金融ノ 事業ノ 教育ノ 元ノ	鈴木孝一 岡田豐次郎 重松謙修
元事業ノ 總務課長 參事 副ノ 書記	土屋傳作 清水精一 高橋正三郎
元ノ 經理課長 參事 副ノ 書記	牧田友博 吉峯正行 小堀知方 岩岡正二 小堀主計
屬託	大坪圭六
元書記 調查事務 囑託	河村豊子
參事	佐藤歌子 松尾正雄 西森文江 佐々木賀恵 中橋道子 馬渕敬子 山崎信次
副ノ 書記	荻原彦太 國右衛一 大波田俊治 大木林

中川貞次	岡山縣小田郡笠岡町大字笠岡一四四
四四信子	千葉縣市川市大字市川一九一
守田亨平	福岡縣三井郡北野村大字北野一〇一
福島保	福岡縣山門郡瀬高町大字瀬高下一〇一
芳村圭助	福岡縣三井郡北野村大字松崎九五九
谷本弘文	福岡縣筑後川前川町小宮國吉方
浪川松藏	福岡縣三井郡北野村大字松崎九五九
永田春雄	福岡縣筑後川前川町小宮國吉方
守靜七生子	福岡縣三井郡北野村大字松崎九五九
大熊四一	福岡縣三井郡北野村大字松崎九五九
藤井良一	福岡縣三井郡北野村大字松崎九五九
藤井貞正

昭和二十三年十一月

會員名簿

法人團
同和協會長野縣支部

社団法人 同和協會長野縣支部

役職員名簿

支部長　倉島　至（長野）

理事
倉島　至（指名順）（長野）
湯本　寛（長野）
細野貞依（長野）
宮尾甲治（長野）
坪田五雄（松本）
佐藤正三（下水内）
寺島善郎（諏訪）
大野幸貞（飯田）
小熊精三郎（上田）

監事
柳澤万平（長野）
宮尾治平（松本）

評議員
市原忠厚（松本）
相澤毅（塩尻）
金井勝（更級）
大峡正則（上高井）
常長正元（下高井）
佐藤正三（下水内）
依田徳藏（北佐久）転出
中島命門（南安曇）
宮尾治平（松本）
寺島善郎（諏訪）
大野幸貞（飯田）
細野貞依（長野）

評議員
宮尾甲治（長野）
北澤茂（長野）
宮澤完三郎（長野）
坪田五雄（松本）
堀内弘（飯田）
小熊精三郎（上田）

連絡員（氏名）（住所）（分担区）
小熊精三郎　上田　上田小縣
相澤毅　松代　埴科
金井勝　更級　更級
大峡正則　須坂　上高井
常長正元　湯田中　下高井
佐藤正三　飯山　下水内
市川忠厚　中野　南佐久
木内倫太郎　小諸　北佐久
中島命門　霞高　南安曇
戸谷藤一　大町　北安曇
宮尾治平　松本　松本東部
岡戸広治　福島　西筑摩
寺島善郎　諏訪　諏訪市諏訪郡
大野幸貞　飯田　飯田上下伊那
宮澤完三郎　長野　長野中部
細野貞依　〃　〃
宮尾甲治　〃　〃
北澤茂　上水内　上水内
柳澤万平　長野　長野北部
〃　〃　長野南部

事務局職員
總務部長　湯本　寛
事業部長　宮尾甲治
生活部長　細野貞依

住所	職業	氏名	前職業	備考
新諏訪町 一三三	代議士秘書	兎王 浅三郎	工業学校長	全戒全北路小
〃 一三七	長野市役所書記	宮坂 武雄	漁師	全北路小
〃 一三八	長野電鉄会社庶務課長	松島 高	公立医学校	全北路小
〃 一三六	〃 庶務課長	宮澤定三郎	北分署警察官	全南小
〃 一三二	〃 人事係係長	土屋 信治	県庁庶務課長	全南小
新諏訪町 三九	長野市役所書記	小林信次郎	會社員	全南小
〃 三七五	長野市助役	倉島 至	内務部長	全北小
〃 三八六	代議士秘書	藤澤 栄	土物屋	全北小
	同	宮澤 栄	酒造業	全北小
	教員	藤原 勝太郎	教員	全北小
	〃	水沢 定	〃	全北小
	同	水本 喜三郎	学校用	全北小
	同	田中 正明	教員	全北小
	同	宮澤 [illegible]	農業	全北小
	会社員	宮澤 [illegible]	[illegible]	全北小
	大工	野島 [illegible]	[illegible]	全北小
	代議士秘書	[illegible]	[illegible]	全北小
	同	[illegible]	[illegible]	全北小
	〃

住所	職業	氏名	前職業	前住所
東京市麹町区有楽町一丁目	貴族院議員秘書官	下山定則	逓信官僚	東京市麹町区
同区内幸町一丁目	会社員	下村宏	逓信官僚	東京市麹町区
〃	貴族院議

諏訪市

住所	職業	氏名	前職業	前住所
諏訪市上諏訪一五一	弁護士	小松源郎	検事	
諏訪市役所	諏訪市厚生課長	青島孝郎	同前法務官	長野県
湯波町三五五	会社役員	小林喜四郎	諏訪中央銀行支店長	長野県諏訪市
湖柳町 湖畔荘内	会社員	北原一水	会社員	長野県諏訪郡
湯波町一四五	官吏	宮坂波夫	警察官	
栄町一三一	会社員	竹田武雄	陸軍少尉	長野県諏訪郡
栄町一三一	会社役員	鈴木清蔵	会社役員	長野県諏訪郡
栄町一三一	会社役員	鈴木一	会社役員	長野県諏訪郡
大和町一三八	ラジオ商	青木野添平	商業	長野県諏訪郡
		野添藏平	商業	長野県諏訪郡

岡谷市

住所	職業	氏名	前職業	前住所
岡谷九二〇	東洋毛織株式会社岡谷工場長	矢澤政登	東洋毛織株式会社岡谷工場長	長野県岡谷
湊三四七	会社員	柏原優	会社員	長野県岡谷

飯田市

住所	職業	氏名	前職業	前住所
伊賀良村	農業	原源治	本県警察部長	高等警察課
鼎切石二三五	会社役員	原実男	会社重役	慶応義塾大学
上殿岡二三五	会社役員	原本英夫	銀行員	慶応義塾大学
上殿岡二三五	繊維業	大沼幸吉	新聞社員	
上殿岡二三五	繊維業	原章男	銀行員	慶応大学
上殿岡二三五	繊維業	相平石林	弁護士	慶応義塾大学
下久堅村	判事	原弘	判事	東京地方裁判所
下久堅村	検事			
下久堅村	検事			

上伊那郡

住所	職業	氏名	前職業	前住所
伊那町	農業	大澤元重	鉄道局々員	高等商業
伊那町	会社役員	澤義次	鉄道技手	高等商業
伊那町	会社役員	澤千年	林産課技手	高等商業
伊那町	会社役員	澤光雄	鉄道局員	高等商業
伊那町	会社役員	澤久子	主婦	高等商業
伊那町	会社役員			
伊那町	会社役員			
伊那町	会社役員			

下水内郡

住所	職業	氏名	前職業	前住所
飯山町	医業	南雲勝吉	陸軍軍医	千葉県
〃	木材及土建業	南雲栄吉	〃	〃
〃	会社役員	佐藤正三	満鉄社員	北満
〃	会社役員	中村公一	銀行員	〃

| | | |

住所	職業	氏名	前職業	前住所
佐賀県小城郡小城町八〇八	農業	原口清	農業	佐賀県小城郡小城町
佐賀県小城郡小城町

事故調部

住所	職業	氏名	前職業	前住所
豊栄町	運輸会社調査課長兼会計課長事	赤羽久二	商業	京都市元山町
豊栄町村	運輸会社安全管理主任技師	中島命門	鉄道員	京城南町

土安全部

大阪市北区	官吏鉄道事務技師	村松宗次	朝鮮鉄道事業管理者	京城南堂町
九段町三丁目	商業	伊沢宇吉	朝鮮水産開発会社重役	京城南堂町
豊島区千住	官吏公共事業	谷藤一	京城建設事務所長	京城南堂町
京城府	農業	丸山秀雄	実業	慶北大邱

庶務課部

牧浦氏田	長官官房庶務課主任	渡辺一	逓信官吏庶務課長	全北群

西部部

福島市役場	実業	志村重作	実業及政事務所長	忠北清天外
中河	本府内務部会計課	原敬	会社員	京城古市町
	官吏鉄道事業課長	小林利一	鉄道技手	慶北大邱
五五九		西六六治	商業	京城古城町
川前郡大六	官吏鉄道会計係	小林政助	鉄道技手	慶南慶州
大阪市北区	官吏鉄道事務官兼会計課長	大沢正男	技術員	慶南釜山

住所	職業	氏名	前職業	前住所
木浦府本町		奥原宗治		
福島町新町	鉄道局	宮崎栄	鉄道局	京城本町

会計課部

金沢市青草町	商業	上原栄一	鉄道技手兼助役	慶北大邱
上鶴町西六六番地	商業	小口栄	鉄道事業	慶北大邱
四五三	官吏鉄道会計課員	栄林治	京城鉄道会計課員	京城古城町
中町三三	下関鉄道会計課主任	谷藤一	京城鉄道会計課員	京城古城町
落合村六〇三五	又物会計	中山秀男	鉄道事務員	慶北大邱
高尾村六四三	金物会計	松原治	鉄道事務員	〃

上伊部部

西春日村大字金塚字八事除合	倉庫業	上西井造	鉄道技手	慶北
春日村大	倉庫業	有賀光国	倉庫係	京城京城

下伊部部

昇村西目村大字	農業兼業	小林重作	鉄道事業	慶北大邱
君島村大藤大字	農業	中山保一	鉄道局書記	京城元町
下関四	農業兼業	大津和男	官吏鉄道事務官	京城京城

疊表入荷法

東京都芝區田村町一ノ三
朝鮮關係殘務整理事務所内
朝鮮物産協會

昭和十二年九月　日　發行

關東食品株式會社
取締役代表　守　秋　藏

代表者　塚　本　鉦　次

本社　東京都麹町區飯田町四丁目七番地
日本鐵業會館二階
電話銀座(57)三六〇三番　六九五〇番
工場　千葉縣君津郡君津町
電話青堀一八番

目次
参考文献
索引

朝鮮引揚同胞世話会歳入出豫算

歳入

戰災援護會補助金	三〇〇、〇〇〇 円
在外同胞援護會補助金	二〇〇、〇〇〇 〃
特志寄附金	三九〇、〇〇〇 〃
	八九〇、〇〇〇 円
合計	

歳出

本部事務費	三三六、二三〇 円
事業費	五五二、六八〇 〃
引揚者相談所費	二八三、一六〇 〃
通報発行費	二四〇、〇〇〇 〃
補助費	二九、五二〇 〃
豫備費	一一、〇九〇 円
合計	八九〇、〇〇〇 円

一、本部事務費

(一) 會議費	三二六、二三〇 円
(二) 諸給	四〇、〇〇〇 〃
(三) 旅費	二五二、五四〇 〃
(四) 需用費	二九、二〇〇 〃
(五) 雜費	一六、五三〇 〃
	二三、九六〇 〃

二、事業費

(一) 引揚者相談所四ヶ所設置費	五五二、六八〇 円
(二) 通報発行費	二四〇、〇〇〇 〃
(三) 指導嘱託設置費補助	二八三、一六〇 〃

三、豫備費

一一、〇九〇 円

合計 八九〇、〇〇〇 円

世話會ニ対スル收益ノ一枚十円トシ其ノ他ノ寄附利益ハ別途経理シ諸雜費ニ充当スルコト

朝鮮引揚同胞世話会歳入出豫算

歳入

戰災援護會補助金	三、〇〇〇、〇〇〇円
在外同胞援護會補助金	二、〇〇〇、〇〇〇〃
特志寄附金	三九〇、〇〇〇〃
合計	八九〇、〇〇〇円

歳出

本部事務費	三二六、二三〇円
事業費	五五二、六八〇〃
引揚者相談所費	二八三、一六〇〃
通報發行費	二四〇、〇〇〇〃
術助費	二九、五二〇〃
豫備費	一一、〇九〇円
合計	八九〇、〇〇〇円

歳出内譯

一、本部事務費

(一)	會議費	四、〇〇〇〃
(二)	諸給	二五二、五四〇〃
(三)	旅費	二九、二〇〇〃
(四)	需用費	一六、五三〇〃
(五)	雜費	二三、九六〇〃

（川内里（技術者）四二名）

(三)	指導嘱託設置費補助	五五二、六八〇円

三、豫備費　二八三、一六〇〃

合計　八九〇、〇〇〇円

畳表入荷表

入荷	年月日	数量	入荷	年月日	数量	金額	売渡先其ノ他
		一五〇枚			七〇	三八五〇円	牧野勢一氏ヘ売渡代金収納済
					二〇	一一〇〇	武井一夫氏ヘ売渡
					三	一六五	水田直昌氏ヘ売渡

現在高七枚

五、七

吉野繁氏ヘ御納入分

七月繰越

一〇〇

三、五

一三、二一

一二、一三〇

一二、一

二三〇

二八〇

一一、二一

一一、三〇

一二、一一

一三、一一

一三、一一

一三

一、魚類採集票

番号	魚名	体長	体重	採集場所	採集年月日	備考

（小計）

みたみ新聞

運輸通信省第二種貨物通知書(受託用)

甲
(荷送人)

320 円

昭和 二十年 十一月 二十日 運送狀番號

十一月二十日

運賃料金支拂方法	扱種別
	小口

品川 東海 線

新潟県 西蒲原郡 村 [illegible]
新潟 鉄道 [illegible] 所
武井一夫 殿

個數	實重量	貨率
15	460	

(230枚)

著 品川
驛

運賃		
[illegible]50		集配 1500

15

引換證有無		
取立金、荷掛立替金		
運賃		
引換證料、取立手數料		
差引 (合計)		

(本欄請負人事項)

注意

1 貨物は印章に依り引渡しますから本書は荷受人に送付する必要はありません。
2 運賃料金支拂方法欄には現拂「1」、後拂「2」、豫納「3」と記入します。
但し現拂の記入は省略することもあります。
3 小口扱貨物を請負人の貨物取扱所に御持込になつた場合は其の取扱所に掲示してある持込費用を請負人より御支拂致します。

ner and thereof

運輸通信省第二種貨物通知書(受託用)

甲
(荷送人)

320 門

昭和 二十一年 十一月 二〇日　　運送狀番號

發驛	伴	著驛	品川	東海本線
經又ハ由				

荷送人 住所又ハ商號 別府 肯本商事 殿

荷受人 氏名又ハ商號 住所又ハ屆先 静岡縣田方郡大仁町 復員事務整理部所 武井一夫 殿

品名、荷造及記號	個數	實重量	貨率
陸生	二合(14)	15	480
	(18)		

記事 就)　270枚 (230枚)

十九、一 岡山日笠納

引換證有無		
取立金、荷掛立替金		
運賃		
引換證料、取立手數料		
先拂 (合計)		

(本欄請負人事項)

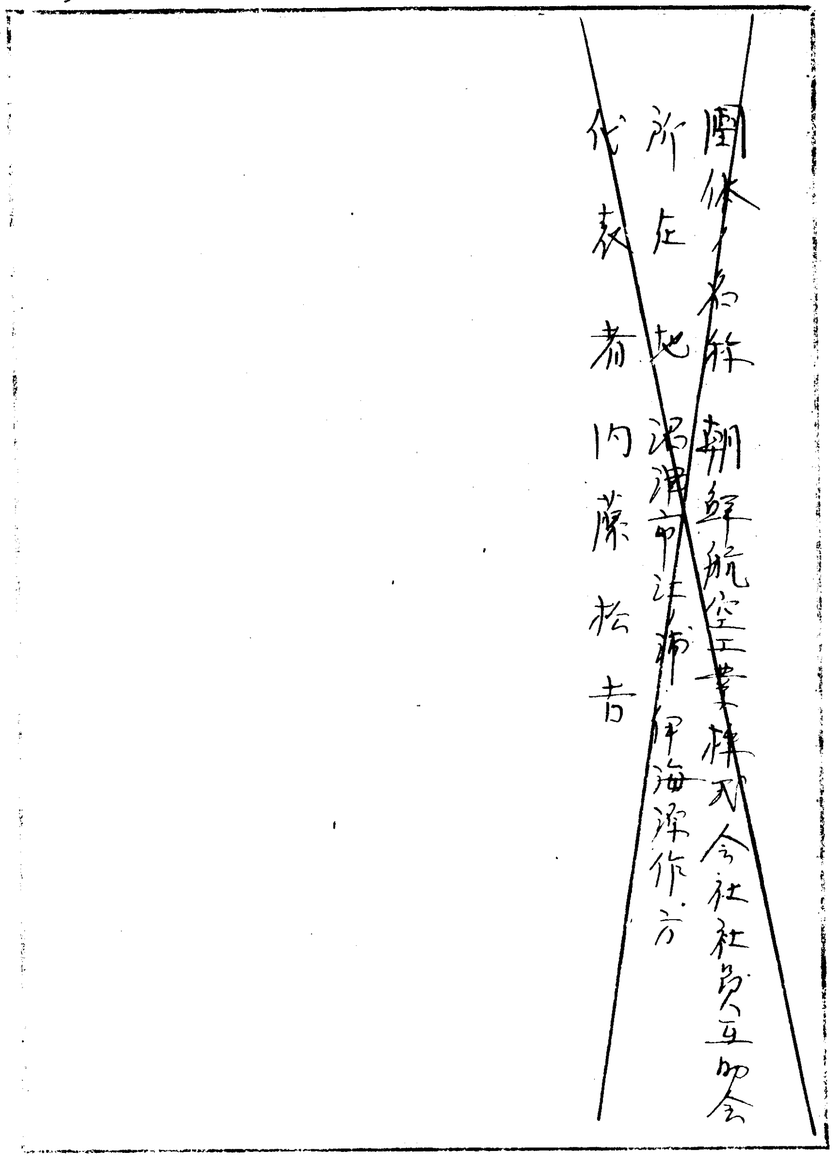
十一月 二〇日

運賃料金支拂方法	扱種別
	小口

著驛 品川

運賃	
金250	集配 1500
	15

注意
1 貨物は印章に依り引渡しますから本書は荷受人に送付する必要はありません。
2 運賃料金支拂方法欄には現拂「1」、後拂「2」、豫納「3」と記入します。但し現拂の記入は省略することもあります。
3 小口扱貨物を請負人の貨物取扱所に御持込になつた場合は其の取扱所に掲示してある持込費用を請負人より御支拂致します。


團体名称 朝鮮航空工業株式会社社員互助会
所在地 満洲国新京特別市海源作ノ方
代表者 内藤松吉

國東鐵道　第二種貨物通知書(受託用)

甲
(荷送人)

321

國東

昭和 21 年 11 月 21 日　　運送狀番號

11 月 21 日

發驛	杵築町			著驛	呂川 東海道
又ハ由線					
荷送人	住所又ハ商號 斉藤商事 殿			荷受人	住所又ハ屬先 竹内一夫 殿

品名、荷造及記號	箇數	實重量	賃率
野菜	23	460	

運賃料金支拂方法	扱種別
	小口

※ ※ ※ ※
※ ※ ※ ※

著驛	呂川	
運賃		(集)
	5350	30 00

23

記事 11/20 ワム 2569 (11/27ヲ發)

(本欄諸負人事項)

引換證有無		
取立金 荷拂立替金		
運賃		
引換證料 取立手數料		
先拂(合計)		

注意

1 貨物は印章に依り引渡しますから本書は荷受人に送付する必要はありません
2 運賃料金支拂方法欄には現拂は「1」、後拂は「2」、豫納に「3」と記入します　但し現拂の記入は省略することもあります
3 小口扱貨物を請負人の貨物取扱所に御持込になつた場合は其の取扱所に掲示してある持込費用を請負人より御支拂致します

朝鮮引揚同胞世話会歳入出豫算

歳入

戰災援護會補助金	三〇〇、〇〇〇円
在外同胞援護會補助金	二〇〇、〇〇〇〃
特志寄附金	三九〇、〇〇〇〃
合計	八九〇、〇〇〇円

歳出

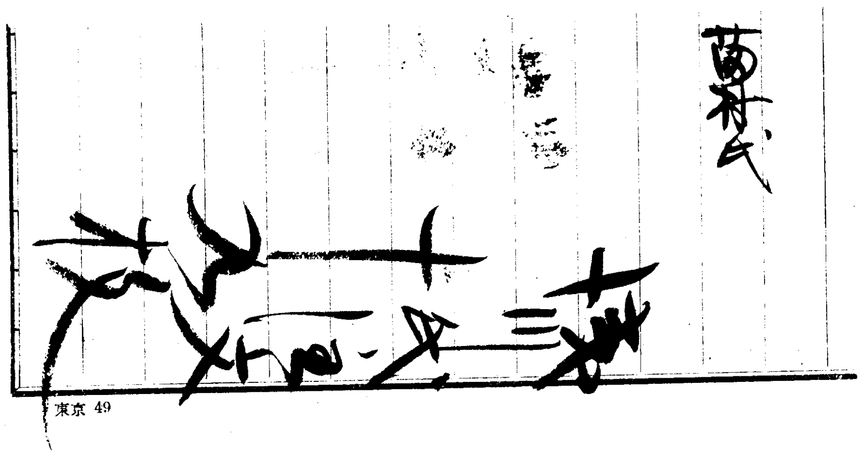
本部事務費	三二六、二三〇円
事業費	五五二、六八〇〃
引揚者相談所費	二八三、一六〇〃
通報発行費	二四〇、〇〇〇〃
補助費	二九、五二〇〃
豫備費	一一、〇九〇円
合計	八九〇、〇〇〇円

No.

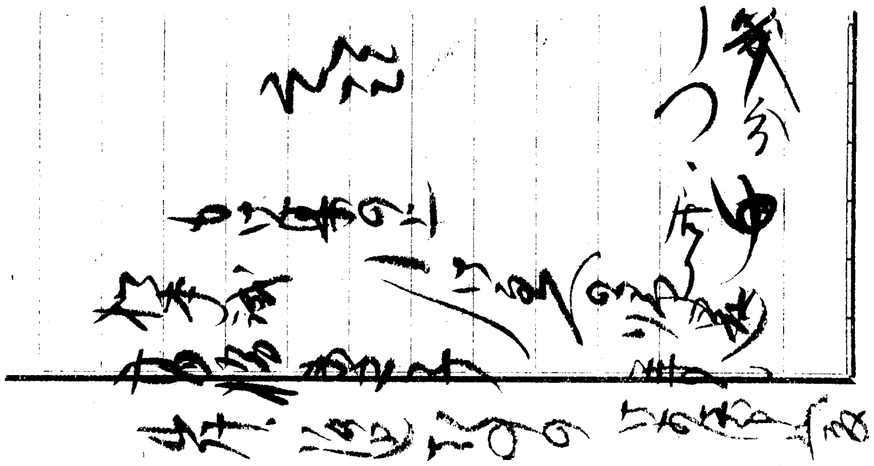
年 月 日

No.

年 月 日



東京 49



No. .....

年　月　日

先ニ送附致置候通リニテ

差支ナシ！

A七号一個ノ売値一

B五箇ニ七号商手

ニ付キ一枚ニ付キ八二〇円（一枚八十円）利益ハ

ナリ！　一来二〇〇円（一枚五〇円）

A付　一二〇円位ハ

大体信用ノ上ニ於テ現ニ

右ノ物産　商手ハ主ニハ春分ノ手ニハ

毎年ニ利益ニ乏シカラズ

大体ニ於テ次ノ通リ致置候ニ付

最近、至急ニ入用ノ為メ

ニ付承知ノ上、大至急御送金

此上、

鐵道省 代金引換證（物通知書）

（荷送人）

昭和 22年 2月 22日（ ） 運送駅番號

2月22日（ ）

發駅	線	運賃料金支拂方	坡種別
着駅			

荷送人 住所（又は所在地）氏名（又は名稱）	荷受人 住所（又は所在地）氏名（又は名稱）
殿	殿

品名、荷造及記號	個數	重量	賃率	運賃	代金引換

引換代金

昭和 年 月 日

荷送人 住所 氏名 所印

（厚8.5番U.15cm×35.5cm）

一、引換代金支拂のときに御知らせ致しますから本證と印章とをお持ち下さい

二、運賃料金支拂方に關しては裏面一、（後拂）又は二、（前拂）の内投函別欄に○印を「發駅」、「着駅」の何れか一方に記入して下さい

三、（前拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

十一、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

十二、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

十三、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

十四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

十五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

十六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

十七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

十八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

十九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

二十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

二十一、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

二十二、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

二十三、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

二十四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

二十五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

二十六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

二十七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

二十八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

二十九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

三十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

三十一、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

三十二、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

三十三、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

三十四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

三十五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

三十六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

三十七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

三十八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

三十九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

四十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

四十一、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

四十二、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

四十三、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

四十四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

四十五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

四十六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

四十七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

四十八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

四十九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

五十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

五十一、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

五十二、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

五十三、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

五十四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

五十五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

五十六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

五十七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

五十八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

五十九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

六十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

六十一、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

六十二、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

六十三、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

六十四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

六十五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

六十六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

六十七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

六十八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

六十九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

七十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

七十一、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

七十二、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

七十三、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

七十四、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

七十五、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

七十六、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

七十七、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

七十八、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

七十九、（後拂）の場合は「着駅」と記入して下さい

八十、（後拂）の場合は「發駅」と記入して下さい

記事

朝鮮引揚者世話會役員名簿

會長

貴族院議員　關屋貞三郎

理事

元東北地方行政協議會長　丸山鶴吉

元內閣書記官長　田中武雄

元政務總監　大野緑一郎

元政務總監　遠藤柳作

元朝鮮總督府國務總理事長　渡邊忍

元朝鮮電業社長　久保田豊

日本窒素株式會社專務取締役　白石宗城

日鐵鑛業株式會社取締役　上瀧基

小林鑛業株式會社社長　小林采男

元警務局長　下郡太郎

元鑛工局長　塩田正洪

元勤勞部長　織田智

監事

元朝鮮銀行總裁　松原純一

元殖產銀行副頭取　金子隆三